萬國史

下巻

牧山耕平 譯

記号
番号 7
一部ノ冊数 2

KODAK Color Control Patches
Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
© The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT

20632
教科書文庫
2
230
30-1876
240030
242
M9
1876.

縣第三八号
和歴史
一部冊數 二

廣島縣師範學校藏書

廣島師範學校藏書印

廣师(男)登錄番號
第 6701 号

250 類
38 号
2

明治九年三月

巴来 萬國史

文部省

二
三八

巴來萬國史下卷

目錄

第百四章歐羅巴
佛蘭西ノ風土
第百五章歐羅巴
高盧人及ヒ蠻夷
第百六章歐羅巴
高盧人ノ事
第百七章歐羅巴
クロウヰス並ニ矮王ペピンノ事

第百八章歐羅巴
シャルレマンノ治世
第百九章歐羅巴
十字軍
第百十章歐羅巴
封建ノ制度
第百十一章歐羅巴
驍騎黨
第百十二章歐羅巴
驍騎黨

第百十三章歐羅巴
王フィリップ及ヒ法皇ボニフェース並ニ英佛ノ戰爭
第百十四章歐羅巴
佛蘭西諸王ノ治世
第百十五章歐羅巴
ローイス、ゼ、グランド及ヒ其後嗣ノ治世
第百十六章歐羅巴
佛蘭西革命ノ亂
第百十七章歐羅巴
拿破崙保那巴(ナポレヲンボナパルテ)ノ興起

第百十八章歐羅巴
拿破崙保那巴ノ衰微
第百十九章歐羅巴
佛蘭西ノ後ノ革命ノ亂並ニ拿破崙三世
第百二十章歐羅巴
佛蘭西ノ年表
第百二十一章歐羅巴
日耳曼史
第百二十二章歐羅巴
太古ノ人種並ニシャルレマンノ話

第百二十三章歐羅巴
瑞西史
第百二十四章歐羅巴
日耳曼史ノ結末
第百二十五章歐羅巴
墺地利及ヒ匈牙利史
第百二十六章歐羅巴
匈牙利(ホンガリ)波希米亞(ボヘミア)的羅里(チロル)等ノ史
第百二十七章歐羅巴
普魯西史

第百二十八章歐羅巴

普魯西史並ニ大王フレデリックノ事

第百二十九章歐羅巴

日耳曼墺地利匈牙利及ヒ普魯西ノ年表

第百三十章歐羅巴

魯西亞ノ風土

第百三十一章歐羅巴

魯西亞ノ風土

第百三十二章歐羅巴

彼得羅大皇帝ノ治世

第百三十三章歐羅巴

彼得羅大帝ノ後嗣

第百三十四章歐羅巴

瑞典史

第百三十五章歐羅巴

チャーレス十二世及ヒ其後嗣

第百三十六章歐羅巴

臘巴蘭那威及ヒ丁抹ノ史

第百三十七章歐羅巴

諸國ノ史畧

第百三十八章歐羅巴
魯西亞 瑞典 臘巴蘭 那威 丁抹 和蘭 比耳時 等ノ年表
第百三十九章歐羅巴
大貌列顛及ヒ阿爾蘭ノ王國
第百四十章歐羅巴
英倫 威爾斯 蘇格蘭及ヒ阿爾蘭ノ諸市府
第百四十一章歐羅巴
貌列顛人民ノ原因並ニドリュイヅノ事
第百四十二章歐羅巴

英倫ヲ領シタル撒遜ノ王統及ヒ丁抹ノ王統
第百四十三章歐羅巴
ノルマンノ諸王
第百四十四章歐羅巴
英吉利ノ戰爭及ヒ一揆
第百四十五章歐羅巴
ランカストルノ王統
第百四十六章歐羅巴
薔薇ノ合戰
第百四十七章歐羅巴

チュドル家ノ治世
第百四十八章 歐羅巴
イリサベスノ治世
第百四十九章 歐羅巴
スチュアルト家ノ登位
第百五十章 歐羅巴
王ト巴里門ノ戰爭
第百五十一章 歐羅巴
クロムウェル政ヲ攝ス並ニ王政興復
第百五十二章 歐羅巴

千六百八十八年ノ革命及ヒ其他ノ事情
第百五十三章 歐羅巴
ハノーフル家ノ諸王
第百五十四章 歐羅巴
威爾斯史
第百五十五章 歐羅巴
蘇格蘭史
第百五十六章 歐羅巴
阿爾蘭史
第百五十七章 歐羅巴

各種ノ事條

第百五十八章　歐羅巴
大貌列顛ノ年表

第百五十九章　歐羅巴
草昧ノ世竝ニ緊要ナル發明ヲ復説ス

第百六十章　亞米利加
亞米利加史

第百六十一章　亞米利加
亞米利加ノ民祖

第百六十二章　亞米利加

閣龍（コロンビュス）亞米利加ヲ發見ス

第百六十三章　亞米利加
愛撒蘭（アイスランド）及ヒグリーンランドノ畧説竝ニ佛蘭西ノ植民地

第百六十四章　亞米利加
英吉利ヨリ佛蘭西ノ民地ヲ攻畧ス

第百六十五章　亞米利加
合衆國ノ風土

第百六十六章　亞米利加
新英倫（ニユーイングランド）ニ定住スル事竝ニ植民地ノ記錄

第百六十七章亞米利加
新英倫（ニューイングランド）ノ事情
第百六十八章亞米利加
費爾治尼亞（ウヰルジニア）ノ曩日ノ記錄
第百六十九章亞米利加
ブラックスノ敗軍及ヒ其他ノ事情
第百七十章亞米利加
改革ノ情由
第百七十一章亞米利加
歷星頓（レキシングトン）ノ戰爭

第百七十二章亞米利加
ボンクルヒルノ戰爭
第百七十三章亞米利加
戰ノ漸ク激キ事並ニブルゴイ子ノ降服
第百七十四章亞米利加
叛逆人アルノルド及ヒメールアンドルノ話
第百七十五章亞米利加
南部ノ戰爭並ニコルンウハルリスノ降服
第百七十六章亞米利加
大統領ノ話

第百七十七章　亞米利加
大統領ノ話
第百七十八章　亞米利加
合衆國史ノ畧論
第百七十九章　亞米利加
合衆國史ノ畧論
第百八十章　亞米利加
南亞米利加ノ話並ニ鍍金國及ヒ幼年泉
第百八十一章　亞米利加
墨是哥ノ史及ヒ跨的馬拉（クワテマラ）ノ事

第百八十二章　亞米利加
西班牙領秘魯
第百八十三章　亞米利加
巴西ノ話
第百八十四章　亞米利加
西印度島
第百八十五章　亞米利加
西印度島
第百八十六章　亞米利加
西印度島ノ結尾

第百八十七章亞米利加
亞米利加ノ年表
第百八十八章オーシェアニカ
オーシェアニカノ話及ヒマレーシア群島
第百八十九章オーシェアニカ
オーシェアニカ中澳太利區分
第百九十章オーシェアニカ
ボリ子シア及ヒ三維斯（サンドウ井チ）群島
第百九十一章オーシェアニカ
ボリ子シアノ續及ヒソサイティー群島並ニボオン

ティ船
第百九十二章オーシェアニカ
ボオンティ船ノ說話
第百九十三章オーシェアニカ
オーシェアニカノ年表
第百九十四章復說
邦國及ヒ人民等ノ古名
第百九十五章概論
國政ノ淵源及ヒ進歩
第百九十六章概論

建築及ヒ貿易
第百九十七章概論
諸藝術ノ起元及ヒ進歩
第百九十八章概論
諸發明ノ月日

下卷目錄終

巴來萬國史下卷

牧山耕平 譯

第百四章歐羅巴

佛蘭西ノ風土

㈠佛蘭西ハ歐羅巴ノ西部ニ在リテ人口幾ト三千六百萬アリ都府巴勒ハ甚タ廣大ニシテ周圍ニ石壁ヲ環ラス壯麗ノ家屋佳景ノ公園爽快ノ間游路整潔ノ街衢及ヒ嬉戯歡樂ノ場其城內ニ充ツ故ニ旅客ノ爲メニ快樂ナルコト世界中第一ノ地ナリ

㈡ 佛蘭西ニハ巴勒ノ外處々ニ宏麗ノ市府許多アリ其最モ昌盛ナルモノハ拉安里昂波耳多及ヒ馬塞里等ナリ拉安ハ美麗ナル玉器ヲ製造スルコト甚タ多ク里昂ハ精緻ノ絹ヲ織リ波耳多ハ葡萄酒ヲ釀シ馬塞里ハ某邦ノ中央ニ位シ其邦ハ葡萄其他滋味ノ菓實ヲ產スルコト多シ

㈢ 氣候ハ邊西威業瑪理蘭及ヒ費爾治尼亞ト殆ト相同シ」土地ハ膏腴ニシテ其產スル所ノモノ以テ無數ノ人民ノ食料ヲ給スルニ足ル菓實モ亦乏シカラス即チ櫻、李、梅、桃、無花菓ノ如キ是ナリ又葡萄ヲ產スルコト極メテ多シ之ヲ以テ葡萄酒ヲ釀ス最モ佳品ナリ

㈣ 人民ハ性質活潑ナリ」通俗男女ヲ間ハス田野ニ於テ各〱其業ニ從事ス故ニ家外ニアリテ時日ヲ消スルモノ多シ然レトモ其業ヲ務ムルニ甚タ勞苦セス且休日多シ休日ニハ街衢ニ遊行シ或ハ公園及ヒ「スクエールス」午道等ノ廣場ニ於テ歌唱跳舞ヲナセリ

㈤ 佛蘭西ノ人民ハ世上最モ優等ノ民ニ非サレトモ其善ク己ヲ慰メ歡樂ヲナスコト他國ノ人民ノ比ニ非ス即チ常ニ音樂ヲ愛玩シ且集會シテ共ニ百事ヲ談スルヲ好ム然レトモ殊ニ禮節ヲ重ンシテ旅客ヲ待遇スルコト極メテ厚シ」富貴人ハ其夫人ヲ遇スルコト重厚ナリ夫人モ亦之ニ報ユルニ力ヲ

竭シテ種々ノ方法ヲ用ヰ快ク其良人ヲ慰サム

㈥製造物ハ其種類多クシテ且貴重ノモノアリ玉器、絹、自鳴鐘、時辰表、其他整飾物ノ製作ハ其奇巧人ノ意表ニ出ツ此等ノ物品ヲ以テ各國ニ販賣ス是必需ノモノニアラスト雖モ善ク人意ヲ慰ムルモノナリ

㈦人民ハ都テ衣裳ニ意ヲ用ヰルニ由リテ巴勒ノ裁縫師ハ最モ裁縫ヲ巧ニス故ニ他國ハ其様ニ傚ヒテ終ニ流行ノ衣裳トナル巴勒ノミルリ子ルス（女ノ髪飾ヲ賣ル商）及ヒマンチュア、メークルス（女子ノ足マテ垂ルヽ長キ衣裳ヲ製スル裁縫師）ハ其從者ヲ具スルコト古今ノ國王ヨリモ多シ何トナレハ歐羅巴並ニ亞米利加ノ婦人ハ其ゴ

ウン（長衣）及ヒボンチット（女ノ被ルモノ）ヲ此裁縫師ニ造ラシムルカ故ナリ

㈧佛蘭西ノ人民ハ其性輕佻ニシテ常ニ愉快ヲ事トシ志慮ナキカ如シト雖モ古來卓犖奇才ノ人輩出シテ榮名ヲ後世ニ垂ルヽモノ歷々トシテ其國史ニ存セリ

㈨汝佛蘭西人民ノ常ニ提琴ヲ彈シ或ハ衣裳ヲ造リ或ハ跳舞ニ熟シタルヲ見ハ必ス惰弱ノ民ナリト思フナルヘシ然レトモ深ク其性質ヲ察シ且意ヲ留メテ其國史ヲ讀マハ歐羅巴中最モ善ク戰ヲ爲ス民ナルコトヲ知ルヘク且歡樂シテ時ヲ費ヤセリト雖モ堅心以テ事ヲ遂クルノ精力ナキモノニアラヲ

サルコトヲ見ルヘシ

第百五章歐羅巴

高盧人及ヒ蠻夷

㈠余此史ヲ記シテ此所ニ至ルマテ蠻夷ト稱セル歐羅巴北部ノ諸人種ノ事ヲ談スヘキ時機ヲ得ルコト數〻ナリト雖モ猶未タ之ヲ語ラス今此章ハ其談ニ最モ便宜ナルニヨリ其説話一二ヲ擧ケテ之ヲ語ル可シ汝ノ知レルカ如ク歐羅巴ニ人民ノ住居ヲ定メシハ希臘ヲ以テ始トス（其住スルモノハ則チヂヤアフェスノ苗裔ニシテ爾後其子孫タルモノ希臘及ヒ其他ノ部分ニ蕃衍シタリ）

㈡初メ亞細亞竝ニ亞非利加ノ沿海ニ人民繁殖セルニ従ヒ

テ其人民ハ地中海ニ濱シタル各處ニ移レリ其移レルモノハ即チ希臘以太利西班牙等ノ國ニ居ヲ定メタリ此國々ハ氣候暖和ニシテ土地膏腴ナルヲ以テ人民忽チ蕃衍シ且海濱ナルカ故ニ許多ノ大船ヲ具シテ彼此貿易ヲ通セリ

㈢是ニ因リテ數年ノ後其人民ハ富ヲ得テ遂ニ大市府ヲ興シ壯麗ノ屋宇神祠及ヒ宮殿ヲ造ル」予カ既ニ汝ニ語リシ歐羅巴ノ南部ノ事歴此ノ如シ」但シ其間絶エス諸ノ人種ハ遠ク歐羅巴ノ北部ニ移レリ

㈣北部ハ氣候沍寒ニシテ土地亦瘠土ナリ然レトモ麋、馴鹿、小鹿、（ロービェック、鹿ノ一種）野猪、野牛其他許多ノ獸類林中ニ棲居

セシニヨリ其人民ハ之ヲ以テ其食ニ給セリ當日ニ在リテハ野獸ヲ獵スルコト粗暴ナル人民ノ最モ善キ佚樂ナリトス

㊄ 其他未タ人ノ領セサル地方ニ於テハ土地ニ價値ナシ故ニ來リテ之ヲ取ルモノ各〻其有トナスヲ得ヘシ希臘以太利西班牙及ヒ亞細亞ノ人民ハ斯ル景況ニ誘導セラレ遂ニ和煦ノ地ヲ去リテ沍寒荒蕪ナル北部ノ地方ニ移住スルモノ多シ」

㊅ 此ノ如ク某人種ハ某人種ノ跡ヲ追ヒ某國民ハ某國民ノ後ニ隨ヒテ北部ニ移リケレハ終ニ南ハ地中海ヨリ北ハ太西洋ニ至ルマテ盡ク人ノ領スル所トナレリ此移住ノ人民ハ皆蠻夷ニシテ性戰ヲ好ミ互ニ黨與ヲ結ヒテ相抗敵ス但シ其人口繁殖セルニ從ヒテ各〻其勢强盛ヲナセリ

㊆ 爾後彼此相共ニ其近隣ニ住スル所ノモノハ細瑣ノ事ヨリ爭端ヲ開キ遂ニ血戰シテ無數ノ生靈ヲ殺害シタリ時有リテハ某ノ人種ハ征服セラレ或ハ殲殺セラレ或ハ奴隷ノ景狀ニ屈セラレ或ハ其國ヨリ驅逐セラルヽコトアリ

㊇ 北部ノ著名ナル人種ノ中ニ高盧人ト云フモノアリ是レ世ニ知ラレタル佛蘭西人民ノ祖先ナリ」又フランクス及ヒシユエイハ日耳曼ニ住メル人種ナリ俄狄(ゴス)及ヒフハンダルスハ初メ那威(ノルウヱー)瑞典及ヒ拉巴蘭(ラプランド)ニ住居シ其後日耳曼ニ定住セシモノナリ」又匈奴(ヒユンス)ハ匈牙利(ホンガリ)ニ定住セシ人種ナリ」其他人種許

多アリト雖モ今此ニ一々之ヲ記スルコトヲ要セス

（九）歐羅巴ノ北部ニ住メル蠻夷ノ人口ハ漸ク繁殖シテ某ノ人種ハ最モ强盛トナレリ此等ノ人民ハ或ハ漁獵シ或ハ戰鬪シテ艱苦ノ事ヲ爲シヽヲ以テ常ニ危險ヲ冒スコト多シ

（十）但シ躁暴ニシテ貪心厭クコトヲ知ラサルハ恰モ野獸ノ捕獲呑餌セント欲シテ絶エス某ノ物ニ眼ヲ注クカ如シ然レトモ歲月推シ移リテ歐羅巴ノ南部ニ於ケル富饒ノ市府膏腴ノ土地及ヒ葡萄ノ繁茂セル山地ニ專ラ心ヲ留ムルニ至レリ」

（十一）此時ニ當リ羅馬帝國ハ衰微シテ將ニ倒レントスルノ形勢ニ至リシカハ其兵力ハ既ニ北部ノ蠻夷ヲ慴服スルニ足ラス紀元後四百年ノ頃諸蠻ノ軍始メテ以太利ヲ侵擊シ破竹ノ勢ニ乘シテ進ミタリ」俄狄ノ王アラリック羅馬ヲシテ軍須ヲ出サシム其後五十年ヲ經サルニ又匈奴ノ王アッチラ剽掠シテ羅馬府ヲ劫シタリ

（十二）此ヨリ後殘忍ナル侵者絶エス歐羅巴ノ南部ヲ侵擊シ終ニ最良ノ部分ヲ取リテ其領地トナセリ

（十三）既ニ語リシ北部ノ蠻夷ハ一卷ノ書ヲ有セス史乘モ亦絶エテナシ故ニ太古ノ事ハ世ニ詳ナラス其羅馬西班牙及ヒ歐羅巴ノ南部ヲ取リシ以後ハ其國々ニ住居ヲ定メタリ

（十四）前ニ羅馬人ノ教化シタル文學、詩歌、圖畫、彫刻及ヒ音樂等

ハ一時斷絕シタリシカ新住ノ人民漸次ニ開化シテ再ヒ其諸藝術ヲ學ヒ得タリ現今其地方ノ人民ノ一分ハ蠻夷ノ後裔ナルヘシ○今余ノ談佛蘭西ノ史記ニ說キ及フヘキ時ナリ

第百六章歐羅巴

高盧人ノ事

(一) 昔佛蘭西ハ國名ヲ高盧ト曰フ其國民ハゴールスト稱ス其人民ハ上ニ語リシ如ク戰ヲ好メル人種ノ一ナリ太古其人口甚タ多クシテ且強盛ナリシカ紀元前三百九十年ニ當リテ其軍ブレンニュスニ屬シ羅馬ヲ侵擊シテ其府ヲ取ル然レトモ後カミルリュスノ爲メニ驅逐セラル

(二) 既ニ語リシ如ク高盧ノ軍ハ他ノブレンニュスニ屬シテ希臘ヲ侵擊シタリ「ヂュリュース、シーザル」ノ治世ニ當リテ高盧人ハ稍開化ニ趣クト雖モ猶未タ野蠻ノ民ニシテ純ラ其風習ヲ存セリ然レトモ許多ノ市府ヲ有シテ堅固ナル城壁ヲ築キ以テ之ヲ防守セリ

(三) シーザル其國ニ進入スルトキ其人民ハ日耳曼中ノ某人種ノ爲メニ窘メラルヽコトヲ知リ因リテシーザル初ニハ詐リテ高盧人ノ爲メニ其外患ヲ除クヘキ狀ヲナセリ

(四) 斯ノ如クシーザルハ高盧人ヲ征服セントノ企望ヲ懷クト雖モ高盧人ハ早ク其詐謀ヲ察シテ九年間シーザルノ軍ト

戰ヒ驚ク可キ熟練且勇氣ヲ表ハシタリ然ルニ羅馬人ハ更ニ戰ノ術ヲ盡シ其軍兵モ能ク熟練シ武器モ亦高盧人ニ勝レリ」

㊄然レトモ高盧人ハ其國ヲ守ルコト堅固ニシテ屈セス故ニ古今ノ名將ナルヂュリュース、シーザルモ必ス其人民ヲ服從セシメンカ爲メニ羅馬ノ大軍ヲ引率シテ其智謀ヲ盡シタリ

㊅シーザルノ其人民ヲ征服スルハ九年ノ星霜ヲ經タリ此血戰ニ死亡セルモノ一百萬ニ下ラスト云フシーザルノ勝ヲ獲シ時（紀元前五十年ノ頃）ヨリ高盧ハ羅馬ノ版圖ニ屬ス而シテ其人民ハ漸次ニ羅馬ノ風俗ニ化シ其言語モ亦變シテ羅甸ニ似タル國語トナレリ然レトモ第三四百年ノ間既ニ記載セル所ノ日耳曼ノフランクスハ高盧ノ過半ヲ掠畧シテ其有トナセリ

㊆初メ高盧ニ定住セルフランクスハフハラモンドニ誘導セラレタリト云フ」フハラモンドハ四百二十八年ニ殂シ其子クロヂアン之ニ嗣ククロヂアンハ其頭髮ノ美ナルヲ以テ殊ニ有名ナリ而シテ四百四十八年ニ殂シメロウヰウス之ニ嗣クメロウヰウスハ四百五十八年ニ殂シチルデリック其嗣トナル」チルデリックヲ除クノ外此等ノ王ノ事ハ世ニ知ラルヽコト甚タ少ナシ

第百七章歐羅巴

クロウ井ス並ニ矮王ペピンノ事

(一) チルデリックハ佛蘭西王國ノ始祖ナリ其子クロウ井スハ十九歳ノ時父ノ業ヲ繼キテ羅馬人ヲ佛蘭西ヨリ驅逐シ其後日耳曼ト戰ヒテ大ニ勝利ヲ得タリ

(二) クロウ井スハ既ニ耶蘇宗ノ女君(プリンセス)ト婚姻セルヲ以テ其軍功ヲ后ノ拜スル天神ニ歸セリ因リテクロウ井スモ亦自ヲ耶蘇教ニ改宗セント決シ四百九十六年耶蘇降誕日(キリストマスデー)ニ當リテ其臣下三千人ト共ニ洗禮ヲ行ヒタリ」クロウ井ス殂シテ後其國數小國ノ割據スル所トナリテ互ニ相爭ヒシカハ佛蘭西全國ノ人民大ニ其兵亂ニ苦ム」其國王ノ婦人ハ十人ノ王子ヲ殺シヽヲ以テ其罰ヲ被レリ

(三) 矮王ペピン一名短人ペピント呼ハレタル王ハ盡ク其小國ノ君ヲ廢シテ自ラ佛蘭西ヲ一統ス王ハ身ノ長ケ僅ニ四尺有半ナリト雖モ其胆畧ハ甚タ大ナリ

(四) 王ハ胆畧ノ大ナルノミナラス膂力モ亦強壯ナリ王其朝臣中ニ己ノ短身ヲ嘲弄スルモノアルヲ知リテ我モ亦長人ノ爲セル如キ剛勇ヲ爲シテ彼輩ニ示サント決シ因リテ彼輩ヲ誘引シテ獅子ト牛トノ闘ヲ見セシム

(五) 獅子ハ大ニ吼エテ跳リテ牛ノ背ヲ摑メハ其爪深ク肉ニ

徹セリ牛ハ之カ爲メニ疼痛ニ堪ヘス戰慄シテ大ニ叫ヒタリ是ニ於テ矮王ペピンハ務メテ其身ヲ高クセントテ椅子ノ上ニ跂チ獅子並ニ牛ニモ劣ラヌ大聲ニテ朝臣ニ向ヒテ叫ヒタリ

(六) 乃チ王呼テ曰ク「爪持(ツカム)セル獅子ヲ排解スルモノ誰ソヤ」ト朝臣皆獅子ニ近カヨルノ意アラサルカ故ニ大ニ慙ヂ且默シテ立チ居タリシカハ王又曰ク「嗚呼然ラハ吾自ラ之ニ當ラン」ト即チ椅子ヨリ飛ヒ下リテ其身ニ等シキ長劍ヲ抜キ振リ廻シテ獅子ノ側(ソバ)ニ進メリ是時獅子ハ猶狂然タル牛ノ背ヲ爪持シ居タリ

(七) 獅子ハ其恐ルヘキ狀ヲ見テ唯一咬ニセントテ其口ヲ開クト雖モ矮王ペピンハ劍ヲ以テ獅子ヲ一擊シ其頭ヲ切斷シタリ

(八) 是時獅子ノ頭ハ牛ノ一方ニ轉シテ其躰ハ一方ニ倒レタリ蓋シ此ヨリ後朝臣等鬣(タテカミ)ヲ取リテ獅子ヲ捕獲スルヲ得ルニ非ラサレハ王ノ短身ヲ笑フコト能ハサルヘシ

第百八章 歐羅巴

シャルレマンノ治世

(一) 矮王ペピンノ子ハ則チシャルレマン一名サーレス、ゼ、ゲレート（ゼゲレートハ猶大王ト云フカゴトシ）ト稱スサーレスハ身ノ長ケ七

尺ニ下ラスシテ大勇アリ且百戰百勝ノ故ヲ以テ此綽號ヲ得タリ

（二）シャルレマンハ常ニ羊皮ノ外套ヲ着セリ而シテ朝臣ノ美服ヲ着スル者ヲ見ル毎ニ輙チ共ニ出テヽ獵スヘク其輩ヲ誘導シテ其美服ヲ裂カシメント欲シ自ラ荊棘中ニ入リテ先導シタリ

（三）王ハ絶エス戰ヲナシテ撒遜（サキソンス）其他日耳曼中ノ人種ヲ征服シ又西班牙及ヒ以太利ヲ征服シ終ニ佛蘭西 日耳曼及ヒ其他ノ諸國ヲ管轄ス因リテ王西羅馬帝ノ名號ヲ其身ニ得ンコトヲ欲シタリ

（四）是故ニ王羅馬ニ行キテ祈念スル所アルカ如ク禮拜堂ノ神壇ノ前ニ拜跪ス偶〻此堂中ニ大集會アリ皆其狀ヲ見テ是レ眞ニ信神ノ心アリトセシカハ高僧竊ニ王ノ後ニ至リテ其頭ニ帝ノ冠ヲ戴カシム

（五）其冠ハ累代羅馬皇帝ノ戴ク所ノモノナリ人民シャルレマンノ其冠ヲ戴クヲ見テ皆萬歳ヲ唱フシャルレマンハ一時驚キ且怒ルト雖モ實ハ其冠ヲ戴カンコトヲ欲セリ

（六）シャルレマン天命ヲ以テ終ル時ニ八百十四年ナリ既ニ記セル如ク其在世ノ間ハ羊皮ノ外套ヲ着シタリシカ死ニ及テ其近臣ノ輩帝衣ノ紫袍ヲ以テ其身ニ被セシム

㈦ 其墓所ニハ黄金ノ椅子ヲ置キテ老タル白鬚ノ帝ノ尸ヲ其上ニ安シ帯ヲ以テ劔ヲ胸ニ懸ケ頭ニ金冠ヲ戴カシメ手ニ金笏ト金杯ヲ持セシメ足ニ楯ヲ附ケ膝ニ聖書ヲ置ケリ

㈧ 墓所ニハ壯麗ノ樓ヲ建テ大帝シャルレマンヲ永ク世ニ知ラレシメンカ爲メニ之ニ銘ヲ刻ス斯ノ如ク其粧飾壯麗ヲ盡シテ其尸ヲ埋メ而シテ後近臣ノ輩此ヲ去リ上朝シテ帝ノ後嗣ニ拜謁セントス

㈨ 後嗣ハ則チシャルレマンノ子ローイス、ゼ、マイルドナリ王ハ嘗テ生擒トシタル某王ノ眼ヲ抉リタリ然ルニゼマイルド（柔和ノ義）ノ名ヲ得ルハ余其故如何ナルヲ知ラス」王死スル

時其領地ヲ三子ニ分與セシカ其後幾ナクシテ三子相爭ヒテ遂ニ戰爭ニ及ヘリ其交兵中ノ一戰ニ十萬人ノ殺傷アリシト云フ

㈩ 其後王位ニ登ルモノハチャーレス、ゼ、バルドローイス、ゼ、スタムメレルチャーレス、ゼ、フハットチャーレス、ゼ、シンプルローイス、ゼ、ファリチル及ヒヒュー、カペットナリ此諸王ハ余カ此書ニ於テ別ニ記載スルニ足ルヘキ所業ナシ

第百九章歐羅巴

十字軍

㈠ 余茲ニ十字軍ノ說話ノ大畧ヲ語ルヘシ十字軍トハ土耳

其ノ手ニ落チタル耶路撒冷ヲ回復センカ為メニ歐羅巴諸國ヨリ起シタル軍ヲ云フ耶路撒冷ハ大ニ耶蘇宗徒ノ尊恭ヲ得タル地ナリ其故ハ甞テ耶蘇其市府ニ在リテ説法シ叉許多ノ測ルベカラザル事ヲ為シ且耶蘇ノ埋葬セラレタル地ナルヲ以テナリ

㈡ 耶蘇宗徒ハ信神ノ惑ヲ懐キテ尊恭ヲナシヽニ由リ其市府ヲ神聖ノ市府ト名ツケ巡禮シテ其府ニ到ルモノ多シ」耶蘇舊教ノ僧ハ常ニ罪ヲ犯スモノニハ必ス此巡拜ヲ命シ犯者ハ之ヲ以テ天神ノ許可ヲ得ヘシト信仰セリ

㈢ 其巡拜者ハ耶路撒冷及ヒ其近鄰ノ國ヲ有シタル土耳其ノ為メニ數苛酷ニ遇セラレ且汚辱ヲ被リシヲ以テ歐羅巴ニ歸ルノ後其狀ヲ陳説スレハ耶蘇宗徒大ニ感激シテ邪宗ノ土耳其ヨリ神聖ノ地ヲ回復スヘク諸國ヲ勵マシテ容易ク一致セシメタリ

㈣ 是時ニ當リテ羅馬法皇ハ大ニ權勢ヲ得ルト雖モ猶未タ厭カス故ニ此度ノ大擧ヲ陳言スルトキ法皇以為ク若シ其國ヲ取ルヲ得ハ巴勒斯旦ノ疆外ニ其領地ヲ擴ムヘシト因リテ其陳言スル所ヲ許可シタリ

㈤ 初テ十字軍ノ起リシトキペトル、ゼ、ヘルミツト、ト云フ者主トシテ其人民ヲ鼓舞ス」。ペトルハ餓エテ將サニ死セン

トスル僧ニシテ出ツルニ頭ニ冠セス繩ヲ以テ胸ニ繞ラシ粗布ノ濶大ナル衣ヲ着セシカ其衣ノ褊小ナルコト腕ト脚トニ至ラス唯其体ヲ蔽フノミ

⑥斯ル案山子（カヽシ）ノ如キ僧ハ人ノ尊敬ヲ得スシテ笑ヲ招ケルカ如ク見ユヘシ既ニペトルハ巴勒斯旦ニ在リテ親シク土耳其ノ耻辱ヲ被リタルカ故ニ其聞見セル所ノ事ヲ以テ人民ニ語レハ衆皆相憐ミ且喜テ之ヲ聞ケリ

⑦ペトルハ諸市府ヲ經歷シテ隨處ニ陳說セシカハ衆皆群集シテ之ヲ聞キ之カ爲メニ衆庶怨ヲ皷舞セラレ遂ニ王公貴人モ集會シテ其征伐ノ爲メニ軍兵ヲ招募セリ因リテ一千九十六年ニ當リペトル二十萬人ヲ引卒シテ出發ス是時ペトルハ重キ十字形ヲ其肩ニ荷ヒ從者ハ紅布ヲ其肩ニ縫着シテ號トナセリ

⑧其軍辛クシテ亞細亞ニ着セシトキシュルタンソリマント云フ者逆擊シテ之ヲ鏖殺セリ而シテシュルタンハ其凱陣ノ標トシテピラミット（金字塔）ヲ造ル」他ノ十字軍モ亦斯ノ如キ難ニ遭遇セリ

⑨第一十字軍ノ戰爭中ニ耶蘇宗ノ人民死セルモノ八十五萬人ナリト云フ且其軍未タ耶路撒冷ニ達セスシテ斯ル殘殺ニ遇フモノ多シ

(十) 然レトモ第一十字軍ニ屬セル其他ノ軍ハ戰功ヲ得タリ其軍ハ即チ八千萬人ニシテ佛蘭西ノ侯ボーロンノゴッドフレート呼ハレタル人之カ將タリ侯小亞細亞ヨリ其軍ヲ進メテ諸市府ヲ從ヘ且耶路撒冷ヲ攻取セリ時ニ一千九十九年ナリ爾後千百八十七年ニ至ルマテ耶蘇宗徒其府ヲ保チシカ是年復ヒ土耳其ノ爲メニ攻取ラレ其後土耳其ノ管轄ニ歸ス

(十一) 十字軍ノ戰爭ハ始終五回ナリ其最後ノ戰爭ハ一千二百四十八年ニ始ル此戰モ亦前四回ノ如ク勝利ヲ獲ス」斯ル兇暴ナル戰爭ニ於テ耶蘇宗徒ノ死セルモノ通計二百萬人ニ下ラスト云フ

(十二) 十字軍ニ伴ヒシ者多クハ賢良ノ人ナリ諸將モ亦剛勇ノ人ニシテ燦然タル鐵甲ヲ着シ駿馬ニ跨リテ出陣シタリ然レトモ其軍兵ハ大半種々ノ性質ヲ持セリ即チ某ハ宗門ニ執迷シテ殆ト狂氣ノ如ク某ハ攻取スヘキ市府ニ於テ亂暴強奪ヲ恣ニセンカ爲メニ其軍ニ隨從シタル小賊及ヒ强盜ナリ

(十三) 但シ十字軍ニ伴ヒシ者多クハ私心ヲ懷キテ其役ノ大旨趣ヲ知ラス且恣ニ人命ヲ殘害セリ然レトモ當時未開ノ歐羅巴人ハ之カ爲メニ開化ニ進ムヘキ諸藝術ヲ東方ヨリ傳致シ其他十字軍ハ畢竟良効ヲ爲スコト多シ

第百十章 歐羅巴

封建ノ制度

㈠ 余カ談今佛國史ニ及フト雖モ唯〻國王及ヒ交戰ノ事ノミヲ談スルハ歷史ヲ語ント欲スル者ノ本務ニ非ラス故ニ先ツ人民ノ習俗如何ト管理者ノ其民ヲ遇スルコト如何トヲ記セスンバアルヘカラス

㈡ 今此ニ談スル所ハ封建チフヘルリ（義勇黨伴ヲ結ヒテ緩急君命ニ從ヒ國ノ爲メニ死ヲ以テ事ヘタル武士ナリ以下驍騎黨ト譯ス）及ヒ其他汝ノ得テ了解スヘキ切要ナル說話ナリ」既ニ語リシ如ク歐羅巴北部ノ人種ハ最モ戰ヲ好ミ貪心饜クコトナクシテ常ニ轉移スルヲ事トス其人民ノ中或ハ耕作ニ從事スル者アリシカ多クハ兵卒ト爲リテ其日ヲ度リ或ハ全ク軍事ニ其身ヲ投シ或ハ事アルニ當リテ徵募ニ應スル者アリ

㈢ 其人民ノ中或ハ專ラ屋宇ノ築造ニ從事シ或ハ甲冑ヲ製造シ或ハ鄙野ノ人民ニ必要ナル器物ヲ製造スル者アリ然レトモ此等ノ工匠モ亦時有リテハ徵募ニ應シテ武器ヲ携ヘ國人ト共ニ戰場ニ臨ムコトアリ

㈣ 各人其職業異ナリト雖モ當時人民ノ最モ要務トナシヽハ上ニ語リシ如ク戰爭ニシテ或ハ外寇ヲ防禦シ或ハ外征ヲ企謀セリ其將帥タルモノハ概ネ勇敢强壯ニテ外征ニ當リテハ必ス艱難苦戰ニ堪フヘキ人ナリ

㊄若シ某國征服セラルヽトキハ其國ニ屬シタル土地、都府、村落、金銀、牛馬、商賈ノ貨物及ヒ其他百物擧テ勝者ノ掠奪物トナリ而シテ其人民ハ或ハ殺害セラレ或ハ驅逐セラレ或ハ奴隷トセラル

㊅斯ル戰爭ヲナシテ敵ノ土地及ヒ貨物ヲ掠奪シ以テ至當トスルノミナラス之ヲ以テ大ナル慰樂ト爲セリ其兵士ハ屢飢渇ニ困ミ時有リテハ疵傷ヲ蒙リ且殺害ニ遇ヒシモノ多シ故ニ戰爭終リテ後存命セシモノハ或ハ酒宴ヲ設ケ或ハ野蠻ノ興ニ應シタル嬉戲ヲ以テ其凱陣ヲ祝セリ

㊆又歌ヲ發スル者アリ或ハ説話ニ長シタル談客ハ陣中ニ在リテ屢國王及ヒ太子ノ獵ニ出テヽ猛猪或ハ猛熊ト鬪ヲナシタル怪談ヲ爲シテ軍兵ヲ慰メケリ

㊇或ハ某ノ酋長ノ行ヒシ驚クヘキ所業ヲ語リ或ハ妖怪ノ月ニ乘シテ出游セル事ヲ説キ或ハ殺害セラレタル某君ノ幽靈嘗テ住メル城宮ヲ刼カサンカ爲メ屢夜間ニ出現スル等ノ妄誕ヲ語レリ

㊈斯ル奇談ハ蠻夷ノ歡樂ノ一ナリ之ヲ以テ戰爭ノ勞ヲ慰ム但シ彼ノ蠻夷ニ就テハ尚談スヘキコトアリ抑其戰爭ヲナス眞ノ目的ハ暴亂強奪ノ一事ナリ而シテ戰爭ヲ以テ商賈ニ易ヘ他國ノ土地貨物ヲ掠奪スルヲ以テ事トス之ヲ概論スレ

ハ則チ暴亂強奪ノ制度ト謂テ可ナリ又其人種ハ豪盜ノ黨伴ト考フヘシ

(十) 若シ此人民彼ヲ征服スルトキハ其位階ニ準シテ掠奪物ヲ配分ス但シ國王或ハ酋長タルモノ其分配最モ多ク下等ノ長官之ニ次キ兵卒ハ其分配最モ少シ土地ヲ分ツモ亦然リ蓋シ土地ヲ分與セラルヽモノハ緩急酋長ノ命ニ應シテ戰地ニ趣クヘク束縛セラル

(十一) 國王或ハ貴族ハ其疆内ニ堅固ナル石ノ大城ヲ築キ而シテ其臣下或ハ奴隷ト呼ハレタル人民ハ其傍ニ矮屋ヲ建テヽ土地ヲ耕シ以テ其身ヲ養フノ食物ヲ作レリ但シ其食物ノ最良ナルモノハ之ヲ領主ニ献納セリ

(十二) 夫レ所謂封建ハ即チ貴族ノ臣下タルモノ其領内ニ住居シテ事アルトキハ毎ニ主君ノ命ニ應シテ出陣スヘク束縛セラルヽノ制度ヲ云フ其貴族モ亦封建ノ制度ニ從ヒテ毎時國王ノ命ヲ奉シ其部兵ヲ引卒シテ軍役ニ趣ク

(十三) 領主タルモノハ戰時ニ其人民ノ守護ヲナスヲ以テ己ノ任トナセリ而シテ其居城ハ大概高大且堅固ナルヲ以テ敵ノ來リテ圍ム時ハ毎ニ其人民ヲシテ城中ニ入ラシム

(十四) 籠城中ハ共ニ力ヲ盡シテ能ク其防禦ヲ爲シ時有リテ數月ノ圍ヲ受ルコトアリト雖モ貯儲ノ酒食盡サレハ其間圍マ

レタル朋黨相共ニ爭飮鬭醉シ或ハ談話シ或ハ詩歌ヲ吟シケリ

第百十一章　歐羅巴

驍騎黨（チフハルリ）一名ナイトエルラントリ

㈠汝予カ談ヲ追思セハ當時歐羅巴ハ戰ヲ好メル許多ノ人種ノ之ヲ割據セシコトヲ知ルヲ得ヘシ其人種ハ各〻王ヲ奉戴シ王ハ各〻強盛ナル種々ノ貴族ヲ幕下ニ從ヘ貴族ハ亦各〻衆多ノ臣下ヲ持セルモノナリ

㈡國王及ヒ貴族等ノ堅固ナル石城ニ住ミシコト汝之ヲ心ニ記スヘシ汝若シ歐羅巴ニ到ラハ今猶其城ノ處々ニ存スルヲ見ヘルシ然レトモ千餘年前ニ築造セシモノナレハ多クハ皆荒廢セリ但シ之ニ屬シタル古說怪誕ハ以テ奇トスヘシ

㈢封建ノ制ハ其原考フ可カラスト雖モ初メ日耳曼人種中ニ行ハレタルモノニシテフランクス之ヲ佛蘭西ニ制定セシナルヘシフランクスハ卽チ紀元前四百二十年ニ佛蘭西ニ居ヲ定メ而シテ紀元後四百八十六年ノ頃佛蘭西王國ノ基本ヲ開ケリ其制度ハシャルレマンノ時ニ方リテ最モ隆盛ニシテ終ニ數百年間歐羅巴諸國ノ政體ノ基本ヲナセリ

㈣又汝ニ語ヲサルヲ得サルコトアリ卽チ封建時代ノ國王及ヒ貴族中ニハ殘虐不正ナル鄙陋ノ事數〻不意ニ起リ時有リ

テハ強ハ弱ヲ侵擊シテ其城ヲ取リ其主ヲ獄ニ下シ甚シキハ之ヲ殺スニ至ル又某ノ貴族ハ國王或ハ貴族ノ美女ヲ捕捉シテ己ノ城ニ伴ヒ歸ル

㈤ 斯ル未開ノ時ト雖モ此等ノ所業ハ其不善ナルコトヲ知レリ故ニ驍騎黨ト呼ハレタル勇者ハ其害ヲ救ハンカ為メ自ラ之ヲ擔任シテ罪惡ヲ犯シヽ貴族ニ戰ヲ挑ミ或ハ他ノ方術ヲ以テ其既ニ犯シヽ罪ヲ贖ハシメンコトヲ努ム

㈥ 故ニ人民ハ驍騎黨ノ廉直ニシテ且人ノ患害ヲ拯フ勇敢ノ所業ヲ賞譽ス是ニ因リテ驍騎黨ハ其數漸ク增加シ十字軍ノ時代ニ及テハ頗ル多シ

㈦ 數回ノ十字軍ノ為メ遂ニ驍騎黨ヲ以テ公ニ之ヲ定設スルニ至レリ而シテ紀元後千百年以降之ヲ以テ歐羅巴ノ彰明ナル法制中ノ一事ナリトス

㈧ 驍騎黨ノ制此ノ如ク定立シテ後其黨ハ神盟ヲ奉シテ廉直且仁惠ノ事ニ其身ヲ任セントス即チ人若シ不正ノ作業ノ為メニ困苦ヲ受ルトキハ其事件ヲ公明ニ裁斷スルヲ以テ己ノ任トシ或ハ人ノ艱難ニ會スルトキハ己ノ身命ヲ擲テ其難ヲ濟フヲ以テ務トス

㈨ 驍騎黨ハ寬大剛毅ニシテ常ニ眞誠ヲ語リ且要約ヲ守リテ野鄙ノ所業ハ必スナス可カラサル責ヲ受ク」之ヲ畧言セ

ハ則チ驍騎黨ハ仁惠ノ事ヲ專ラニシ且當時ノ邪僻非義ヲ改正センカ爲メニ力ヲ極メテ之ヲ其身ニ擔當スルヲ要セリ

⑩ 其驍騎黨ノ多クハ危難ノ事ヲ査出センカ爲メ馬ニ乘リテ國中ヲ經歷シ以テ其日ヲ度レリ此輩ハナイトヱルラントノ名ヲ得タリ其旅行中若シ人ノ難ニ遭ヘルヲ聞ケハ輒チ其難ヲ救フノ職ヲ盡セリ

⑪ ナイトヱルラントハ强盜ニ遇ヒ且城中ニ拘執セラレシ婦人ヲ救フヲ以テ特ニ其要務トス之カ爲メニ屢〻勇猛ノ所業ヲナスコトアリ然レトモ時有リテハ此驍騎黨ノ中ニ不善ノ所業ヲ行フ者アリト雖モ此等ハ皆神盟ヲ敗リシ者ナリ

第百十二章歐羅巴

驍騎黨

① 某ノナイトヱルラント他ノナイトヱルラントニ逢フトキハ互ニ名聲ヲ得ンカ爲メニ嬉戲ノ戰ヲ爲スヲ常トス是ニ因リテ某ハ大ニ名譽ヲ得ルノミナラス其所業ノ賞讃ニ多クノ詩歌及ヒ童謠ヲ作ラル

② ナイトハ駿馬ニ乘ル其馬モ亦乘者ノ如ク其名高シ」又其身ヲ衛ルコト甚タ堅固ニシテ常ニ銳尖ノ長槍其他劒、短劒、戰斧及ヒ椎ヲ帶フ椎ハ最モ重キモノナリ

③ 斯ノ武器ノ外金屬ノ楯ヲ以テ攻守ノ器トナシ又顔ヲ蓋

フヘク假面ヲ附シタル銕兜ヲ着ス其身ニハ銕製ノ鎧甲或ハ其體ニ適應スヘク作リタル鎖子鎧ヲ被タリ

㊃馬モ亦鎖子鎧或ハ銕板ヲ用井テ能ク其身ヲ防守セシム即チ其頭、胸及ヒ兩側ハ通例之ヲ覆ヒ時有リテハ銕板ヲ以テ其全身ニ被スルコトアリ」實ニナイトノ注意且要務トスル所ハ常ニ馬ヲ馴ラシ又其身ニ適應シタル甲冑ヲ選ブニアリ

㊄ナイトハ常ニ一人ノスクアイル（ナイトニ伴ヒテ其武器ヲ持シタル者）ヲ從ヘ時有リテハ數人ヲ伴フコトアリスクアイルハ亦常ニナイトトナルヘク學習セリ」其後驃騎黨ノ法制大ニ備ハルニ及

テ衆皆驃騎黨トナルヲ榮トスルニ至レリ因リテ王侯貴人及ヒ軍將タルモノハ神盟ヲナシテナイトホールド（ナイトノ位階）ヲ得タリ」十字軍ノ有名ナル將帥タル英ノリチャルド及ヒ佛ノゴッドフレー其他ノモノハ皆ナイトトナレリ

㊅後年ニ至リテナイトニ種々ノ階級アリ各く其級ニ從ヒテ別ニ神盟ヲ爲セリ其階級ハ則チナイト、ヲフ、シント、ヂョン、ヲフ、ヂェルサレムナイト、ヲフ、マルクナイト、ヲフ、ゼ、クロッスナイト、テンポラル是ナリ

㊆人民稍く開化セル時ニ至リテ武藝ノ試合ヲナスコト歐羅巴諸國ノ習俗トナレリ此競武ハ儀式ノ時ニナスモノナレハ

無數ノ觀者輻湊シテ之ヲ縱觀ス其盛ナルコト筆ノ能ク盡ス所ニ非ス王侯及ヒ窈窕タル夫人ハ最モ此縱觀ヲ喜ヘリ

㈧競武場ハ廣濶ノ野ニ張幕(テント)ヲ張リ棧舖(サジキ)ヲ環ラシテ觀者ヲ此所ニ集ム」其競武ハ高名ナルナイト各其身ニ甲冑ヲ着シテ之ヲ行フ而シテ勝ヲ獲タルナイトハ觀者歡聲ヲ發シテ之ヲ褒メ且國君及ヒ王后ヨリモ賞物ヲ與フ

㈨ナイトノ制ハ既ニ語リシ如シ予若シ暇アラハナイトノ說話ヲ以テ一書ヲ作ルヘシ然レトモ彼ノナイトノ時代ニ著シタル許多ノ小說アリ此等ハ有名ナル戰者ノ行爲ヲ記錄シ或ハ戲作シタルモノニテ某ノ說ハ甚タ好趣アリト雖モ多クハ信シ難キ妄說ナリ

㈩ナイトハ千二百年ヨリ殆ト千四百年ニ至ルマテ最モ盛ニ行ハレシカ其後幾ナラスシテ頓ニ衰微シ英ノイリサベッスノ時即チ千六百年ノ頃ニハ全ク廢絕セリ是ヨリ後猶其競武アリト雖モ唯曩昔ノ遺風ヲ存スルノミ

第百十三章　歐羅巴

王フィリップ及ヒ法皇ボニフェース並ニ英佛ノ戰爭

㈠今予カ談佛蘭西ノ史記ニ說キ及フヘシ既ニ語リシ如クチャルレス、ゼ、フェット ヒューカペット及ヒ其他ノ諸王ノ後、王タルモノ數多アリト雖モフィリップ、ゼ、フェイルニ至ルマテハ

措テ語ラスフィリップ、ゼ、フェイルハ其治世ノ始千二百八十五年ナリ王ハ容貌甚ダ美ナル人ナリシカ其資性ハ不善ノ條少ナカラス其治世中最モ著名ナル事ハ法皇ボニフェーストノ大爭論ナリ

㈡其法皇ハ三重ノ冠ヲ戴キタル甚タ驕傲ノ人ナリ法皇歐羅巴諸國ノ君王ニ語ルニ予ハ歐羅巴諸國ノ君ノ君ニシテ王ノ王ナリト然レトモ佛王フィリップ、ゼ、フェイルハ其權威ニ從フコトヲ肯ンセサリシカハ法皇其不恭ナルヲ怒リ王ヲ擯シテ教會ニ與ラシメス故ニ王ハ種々ノ惡名ヲ作爲シテ以テ法皇ヲ誣フ

㈢一日フィリップノ朋友法皇ヲ生擒トナシ背面シテ裸馬ニ乘セシカハ衆人其笑フ可キ狀ヲ見テ一人トシテ抱腹セサルモノナシ法皇ハ其嘲笑深ク心中ニ徹セシノミナラス其財貨ヲ失ヒ又之カ爲メニ其生命ヲモ失フニ至ルフィリップ、ゼ、フイルハ其後數年間存命シタリ

㈣佛蘭西ノ人民ハ常ニ戰爭ヲ好メリ其英ト干戈ヲ交フルコト數ナリシヲ以テ英佛二國ノ人民ハ生レナカラ互ニ讐敵ナリト思考セリ

㈤千三百二十八年チャーレス四世殂シウハロイスノフィリップ佛王トナル然レトモ英王イドウハルド三世ハ其母ノフィリッ

プ、ゼ、フェイルノ女タリシ故ヲ以テ己レ佛王ノ正統ナルコトヲ主張シ兵ヲ將ヰテ佛ヲ侵擊シ力ヲ以テ其口實ヲ遂ケント欲ス

㊅英王イドウハルド佛王フィリップニ請ヒテ單騎ニテ雌雄ヲ決センコトヲ欲スト雖モフィリップハ軍ヲ將ヰテ會戰センコトヲ望ム故ニ兩軍佛國ノクレッシーニ於テ血戰セシカ佛軍大ニ敗レテ其貴族ノ最モ勇敢ナル將帥ト士卒三萬人ヲ失フ時ニ千三百四十六年ナリ

㊆千三百五十年ニ當リテウハロイスノフィリップノ子ヂョン、ゼ、グードノ佛王ノ位ヲ踐メリ佛ノ英ニ攻擊セラルヽ時ニ

英王イドウハルド三世ノ太子其軍ヲ督ス太子ハ黑色ノ鎧ヲ着セル故ヲ以テ黑太子ト名ツク

㊇佛王ヂョン六萬ノ軍ヲ將ヰポイクチールスノ近傍ニ於テ黑太子ノ軍ニ會戰ス黑太子ノ軍ハ僅ニ八千人ナリト雖モ其弓手弩手ノ矢ヲ放ナテ軍ヲ射ルニヨリ大ニ佛軍ヲ敗レリ是時王ハ生擒トナリテ四年ノ間龍動ニ幽囚セラレタリ

㊈ヂョン、ゼ、グードノ子チャーレス、ゼ、ウハイスト云フ者父ノ業ヲ嗣ケリ」時ニ英王イドウハルド齡既ニ老イ且其勇武ナル黑太子死セリ之ニ因リテ佛ハカライヲ除クノ外英ニ掠畧セラレタル領地ヲ盡ク復スコトヲ得タリ

(十) 然レトモチヤルレス、ゼ、ウエルペローフノ佛王トナルトキ英復ヒ兵ヲ起セリ時ニ英王ヘヌリー五世ハ僅ニ一萬五千ノ兵ヲ將井テ佛ノ十萬ノ軍トアジンコールトニ於テ交戰シタリ」

(十一) 是時英軍大ニ勝利ヲ獲レハ英王愈〻進ミテ巴勒ニ入ル時ニ千四百二十年ナリ是役ニ英軍ノ失フ所ノモノハ僅ニ四十人ナリト雖モ佛軍ハ俘擒ノ外戰死スルモノゼ、ハイ、コンステーブル官爵ノ侯七人ト兵士一萬人ナリ

(十二) 英王ヘヌリーハ其後幾ナクシテ死ス故ニ佛復タ英ノ軍ヲ攻擊セリ此時佛ノ將帥ハヂヨアン、ヲフ、アルク一名ヲルリアンスノメイドト呼ハルヽ者ニシテ齡十八歲ノ婀娜タル處女ナリ佛人ハ其處女ヲ以テ天ヨリ之ヲ降シ英ノ寇ヲ救ハシムルナリト信仰ス英軍ハ其處女ヲ以テ魔術者ト爲シ且其戰ニ當リテハ妖魔之ヲ輔翼スルト爲セリ

(十三) 英ノ軍ハヲルリアンスノメイドト呼ハレタル神聖ノヂヨアンニ抵抗スルヲ得サルノコト久シヂヨアンハ燦然タル鉄甲ヲ着シ毛色雪ノ如キ白馬ニ跨リテ其軍前ニ立チ手ニハ耶蘇ノ像ヲ畫キタル神聖ノ旗ヲ持シタリ然レトモ其身終ニ疵傷ヲ蒙リテ捕虜トナル英ハ其魔術ヲ行フノ故ヲ以テ生ナカラ燒殺スルノ刑ヲ命セリ

(十四) ヂヨアンハローエンノ市場ニ於テ杙ニ縛セヲレテ熾火

ノ中ニ其身ヲ炙ラル英ノ軍之ヲ見テ皆喜ハサル者ナシ其火消滅シテ後唯〻存スル所ノモノハ勇婦ヂヨアン、ラルリエンスノメイドノ灰ト白骨ノミナリ

第百十四章　歐羅巴

佛蘭西諸王ノ治世

(一) 佛既ニ其將帥ヂヨアンヲ喪フト雖モ其軍猶多ク英ハ嚮ニヘヌリー五世ノ掠畧シタル領地ヲ失ヘリ」佛王ハ其戰勝數〻ナリシ故ヲ以テチャーレス、ゼ、ウヰクトリエース（「ウヰクトリュース」ハ戰勝ノ義）ト稱セラルナリ

(二) 然レトモ王ハ不幸ニシテ其子ノ爲メニ憎ヲ受ケテ遂ニ毒殺ノ圖謀ニ遇フト雖モ幸ニ死ニ至ラス故ニ事發覺スルノ後猶毒殺ノ恐アルヲ以テ王其老身ヲ養フニ足ルヘキ飲食ヲナサス漸ニ衰頽シテ死ニ至レリ

(三) 其子ローイス十一世位ヲ嗣ク時ニ千四百六十一年ナリ王ハ狡猾奸詐且殘虐ノ人ナレハ貴人ノ刎首セラレントスルトキハ王命シテ其貴人ノ幼ナキ諸子ヲ斬首架（クビキリダイ）ノ下ニ置カシム是其父ノ血ヲ諸子ニ濺カシメン爲メナリ

(四) フランシス一世ハ著名ナル王ニシテ千五百十五年ニ位ニ登レリ」王ハ瑞西及ヒ日耳曼帝ト對抗スト雖モパヰアノ一戰ニ於テ日耳曼帝ノ爲メニ捕虜セラル

㈤ フランシス一世ノ統御ノ間ハ英ト干戈ヲ交ヘス但シ王ノ英王トカラインノ近傍ニ於テ會スル時英佛兩陣ノ軍粧美麗ナルコト人呼テ錦繡野ト稱シタルカ如シ

㈥ 千五百六十年ニ當リテチャルレス九世王ノ位ニ即ク時ニ王十歳ナリ其治世ノ間最モ流血ノ擧甚キヲ以テ史中ニ之ヲ貶黜セラル其流血ノ擧ハ世ニ「シントバルソロミウ」ノ虐殺ト稱セリ

㈦ 舊教ノ徒(羅馬法皇ニ歸依セル所ノ黨)ハ佛全國ノ新教ノ徒(法皇ヲ嫌忌セル所ノ黨)ヲ盡ク殺害セント欲シテ黨ヲナシ聖「バルソロミウ」ノ祭日ノ夜ニ當リテ其不良ノ企望ヲ達シタリ」某記者ノ說ニ新教ノ徒殺害ニ罹ルモノ十萬人ナリト云フ

㈧ 王自ヲ手ニ銃ヲ持シ宮中ノ窓ニ臨ミテ某者ヲ射殺ス然レトモ王ハ忽チ其犯罪ノ報ヲ得テ其後病ニ罹リ苦ミテ死セリ時ニ千五百七十四年ナリ

㈨ 次ノ王ハヘヌリ－四世ニシテ千五百八十九年王位ニ登ル王ハ性善良ニシテ大量アリ故ニ其人民ノ望ヲ得タリ且佛ノ人民ハ此君ヲ以テ常ニ自負セリ

㈩ 王ハ人望ヲ得タリト雖モ尚其命ヲ全ウスルヲ得ス」一日王朝臣數人ト共ニ車ニ乘リテ巴勒府ノ街上ヲ過ルトキ數

車ノ道ヲ遮ルアルヲ以テ御者止ムコトヲ得ス馬ヲ止メ王ハ車ヨリ降レリ

(十一) 王ノ車ノ近傍ニラフヸイルラツクト云フ人アリテ王ヲ殺スヘキ機會ヲ待チ居タリシカ今王ノ將ニ車ヨリ出テントスルヲ見忽チ短劍ヲ拔テ王ニ迫リ一擊ニテ傷ヲ被ラセ二ノ刀ニテ殺シタリ是時ニ當リテヤ佛ノ國力强盛ナリト雖モ何ノ利益コレアラン

第百十五章歐羅巴

ローイス、ゼ、グランド及ヒ其後嗣ノ治世

(一) ヘヌリー虐殺ニ遇ヒシ後其子ローイス十三世王位ヲ踐ソリ政令ハ專ラ僧カルヂナル官僧リチエリユーヨリ出ツリチエリユーハ性貪慾ニシテ其威權ヲ得タルコト王ニ過ク

(二) 次ノ王ハローイス十四世ナリ佛人此王ヲ稱シテローイス、ゼ、グランド「グランド」ハ大ナル義ト云フ王ハ性驕傲ナレハ力メテ佛國ヲシテ地球上最大ノ邦國タラシメンコトヲ欲ス其意ハ眞ニ臣民ノ安全ヲ謀ル爲メニアラス唯ゝ己ノ榮譽ヲ萬國ノ君ニ超エシメンコトヲ欲シテナリ

(三) 王出遊スルトキハ其形容凡ナラス蓋シ常人ナレハ笑フヘキ狀ナルニ國王ナレハ人之ヲ以テ壯嚴ノ狀ト爲セリ即チ王ハ常ニ縮髮ノ大ナル鬘ヲ着ケテ寢所ニ入リ帳ヲ閉ルマテ

其髢ヲ脱スルコトナシ故ニ人曾テ王ノ髢ヲ脱スルヲ見ルモノナシ

④ 王年七歳ノトキヨリ七十二年間統御ヲナス其間絶エス戰爭ヲナシヽカ治世ノ始メニハ數々戰功アリシト云フ

⑤ 然レトモ王老年ニ及テ其軍英ノマルヽボロ―ノ公ノ為メニ敗ラレ大ニ害ヲ被ル之ニ由リテ王其臣民ノ望ヲ失ヘリ」

⑥ 王ハ軍需ノ為メニ其臣民ニ課シテ盡ク金ヲ出サシムルニ因リ其臣民ハ王ヲ倦厭セサルモノナシ想フニ王ハ其臣民ノ安全ヲ思慮スルヨリハ已レニ榮譽ヲ得ルヲ以テ肝要トシタルナラン

⑦ 千七百十五年王終ニ天命ヲ以テ終ル王在世ノ間奢侈ヲ極メテ其日ヲ度リシヲ以テ其朝臣輩以為ク壯麗ニ其送葬ヲナスコト適當ナルヘシト因リテ其葬式ヲ盛ニセリ

⑧ 然レトモ其行列ノ過ル所人民王ノ遺骸ヲ罵詈シテ其聲囂然タリ王若シ死シテ木石ノ如クニ非サレハ必ス棺ヨリ跳リ出テンロ―イス、ゼ、グランドノ隆盛ナル治世ノ終リ此ノ如シ

⑨ 老王ロ―イス、ゼ、ゲレ―トノ諸子諸孫皆王ニ先チテ死ス故ヲ以テ王ノ曾孫位ヲ嗣キロ―イス十五世トナル時ニ年甫メテ五歳ナリ

(十) 王未タ幼稚ナルカ故ニ自ラ其手ニ笏ヲ取ルノ年齢ニ至ルマテナルリアンス公ヲ以テ攝政トス公ハ所行放恣ノ人ナレハ幼主ニ教フルニ其臣民ノ安全幸福ナルノ術ヲ以テセスシテ之ニ代フルニ所有(アラユル)不善ノ例ヲ以テセリ

(十一) ローイス十五世ハ其人ト爲リ嘗テ人ノ期セシカ如ク然リ而シテ其治世五十九年ノ間放恣ヲ極メ自己ノ樂ミノ外他事ヲ思考スルコトナシ

(十二) 其間國家ノ危キコト累卵ノ如ク人民モ亦饑渴ニ苦ムト雖モ王ハ晏然トシテ治安ヲ圖ラス此ノ如クナレハ是時若シ地大ニ震動シ拆ケテ其國土及ヒ人民ヲ盡ク地中ニ陷ルヽトモ王猶政治ニ注意セサルナルヘシ其治世ハ苛酷ノ所業多キカ故ニ王ノ憎ムヘキハ論テ俟ス佛國ト雖モ猶之ヲ王國ト稱スルヲ嫌フニ至レリ」千七百七十四年ニ方リテ王死ス其孫ローイス十六世其後ヲ繼ク時ニ年二十歳ナリ

(十三) ローイス十四世ノ奢侈及ヒローイス十五世ノ放恣ナル此ノ如シ是レ世ニ佛蘭西革命ノ亂ト呼ハレタル國亂ノ基ヲナセリ其説話ハ次章ニ於テ之ヲ語ルヘシ

(十四) 殘虐流血ノ條ハ讀者ヲシテ樂マシメス故ニ斯ル時代ノ説話ハ措テ之ヲ語ラス然レトモ史ヲ讀ムニハ朦昧並ニ開明ノ條下ヲ覽ルコトコレ亦肝要ナリ

(十五) 佛蘭西革命ノ亂ニ就テ之ヲ觀レハ管理者不善ナルトキハ一國ノ被ル所ノ禍害ヲ知ルヲ得可シ予カ幼キ弟子等ハ他日成長ノ後管理者ヲ選擧スルコトニ就キ依賴ヲ受クヘシ然ルトキハ善良ノ管理者ヲ選フヲ以テ務トセヨ

第百十六章歐羅巴

佛蘭西革命ノ亂

(一) ローイス十六世ハ善ク其下ヲ治ムヘキ才德ヲ具セスト雖モ其心忠厚ニシテ言行廉直ナリ」故ニ佛蘭西ノ君此ヨリ善ナル者幾何モ無シ何トナレハ王ハ善ヲナスコト能ハサルモ惡ヲ爲スコトハ之ヲ好マサレハナリ

(二) 王ハ墺地利ノアルクヂュツチス（皇女尊號）ノマリーアントイネツテト云フ女ヲ娶ル后國色アリ且多能ナリト雖モ佛國臣民ノ人望ヲ得ズ

(三) 王即位ノ後未タ久シキヲ經スシテ亞米利加改革ノ亂起リテ聯邦ハ自主獨立ナルコトヲ告知ス是時佛國大ニ亞米利加ノ事ニ關係セリ而シテ人民皆以爲ク共和政治ノ美ナルコトハ王政ニ優レルモノナリト

(四) 佛ノ人民ハ其父祖ノ時ヨリ累世苛政ニ窘苦スルヲ以テ彼ノ亞米利加人ノ安全幸福ヲ受クル自由ノ政治ニ比較シテ愈〻我カ人民ノ景狀ヲ不滿足トナセリ

㊄佛ノ人民ハ心激動シ易シ其事有ルニ當リテ汝其人民ヲ見レハ幾ト發狂カ或ハ大醉ノ後カト思フナルベシ是時ニ於ケルモ亦然リ前ニ尊恭セシ所ノ國君、王后、貴族、僧官及ヒ其他ノ貴人ニ對シテ反逆暴動ヲ極メ剰ヘ天帝ヲモ冒瀆スルニ至レリ

㊅千七百八十九年ニ方リテ巴勒ノ反黨ハバスタイルヲ毀壞セリバスタイルハ古城ニテ佛王ノ其臣下ノ罪ヲ犯シヽ者ヲ幽囚セル所ナリ愍ムベシ其囹圄ニ繫カレタルモノハ再ヒ日光ヲ見サリシ者多シ

㊆バスタイルノ毀壞ハ美擧ナリ其他佛蘭西ノ革命ノ亂ノ始ニハ美擧亦多シ然レトモ佛ノ人民ハ舊政府ノ法ヲ變革シテ其終ルトコロヲ知ラス

㊇反黨等暴動ヲナスノ前國中ノ男女各〻其頭ニ紅帽ヲ冠スルニ非サレハ皆其身危カルヘシ蓋シ紅帽ハ自由ノ帽ト名ケタルモノナリ

㊈擾亂中巴勒ノ街衢ニ於テ反黨ノ男女流血淋漓タル首ヲ竿ニ懸ケテ之ヲ撒運シタリ是時ニ當リテ之ヲ見ルモ以テ奇異ノ事トナサス且其景狀ヲ目擊セル人ハ必ス某ノ堂々タル貴族並ニ鮮娟タル女俟ノ顏色ヲ認メタルナルヘシ

㊉其後幾ナクシテ斬首スヘキ者ノ夥多ナルカ故ニ通常ノ

方法ニテハ速ニ之ヲ刎チ盡ス可ラス依リテガイルロタイント名ケタル刎首ノ器械ヲ發明シタリ

(十一) 此器械ハ傲慢ノ貴族神聖ノ僧官及ヒ艷麗ノ婦人ニ之ヲ施用センカ爲メナリ則チ巴勒ノ磚石（シキイシ）上ニ斬首ノ羅列スル者百ヲ以テ數フ其血ハ流レテ街頭川ヲナセリ

(十二) 國中ノ最モ高位ナル人ノ首ヲ刎チテ後反黨等冠ヲ戴キタル首ニ注目シテ呼ビテ曰ク「王ノ頭モ亦刎チヨ」ト因リテ無辜ノ王ハ憐ムヘシ衆人ノ前ニ牽キ出サレ且其場ニ於テガイルロタインノ死刑ニ定メラル

(十三) 王斬首架ニ昇ル時目ヲ瞋シテ暴虐不道ノ反黨ヲ回顧セリ王何ソ思ハン吾國ニ生レタル臣民ノ吾死ヲ見ルカ爲メニ待ツ可シトハ百事凡テ夢幻ノ如シ而シテ後王數千人ノ血ニテ汚レタルガイルロタインヲ熟視ス數千人ハ王ニ先チテ既ニ其場ニ於テ殘殺セラレシモノナリ

(十四) 王ハ尚我王統ノ其臣民ノ爲メニ輕侮ヲ受ルトハ思ハス躊躇シテ頭ヲ其架上ニ置クヲ欲セス戰々兢々トシテ大ニ悲メリ」王ノ側ニ清淨ナル一人ノ僧立チ居タリ」是時ニ當リテ僧タル者ハ皆天神ニ違背シテ其道ヲ固守セル者唯〻一人アリ臣下タル者モ亦皆王ニ反戻シテ今斬首架上ニ王ヲ推尊スル者唯〻一人アリ

⑮ 其道ヲ固守セル僧ハ不幸ノ王ニ耳語スルニ安慰ノ辭ヲ以テシ且天ヲ指示ス故ニ王即ナ精ヲ勵マシテ頭ヲ架上ニ置ク是時僧呼ヒテ曰ク「聖ローイスノ子天ニ昇ル」ト

⑯ ガイルロタインノ斧降下シテ王ノ首ヲ刎予終ニ身首處ヲ異ニシタリ」王統ノ血斬首架上ニ注流スルコト此ノ如シ是レ累代ノ佛王ノ積惡且威權ヲ擅行セシ故ニ其罰竟ニ無辜ノ後胤ニ及フモノナリ

第百十七章歐羅巴

拿破崙保那巴ノ興起

㈠ 王ローイス死ニ處セラレシハ實ニ千七百九十三年一月二十一日ナリ其後數月ヲ出テスシテ王后亦刎首セラル今佛蘭西ハ殘忍不道ノ輩相繼キテ其制御ヲナセリ其輩一日ハ群衆ヲ捕ヘテガイルロタインニ送ルト雖モ他日其身亦其場ニ送ラレタリ佛人ハ斯ル無君無官ノ擾亂ノ世ヲ呼ヒテ共和政ト稱セリ

㈡ 佛國ハ擾亂中ニ戰爭起リテ敵ヲ四隣ニ受ク即ナ墺地利普魯西英倫和蘭西班牙及ヒ魯西亞ヨリ兵ヲ出シテ佛ニ入寇ス佛ハ數萬ノ兵ヲ募集シテ其諸國ヲ防禦シタリ

㈢ 佛ノ軍ニハ年少ナル砲隊ノ副將軍拿破崙保那巴ト云フ者アリ其戰爭ノ始ニハ未タ其名モ知ラレズ且友人モナカリ

シカ戰ヘハ必ズ勝チ攻ムレハ必ズ取リ向フ所敵無キヲ以テ其名ヲ顯ハシ終ニ數年ヲ出テスシテ其名聲世界ニ轟キタリ」

㊃保那巴ハ二十六歳ノ時以太利ヲ征服シ次年墺地利帝ヲ脅シテ和議ヲナサシメ千七百九十八年ニ埃及ヲ襲撃シ沙漠ノ地及ヒピラミット見上ノ中ニ於テ數回戰爭ヲ爲セリ

㊄佛ノ政權ヲ執ル者ハ專ヲガイルロタインヲ以テ治民ノ機械トナセリ之ニ由リ其人民ハ執權者ヲ嫌厭シテ心服セス唯〻剛毅且聰明ニシテ眞ニ敬服スヘキ管理者ヲ得ント欲セリ

㊅拿破崙保那巴是レ其人ナリ」夫レ保那巴ハ私心ヲ夾ミ高遠ノ志ヲ懷キタル人ニシテ眞ノ賢才ニハ非ラズト雖モ性質善良ナル人ヨリハ蓋シ佛蘭西人民ノ爲ニ適當ノ管理者ナルヘシ

㊆保那巴ハ今其人民ノ騷然タルヲ見テ之ヲ抑制シ難キヲ恐レ自ラ以爲クガイルロタインヲ以テ互ニ虐殺セシメンヨリハ干戈ヲ以テ外國ニ進軍スルニ若カズト終ニ軍ヲ出シテ諸國ヲ征服シ無雙ノ武勇ヲ顯ハセリ然レトモ其軍ヲ出スハ一ニハ止ムコトヲ得サルノ情狀ト一ニハ高遠ノ志ヲ懷キタルニ因ルナリ

第百十八章歐羅巴

拿破崙保那巴ノ衰徵

(一) 千八百二年ニ當リテ保那巴ハ終身佛蘭西共和政治ノ統領タルヘク選擧セラル其後二年ヲ經テ拿破崙ノ名ヲ以テ帝位ニ登ル是時ニ當リテ其勢威ノ盛ナルコト曩日ノ佛王誰カ之ニ及フ者アラン

(二) 此小册子ニ在リテハ此名將ノ軍ヲ將ヰテ歐羅巴全洲ニ横行シタル談話ヲ語ルヲ得ズ且其戰勝ヲモ記載ス可ラカス」拿破崙ノ進ム所其國君皆屈服スレハ拿破崙輙チ其君位ヲ褫ヒ己ノ兄弟或ハ長官ヲ以テ其位ニ即カシメタリ此ノ如ク冠劒ヲ弄セシヨリ人呼ヒテ「天運ノ人」ト異名セリ故ハ其進ム

所戰ヒ必ズ利アルヘク天ノ之ニ命シタルカ如ク看ユレハナリ

(三) 然レトモ千八百十二年ニ當リテ天運始メテ衰兆ヲ生セリ即チ大軍ヲ將ヰテ魯西亞ヲ攻擊シ莫斯科府ニ進入スルトキ魯西亞人其市府ニ火ヲ放テリ時正ニ嚴冬ナレハ佛ノ軍兵ハ之カ為メニ其身ヲ容レテ寒ヲ凌クノ處ヲ得ズ

(四) 佛軍波蘭ニ向ヒテ退陣スル途中魯西亞ノ軍ト數回大ニ戰フ時ニ寒威益〻嚴烈ニシテ雪ハ流血ノ為メニ紅トナリ死者ノ骸ハ凍凝スルニ至レリ

(五) 佛ノ軍波蘭ノ國境ニ達スルマデニ其軍四分ノ三ヲ失ヘ

リ拿破崙帝ハ橇ニ乗シ逃レテ巴勒ニ歸レリ其後幾ナクシテ帝又新ニ兵ヲ招募シ再征ノ備ヲ整フ

(六)然レトモ歐羅巴ノ諸國今ハ合縱連衡シテ拿破崙帝ニ抗衡ス而シテ數回ノ戰ニ帝ヲ日耳曼ヨリ驅出ス帝乃チ佛ニ退ク敵繼テ進入シ帝ニ迫リテ其位ヲ貶シ地中海ノ小島以爾巴ノ君位ヲ以テ之ニ代フ

(七)拿破崙以爾巴ニ行テ其地ニ止マルコト殆ト一年其後千八百十五年第三月ニ當リテ再ヒ佛ノ海岸ニ上陸ス其着スル時單身ナリト雖モ前ニ隨從シタリシ勇猛且老練ノ兵士等尙佛ノ全州ニ在リテ之ヲ聞キ皆歡呼シテ拿破崙ニ代立シタルボールボン家ノ白旗ヲ踏折シタリ因リテ日ナラズシテ拿破崙ノ旗再ヒ佛ノ全州ニ飄ヘリ

(八)歐洲諸國又兵ヲ舉ク是時英ノウェルリングトン公其軍ヲ都督ス拿破崙其軍ニ會戰センカ為メ比利時ニ進ミタリ其將ヰル所ノ兵ハ皆銃手ニシテ少壯ナル佛蘭西人ナリ

(九)拿破崙帝ウヲートルーニ於テ會戰ス是レ帝最後ノ戰ナリ時ニ千八百十五年六月十八日ナリ此時帝全ク利ヲ失ヒ且佛國モ亦帝ト共ニ顚覆シタリ」帝ハシントヘレナノ島ニ於テ其餘生ヲ度ルヘク送ラレ佛ノ朝ハ再ヒボールボン家ノ王統ローイス十六世踐祚スルヲ得タリ

第百十九章歐羅巴

佛蘭西ノ後ノ革命ノ亂並ニ拿破崙三世

(一)新立ノ王ローイス十八世ハ身体肥滿シ心平靜ニシテ善ク世人ノ尊恭ヲ受クヘキ一老貴人ノ品格ナリ王ハ常ニ牡蠣ヲ嗜メルヲ以テ人甚タ奇異トナセリ千八百二十四年ニ當リテ王死シ其弟チャーレス十世位ヲ嗣ク

(二)時人評シテ曰ク凡ソボールボン家ハ佛蘭西ヨリ驅逐セラレシ間一事ヲ學知セズ又何事ヲモ忘却セザリシト即チチャーレス即位ノ後忽チ其祖先ノ轍ヲ踐ミテ威權ヲ擅ニス是レ何事ヲモ忘却セザルノ證ナリ又此ノ如キ權ヲ恣行セバ

其身ノ危キコトヲ解セズ是レ何事ヲモ學知セサルノ證ナリ」

(三)チャーレス十世在位幾ト六年ノ後即チ千八百三十年ニ當リテ諸新聞紙上ニ己ノ行狀及ヒ政府ヲ頌讃スルモノヽ外ハ之ヲ刊行スルヲ禁セリ

(四)又巴勒ニ反黨起リテ官軍ニ抗敵セリ其黨磚石ヲ以テ王ノ兵卒ノ頭ヲ碎キ或ハ窓ヨリ其兵ニ發砲スルニ至ル老王ハ尚前ノ革命ノ亂ヲ忘レズ刎首ノコトヲ念ヒテ戰慄セリ

(五)王己ノ首ヲ全ウセンコトヲ欲シ金冠ヲ脱シテ其孫ニ位ヲ讓ル然レトモ佛人ハ其幼主ヲ奉戴セズ大軍ヲ擧ケテチャーレス十世及ヒ其家族ヲ疆外ニ放逐ス

㈥ 斯クテ其人民ハ善良且名譽ノ人ナルラフ﹅ヱツテ（革命ノ亂ノ時亞米利加ニ往キ聲援シテ戰ヒシ人ナリ）ニ問テ曰ク我政體ヲ如何ニスヘシト」蓋シラフ﹅ヱツテハ合衆國ノ如キ共和政治ヲ好ミタリシナラン然レトモ其國人ノ亞米利加人ノ如クナラサルコトヲ察セリ

㈦ 是ヲ以テラフ﹅ヱツテ其人民ニ語ルニ政府ハ必ズ有限君主ノ体裁タルヘク且ヲルリアンスノ公ローイス、ヒリップ其任ニ耐フルトノ旨ヲ以テセリ之ニ因リテローイス、ヒリップ其位ニ登ル然レトモ佛國ノ王タルニアラズシテ人民ノ王トナレリ蓋シ其意ハ國土王ニ屬セズシテ人民ニ屬スルヲ云フ

㈧ 王ノ治世ノ間ハアルヂェリアニ於テ亞喇伯人ト戰フノ外他國ニ軍ヲ進ムルコトナシ其戰爭ハアブデルカデルノ掠奪ニ因リテ終ル時ニ千八百四十七年ナリ」此時製造耕作貿易ハ盛大ニ至ルト雖モ王ハ陸軍ヲ增シ及ヒ己ノ欲セサル所ノ事ヲ新聞紙ニ刊行スルヲ禁シ且人民ノ公會ヲ妨ケシニヨリ漸ク人望ヲ失ヘリ

㈨ 千八百四十八年二月即チ華盛頓降誕ノ日ニ當リテ其人民黨ヲ結ヒ第三日ニシテ佛國ヨリ王ヲ放逐セリ爾後假リニ政府ヲ定立シ十二月ニ拿破崙ノ甥路易拿破崙保那巴ヲ選擧

シテ新共和政ノ大統領トナセリ

(十) 路易拿破崙共和政治ノ制度ヲ守ルヘク公ニ神誓ヲ為セリ然レトモ後久シカラズシテ其誓ヲ敗リテ共和政治ヲ廢シ拿破崙三世ノ名ヲ以テ自ヲ帝位ニ登ル時ニ千八百五十二年ナリ翌年西班牙王ノ女ト婚ス后千八百五十六年ニ一子ヲ産ス之ヲアルジェリアノ王ト稱ス

(十一) 拿破崙三世ハ製造貿易及ヒ鐵道ヲ盛ニセンコトヲ力メ及ヒ海軍ヲ增シ且大ニ巴勒ヲ整理シタリ帝ノ兵ハ屢〻古今未曾有ノ激戰ヲナセリ又帝英ニ向ヒテ軍ヲ出スノ望ヲ懷ケリト現今（千八百六十年）人ノ之ヲ信ズル者多シ」帝ハ神誓ヲ敗リ且其信ズル宗教ノ惡キニ係ハラズ歐洲ノ政務ニ關シテハ他ノ國君ヲ使令スルノ地位ヲ有セリ

第百二十章歐羅巴

佛蘭西ノ年表

耶蘇紀元前

○二千年　高盧人一名セルツノ亞細亞ヨリ歐洲ニ移住セシハ想フニ當年ニ在リ

○三百九十七年　高盧人歐洲各部ニ移住ス

○三百九十年　高盧人以太利ヲ劫掠シ及ヒ羅馬ヲ取ル

○自二百八十年至二百七十八年　高盧人馬基頓及ヒ希臘ヲ擊テ大ニ之ヲ敗ル

○二百年　ペルゲーノ植民高盧ニ定住ス

○自百二十八年至百二十二年　地中海ニ濱セル高盧ノ南部羅馬ニ奪ハル

○五十八年　ヂユリウス、シーザル佛蘭西ニ來寇ス

○二十五年　佛蘭西ノ全部終ニ羅馬ニ奪ハル

耶蘇紀元後

○四百年　佛蘭西俄狄及ヒ日耳曼ノ人種ニ攻メラル

○四百十八年　フランクスノフハラモンド始メテ佛王ト爲ル

○四百二十八年　フハラモンド死ス

○四百四十八年　クロヂアン死ス

○四百五十八年　メロウヰンジアン家ノ長メロウヰウス死ス

○四百八十一年　チルデリツク死ス

○四百八十六年　佛蘭西王國ノ創立

○四百九十六年　クロウヰス洗禮ヲ行フ

○五百十一年　クロウヰス死ス

○七百五十一年　カルロウヰンジェン家ノ始祖矮王ペピン

○七百七十二年　シャルレマン治世ノ始

○八百年　シャルレマン羅馬ニ於テ即位ス

○八百十四年　シャルレマン死ス

○九百八十七年　カペチエン家ノ始祖ヒューカペット治世ノ始

○一千九十六年　ペトル、ゼ、ヘルミット第一十字軍ヲ嚮導ス

○一千九十九年　ボーロンノゴッドフレー耶路撒冷ヲ取ル

○一千二百年　驃騎黨ノ强盛

○一千二百四十八年　後ノ十字軍起ル

○一千二百八十五年　フィリップ、ゼ、フェイル治世ノ始

○一千三百四十六年　クレッシーノ戰

○一千三百五十年　ヂョン、ゼ、グードノ即位

○一千三百五十六年　ポイクチールスノ戰

○一千四百二十年　アジンコールトノ戰

○一千四百二十八年　ヂョアン、ヂフ、アルクヲルリアンスノ圍ヲ解ク

○一千四百六十一年　ローイス十一世位ニ登ル

○一千五百十五年　フランシス一世治世ノ始

○一千五百六十年　チャーレス九世治世ノ始

○一千五百七十二年　耶蘇眞教徒ノ鏖殺

○一千五百七十四年　チャーレス九世死ス

○一千五百八十九年　ヘヌリー四世位ニ登ル

○一千六百十年　ヘヌリー四世奸謀者ラフバイルラックニ殺サル

○一千六百二十八年　リチェリーローイス十三世ノミニストルト爲ル

○一千七百十五年　ローイス十四世死ス

○一千七百七十四年　ローイス十五世死ス

○一千七百八十九年　バスタイル毀タル

○一千七百九十三年　ローイス十六世放逐セラル

○一千七百九十八年　拿破崙埃及ヲ取ル

○一千八百年　拿破崙マレンゴノ戰ニ勝ツ

○一千八百二年　拿破崙統領トナル

○一千八百四年　拿破崙佛帝トナル

○一千八百五年　佛英タラフハルガルニ於テ戰フ

○一千八百十二年　莫斯科ノ兵燹

○一千八百十四年　ローイス十八世佛王ト爲ル

○一千八百十五年　拿破崙ウェルリングトン公トウォートルーニ戰フ

○一千八百二十一年　拿破崙死ス

○一千八百二十四年　佛王チャーレス十世

○一千八百三十年　佛ノ著名ナル三日革命ノ亂

○一千八百三十年　ローイスヒリッペノ即位

○一千八百三十一年　ラフ、エッテ死ス

○一千八百四十八年　ローイスヒリッペ放逐セラル

○一千八百四十八年　路易拿破崙共和政ノ統領トナル

○一千八百五十二年　帝拿破崙三世

○一千八百五十六年　アルジェリア王ノ降誕

第百二十一章歐羅巴

日耳曼史

㈠日耳曼ハ佛蘭西ノ東ニ在リテ墺地利普魯西ノ二國ヲ除クノ外其國號各異ナル者凡ソ三十五邦ヲ有ス人口ハ大約一千六百萬アリ蓋シ墺普ノ二國ハ時有リテ日耳曼ノ一部分タリ故ニ其二國ノ事ハ予後ニ之ヲ語ラン

㈡日耳曼中最大ナル王國ハ巴威里亞(バヷリア)瓦敦堡(ウヲテムブルグ)黑那法(ハノーフル)及ヒ薩克索尼亞(サクソニー)ナリ此等ノ國ハ大概皆王、大公或ハ某ノ爵位ノ君

主ノ管轄ヲ受ク然レトモ一種ノ公會アリテ其諸國互ニ連合ス其公會ヲ呼テ「ディート」ト曰フ其集會ノ地ハ法蘭法爾答(フランクフチルト)ニシテ各邦皆名代人ヲ此所ニ派出セシム

(三) 日耳曼中市府ノ大ナルモノ許多アリ就中大ナルモノハ則チ恒不爾革(ハムブルク)摩尼克(ミユニツク)加爾斯盧合(カルルスルー)德勒斯達(ドレスデン)及ヒ法蘭法爾答是ナリ恒不爾革府ハ邦内ノ貿易ヲ爲スコト頗ル多ク摩尼克府ハ屋宇壯麗ニシテ加爾斯盧合ハ府内街衢ノ定設開張シタル扇子ノ骨ニ似タリ德勒斯達ハ風光絶勝ノ地之ヲ圍繞スルヲ以テ其名殊ニ高ク法蘭法勒答府ハ美麗ノ花園ト公游ノ散歩塲トアリテ之ヲ環ル

(四) 日耳曼ハ奇異至妙ノ事多キカ故ニ一部ノ書ト雖モ容易ニ著述スルヲ得ベシ」其諸市府ニハ俄狄式築造ノ禮拜堂多シ但シ其壯麗ナルト其各部ニ鏤メタル彫刻ノ妙工ナルハ旅客ノ見テ以テ賞歎スル所ナリ

(五) 其市府ニハ種々ノ製造物アリ殊ニ樂器幼童ノ玩物及ヒ各種ノ時辰表ノ如キハ最モ奇ナルモノ多シ」日耳曼人ハ此等ノ事ニ甚タ才智アリ或ハ意匠ヲ費シテ時辰表ヲ造ル其精妙ナル毎時小鳥出現シ羽翼ヲ振ヒテ鳴キ或ハ時刻ヲ報スルモノアリ

(六) 日耳曼ノ人民ハ好テ音樂ヲ愛セリ其幼稚ナル兒女ハ皆

之ヲ以テ教育ノ一科トシテ其教ヲ受クルニ至ル故ニ兒女ハ皆能ク某ノ樂器ヲ弄セリ且其人民ハ甚タ横笛ヲ愛ス蓋シ横笛ヲ日耳曼笛ト稱セル所以ハ初メ日耳曼人之ヲ發明シ隨ヒテ他國更ニ多ク之ヲ弄用スルニ由リテナリ

(七) 汝日耳曼ヲ遍歷セハ處々ニ城趾アルヲ見ルヘシ此レ千年或ハ千二百年前ノ築造ニシテ昔封建ノ時國土ヲ有セシ所ノ貴族ニ属スルモノナリ其說話ハ予既ニ佛蘭西史中ニ之ヲ語レリ

第百二十二章歐羅巴

太古ノ人種並ニシャルレマンノ話

(一) 既ニ語リシ如ク昔日耳曼ハ許多ノ野蠻ノ定住セル所ナリ其野蠻ハ俄狄ウヰシゴスフヘンダルスシュヱウヰシンブリチウトンスヘリユリアルレマンニ及ヒ其他猶數種アリ當時ハ其事實ヲ記錄スヘキペートルパーレーノ在ラサリシヲ以テ紀元前二三百年ニ至ルマテ其野蠻ノ事ハ予之ヲ知ルコトヲ得ス

(二) 是時ニ當リテ其人種ハ漸ク蕃殖スト雖モ尚野蠻ノ風習ヲ免レズ即チ其人民ハ野獸ノ皮ヲ以テ衣トナシ常ニ交戰掠奪ヲ以テ專ラ佚樂トセリシーザルノ時ニ至リテ此等ノ人種ハ皆強盛ヲ極メタリト雖モ彼ノ高名ナル百戰必勝ノ將帥軍

ヲ進メ數回血戰スルノ後盡ク之ヲ征服シタリ
㊂羅馬ハ何處ヲ論セス軍ヲ進メ且其技術ヲ擴メシコト予既ニ之ヲ語レリ日耳曼中粗暴ノ人種モ羅馬ヨリノ征服ニ由リ少シク開化シテ多クハ羅馬ノ俗ノ寛濶ナル衣ヲ擬シテ野獣ノ皮ニ代ヘ又精巧ノ兵器及ヒ製造ノ術ト壯麗ナル屋宇造營ノ術トヲ學ヒ得且愈〻快樂ニ營世スルノ法ヲ知ルコトヲ得タリ
㊃但シシーザルノ後四五百年ヲ經テ憐ムヘシ舊國羅馬衰微シテ將ニ倒レントスルノ勢ニ至リシハ既ニ汝ノ知レル所ナリ是時ニ當リテ羅馬ハ貪婪ナル北部ノ人民ヲ抑制スルヲ

得ズ且自國ヲ防禦スルコト能ハズ
㊄日耳曼人ハ其事情ノ如何ヲ知リ且西班牙以太利及ヒ希臘ニハ富饒ノ都會快樂ノ市府及ヒ山間膏腴ノ地頗ル多キヲ知リ又羅馬人ノ嘗テ其國内ニ全世界ノ貨物ヲ聚集セルコトヲ知レリ是ニ因リテ狡猾ナル蠻夷以爲ク其國ニ行テ住居ヲ定ムルノ優ルニ若カスト
㊅乃チ其塉土ナル自國ニ住ミ或ハ勞苦シ或ハ相共ニ劫掠シテ其食ヲ求メンヨリ寧ロ彼ノ樂國ニ行テ其宮殿及ヒ美宅ニ住ミ且葡萄酒並ニ許多ノ金銀寶石ヲ有スルニ若カスト考ヘタリ

㊆是ニ於テ其蠻夷ノ某ハ勇猛ノ大將ニ從屬シテ以太利ニ攻入リ他ノ族モ亦其轍ヲ踐ミ數年ヲ出デスシテ恰モ蜂ノ群ヲナセルカ如ク歐羅巴ノ南部ニ輻湊シテ住居ヲ定メタリ

㊇然レトモ猶日耳曼ニ止居セル者許多アリテ其人員繁殖スルニ由リシャルレマンノ時ニ及テ復ヒ旺盛ニ至レリ既ニ佛蘭西史中ニ語リシ如クシャルレマン之ヲ征服シテ日耳曼ヲ一統シ自ラ其帝トナリテ此所ニ住居ヲ定メタリ帝ハ佛蘭西日耳曼及ヒ其他諸國ヲ其版圖中ニ有セシコト既ニ汝カ心ニ銘スル所ナリ

㊈日耳曼帝國ノ創立此ノ如シ然レトモ許多ノ君主國（ソフエレインテイー）ノ合一スルモノナレハ其民ハ各〻其君主ヲ奉戴セリ紀元九百十二年ニ當リ其君主中ノ一人ヲ選擧シテ日耳曼帝トナスノ例ヲ設ク故ニ日耳曼ハ選擧王國ト稱セリ其例千八百六年ニ至ルマテ連續シタリ

㊉一千五十六年ヘヌリー四世帝ト爲ル帝ハ法皇グレゴリ七世ト隙ヲ生ズ法皇ハ其勢ノ盛ナルヲ以テ帝ヘヌリーニ迫リ以太利ニ來リテ其赦罪ヲ請ハシム

⑪帝ヘヌリー法皇ノ宮門ニ到ル時ニ寒威凜烈トシテ白雪地ヲ埋ム法皇グレゴリ快ク火側ニ坐シ帝ニ語リテ曰ク公一ロノ食ヲ嘗メス跣足ニシテ三日間雪中ニ立ツノ後ニ至ルマ

テ予一言ヲ公ニ接セスト

(十二)憐ムヘシ帝ハ其罪ヲ贖フヘク遁ラルヽニ由リテ止ムコトヲ得ス雪中ニ立ツ第四日ニ及テ法皇グレゴリ初テ帝ノ罪ヲ赦シ其身ヲ温メ且食スルコトヲ許セリ

(十三)爾後幾ト一百年ヲ經テ又ヘヌリート云フ帝アリ帝亦法皇セレスチニユスト隙ヲ生ズルト雖モ帝ハ其和ヲ爲サンコトヲ欲セリ法皇乃チ帝ニ命シテ己ノ足ノ巨指ヲ吸ヲシム帝因リテ法皇ノ前ニ跪キ將ニ其巨指ヲ吸ラントロノ巨指ニ達スルヤ直ニ法皇其足ヲ後ニ引キ蹴テ帝ノ冠ヲ飛ハシケレハ其冠ハ飛テ室ノ半ニ至レリ此ニ由リテ之ヲ觀レハ彼ノ法皇ハシント、ペトルノ末裔ト託言セシモ其威勢且品行ノ如何ハ汝之ヲ想見スベシ

(十四)千二百七十三年ニ當リテ瑞西ノ人ハプスボルノロデルフト云フ者選擧セラレテ日耳曼帝トナルロデルフハ則チ墺地利ノ現今君主ノ始祖ニシテ爾後日耳曼帝多クハ其後胤ナリ

第百二十三章歐羅巴

瑞西史

(一)瑞西ハ千三百七年ニ至ルマテ日耳曼政府ノ管下ニ屬セリ汝ノ知レル如ク瑞西ハ日耳曼佛蘭西及ヒ以太利ノ間ニ在

ル山地ニシテ編小ナル國ナリ

㈡ 此書ヲ讀ム幼童ノ為メニ予心ニ希フ所ノ事種々アリ即チ汝輩ノ他日瑞西ヲ歴遊スヘキ快樂ノ運ニ遭遇センコトヲ望ムノミ汝若シ瑞西ニ至ラハ道路ノ整正ナルヲ見テ必ス車ニ乘ルコト勿レ何トナレハ見ル可キ快樂ノ物多ケレハナリ即チ高山ハ白雪ノ如キ觀ヲナシテ多クハ天ニ聳エ小湖ハ其水蒼々トシテ其景鏡ニ似タリ其四圍ノ丘阜ハ恰モ其木匡ノ如シ山谷ハ幽鬱トシテ多クハ絶勝ナリ又城砦ノ古跡少ナカラス概シテ之ヲ言ハヽ則チ奇觀ノ多キコト一瞬毎ニ汝歩ヲ止ムヘシト云テ可ナリ故ニ乘車ス可ラス

㈢ 予嘗テ其國ニ行キ徒歩シテ歴遊セシカ實ニ瑞西ハ別乾坤ノ如ク各物皆奇異ニシテ到ル處快樂ナラザルハナシ而シテ山中ニ恐ル可キ粗暴ノ人民アリ然レトモ其人民ハ温和ニシテ且廉直ナリ」予其國ニ再游センコトヲ欲スト雖モ予カ老體必ス彼ノ山路ヲ昇降スルノ勞ニ堪ヘサルヘシ

㈣ 今此ニ瑞西ノ史記ノ大畧ヲ説ン一千二百九十八年アルベルト一世日耳曼帝トナル帝ノ瑞西ヲ管制スルヤ甚タ苛酷ナリシガ更ニ苛酷ノ人ヲ舉テ其邑宰ニ命セリ即チジェスレルト云フ邑宰ハ已ノ帽ヲ竿頭ニ懸ケ其人民ニ命シテ之ヲ拜跪セシム

㊄高名ナル農民ウヰルリヤムテルト云フモノ其帽ヲ拜跪スルヲ肯セザリシカハジェスレルテルニ命シ其子ノ頭上ニ林檎ヲ置キテ之ヲ射セシム然レトモテルハ其子ニ傷ケズシテ之ヲ射タリ此等ノ事ハ讀者ノ既ニ聞知スル所ナリ

㊅瑞西人日耳曼帝ニ叛テ一揆ヲ起シヽトキテル其首長トナリテ帝ノ軍ト交戰スルコト六十回終ニ瑞西ハ束縛ヲ脱シテ不羈獨立ノ共和政治トナレリ

㊆ウヰルリヤムテルノ辭世ノ後幾ト五百年ノ星霜ヲ經ルト雖モ瑞西人ノ某者ハテル猶未タ死セストノ説ヲ信スト云フ某者以爲クテルハ他ノ二人ト共ニ路塞尼爾(ロセルネ)湖ノ近傍ナル洞穴中ニ安眠セリト其二人ハ即チ共和政治定立ノ時協力セシ所ノ人ナリ

㊇瑞西人ハ彼ノ三人ヲ名ツケテ安眠者ト云ヒ且以爲ク若シ瑞西他國ノ苛政ニ束縛セラレントスルコトアラハ彼ノ三人忽チ眠ヲ覺シテ曩日ノ袍衣ヲ着シ武器ヲ携ヘ來リテ國民ヲ鼓舞シ奮戰シテ其自由ヲ得シムベシト

㊈千五百三十四年ウヰルリヤムテル死ス爾後瑞西ハ常ニ自主自由ノ國トナル但シ佛蘭西革命ノ亂ノ間ハ征服セラレタリシカ其後又獨立ス然レトモ其人民ハ猶近隣ノ國王ニ威服セラル

(十) 瑞西ハ貧國ナリ故ニ其人民ハ他國ニ至リ財ヲ得ンカ爲メニ其絶勝ノ國ヲ去ル者多シ即チ某者ハ兵士トナリテ他國ノ兵隊ニ加リ某者ハ詩歌ヲ吟シ或ハ觀物(ミセモノ)ヲ搬運シテ巴勒及ヒ龍動等ニ行ケリ汝輩此等ノ大都會ノ街衢ニ於テ屢〻瑞西ノ幼童ノ活計ヲ得ンカ爲メニ其長技ヲナスヲ看ルヘシ」瑞西ノ人口三百萬餘有リ

第百二十四章歐羅巴

日耳曼史ノ結末

(一) 今予ノ談日耳曼史ニ及ブヘシチャーレス五世ハ日耳曼帝中最モ著名ナリ帝ハ西班牙ニ君臨シ且尼達蘭(ネーゼルランド)及ヒ以太利ノ一部ノ管理者タリ

(二) 帝齡五十七歳ニ及テ其榮華及ヒ威權ヲ厭ヒ衣冠ヲ脱シテ位ヲ其子ヒリップニ禪リ自ラ西班牙ノ寺院イストラマヂュラニ於テ餘生ヲ送レリ此所ニ於テ帝身ニ粗服ヲ着シテ常ニ神詩ヲ唱シ或ハ花園ヲ勞作セリ

(三) 一日帝親ラ其身ニ喪衣ヲ被テ死セル者ノ如ク棺内ニ身ヲ横タヘ然ル後其棺ヲ墳墓ニ送ラシメタリ然レトモ帝ハ生ナカラ理メラレンコトヲ欲セシト思フベカラス唯速ニ其命ノ終ルコトヲ謀リシノミ後終ニ其儀式ノ爲メニ速ニ死ヲ招ケリ何トナレバ帝終ニ熱病ニ罹リテ其命ヲ終リタレバナリ

時ニ千五百八十八年ナリ

(四)フェルヂナンド二世ノ治世ノ始ハ千六百十九年ナリ帝ハ日耳曼ノ眞教徒ヲ罸スルコト甚シ故ニ舊教徒ハ帝ヲ名ツケテ高僧ノ帝ト稱セリ」眞教徒ハ帝ノ殘忍ナルニ堪ヘズシテ瑞典王ゴスタウス、アドルフュスノ援兵ヲ請フニ至レリゴスタウスハ即チ其請ニ應シ日耳曼ヲ侵伐シテ屢ゝ戰ヒ勝利ヲ得タリ

(五)爾後日耳曼史ハ讀者ノ好テ聞知ス可キ事條少ク且後來ノ皇帝ハ皆著名ナル行爲アルモノナシ然レトモ大罪ヲ犯サザルカ故ニ他ノ國君ヨリ更ニ善良ノ君ナルベシ

(六)上ニ語リシ如ク凡ソ日耳曼ノ帝位ニ登ルモノハハプスボル家ノ君ナリ」墺地利ハ累代ノ日耳曼帝ノ爲メニ擴メラレテ終ニ強大ノ國トナレリ

(七)其強大ナル獨立シテ以テ交戰スルニ堪ヘ且土耳其佛蘭西西班牙及ヒ普魯西ト時々戰爭シ時有リテハ日耳曼中ノ諸國ト共ニ爭鬪ヲ起セリ

(八)千七百九十二年ニフランシス二世日耳曼帝トナル帝拿破崙保那巴ヲ扼シテ戰爭ヲ謀ルト雖モ保那巴ノ爲メニ擊敗ラレ千八百六年ニ當リテ日耳曼帝ノ衣冠ヲ脫スヘク逼ラル爾後フランシス墺地利帝ト稱セシカ帝ノ死スル時即チ千八

百三十六年ニ至リ墺地利ハ歐羅巴中ノ强國トナレリ且其國史ハ別ニ一章ヲナスニ足レリ

㊈現今日耳曼帝トナル者ナシ各邦皆國君及ヒ國律アリテ其國ヲ管制ス且既ニ語リシ如クディードト云フ一種ノ會盟アリテ各邦ヨリ代議人ヲ派出シ凡テ日耳曼列國ノ事務ヲ管理セシム

第百二十五章歐羅巴

墺地利及ヒ匈牙利史

㊀墺地利ハ波蘭及ヒ魯西亞ノ南土耳其ノ北ニ位シテ西ハ日耳曼列國瑞西及ヒ以太利ニ接セル强大ノ帝國ナリ

㊁墺地利ハ嚮ニ日耳曼ニ連合セシガ想フニ今猶然ラン然レトモ近年日耳曼ニ連合セサル所ノ諸國ハ皆墺地利ニ加ハル現今其版圖ニ歸スル所ノ國々ハ匈牙利巴威里亞波蘭ノ一部以太利ノ一部及ヒ其他前ニ獨立タリシ諸國等ナリ其人口通計幾ト三千六百萬アリ

㊂維也納ハ墺地利部日耳曼ノ都會ニシテ歐羅巴中最モ壯麗ナル市府ノ一ナリ其地ハ大奴皮河ニ濱ス大奴皮ハ大河ニシテ冬間ハ其河水氷結ス故ニ人民氷鞋ヲ着シテ氷上ヲ溜行シ或ハ種々ノ橇ニ乘シテ佚游ヲナセリ之カ爲メニ冬間ハ其景色甚タ奇觀ナリ

㊃夏月ハ人民公園ニ出游ス公園ハ廣濶美麗ニシテ内ニハ佳景ノ散歩場アリ汝此所ニ於テ衆庶ノ遊覧スルヲ見ル可シ〈但シ貴人及ヒ貴夫人ハ逍遥シ少年ハ遊走シ壯者ハ躍舞ニ馴レタル猿ヲ弄セリ其他奇トスヘキ嬉戯多シ〉墺地利ノ貴人ハ專ラ野猪ノ獵ニ從事ス蓋シ其國ノ風習ナリ

㊄墺地利部日耳曼（即チ墺地利ノ東方ノ部分）ハ其人民日耳曼語ヲ用ヰテ俗習モ亦日耳曼人ニ異ナラス其國史ハ稍〻傳ハル所アリ蓋シ昔ハ諸蠻夷ノ領スル所ニシテ後年ニ及ヒ日耳曼列國中ノ一トナレリ

㊅是時ニ當リテ其國アルクヂュークノ管轄スルニ因リテ

アルクヂュツチート號スアルクヂュークハ日耳曼皇帝ニ服從セル者ナリ予既ニ語リシ如ク千二百七十三年ニ當リハプスボルノロドルフ日耳曼皇帝ニ繼キテ其威權ヲ掌握セシ以來墺地利ノ君ハ皆其後裔ナリ後墺地利ハ速ニ國勢ヲ得ルニ由リテアルクヂュークハ總日耳曼ノ皇帝タル可ク自然人ノ想思スル所トナレリ

㊆爾後日耳曼ハ交戰ヲ爲スコト屢〻ナリシガ就中瑞典土耳其及ヒ佛蘭西トノ戰爭最モ多シ千六百八十八年土耳其ノ兵進ミテ日耳曼帝國ノ中央ニ到リ維也納ヲ圍ムト雖モ其兵終ニ日耳曼ノ軍ノ爲メニ驅逐セラル

（八）千八百九年ニ當リテ墺地利ハ佛蘭西帝保那巴ト交戰スル時ニ墺兵熟練シ大將モ亦其人ヲ得タリト雖モ數戰ノ後保那巴ノ爲メニ擊チ敗ラル保那巴遂ニ其軍ヲ進メテ維也納ニ攻入リ日耳曼帝ト和議ヲ講シテ大ニ其地ヲ得タリ

（九）然レトモ後又墺地利其地ヲ復シ現今ニ至リテ歐羅巴中ノ大國ニ列セリ墺地利ノ廣大ナル領地ヲ得ル所以ハ戰ヒ勝利ヲ得シヨリ其皇女ヲ歐羅巴諸國ノ王公ニ婚姻スルヲ以テナリ」其皇女ノ都テ艷麗ナルコト奇ト謂フベシ現今（千八百六十年）ノ墺地利帝ハフランシス、ヂヨセフ一世ナリ

第百二十六章歐羅巴

匈牙利（ホンガリ）波希米亞（ボヘミア）的羅里（チロル）等ノ史

（一）今予墺地利ノ附庸國ノ某ニ就テ其大畧ヲ語ラスンハアル可カラズ匈牙利ハ廣大ノ國ニシテ數州ヲ其版圖中ニ有ス都會ブダハ大奴皮河畔ニ位シテ頗ル壯麗ナリ

（二）氣候ハ和煦ニシテ美味ノ葡萄ヲ產ス之ヲ以テ精良ナル葡萄酒ヲ釀ス山ハ金銀ヲ產スルコト頗ル多シ其人民ハ貧富ノ二類ニ別テリ富者ハ壯麗ナル宮殿ニ住ミ貧者ハ僅ニ富者ノ奴僕タルヲ免カルヽノミ

（三）匈牙利ノ人民ハ猛惡ナル數人種ノ混シタル者ナリ是皆太古ノ時阿爾泰山ヲ經過シテ亞細亞ヨリ歐羅巴ニ移リシ者

ナルベシ其人種ハ彼ノサラセン帝國ヲ亡シテ土耳其帝國ヲ創立セルトルクスト呼ハレタル韃靼人種ニ似タリ

㈣匈牙利ノ人種中第一ナルモノハヒュンスト云フ是レ四百五十年ノ頃殘忍無道ノ將帥アッチラト云フモノニ從屬シテ以太利ヲ侵擊セリ」アッチラ數戰シテ希臘帝國ヲ附庸トナシ今又亞力伯山(アルプス)ヲ經過シテ其勢水ノ注クカ如ク以太利ノ平地ニ攻メ入リ暴動ヲ極メ人民ヲ恐怖セシメ遂ニ進ミテ羅馬ノ都府ニ至レリ然レトモ其軍羅馬人ニ逼ラレテ終ニ退避ス其後四百五十一年ニ當リテ死ス

㈤匈牙利ハ數十年間絶エス戰爭ノ地トナル其管理者ハス

テフェンニ至ルマテ王ト稱セルモノナシステフェンハ四十七年間統御シテ一千三十八年ニ死セリ」千五百六十三年ニ當リテ其國墺地利帝國ノ一統スル所トナル千八百四十八年ニ至リテ其人民コッシュスト云フモノニ誘導セラレ自由ヲ復サンガ爲ニ狂妄ノ謀ヲ爲スト雖モ終ニ其功ヲ遂ケズ現今猶墺地利ノ屬國タリ

㈥波希米亞ハ四圍山ヲ擁シテ銀錫及ヒ寶石等ノ鑛山ニ富ム人口ハ幾ト四百萬有リ現今ノ人民多クハ猶太ナリ又ジプシーストト云フ奇異ノ流族多シ

㈦初メ此國ハ紀元前六百年ノ頃亞細亞ヨリ移住セシ所ノ

セルツト云フ人種ナリシカ紀元後四百五十年ノ頃其國ハ日耳曼人種ノ某ノ管制セシニヨリテ遂ニ驅逐セラル」シャルレマンハ又此國ヲ附庸トナスト雖モ其後獨立シテ王國トナレリ千五百二十六年ニ當リテ又墺地利ニ屬シテ方今ニ至ルマテ其附庸タリ

(八)墺地利帝國ニ屬スル他ノ諸州ノ事ハ汝ニ語ルヲ要セスヴェニスノ事ハ予既ニ畧く之ヲ語レリ今若シ語ル可キ餘白アラハ以太利及ヒ日耳曼ノ中間ニ住スル山地ノ猛勇ナルチロルス人種及ヒ其他墺地利ノ管下ニ屬スル許多ノ人種ノ事ヲ語ルヘシ

(九)然レトモ其蠢愚ノ談ハ汝ノ之ヲ倦厭スルヲ恐ル故ニ予普魯西史ニ說及フヘシ但シ日耳曼ノ地誌並ニ歷史ハ甚タ解シ難シ故ニ之ヲ了解セント欲セハ勉メテ學ハスンハアル可カラス

第百二十七章歐羅巴

普魯西史

(一)歐羅巴ニ五大國アリ曰ク大貌利顚佛蘭西魯西亞墺地利及ヒ普魯西是ナリ其五大國中普魯西ハ最モ小ニシテ其人口少ナク從ヒテ兵モ亦寡シ故ニ其國勢及ヒ富亦他ノ四國ニ劣レリ」夫レ五大國中㝡小ナル此ノ如シト雖モ然レトモ猶廣

大ノ國ニシテ其人口ハ一千六百萬有リ

(二) 普魯西王國ハ分レテ大小二區トナル其大ナル地方ハ則チ北ハ波羅的海ニ濱シ東ハ魯西亞ニ連リ南ハ墺地利ニ界シ西ハ日耳曼ニ接ス其小ナル地方ハ則チ日耳曼ノ一部ニシテ其東北ハ尼達蘭及ヒ比利時ニ界ス

(三) 首府伯靈(ベルリン)ハスプリー（酒ニ醉ヒ興闌ナル義）河濱ニ位ス其河名ハ興闌ナル號アリト雖モ清醒ノ河流ナリ」市府ノ周圍十二里ニシテ城壁之ヲ環ル中ニ壯麗ナル宮殿アリ是レ國王ノ所在ナリ又宏大ナル大學校アリテ少年輩衆多此所ニ於テ教育セラル其他處々ニ游園アリ概シテ之ヲ言ハヽ伯靈ハ歐羅巴中最

モ宏大壯麗ナル都府ノ一ナリ

(四) 普魯西ニハ伯靈ノ外猶美麗ノ市府多シ其中ポースダムニハ王ノ宮殿アリダントジックハ富邑ニシテ國中至要ノ海口ナリ此所ニ堅固ノ堡寨アリテ大ナル石壁ヲ築キ無數ノ大砲ヲ具シテ衆多ノ兵士常ニ之ヲ護衛ス

(五) 普魯西ノ人民多クハ其源日耳曼人種ヨリ出ツ故ニ日耳曼語ヲ用ヰルナリ是等ハ皆勤勉ノ人民ニシテ國内皇帝ノ建設シタル多クノ學校ニ於テ頗ル善ク教育セラル然レトモ自主自由ノ民ニ非サレハ其教育アルモ幸福ヲ得ルコト能ハス

(六)普魯西ニハ日耳曼人種ノ外猶太人種頗ル多ク又昔此國ニ住ミタル人種ノ後裔アリ今猶其昔ノ言語ヲ用ヰルナリ其人民ハ大概蠢愚ニシテ常ニ教育ヲ喜ハス

第百二十八章歐羅巴

普魯西史並ニ大王フレデリックノ事

(一)普魯西ハ紀元千七百一年ニ至ルマテ公爵ノ君ノ管轄セシ所ナリシガ是歳ニ至リテ始メテ王國トナレリ往古ノ人民ハボリュツシト稱ス是レ普魯西ノ名ノ因リテ出ル所ナリ

(二)千七百十三年ニ當リテフレデレック、ウヰルリヤム一世王位ニ登ル王ハ甚タ奇異ノ人ナリ王常ニ青色ノ古キ外套ヲ着

シ銅ノ鈕釦（ボタン）ヲ以テ之ヲ飾リ其長サ下頷ヨリ脚ノ半ハニ達セリ

(三)王ハ其護衛ノ兵隊ヲ以テ大ニ人ニ誇ル是蓋シ身体長大ナル人ヲ以テ編制セル所ノ者ニシテ多クハ其長ケ七尺ニ至ル斯ル長大ノ人ハ王之ヲ歐羅巴ノ諸國ヨリ招募セルモノナリ若シ其招募ニ應ゼザルモノアラバ王人ヲ遣ハシ力ヲ以テ之ヲ携ヘ來ラシム

(四)王ハ手ニ大ナル杖ヲ携ヘテ常ニ伯靈ノ街衢ニ散歩ス而シテ若シ怠惰ノ人王ノ目ニ觸ルヽアレバ王輙チ之ニ鞭撻ヲ加フ其太子ハ鞭撻ヲ蒙ルコト他人ヨリ更ニ屢〻ナリ王女モ

亦然リ
㊄斯ル惡癖ノ老王死シテ後其太子フレデリックハ鉅萬ノ財貨及ヒ六萬ノ軍兵ヲ讓受セリ其後幾ナラズシテ王墺地利魯西亞及ヒ佛蘭西ト戰フ是時ニ當リテ其財ト兵トニ依リテ善ク其戰ヲ持スルコトヲ得タリ
㊅此戰爭ハ千七百五十六年ニ起レリ世ニ之ヲ稱シテ七年間ノ戰爭ト云フ薩克索尼亞及ヒ瑞典ハフレデリックノ敵ニ左袒スルニ由リテフレデリックハ一時全ク其國土ヲ失ハントセシカ善ク戰ヒテ汚辱ヲ蒙ルコトナク終ニ其戰爭ヲ止ムニ至ル當時フレデリックノ名天下ニ轟キ且史中ニ大王フレ

デリックト尊稱セリ
㊆フレデリックモ亦父ノ如ク其服甚タ奇ナリ平常着ル所ノ外套青色ニシテ其前面ヲ紅色ニシ背心(チヨツキ)及ヒ褌套(モヽヒキ)ハ黄色ナリ但シ其服ハ間〻鼻烟(カギタバコ)ニテ汙レ且大概弊レタルモノナリ頭ニハ大ナル擺槳帽(コツクドヘツト)ヲ戴キテ長ク縮髮ヲ後ニ垂レタリ
㊇大王フレデリック老年ニ及テ寛濶ナル外套ヲ被テ常ニ宮殿ニ於テ從容ト椅子ニ靠リ何ノ快樂ヲナス無ク又其王國ノ榮華及ヒ權勢ノ事ハ凡テ樂トナサヽルカ如シ
㊈王ハ外貌鬱然トシテ憂ヲ懷クカ如ク常ニ獨語シテ曰ク予久シカラスシテ長逝スヘシ」ト王終ニ千七百八十六年ニ

死セリ時ニ齡七十五歳ナリ

(十) 其甥フレデリック、ウヰルリャム二世位ヲ繼ク王治世十一年ナリ其次ハフレデリック、ウヰルリャム三世ナリ王ハ大軍ヲ擁シテ自ラ以爲ク予カ强力拿破崙帝ニ當ルニ足ルヘシト

(十一) 然レトモ千八百六年ジェナノ戰爭ニ其軍拿破崙ノ爲メニ擊敗ラレテ死傷二萬人生擒セラルヽ者四萬人ニ幾シト云フ後又拿破崙ノ爲メニ大ニ其地ヲ削ラル

(十二) 然レトモ拿破崙ウヲートルヽーノ戰ニ敗績ヲナセル後ハ普魯西其故地ヲ復ス此ニ於テフレデリック、ウヰルリャム自ヲ善意ノ人タルコトヲ示サンガ爲メニ國中ニ令シテ毎戸必

ス聖經ヲ有セシメ且言テ曰ク惟フニ吾行フ所吾言ニ違ハスト

(十三) 王ハ學校ヲ興シ幼童ヲ教育スルコトニ至テハ他ノ王ヨリ更ニ注意セリ蓋シ其國教育ノ至レルモノハ全ク王ノ心ヲ勞セルニ因レリ然レトモ王若シ其人民ノ意ヲ拘シテ管制スルコトナク專ラ其身ヲ脩ムルコトヲ許シタラハ王ハ必ス將來諸王ノ遵守スル所ノ標的タルヘシ

(十四) 千八百四十年ニ方リテフレデリック、ウヰルリャム四世王位ニ登ル王ノ性質ハ大ニ期望ス可キ所アリシカ天ノ祐ケサリシニヤ竟ニ王人民ノ望ヲ失ヒ千八百四十八年ニ當リテ人

民ノ一揆ニ遇ヒ稍く利ヲ失シタリ然レトモ事尋テ其舊ニ復セリフレデリック、ウヰルリャム四世ハ現今猶位ニ在リト雖モ其國事ハ太子代理トナリテ之ヲ管掌ス王ノ孫英ノ女王ウヰクトリアノ長女ニ婚ス時ニ千八百五十八年ナリ

第百二十九章歐羅巴

日耳曼墺地利匈牙利及ヒ普魯西ノ年表

耶蘇紀元前

○六百九年　セルツ人種波希米亞ニ定住ス

○三百二十年　ウェネテイ人種魯西亞ヲ領ス

○五十七年　シーザル瑞西ヲ征服ス

○十一年　匈牙利羅馬ニ服從ス

耶蘇紀元後

○二百九十年　羅馬人日耳曼ヨリ驅出セラル

○四百三十二年　日耳曼ヒュンス人種ニ征服セラル

○四百三十三年　アッチラヒュンスヲ將ヰテ匈牙利ヲ取ル

○四百五十年　アッチラヒュンスヲ以太利ニ誘導ス

○四百五年　セルツ波希米亞ヨリ驅出セラル

○八百二年　シャルレマン日耳曼ノ領主ト爲ル

○八百八十八年　瑞西不干的(ブルゴンデー)王國ノ屬部トナル

○九百二十年 シャルレマン匈牙利ヲ日耳曼ニ合併ス

○一千三十八年 匈牙利王ノ始祖ステフェン一世死ス

○一千四十年 墺地利日耳曼ニ連合ス

○一千五十六年 日耳曼帝ヘヌリー四世

○千二百十五年 フレデリック二世普魯西ヲ一統ス

○千二百十九年 普魯西波蘭ノ威力ニ服従ス

○千二百七十三年 ハンドルフノロドルフ墺地利ヲ管理ス

○千二百九十八年 アルベルト一世瑞西ヲ管掌ス

○千三百七年 瑞西連邦起ル

○千三百五十四年 ウヰルリャム、テル死ス

○千五百六十三年 波希米亞墺地利ニ連合ス

○千五百八十八年 日耳曼帝チャーレス五世死ス

○千六百十九年 日耳曼帝フェルヂナンド二世治世ノ始

○千六百八十八年 土耳其維也納ヲ圍ム

○千七百一年 普魯西王國ト爲ル

○千七百十三年 普魯西帝フレデリック、ウヰルリャム一世

○千七百三十九年　匈牙利日耳曼ニ合ス
○千七百五十六年　墺魯佛普四國ノ戰爭
○千七百八十六年　大王フレデリック死ス
○千七百九十二年　日耳曼帝フランシス二世
○千七百九十八年　瑞西佛ニ敗ラル
○千八百六年　拿破崙普魯西ヲ敗ル
○千八百九年　墺佛ト戰フ
○千八百三十五年　墺地利帝フランシス二世死ス
○千八百四十年　普魯西王フレデリック、ウヰルリャム四世

○千八百四十八年　墺地利帝フランシス、ヂヨセフ一世
○千八百四十八年　匈牙利及ヒ普魯西ニ於テ一揆起ル

第百三十章　歐羅巴

魯西亞ノ風土

(一)魯西亞帝國モ亦土耳其ノ如ク其疆土一部ハ歐羅巴ニ在リ一部ハ亞細亞ニ在リ亞細亞ノ北部ハ盡ク其所有ニシテ各異ノ人種許多アリテ處々ニ散住ス是皆家畜牧養ノ爲メニ水草ヲ追ヒテ移轉スルモノナリ

(二)西伯利ハ亞細亞北部ノ名稱ナリ其地氣候最モ寒冽ニシテ之ヲ想思スルモ人ヲシテ粟皮膚ニ生セシム其居民ハ貧窶

ニシテ身ヲ蔽フニ野獸ノ皮ヲ以テシ且多クハ陋シキ屋廬ニ住セリ魯西亞帝己ノ意ニ適セサル臣民アレハ此寒冽貧困ノ地ニ追放ス

㊂歐羅巴ニ於ケル魯西亞ノ疆土ハ其大ナルコト幾ト合衆國ノ全地ニ等シクシテ歐羅巴中ノ國ヨリ更ニ廣大ノ土壤ナリ」然レトモ其人口ハ僅ニ一千六百萬ニ過キス

㊃魯西亞ハ大國ナル故ヲ以テ皇帝ノ權勢ヲ有スルコト最モ甚シ此國ハ國律ナク只帝ノ意ヲ以テ法トナスニ由リテ專ヲ其意ニ任セテ臣民ヲ統御ス」帝ノ擅制ハ特ニ自國ニ於テ畏憚セラルヽノミナラス歐羅巴諸國モ猶之ヲ恐怖ス

㊄帝ハ疆内各處ニ多クノ宮殿ヲ建築スト雖モ多クハ聖彼(シントペート)得羅堡(ルスボルグ)ニ住居ス」帝衆多ノ陸軍ヲ編制シテ其身ハ常ニ其兵卒ニ護衛セラル

㊅汝輩地圖ヲ一見セハ則チ歐羅巴魯西亞ハ北氷海ヨリ南黑海ニ達シテ其長サ幾ト二千里東ハ亞細亞ト烏拉(ウラル)嶺ヲ隔テ西ハ芬蘭(フインランド)ノ海灣及ヒ波羅的海ニ濱シ且普魯西墺地利及ヒ土耳其ニ接スルヲ知ルヘシ

㊆此ノ如ク廣大ナル土壤ニ於テハ其氣候固ヨリ一ナラス氷海ニ濱スル地ノ湖水ハ一年ノ中九個月間ハ凍氷ス中央ノ地方ハ冬天ノ寒冽幾ト加拿他ノ如ク南部ハ甚タ温和ニシテ

多クノ葡萄ヲ産シ其他許多ノ佳菓ヲ生ズ

(八)首府ハ聖彼得羅堡ト云フ其地ハ子ヴ河畔ニ位シ河流ハ芬蘭ノ海灣ニ注ケリ此レ整潔ノ都府ニシテ其人口五十萬アリ凡ソ世界ニ於テ汝ノ見テ以テ奇ト爲ス所聖彼得羅堡ニ過キタルハナカルベシ故ハ大廈高樓處々ニ相望ミ富者ハ此ニ住シテ從僕或ハ奴隷ヲ有スルコト二三百人ノ多キニ至レバナリ

(九)其街衢ニ於テハ美服ヲ着シタル許多ノ兵卒アリ或ハ四馬ヲ駕シタル車ノ鍍金セルモノアリ或ハ爛衣ヲ被タル乞兒アリ或ハ異樣ノ裝飾ヲナシタル人民アリ汝此國ニ至ラハ此

等ノ景況ヲ見ルベシ

第百三十一章歐羅巴

魯西亞ノ風土

(一)莫斯科ハ其廣サ聖彼得羅堡ニ亞テ居民三十五萬アリ此府ハ魯西亞帝ノ嘗テ都セシ所ニテ著名ナル舊都府ナリ然レトモ千八百十二年ニ方リテ拿破崙ノ軍ヲ驅出スルトキ概子兵燹ニ罹レリ而シテ其人民ハ合衆國ノ人民ノ如ク時有リテハ兎或ハ土撥鼠ヲ驅ルガ爲メニ野ニ放火ス之ニ因リテ莫斯科ハ幾ド荒蕪トナレリ然レトモ爾後再建スルコトヲ得タリ」

(二)聖彼得羅堡ハ海路ノ便ナルニ由リテ貿易盛ナリ合衆國

ノ商船麻、鐵、皮、及ヒ其他ノ物品ヲ得ンカ爲メニ此地ニ至ルモノ多シ莫斯科ハ其地遠ク內部ニ在ルヲ以テ海上ノ通商ハ一モ之ヲ行フコト能ハズ

㊂凡ソ世界ニ於テ魯西亞皇帝ノ如ク許多ノ人種ヲ統御スル所ノ者之アラス其歐羅巴ノ轄地ニ於テハ其人種ノ數更ニ多カルベシ

㊃歐羅巴魯西亞ノ北部ニハヲブランドルスサモイーデス等ト稱スル短身黑色ナル人種アリ其營生ノ方法ハ頗ル野蠻ナリ海濱ニ住スル者ハ魚ヲ捕リテ食トナス其魚ヲ飽食スルコト全身常ニ魚腥ヲ帶フルニ至ル此等ノ人種ハ亞米利加ノ北部ニ住スルエスケモスインディエンニ似タリ

㊄其北部冱寒ノ地方ニ至テハ人一年ノ四分ノ三ハ嚴冬ヲ度リ或ハ六個月間暗夜ニ生々ス斯ノ如キ處ニテハ其居民徒然トシテ時日ヲ送ルベシ然レトモ一卷ノ書ヲ有セスシテ他國ノ人民ノ如ク長話ヲナシ或ハ戲笑ヲ發シテ善ク時日ヲ消セリ

㊅人民ノ形情ハ恰モ蜂ノ其巣ニ群集スルニ似タリ而シテ往事ヲ徵ス可キ記錄ナク只子孫相嗣キ萬事亦沿襲ス且常ニ戰ヲ好マズ故ニ語ルベキ大事件ナシ今日其生ヲ計ル者ハ往時其曾祖父ノ爲シヽ所ニ異ナラズ又一般ニ皆皇帝ノ權威ヲ

遵奉スト雖モ其地嚴寒ナレバ帝未タ曾テ來臨セズ故ニ其人民頗ル隨意ニ生計ヲナス

㈦ 歐羅巴魯西亞ノ西南ノ部ニハ韃靼人種多シ其人種ハ常ニ好テ駿馬ヲ疾驅ス頓河ノ濱ニハコッサックスト云フ人種アリ此亦馬ヲ愛ス戰ニ臨ミテハ長鎗ヲ以テ奮戰ス但シ其鎗ヲ投スルニ二百尺ノ距離ニ至ル

㈧ 此等ノ人種ノ外波蘭人數百萬アリ又猶太日耳曼ジプシース等ノ人種モ亦多シ此等ハ諸市府ニ於テ各〻其欲スル所ノ業ニ從事シテ善ク生計ヲ營メリ

㈨ 然レトモ郊外ニテ耕作スル所ノ人民ハ曩昔封建ノ時束

縛セラレタル臣下ノ如キ情態ニテ其身ヲ繫ガル其人民ヲブールスト云フ皆憐ム可キ無學且貧困ノ狀ナリ」此等ハ皇帝ニ從フ者アリ或ハ富者ニ屬スル者アリ

㈩ 魯西亞ハ四十年以來速ニ開化ニ進ミテ現今鉄道ハ諸大府ニ交通ス諸術及ヒ製造モ亦振與シテ全國畧〻開化ノ景狀ヲナセリ

第百三十二章歐羅巴
彼得羅大皇帝ノ治世

㈠ 既ニ述フルガ如ク魯西亞ハ大國ナリト雖モ其史ニ傳フル所ノ事甚タ少ナシ一百餘年前（即チ千六百九十六年）ニ至

ルマテハ未開ノ國ナリシカ是歳彼得羅大皇帝ノ位ニ登ルニ至リテ初テ開明ノ諸國ト並列シタリト云フ

㊁彼得羅ハ甚タ奇偉ノ人ニシテ其國ヲ開化スヘキ大業ヲ起セリ然レトモ自ラ開明ニ進ムコトハ更ニ其難キヲ知レリ故ニ彼得羅ハ終身未開ノ人タルヲ免レズ

㊂魯西亞ノ皇帝ハクザルト稱セラル」クザル彼得羅齡二十五歳ノ時其位ヲ去テ學識ヲ得ンガ為メニ歐羅巴ニ游歷セリ其游歷スルヤ文學隆盛ノ大學校ニ至ラス又古語ノ學問ニモ注意セス

㊃此等ハ皆彼得羅ノ欲スル所ノ學問ニアラス初メ大帝和

蘭ニ行キ船匠ヲ師トシテ其業ヲ學ヒ爾後英倫ニ行テ又同業ニ從事シタリ」大帝和蘭ニ在留ノ間住居シタル屋宇ハ當今猶存セリ

㊄彼得羅ハ造船術ヲ學ブノ外機械學ヲ習ヒ且外科術ヲ學ベリ」之ヲ畧言セハ彼ノ彼得羅ハ一モ其技藝ヲ忽ニセズ此皆自己或ハ其臣民ノ為メニ緊要ナルヘシト考フレバナリ

㊅彼得羅僅ニ一年有餘ヲ經テ後其妹ノ自ラ魯西亞ノ女帝トナル可キ計畧ヲ聞テ止コトヲ得ス其從事スル所ノ學業ヲ廢シ遽ニ莫斯科ニ歸リテ直ニ一揆黨ノ某ヲ死ニ處シ幷セテ其妹ヲ幽囚セシメタリ

(七)爾後彼得羅ハ軍務ニ勞シ且國政ニ注意シテ其日ヲ度ルヲ以テ自ヲ學習スルノ餘暇ナシ然レトモ彼得羅ハ既ニ善ク學ヒ得タル學識ノ効驗忽チ魯西亞ノ開化ニ於テ顯ハル

(八)彼得羅ハ午前五時ニ起キテ終日國事ヲ務ムルニ慣レ得タリト雖モ其煩務ヲ終ルノ後夜ハ燒酒（ブランデー）ノ大瓶ヲ側ニ置キテ獨リ杯ヲ傾ケ醉テ百事ヲ忘ルヽニ至ル

(九)其飮酒ノ癖ト性質ノ苛刻ナルトニヨリテ其朋友モ猶讐敵ノ如ク帝ノ身ヲ危クセシメントス彼得羅數〻言ヘル有リ吾魯西亞ノ過失ヲ改正スト雖モ吾身ノ過失ヲ改ムルコト能ハズト

(十)彼得羅ハ己ノ意ニ違背スルモノアレバ忽チ之ニ鞭撻ヲ加フ高位尊爵ノ人ト雖モ數〻其鞭撻ヲ被ル時アリテハ皇后カサリンモ亦鞭タルヽコトアリ然レトモ后ノ鞭撻ヲ被ルハ其失アル時ノミナリ

(十一)或ハ云フ彼得羅ハ其子ヲ死ニ處ス可ク命シ且帝自身モ密カニ獄中ニテ殺ス可ク命シタリト蓋シ彼得羅ハ其身過失少ナカラズシテ且某ノ大罪惡ヲ犯セハナリ然レトモ彼得羅ハ其臣民ヲ安全ナラシメンカ爲メニ努力勉勵セルヲ以テ其名聲累代ノ魯西亞皇帝ノ上ニ出ツ帝ハ魯西亞ノ安寧無事ヲ致シタル前後無雙ノ人ナリ。

第百三十三章　歐羅巴

彼得羅大帝ノ後嗣

(一) 千七百二十五年ニ方リテ彼得羅死ス時ニ齡五十三歳ナリ皇后カサリン其位ヲ踐メリ」カサリンハ田舍ノ婦人ナレトモ其國色アルヲ以テ彼得羅擧テ后トス其人ト爲リ某ノ事ニ就テハ良婦人ナリト雖モ其他ハ過失多ク就中酒ヲ嗜ムコト過度ナリ

(二) カサリンハ統御僅ニ二年ニシテ先帝彼得羅ノ孫彼得羅二世ニ其位ヲ禪ル千七百三十年ニ方リテ彼得羅二世死ス其姪アン子ヂウハノウナ位ヲ嗣ク此女帝ハ善良ノ君ニシテ頌讃スヘキ行爲多シ但シ其行爲中最モ著名ナルモノハ氷宮ノ築造ナリ

(三) 氷宮ハ某ノ湖水ノ邊ニ建築シテ最モ宏大壯麗ナリ其造營ハ氷塊ヲ以テ木或ハ石ニ代用シ什物及ヒ臥榻モ亦氷ヲ用ヰテ之ヲ造ル故ニ其内部ニ火ヲ點ズル時ハ光輝燦爛トシテ恰モ金剛石ニテ其全部ヲ造リタルガ如シ

(四) 其觀實ニ燦爛タリト雖モ子ハ其冱寒ノ宮殿ニ在ランヨリ寧ロ矮陋ナル土造ノ小屋ニ住居センコトヲ欲ス其他ノ宮殿ハ何レモ女帝アン子ノ氷宮ノ如ク爽快ナラス

(五) アン子位ヲイリサペツスニ禪ルイリサペツスハ彼得羅

大帝ノ皇女ニシテ千七百四十年ニ即位シ政權ヲ執ルコト二十二年後彼得羅三世其位ヲ襲グ其治世ノ始ハ千七百六十二年ナリ

㊅彼得羅三世ノ后モ亦彼得羅大帝ノ后ノ如ク名ヲカサリント云フ后ハ帝ト共ニ位ニ居ルコト久シカラズ計策ヲ以テ帝ヲ廢シ己レ專ラ魯西亞ヲ統御セリ想フニ后ハ其後帝ヲ殺害セシナルベシ

㊆カサリンハ此ノ如キ惡逆ノ婦人ト雖モ天稟驚クベキオ智ヲ具シ且世界ニ於テ最モ彰明ナル國君トナレリ后ノ性質ノ卓然タルコト女子ヨリハ男子ニ適當ス故ニ或人后ヲ稱シテカサリン大丈夫ト云フ

㊇千七百九十六年即チカサリンノ逝去ノ年ニ當リテカサリン土耳其ヲ亡シテ其人民ヲ驅逐セントノ謀ヲ爲セリ若シカサリン其功ヲ奏スルトキハ地中海ヨリ北海ニ至ルマデ廣大ノ地方ヲ總轄スルナルベシ

㊈然レトモカサリンハ良人ヲ殺害シ其他許多ノ罪惡ヲ犯シタル報ニヤ天命盡キテ死セリ其子ポール位ヲ襲ク時ニ齡四十三歳ナリ

㊉帝ポールハ其才智一モ母ニ肖ル所ナク甚タ頑固且惡ム可キ性質ノ人ナリ故ニ人民ハ帝ヲ疑ヒテ發狂人ナリトス又

其行狀ノ放恣ナルヲ以テ某ノ貴人ハ帝ヲ殺サントテ一揆ヲ起スニ至レリ

(十一) ポール位ヲ其長子アレキサンドルニ禪ル其治世千八百一年ヨリ千八百二十五年ニ至ル」帝ハ拿破崙ト交戰ス是時拿破崙軍ヲ將ヰ進ミテ莫斯科府ニ入ルト雖モ魯西亞人ノ放火シテ其府ヲ燒燼スルニ會シ佛軍大ニ敗績ス

(十二) 次ノ魯西亞帝ハ名ヲニコラスト云フ其兄アレキサンドルノ位ヲ襲ケリ時ニ千八百二十五年ナリ其後兩三年ヲ經テ波蘭ノ臣民其苛政ニ苦ミテ背叛セリ然レトモ帝ノ征服スル所トナリテ數千人ハ他國ニ遁逃シ數千人ハ殺戮セラレ數千

人ハ生擒トナリ或ハ西伯利ニ追放セラルヽ者アリ

(十三) 千八百五十四年ニ方リテ帝ニコラス土耳其ノ轄地ヲ掠畧センコトヲ謀ル是時英佛土ト連合シテ帝ヲ拒ス故ニ帝終ニ利ヲ失ヒテ西巴士多(セバストポール)ノ堡寨ヲ奪バル因リテ戰爭止ム時ニ千八百五十六年ナリ

(十四) 帝ニコラスハ英佛土ノ三國ト和議未タ整ハザルニ既ニ死ス其子アレキサンドル三世祚ヲ踐メリ」魯西亞ハ今猶未開ノ國ナリト雖モ其國力ハ強盛ナリ且各事人民ノ開化ニ裨益アル所ノ事ハ日々益々進歩セリ」現今千八百六十年其國歐羅巴諸國ト和ス

第百三十四章歐羅巴

瑞典史

(一) 瑞典ハ現今瑞典那威及ヒ臘巴蘭（ラフランド）ノ部分ヲ幷有シテ北ハ北海ニ濱シ東ハ臘巴蘭波斯尼亞（ボスニア）灣及ヒ波羅的海ニ接シ南ハ波羅的加的牙（カツテガツト）及ヒスカヂルラック等ノ海ニ枕ミ西ハ大西洋ニ濱ス

(二) 瑞典ハ山國ニシテ氣候寒冷ナリ亞米利加ニ鐵ヲ齎シ來ルコト多キヲ以テ著名ナリ」人民ハ性質勇敢活潑ニシテ事ニ勤勉ス大抵常ニ乳汁乾酪及ヒ魚類ヲ以テ食トス冬間ハ身ニ被ルニ毛皮及ヒ羊皮ヲ以テス

(三) 其人民ハ知覺頴敏ニシテ凡百ノ事皆最良ナラシメンコトヲ欲ス長冬去ルトキハ春ノ來復ヲ祝シテ五月柱（メーポール）ヲ繞リテ戯舞ヲナス 五月柱ハ第五月ニ之ヲ圍繞シテ戯舞スルカ爲メニ立タル柱 其人民ハ自國ヲ愛シテ最モ快樂ノ國ナリト主張ス

(四) 瑞典人ハ身ニ羊皮ヲ被リテ其營世ヲナスノ狀田舍人ノ如クナリト雖モ最モ禮讓ヲ尚フ概シテ之ヲ言ハヾ則チ瑞典ノ人民ハ最モ敬愛スベク且行爲ノ善ナルハ予ガ既ニ語リシ王公貴人ヨリモ更ニ優レルモノアリ

(五) 瑞典往古ノ史ハ傳ハル所甚タ少ナシ昔其國丁抹ノ屬部タリシカ千三百八十七年ニ方リテマルガレットト稱スル丁

抹ノ女王丁抹瑞典及ヒ那威ヲ管轄シタリ

⑥千五百十八年ニ當リテ丁抹王キリスチエント云フ者其都會士篤恒(ストツクホーム)ニ於テ瑞典ノ議官九十四人ヲ虐殺セリ」其議官ノ一子ニゴスタウスウ、ツサト云フ者アリ其人民ヲ鼓舞シテ丁抹ニ背叛セシメントス

⑦丁抹王其一揆ヲ鎭定センガ爲メニ軍兵ヲ遣スト雖モ其軍乘ル所ノ船舶瑞典ノ海濱ニ於テ凍氷ニ膠シテ進退自由ナラス之ニ由リテ瑞典ノ民橇(ソリ)ニ乘シテ海岸ヨリ進ミ其船ニ放火シタリ

⑧ゴスタウス、ウ、ツサハ其國ヲ濟ヒテ獨立國タラシム故

ニ人民ヨリ選擧セラレテ王トナル」次ノ王ハゴスタウス、アドルフスト云フ王ハ千六百十一年ニ始テ政權ヲ執ル時ニ齡十八歳ナリ

⑨王ゴスタウス、アドルフハ武勇ニシテ日耳曼帝ノ属下ノ名將ト戰フトキ大ニ勝利ヲ得タリ」千六百三十三年又リユツエンニ於テ戰ヒ之ニ勝ツ然レトモ凱旋ノ後遽ニ殺害ニ遇ヘリ

⑩王一女ヲ遺セリ其名ヲキリスチナト云フ時ニ年甫メテ六歳ナリ人キリスチナヲ以テ才智アリトシテ其教育ノ爲メニ大ニ心ヲ勞セリ然レトモキリスチナハ善婦人ニ非ズ又善

女王ニモ非ス

(十一) 女王キリスチナ久シク位ニ在ルノ後政ヲ聽クニ倦勞シ因リテ冠ヲ脫シテ其國ヲ去リ瑞典ヨリ更ニ快樂ナル某ノ國ニ於テ住居ヲ求メントス

(十二) 然レトモ女王ノ行爲不善ナル故ヲ以テ歐羅巴諸國ノ君皆其疆內ニ斯ル婦人ノ在ランコトヲ耻辱トセリ然レトモ女王ハ耶蘇舊教ヲ奉セシカハ法皇羅馬ニ住居スルコトヲ許可シタリ

第百三十五章歐羅巴

チャールス十二世及ヒ其後嗣

(一) 古今瑞典王ノ中ニ世界ノ高名ナル國王ト比肩セシ者ハチャールス十二世ナリ」然レトモ讀者必ス此勇將ノ談ヲ聽キテ倦メルコトアラン故ニチャールスノ事ハ畧之ヲ語ルベシ」

(二) 千六百九十七年ニ當リテ王チャールス始テ政權ヲ執ル時ニ齡十五歲ナリ王ハ幼時ヨリ武人ト爲ラントノ志望ヲ懷ケリ王年十七ニ垂トスル時魯西亞帝及ヒ波蘭丁抹二國ノ王ノ爲メニ攻擊セラル

(三) 王初テ三國ノ兵ト戰ヒテ之ヲ擊破レリ王ハ銃丸ノ飛來リテ耳邊ニ轟ク聲アルヲ聞ケハ大ニ叫ヒ喜テ曰ク此吾音曲ナリシト故ニ其在世ノ間曾テ他ノ音曲ヲ賞愛セサリシト云

フ
㊃然レトモ王ノ樂ム所ノ砲聲ハ人民ノ悲トナルコト甚シ」
王ハ歐羅巴ノ諸國ヲ窘困セシムルノミナラス自國ヲモ困苦
セシメタリ但シ王ノ戰ヲ爲スハ專ラ娯樂ノ爲メニシテ戰爭
ノ爲メニ善事ヲ擧ント欲スルニアラス
㊄王チャーレス在位ノ始兩三年間ハ戰ヒ常ニ勝利ヲ獲タ
リト雖モ千七百九年波耳多（ポルトワ）ニ於テ魯西亞ノ爲メニ擊チ破ラ
レテ土耳其ニ逃レタリ
㊅王ハ無事ニ國ニ歸ルコトヲ得ベキニ五年間土耳其ニ止
リテ自國ヲ治ムル事ハ毫モ注意セザル者ノ如シ嘗テ瑞典ヨ

リ王ノ許ニ使ヲ遣ハシ問テ曰ク大王不在ノ間國事如何スベ
キヤト王答ヘテ曰ク我カ人民ヲ管スルガ爲メ吾弊靴ノ一雙
ヲ送ルベシト
㊆千七百十四年ニ當リ王土耳其ヲ發シテ瑞典ニ歸リ其後
再ヒ兵ヲ擧ケンコトヲ以テ務トセリ然レトモ王ノ戰ヒ今將
ニ終ラントスルノ期ニ至レリ
㊇王那威ニ於テ某ノ堡寨ヲ圍ムトキ夜ニ乘シテ其軍ノ狀
景如何ヲ見ント欲シ進テ隊伍ノ前ニ出ツ時ニ王彈丸ノ爲メ
ニ其頭ヲ射ラレテ死ス其尸ハ尚半バ拔キタル劍ヲ手ニ持セ
リ但シ王チャーレス十二世ハ勇者ナリヤ將タ狂人ナリヤ史

家ノ説未タ決セス

（九）其後嗣中ニゴスタウス三世ト云フ王アリ王ハ「マスクェレード」（古事奇聞ヲ談シ或ハ蹴舞シ或ハ其他ノ歡樂ヲナス夜會ナリ）ニ於テ射殺セラル時ニ千七百九十二年ナリ」王ゴスタウス四世ハ行爲放肆ナルヲ以テ其臣下止ムコトヲ得ス之ヲ廢セリ時ニ千八百九年ナリ」

（十）次ノ王ハチャーレス十三世ナリ佛帝拿破崙其將ペルナドッテト云フ者ヲ以テ其太子タラシメンコトヲ瑞典ニ布告セリ千八百十八年ニ當リテチャーレス十三世死スペルナドッテ其位ヲ嗣キ名ヲチャーレス、ヂョント稱シ數年間其國ヲ統御セリ

（十一）ペルナドッテハ素ト尋常ノ兵士タリシト雖モ累世王統タル歐羅巴諸國ノ君ヨリ更ニ善良ノ君トナレリ千八百四十四年ニ方リテ其孫ヲスカル一世王位ヲ襲クヲスカル一世亦其子ヲスカル二世ニ位ヲ禪ル時ニ千八百六十年ナリ」瑞典及ヒ那威ノ民口通計五百萬アリ

第百三十六章歐羅巴

臘巴蘭那威及ヒ丁抹ノ史

（一）臘巴蘭ハ歐羅巴ノ北隅ニ在リテ魯西亞及ヒ瑞典ヨリ分裂スル所ナリ此國ハ寒威最モ嚴シクシテ燒酒モ時有リテハ凍氷スルニ至ル然レトモ其居民ハ能ク凍氷ヲ融化スルノ術

ヲ知リテ之ヲ融カスコト度ヲ過セリ 然レトモ以下ハ飲酒過度ナルヲ云フ

㈡臘巴蘭ノ人民ノ事ハ既ニ其大畧ヲ語レリ其男ハ身ノ長ケ幾ト四尺ニシテ女ハ其長ケ平菓酒（サイドル）ノ樽ヨリ高カラズ居民皆多ク馴鹿ヲ有シ其肉ヲ以テ食料ニ給シ皮ヲ以テ衣服ヲ造ル又之ヲ以テ馬ニ代用シ橇（ソリ）ニ駕シテ積雪上ヲ疾驅セシム」其人民ハ今此所ニ談スルニ足ルベキ歴史ヲ有セズ

㈢那威ハ廣大ノ國ニシテ西ハ大西洋ニ濱シ東ハ瑞典ニ界ス氣候ハ冱寒ニシテ寒風烈ク且土地荒漠ナリ然レトモ人民ハ頗ル快樂ニ營世ス且牝牛ヲ畜ヒテ世上最モ佳品トナス所ノ乾酪ヲ製造セリ

㈣ベルヂェンハ那威中最大ノ都會ニシテ人口二萬アリ家屋ハ矮小ニシテ其造營ハ大概木材ヲ用ヰルナリ故ニ火災アリテ大害ヲナスコトアリ是ヲ以テ數多ノ看守人（バンニン）厚潤ナル外套ニ其身ヲ包裹シテ夜間街衢ヲ巡視シ毎時呼テ曰ク天帝我カ艮府ベルヂェンヲ守護セリト

㈤那威ハ古昔勇敢粗暴ナル海客ノ住居セシ所ニシテ海賊ノ巣窟タリシコト其間頗ル久シキガ如シ紀元八百六十年ニ當リナドベト云フ海賊アリテ愛撒蘭（アイスランド）ヲ發見セリ蓋シ愛撒蘭ハ其後那威人之ニ定住セリ

㈥那威ハ丁抹王カニュートノ爲メニ征服セラル時ニ千三

十年ナリ然レトモ其後六年ヲ經テ復タ獨立シ數年間自國ノ王ノ管轄ヲ受ケタリ」千三百九十七年ニ當リ丁抹ニ幷セラレ千八百十四年ニ至ルマデ丁抹國ニ屬ス是歲丁抹之ヲ瑞典ニ讓ル

㊆丁抹ハ瑞典及ヒ日耳曼ノ間ニ在ル褊小ナル一王國ナリ其地平坦ニシテ海水之ヲ圍繞ス」人民ハ白色ナリ殊ニ婦人ハ色極メテ白シト云フ」其人民ハ牛ヲ有スルコト頗ル多クシテ常ニ耕作ヲ好メリ」都會哥本哈干ハ人口十二萬アリ全國ノ人口ハ凡ソ二百二十五萬有リ」丁抹那威ノ二國ハ共ニ丁抹語ヲ用ヰルナリ

㊇昔丁抹瑞典及ヒ那威ノ三國ハ斯干的那維ト稱セリ上古ノ時此國々ハフィンス及ヒ日耳曼人種ノ領セシ所ナリシカ爾後俄狄ノヲヂント云フモノ其人種ヲ誘導シテ此等ノ國ヲ征服シタリ但シヲヂンニ就テハ奇怪ノ說話アリ即チ其北部ノ人種ハヲヂンヲ尊崇シテ「ヂュピトル」神ノ一類ナリトテ拜跪シヲヂンノ子スキヲルド初テ丁抹ノ王タリシト云フ

㊈丁抹上古ノ人民ハ都テ粗暴果敢ナル勇者ナレハ其國以南ノ歐羅巴諸國ハ皆其人民ヲ以テ海賊ト爲セリ」羅馬帝國滅亡ノ頃ニハ丁抹瑞典那威三國ノ人民ハノルマン人ノ總稱ニテ世ニ知ラレシモノナリ

(十) 其勇敢ナル海賊ハ小船ニ乘シ不意ニ進擊シテ諸國ヲ征服セリ海賊中ノ某ハ英倫ニ定住シ某ハ諸曼的（ノルマンディー）ト稱シタル佛蘭西ノ部分ニ定住シ某ハ西班牙及ヒ以太利ニ至リシト云フ」

(十一) 九百二十年ニ方リテ丁抹ノ諸人種ハ一政府ノ下ニ統轄セラル」千十六年ニ當リテカニュートト云フモノ英倫及ヒ蘇格蘭ノ一部分ヲ征服シ一千三十年ニ當リテ那威ヲ擊從ヘタリ」カニュートノ後數多ノ君アリテ種々ノ戰爭ヲナセリ然レトモ其史緊要ナルコトハ僅少ノミ」現今（千八百六十年）ノ王ハフレデリック七世ナリ

第百三十七章　歐羅巴

諸國ノ史畧

(一) 此小册子中歐羅巴ノ數小國ヲ分チテ別ニ其國史ヲ記スルヲ得ズ故ニ他國ノ史中ニ合セテ既ニ之ヲ語リシカ其餘ハ今此章ニ於テ簡約ニ之ヲ說話スベシ

(二) 和蘭國ハ嘗テ海水ニ沈沒セシコトアリト雖モ今ハ環ラスニ大坡障ヲ以テセリ其人民幾ト三百萬アリ此等ハダッチト稱セラレ且嗜烟者（タバコズキ）ナリトテ普ク世上ニ知ラル然レトモ此人民ハ家業ニ勤勉シテ家事ニ節儉ナリ都會俺特坦（アムストルダム）ハ人口二十萬アリ

(三) 比耳時ノ人民ハ和蘭及ヒ佛蘭西ノ風俗ノ混化セルモノ

ニシテ其烟ヲ喫スル頗ル多シ而シテ常ニ佛蘭西語ヲ用ヰルナリ國中ニ佳景多クシテ人ヲ快樂セシム殊ニ市府ハ甚タ愉快ノ地多シ全國ノ人口四百五十萬アリ

㈣和蘭及ヒ比耳時ハ曩昔尼達蘭ト稱セル一國ナリ其全部北ハ北海ニ枕ミ東ハ日耳曼ニ接シ南ハ佛蘭西ニ境シ西ハ貌利顛海峽及ヒ北海ニ面ス」此地方ハ初メ羅馬ニ屬シテ後日耳曼ニ從ヒ終ニ西班牙ニ服シタリ

㈤千五百八十一年ニ當リテ北部ノ七州西班牙王フヒリップニ叛キ合從シテ共和政治ヲ起ス當時之ヲ和蘭ノ共和政ト稱セリ」千六百年代ニハ其國勢甚タ強ク殊ニ海上ニ於テハ最モ盛ナリ當時其船艦英ノ兵艦ト屢々戰ヒテ勝利ヲ得ルコトアリ

㈥其餘尼達蘭ノ諸州ハ久シク墺地利ノ管下ニ屬ス」千八百十年ニ當リ尼達蘭舉テ佛ノ爲メニ一統セラルト雖モ其後別ニ一王國トナレリ」千八百三十年ニ國内革命ノ亂起リ南部ノ諸州合シテ比耳時ノ王國ヲナス

㈦波蘭ハ昔歐羅巴中ノ一國タリト雖モ今ハ否ラス」其土壤東北ハ魯西亞ノ轄地ニ界シ南ハドニーストル河ニ濱シ西ハ普魯西ニ接ス千七百七十二年ニ當リテ魯西亞普魯西墺地利ノ三國ノ君其國ヲ圍ミテ各々大ニ其地ヲ分取ス千七百九

十五年ニ三國ノ君又各〻其餘地ヲ剖割セリ其居民ハ自主自由ノ國タラント欲シテ奮戰スト雖モ其功ヲ遂クルヲ得ス其民魯西亞帝ニコラスノ爲メニ數千人ハ徒刑ニ處セラレ數千人ハ他國ニ移サレタリ或ハ其殘忍ヲ避ケテ合衆國ニ來住スルモノアリ

第百三十八章歐羅巴

魯西亞瑞典臘巴蘭那威丁抹和蘭比耳時等ノ年表

耶蘇紀元後

○四百八十一年　瑞典建國

○七百十四年　丁抹初テ王ヲ奉戴ス

○八百六十年　那威人愛撒蘭ヲ査出ス

○九百五十五年　耶蘇教魯西亞ニ入ル

○一千十六年　丁抹王カニュート英倫ヲ征服ス

○一千三十年　那威カニュートニ征服セラル

○一千二百三十七年　魯西亞クリムタータール人種ニ攻擊セラル

○一千三百八十七年　那威丁抹ト合ス

○一千四百六十二年　魯西亞韃靼ノ管轄ヲ脫シテ獨立ス

○一千五百十八年　瑞典ノ殘殺

○一千五百二十五年　ゴスタフス、ウヽツサ丁抹人ヲ瑞典

ヨリ驅出ス

○一千五百二十八年　ゴスタフ(チ)ス、ウ(ハ)ツサ瑞典ノ王位ニ登ル

○一千五百五十三年　魯西亞帝ノ祖

○一千五百八十一年　和蘭共和政治ノ創立

○一千六百十一年　瑞典王ゴスタフ(チ)ス、アドルフス立ツ

○一千六百三十三年　ル(ッ)ツ(ェ)ンノ戰爭及ヒゴスタフ(チ)ス、アドルフスノ死

○一千六百九十六年　彼得羅大皇帝ノ治世ノ始

○一千六百九十七年　瑞典王チ(ャ)ーレス十二世ノ始

○一千七百九年　彼得羅大皇帝チ(ャ)ーレス十二世ヲ波耳多ニ於テ撃破ル

○一千七百十四年　チ(ャ)ーレス十二世瑞典ニ歸ル

○一千七百二十一年　魯西亞帝國トナル

○一千七百二十五年　彼得羅大皇帝死ス

○一千七百三十年　彼得羅二世死ス

○一千七百四十年　イリサベス魯西亞ノ帝位ニ登ル

○一千七百六十二年　彼得羅三世即位ス

○一千七百七十二年　波蘭ノ分裂

○一千七百九十二年　ゴスタフ(チ)ス三世死ス

○一千七百九十二年　魯西亞佛蘭西ニ向ヒテ出師ノ事ヲ布告ス

○一千七百九十六年　カゼリン二世死ス

○一千八百一年　魯西亞帝ポール死ス

○一千八百七年　哥本哈干英ニ砲擊セラル

○一千八百九年　瑞典王ゴスタフチス四世位ヲ廢セラル

○一千八百十年　尼達蘭佛ニ合セラル

○一千八百十二年　莫斯科府ノ兵燹

○一千八百十四年　那威瑞典ニ合併ス

○一千八百二十四年　丁抹英倫ト互市ノ條約ヲナス

○一千八百二十五年　魯西亞帝アレキサントル王死ス

○一千八百二十五年　ニコラス帝位ニ登ル

○一千八百三十年　尼達蘭革命ノ亂及ヒ和蘭比耳時ノ分立

○一千八百五十四年　魯土ノ戰

○一千八百五十五年　ニコラス死ス

○一千八百五十六年　セバストポール攻メ取ラル

○一千八百五十六年　アレキサントル王三世莫斯科ニ於テ即位ス

第百三十九章歐羅巴

大貌列顚及ヒ阿爾蘭ノ王國

(一)今此ニ歐羅巴中最モ心目ヲ悅ハシムル國史ヲ語ラン蓋シ其國ハ歐羅巴亞細亞及ヒ亞非利加中ノ何レノ國々ヨリモ更ニ快樂ノ事多クシテ人民モ亦伶俐ナリ開化其極度ニ至リテ宗教ハ眞教ヲ奉セリ

(二)大貌列顚及ヒ阿爾蘭王國ハ英倫威爾斯蘇格蘭及ヒ阿爾蘭ノ四國ヲ有ス英倫威爾斯蘇格蘭ノ三國ハ大貌列顚島ノ中ニ在リ其島ハ歐羅巴ノ西海ニ位シテ佛蘭西ト貌列顚海峽ヲ隔ツ其最モ狹キ處ハ二十五里ナリ阿爾蘭ハ大貌列顚ノ西ニ

アリテ其相距ルコト幾ト六十里ナリ

(三)貌列顚ト阿爾蘭ノ二島ハ小ナリト雖モ人口二千七百萬アリ其餘亞米利加亞非利加及ヒ亞細亞ノ諸部ノ植民地ハ人口總計一億六千萬ニ幾シ是皆英國王ノ管轄ニ歸ス想フニ大貌列顚ハ世界第一ノ富强ナル國ナリ

(四)初メ亞米利加ニ移住セシ所ノ人ハ英倫ヨリ來レリ此等ノ人ハ猶本國ノ風習ヲ脫セサルカ故ニ合衆國ハ遂ニ屋宇禮拜堂及ヒ人民ノ衣服モ幾ト英倫ト一般ナリ其他國語モ亦異ナルコト無シ

(五)然レトモ英倫ハ合衆國ヨリモ舊クシテ且富國ナリ故ニ

廣大ノ市府アリ壯麗ノ禮拜堂アリ淸整ノ道路佳景ノ庭園其他百物皆合衆國ニ於テ見ル所ノモノニ勝レリ

㈥上ニ記セルモノヽ外國王或ハ女王ハ壯麗ナル宮殿ヲ有ス又衆多ノ貴族ハ鉅萬ノ財ヲ散シテ設ケタル諸別莊ニ住居セリ其貴族ハ車ニ乘シテ出遊ス其車ノ某ハ一萬弗ヲ費セルモノアリ故ニ英倫ノ美麗ハ合衆國ニ於テ見ル所ノ美觀ニ優レルコト遠シ

㈦然レトモ其美麗ニ反シテ人民貧窶ナルハ更ニ合衆國ヨリモ甚シ其首府龍動ノ街衢ト雖モ到ル處ニ乞丐ノ徒アリ其他國中ノ諸處ニ於テ之ヲ見ルヘシ又乞丐ナラザルモ數千ノ民ハ甚タ糊口ニ困シテ辛ク其日ヲ度ル時有リテハ餓死スルモノ多シ夫レ英倫ノ美麗ナルト百物ノ隆盛ナルトニ於テハ實ニ驚クヘシト雖モ其人民ノ過半貧窮ニ苦メルコト此ノ如シ

第百四十章歐羅巴

英倫威爾斯蘇格蘭及ヒ阿爾蘭ノ諸市府

㈠龍動ハ廣大ニシテ且淸整ナルコト歐羅巴中第一ノ都會ナリ而シテ居民幾ト三百萬有リ大河達迷塞（テームス）其地ヲ貫流シテ石橋ノ宏麗ナルモノ許多アリ又河流ノ下ニハ隧道（トンネル）アリテ人其水底ヲ通行ス其壯觀想フ可シ龍動ハ巴勒伯靈及ヒ其他ノ

大都會ノ如ク之ヲ圍繞スル所ノ城壁ナクシテ絶景ノ田舍之ヲ圍リ別莊モ亦處々ニ星散ス

(二) 龍動ハ別ニ一世界ヲナスカ如シ一年間其府内ヲ遊行スルモ日毎ニ或ル新街衢ニ行ク又府内ノ或處ニハ人民常ニ雜沓シテ絡繹織ルガ如ク其景狀ハ恰モ七月四日即チ議員選擧ノ日ニ彷彿タリ舖店ニハ美麗ノ百貨陳列シ街頭ニハ各種ノ乘車疾走シテ轂擊セリ

(三) シント、ジェームスノ堂ハ幽暗ナル舊キ建物ナリシカ前ノ英王更ニ華麗ナル堂ヲ築キタリウェストミニストル、アッビハ昔ノ俄狄式築造ノ禮拜堂ナリ觀者之ヲ見テ驚歎セサルモノナシシント、ポールノ堂ハ近世ノ建物ニシテ壯麗ナリ

(四) 其他龍動ノ奇觀トスヘキモノニ就テ予汝ニ語ルノ暇ナシ又英倫ノ他ノ美麗ナル市府ノ事モ亦汝ニ語ルヲ得ス此等ノ事ハ汝更ニ某ノ大冊書ニ就テ讀ムカ或ハ冬間ノ長夜予ノ許ニ來レ

(五) 今諸市府ノ製造物ニ就テ汝ニ語ルヘキコト左ノ如シ門起斯德ハ美麗ナル毛布華布及ヒ他ノ物品ヲ製造シヒルリングハムハ大砲、小銃、劍、鎖器、及ヒ燈器ヲ造リシェフヒールドハ庖刀食叉及ヒ鋏ヲ造ル其他ノ製造處モ種々ノ物品ヲ製ス

(六) 威爾斯ハ英倫ノ西ニ在ル山國ニシテ居民多クハ其國語

ヲ用ヰルナリ但シ其國語ハ汝解スルコト能ハサルベシ其人民ハ皆業ヲ勤勉シテ快樂ニ營世ス其山ハ石灰、錫、鉄、及ヒ銅ヲ產スルヲ以テ世ニ知ラル

㊆蘇格蘭モ亦山國ナリ其南部ノ居民ハ蘇格蘭ノ語ヲ通用ス其語ハ汝少シク之ヲ解スルナルヘシ然レトモ北部ノ山地ニテハ居民「ゲーリック」語ヲ通用ス其語ハ亞喇伯語ノ如ク最モ奇ナリ

㊇其首府以丁堡（イジンボル）ハ舊市府ニシテ靄霧常ニ之ヲ蔽フ其街衢ハ整潔ニシテ中央ニハ巍峨タル城アリ其他蘇格蘭ニハ整潔ノ市府數多アリクラスゴウハ廣大ニシテ製造ノ爲メニ有名ナリ

㊈阿爾蘭ハ蒼々タル一孤島ニシテ居民四百萬有リ此島ハ則チ合衆國ニ來リ住セル快樂且機巧ナル阿爾蘭人ノ本國ナリ蓋シ彼國若シ善ク管轄セラルヽナラハ必ス合衆國ニ來ラサルヘシ其合衆國ニ來ル所以ハ多年苛政ニ壓セラレテ多クハ悲歎スヘキ貧困ノ景狀ナレハナリ

㊉然レトモ阿爾蘭ノ人民ハ其本國或ハ外國ニ在ル者ノ別ナク極メテ智巧且慇懃ナル可シ其人民數〻苛酷ニ遇セラルヽト雖モ敢テ塗炭ノ苦ニ陷ラザルモノハ其心性活潑ナルヲ以テナリ

(十)其都城都伯林ドブリンハ街衢整潔ナリト雖モ多クハ居民身ニ爛衣ヲ被テ憂鬱ノ狀ヲナスモノ處々ニ之アリ乞兒ハ常ニ國中處トシテ在ヲサルハナシ

第百四十一章歐羅巴

貌列顛人民ノ原因並ニドリュイヅノ事

(一)大貌列顛及ヒ阿爾蘭ハ元高盧ヨリ植民セシ地ナリ其植民ハゲールス或ハセルツト稱セラレタル人種ナリ其後裔ハ今猶阿爾蘭威爾斯及ヒ蘇格蘭ノ山地ニ在リ今ニ至リテゲールス或ハセルツノ語ヲ用井ルナリ

(二)此國ノ事ハヂュリュース、シーザルノ時ニ至ルマテ得テ考フ可カラズシーサルハ紀元前五十五年ニ當リテ英倫ヲ侵擊セリ常時其國名ハ貌利太仁亞或ハ貌列顛ト云ヒテ野蠻人民ノ住處タリ其民或ハ野獸ノ皮ヲ着或ハ全ク裸体ニシテ亞米利加印度人ノ如ク身ニ刺彩セリ武器ニハ掍、鎗、及ヒ劍ヲ用井テ大ニ羅馬ノ侵入者ヲ攻擊シタリ

(三)昔卑勒敦貌利太仁亞ノ人民ハ歐羅巴北部ノ人民ノ如ク偶像ノ信者ナリ其僧ハドリュイヅト稱セラル禮拜ノ場ハ屋外ニ巨大ノ石柱ヲ圓形ニ立テヽ其中央ノ大石ヲ以テ祭壇トナシ人牲ヲ其上ニ供ヘタリ此ノ如キ禮拜場ノ遺跡ハ今猶ストオンヘンジニ存スルモノアリ是甚タ奇トスヘシ

㈣ドリュイヅハ槲樹ヲ以テ神木ト爲シ殊ニ其寄生ヲ貴ベリ但シドリュイヅ此寄生ヲ見出スル時ハ毎ニ其槲樹ノ陰ニテ酒宴ヲ開ケリ

㈤彼輩卑勒敦ヲ皷舞シテ羅馬人ニ抵抗セシムルカ故ニ其民烈ク防戰シテ紀元後六十年ニ至ルマテ全ク羅馬ノ爲メニ征服セラレザリシカ是年羅馬ノ將シュエトニュース其神聖トナシタル槲林ヲ伐リ禮拜塲ヲ毀チテドリュイヅヲ火中ニ投シタリ蓋シ其火ハドリュイヅノ羅馬人ヲ燒殺センガ爲メニ設ルモノナリ

㈥此島ノ北部ニ住ミタル蘇格多（蘇格蘭人）ハ勇猛ノ人民ニシテ當時猶未タ征服セラレス羅馬人ハ其貌列顚ニ侵害センカ爲メニタイヲ河ヨリソルウェーノ海口ニ至ルマテ城壁ヲ築キタリ

㈦卑勒敦ハ紀元後幾ト五百年間羅馬ノ政府ニ從屬シテ其間多クハ羅馬ノ風俗ニ化シ遂ニ其管制ヲ脱スヘキ企謀ヲ爲スモノナキニ至レリ然レトモ羅馬帝國ノ勢漸ク衰ヘタルヲ以テ羅馬帝ウハレンチニエン貌列顚ヨリ其戍兵ヲ撤セリ

㈧卑勒敦ハ既ニ戰爭ヲ好マサル人民トナルヲ以テ羅馬ノ兵去リテ後ハ獨力ニテ蘇格多ヲ防クコト能ハス因リテ撒遜及ヒアングルスト呼レタル日耳曼ノ二人種ニ援兵ヲ請フ

(九) 其人民ハ蘇格多ヲ追逐シテ後日耳曼ニ歸ルヲ休メ威力ヲ以テ貌列顛ヲ己ノ有トナセリ是レ貌列顛ノ撒遜七國ト稱セラレタル褊小ナル七王國ニ分ル

第百四十二章 歐羅巴

英倫ヲ領シタル撒遜ノ王統及ヒ丁抹ノ王統

(十) 紀元八百二十七年ニ當リテイグベルトト云フ者撒遜七國ヲ統一シテ之ヲ治ム故ニイグベルトハ英倫ノ始王ナリ

(二) イグベルトハ英倫ノ人ナレトモ佛國シヤルレマンノ朝ニ於テ既ニ教育セラレタリ故ニ撒遜ノ諸王ヨリ更ニ開化セリ然レトモ其治世ノ間及ヒ其後年ニ至リテモデンス（丁抹人）來寇シテ英ノ全國ヲ侵掠シタリ

(三) 八百七十二年ニ當リテアルフレツト王位ニ登ル王ハ海陸ニ由リテデンスト戰フコト五十六回ニ及ヘリ嘗テ王容ヲ變シテ樂師（ガクシン）トナリデンスノ陣營ニ入リテ敵情ヲ窺ヒ襲擊スヘキ謀畧ヲ運シテ後其營ヲ去リ己ノ陣ニ還リ即チ自ラ將トシテ其兵ヲ進メデンスヲ攻擊シテ全勝ヲ得タリ

(四) アルフレツトハ大王ト稱セラル王ノ此美名ヲ得ルハ嘗テ大王ト呼レタル諸王ヨリモ更ニ適當ナリ即チ王ハ良好ノ法律ヲ制シ且陪坐聽審ヲ以テ審判スルノ法ヲ設ケ又ヲキスフォルトノ大學校ヲ創立セリ王ノ死後幾ト一百年ヲ經テ

デンス復タ來リテ侵擊スト雖モ今ハ之ヲ防禦スヘキアルフレツトアラス因リテデンス勝ヲ得タリ而シテ其王三世相續キテ英國ヲ管理ス

㊄カニユート大王ハ其中ノ一人ナリシカ王ハ老練ノ海賊ナル可シ當時王ヲ稱シテ海王ト云フ嘗テ王其近臣ト共ニ海濱ニ逍遙スルトキ近臣ノ輩王ヲ呼ヒテ海ノ王ト云ヒ且王ニ語ルニ大王令ヲ下サハ波濤モ命ニ從フヘシトノ言ヲ以テセリ

㊅王カニユート悅テ椅子ヲ平沙ニ置カシメ而シテ自ラ其椅子ニ憑リ儼然タル威容ヲナシテ波濤ニ向ヒテ笏ヲ挺出セリ」

㊆王大喝シテ曰ク退ケヨ海濤吾ハ海ノ君王ナリ何ソ吾カ眼前ニ於テ起泡轟鳴スルヤ」ト然レトモ海濤ハ毫モ退カス轟鳴且激浪ヲ起シテ進ミ來リ王及ヒ近臣ノ席ヲ打チ越エテ遙ニ王ノ椅子ノ後ニ進ミテ後岸ニ滾シタリ王並ニ近臣ノ輩若シ疾ク逃レテ岸ニ上ラザレハ盡ク激浪ノ爲メニ溺死セシナラン

㊇一千四十一年ニ當リデンス英倫ヨリ驅逐セラレテイドワルド、ゼ、コンフェツソルト稱セル撒遜ノ王其位ニ奉ゼラル王一千六十六年ニ死ス其死ニ當リテハロルド王ト爲ルハロルドモ亦撒遜ノ王統ナリ

㊈然レトモハロルドハ撒遜ノ季王ナリ王ノ即位ノ後幾ナクシテ佛ノ諸曼的（ノルマンディー）ノ公ウヰルリャム六萬人ニ將トシテ英倫ヲ侵撃シタリ

㊉王ハロルド撒遜ノ兵ヲ率ヰハスティングスニ於テノルマンノ軍ト戰フ其戰ヒ正ニ酣ナルトキ王敵ノ爲メニ射ラレテ其矢鋏兜ヲ貫キ頭腦ニ入ル乃チ諸曼的ノ公全勝ヲ獲テ英倫ノ王トナレリ

第百四十三章歐羅巴ノルマンノ諸王

㊀ウヰルリャム、ゼ、コンケロル「コンケロル」ハ戰勝ノ人ト云フ義ナリハ治世幾ト二十年ノ後次子ウヰルリャム、ゼ、リュフュス其位ヲ繼ク「リュフュス」ハ紅ト云フ義ナリ但シ其頭髮ノ紅色ナルニ由リテ此名ヲ得タリ

㊁紅王ハ甚タ田獵ヲ好メリ嘗テ王林叢ノ中ニ鹿ヲ獵セシトキワルトル、タイルレルト云フ一貴人矢ヲ放チシガ其矢樹ニ觸レ流レテ王ノ胸ニ中リシヲ以テ王ハ馬ヨリ墜テ死シタリ

㊂是一千百年ノ事ナリ其弟ヘヌリ一位ヲ繼ク王ハ吾名ヲ記シ得ルヲ以テ世ニビウクレルクト稱セラルビウクレルクハ秀テタル學者ノ義ナリ當日ニ在リテハ人民國王ノ博學ナ

ルヲ望マサレバナリ千百三十五年ニ當リテ王ヘヌリー死シフロイスノステフェン其位ヲ簒ヘリ然レトモステフェンハ千百五十四年ニ死シヘヌリー二世其位ヲ繼ク王ハ前ノヘヌリーノ子ナリ

④ ヘヌリー二世カントルブリーノアルチビシップ（僧官）トーマス、ベケットト相爭フコト甚シ時ニナイト（武官ノ爵）ノ四人王ニ喜ハレンコトヲ欲シテカントルブリーニ行キ神壇ノ下ニ於テベケットヲ殺害セリ然レトモ其舉ヤ大ニ王ノ心ヲ煩ハシムル源因トナレリ故ハ羅馬法皇王ヲ劫カスニ宗教破門ノ罰ニ處セントノコトヲ以テセリ

⑤ 王ハ其赤心ヲ表センカ爲メニ巡禮シテベケットノ墓ニ詣テリ是時其墓ノ在ル寺院ノ僧侶舉テ棍ヲ以テ王ヲ亂擊セシニ王ハ敢テ之ニ敵對セサリシカハ其堪忍ノ褒賞トシテ法皇ヨリ王ノ罪ヲ赦シタリ

⑥ 王ノ治世ノ間阿爾蘭ハ英ノ爲メニ征服セラレテ英倫ニ合併シタリ此ヨリ先キ阿爾蘭ハ獨立シタル數王國ノ割據スル所タリ

⑦ 千百八十九年ニ方リテリチャルド、ゼ、ライチンハルテット（「ライチン、ハルテッド」ハ心獅子ニ似タリト云フ義ナリ）英王ノ位ニ即ケリ王ハ勇猛ノ人ニシテ大ニ膂力アリ常ニ好ム所交戰及ヒ殘殺ノ外他事ナシ

ト云フ王巴勒斯旦ニ於テ大ニ名聲ヲ得ルノ後歸路墺地利ノ公ノ爲メニ捕ラレテ二年ノ間獄ニ繫ル

㈧是時英ヨリ鉅萬ノ贖金ヲ出シテリチャルドヲ救フ然レトモ其後幾ナラスシテ王リチャルド諾曼的ニ於テ某城ヲ圍ムトキ弩矢ノ爲メニ射ラレテ死セリ次ノ王ハ則チ王ノ弟ジヨン、ラクランドト異名セラレタル人ナリ但シ「ラクランド」ハ國ヲ失フノ義ナリ

㈨王ジョンノ此名ヲ得ル所以ハ從來英王ノ領セル佛國内ノ土壤ヲ失ヒタレハナリ王ハ此ヨリ先キ在位ノ英王中最モ不善人ニシテ其罪惡少ナカラズ就中王ノ甥ニテ王位ヲ襲ク可キ正統ノ君ナルプレタグ子ノアルシュルヲ殺セル大惡行アリ

㈩英倫ノ貴人ハ王ジョンノ行爲ヲ嫌厭セルヨリルンニーミート郊野ノ名ニ會合シテ王ジョンニ迫リマグナカルタト云フ契文ニ調印セシメタリ是世ニ著名ナル免狀ナリ其月日ハ實ニ千二百十五年六月十九日ナリ顧フニ是レ英國ノ自由ヲ得ル淵源ナリ此ニ由リテ王ジョン及ヒ其後嗣ハ皆其擅制ノ權ヲ剝奪セラル

(十一)千二百十六年ニ當リテ王ジョン死シ位ヲ其子ニ禪レリ時ニ甫メテ九歳ナリ王ハヘヌリ─三世ト稱セラル其治世五

十五年連續セリ但シ王ハ順良ノ人ナリト雖モ管理者タルオ能及ヒ剛毅ノ德ニ乏シカリシト云フ

第百四十四章歐羅巴

英吉利ノ戰爭及ヒ一揆

㊀次ノ王ハイドウハルド一世ナリ王千二百七十二年ニ當リテ即位ス王ハ脚ノ長キコト異常ナルヲ以テ世人號シテ長脛ト云フ然レトモ豪邁ニシテ巴勒斯旦並ニ英ノ内亂ニ於テ勇戰ス

㊁王イドウハルド威爾斯ヲ征服セリ威爾斯ハ從來別ノ一王國タリ王又蘇格蘭ヲ征服センコトヲ謀リタリシガ全ク其功ヲ果サズ有名ナルウイルリャム、ウハルレースト云フ者王ニ抵抗シ且數〻戰ヒテ英ノ軍ヲ破レリ然レトモウハルレース終ニ生擒トナリ鎖鏈ニ縛セラレテ龍動ニ至リ死刑ニ處セラレタリ

㊂ロベルト、ブリュースハ蘇格蘭ノ君位ニ即ク可キヲ主張シ王イドウハルドニ敵シテ復タ戰ヲ起セリ然レトモ老イタル長脛王（イドウハルドヲ云フ）一旦掌握シタル蘇格蘭ヲシテ別ニ一國タラシムルヲ欲セス即チ大軍ヲ徵集シ北ニ向ヒテ進ム時ニ王不虞ノ病ニ罹リテ死セリ

㊃其子イドウハルド二世王位ニ登ル時ニ千三百七年ナリ

○王又十萬ノ軍ヲ將ヰテ蘇格蘭ニ進ムト雖モ王ハ老王長脛ノ如キ勇者ニアラズ故ニ歇ロベルド、ブリュース僅ニ三萬ノ兵ヲ將ヰバンノックボルンニ於テ王ノ軍ニ會戰シテ大ニ勝利ヲ得タリ是ニ由リテ蘇格蘭ハ英ノ管轄ヲ脫セリ王イドウヘルド二世ノ治世殆ト二十年ナリ」王ハ憐ムヘキ愚昧ノ人ナレハ其后王ニ背テ戰ヲ起シ王ヲ捕虜トナスノミナラス后ノ煽動ノ爲メニ王ハ獄中ニテ虐殺セラル

㊄其子イドウヘルド三世年十八ニシテ政權ヲ執ル時ニ千三百二十七年ナリ王在位久シカラズト雖モ其間爲ス所ノ事父君ノ如クナラズ王ハハリドウンヒルニ於テ蘇格多ヲ擊ナ其後佛蘭西ヲ攻擊シタリ其佛ト戰爭ノ事ハ予既ニ佛蘭西史ニ之ヲ語レリ

㊅王ノ太子ハ黑太子ノ異名ヲ得タリ其勇氣ハ父ニ勝リ仁愛且大度ナルコトモ亦父ニ勝ル太子佛王ジヨントＷ戰ヒ勝利ヲ獲テ王ジヨンヲ擒ニセリ然レトモ太子之ヲ以テ敢テ大ナル喜トセズ王ジヨント共ニ龍動ニ入ルトキ太子頭ニ冠セズ其從者ナルカ如ク馬ニ跨リテ大勝ヲ得タル將帥ノ容貌ヲナサス

㊆千三百七十一年ニ方リテ大勇ナル太子死シ父イドウヘルド三世其後僅ニ一年間在世セリ次ノ王リチャルド二世ハ

齡僅ニ十一歳ナリシカ其成長ニ及テ政務ニ怠リ自己ノ快樂ノ外絶エテ他事ニ意ヲ留メザリシト云フ

㈧其治世ノ間一揆ノ亂アリ銕工ウ゛ット、タイレルト呼ハルヽ者其會長トナリ其他ヂャツクストロウ及ヒポプ、カルトルト異名セラレタル者亦一揆ノ長タリ其輩十萬人ノ徒黨ヲ將ヰ龍動ニ進入シテ暴害ヲナスコト甚シ

㈨王リチャルドハウ゛ットタイレルニ會シテ商議センカ爲メニ僅ニ數名ノ貴人ヲ從ヘテ出馬セリ時ニ銕工王ヲ見ルニ其無狀ナルコト平人ニ接スルヨリモ甚シ加之劍ヲ拔テ王ヲ劫シタリ

㈩龍動府尹ウヰルリャム、ウ゛ルウヰルス王ノ傍ニ立チ居タリシカウ゛ットノ傲慢ナルヲ見テ大ニ之ヲ憤リ棍ヲ揚ケテ忽チウ゛ットヲ打チ倒シヽカハ即チ某ノ士劍ヲ拔テ之ヲ殺害セリ

⑪叛黨其剛勇ナル銕工ノ地ニ倒レ殺害ニ遇フヲ見テ忽チ怒ヲ發シ王ノ味方ニ攻擊セントス然レトモ王リチャルド其黨ニ會センカ爲メニ大胆ニ馬ニ跨リ儼然タル威容ニテ手ヲ舞セリ

⑫王呼テ曰ク汝等會長ノ死ノ爲ニ動搖スルコト勿レ」嗚呼吾ハ汝ノ王タリ吾ハウ゛ットタイレルヨリ更ニ好主長タ

ルヘシ」ト叛黨王ノ言及ヒ其容貌ニ感シテ怨ヲ服從シウヲツト、タイレルノ讐ヲ復セス

第百四十五章歐羅巴

ランカストルノ王統

㊀ 王リチャルド上ノ如ク一揆ノ黨ニ約セシト雖モ鍊工ハ善良ノ管理者タルヘク而シテ王ハ其才能鍊工ノ半ニ及ハス故ニ其臣民漸ク不平ヲ懷キシカハ王ノ從兄弟タルランカストルノ公自立シテ王タラントノ企謀ヲ起シ遂ニ王ノ位ヲ簒フ而シテ王ハポンテフラクト城ニ於テ獄ニ繫レシカ其後殺害ニ遇ヒシヤ或ハ餓死シタリシヤ未タ判然ナラスランカストルノ公政權ヲ執リテヘヌリー四世ト稱ス時ニ千四百年ナリ」

㊁ 是時ニ當リテ王ニ叛キテ一揆ノ二黨派起レリ一ハノルシュムベルランドノ侯之カ長トナリ一ハヨルクノアルチビショップ僧官之カ長トナリ當時ハビショップ僧官屢〻甲冑ヲ被リ兵士トナルヲ以テナリ王ヘヌリー此等ノ一揆ヲ征服シテ數年間平穩ニ之ヲ管轄ス

㊂ 王ノ在世ノ間ハ其長子尙幼ニシテ粗暴且放蕩ナリシカ老王死シテ後ハ其性質全ク一變シ今ハ放蕩ヲ改メ專ラ心ヲ政務ニ委子即位シテヘヌリー五世トナル時ニ千四百十三年ナリ其後二年ヲ經テ佛蘭西ヲ侵伐セリ

㊃ 王彼ノ高名ナルアジンコールトノ交戰ニ於テ佛軍ヲ敗リシ事ノ如何ト其後佛ノ全國ニ君臨セル事ノ如何トハ予既ニ佛蘭西史中ニ之ヲ語レリ王其戰勝ノ半頃齡三十四ニシテ死ス時ニ千四百二十二年ナリ

㊄ 次ノ王ヘヌリー六世ハ僅ニ九月ヲ閲タル孩兒ニシテ未タ乳母ノ懷ヲ免レサルニ英佛二國ノ重キ王冠ヲ其頭ニ戴カシメ都會巴勒ニ於テ即位ノ禮ヲ行ヘリ其後幾ナラスシテ王佛ノ王位ヲ失フト雖モ猶英王ノ位ニ在ルヲ以テ終ニ之カ爲メニ死ヲ招ケリ

㊅ 王成長ノ後ハ温順恬靜且質樸ノ人トナレリ故ニ若シ平人タレハ尊敬ヲ得テ世ヲ渡ルニ足ル可シト雖モ王位ニ在リテハ賤ムヘキ人ナリ」其后ノ剛氣ハ遙ニ王ニ勝リテ王ハ幼兒ノ如ク其箝制スル所トナレリ

㊆ 此王ノ治世ノ間薔薇ノ戰爭起レリランカストルノ公ハ道ニ逆ヒテリチャルド二世ノ王位ヲ簒フ然レトモ公及ヒ其子ハ戰ヲ好メル人ニシテ武威ヲ以テ其王位ヲ守リシカハ敢テ抵抗スル者ナクシテ其世ヲ治メタリ

㊇ 此ニ反シテヘヌリー六世ハ柔弱不斷ノ人ニシテ其父ノ禪レル王位ヲ守ル爲メニ戰フ可キ氣力ナシ是ニ由リテリチャルド二世ノ後嗣タルモノ其王業ヲ恢復ス可キ時ヲ得タ

リトナセリ其血統ノ最モ近キ者ハ則チヨルクノ公ナリ

⑨千四百五十五年ニ當リテヨルクノ公戰爭ヲ起セリ是時若シ王ヲ助クル者アラザレハ公ハ直ニ王位ヲ得ルナルヘシ然レトモ王ノ后マルガレット及ヒ數多ノ貴人王ノ爲メニ兵ヲ與シ其他ノ貴人ハ公ニ左袒セリ

⑩ヨルキスツ(即チヨルク公ノ黨)ハ皆其帽或ハ胸ニ白薔薇ヲ標シランカストリヱンス(即チ王ノ黨)ハ紅薔薇ヲ標セリ而シテ兩黨劍ヲ交ヘテ相會戰スルトキハ一ハ白薔薇ヲ表シ一ハ紅薔薇ヲ表シタリ

⑪此ノ如ク英倫ノ人民ハ二黨派ニ別ル其標ハ唯〻紅白ノ記號ノ異ナルノミニテ各相窺覦シ互ニ刺殺スヘキ備ヲナセリ

第百四十六章歐羅巴

薔薇ノ合戰

㊀薔薇ノ戰爭ハ三十年間止マズ其間或ハ白薔薇勝ヲ得ルコトアリ或ハ紅薔薇勝ヲ得ルコトアリ其戰爭中ノ最モ有名ナル將帥ハウハルウキツクノ侯ナリ即チ白薔薇ノ兵トウトンニ於テ勝利ヲ得シハ重ニ此侯ノ在ルヲ以テナリ此役ニ紅薔薇ノ兵死スル者三萬六千人アリ爾後年少ナルヨルクノ公イードウハルド四世ノ名ヲ以テ王タル旨ヲ布告セリ

㊁是千四百六十一年ノ事ナリ然レトモ其後久シカラスシテウハルウヰツクノ侯王イドウハルドト相争ヒ白薔薇ノ黨ヲ棄テヽヘヌリー六世ヲ獄ヨリ出シ再ヒ王位ニ即カシメ王イドウハルドヲシテ佛蘭西ニ遁逃セシメタリ

㊂ウハルウヰツクノ侯既ニ王ヲ廢スト雖モ後再ヒ位ニ即カシメ大ニ其威勢ヲ顯シヽヲ以テ世ニ王ヲ造ル人トノ名ヲ得タリ然レトモ侯終ニ其黨ト戰ヒ奮擊シテ死セリ爾後白薔薇ノ黨再ヒ勢ヲ振フ

㊃千四百六十四年ニ當リヘヌリー六世及ヒ其子殺害セラレテ既ニ王位ヲ爭フ者ナキヲ以テイドウハルド四世英倫ノ王トナレリ王ハ前ニ位ヲ得ンカ為メニ勇戰スト雖モ今既ニ其位ニ定メラレタルヲ以テ政務ヲ怠リ游樂ニ耽リタリ

㊄王モ亦殘忍ノ人ナリ嘗テ其弟ヲ殺サント決セシトキ王其弟ヲシテ欲スル所ノ刑ヲ選ハシメシカハ弟常ニ酒ヲ愛嗜セシカ故ニ酒ノ大桶中ニ溺死センコトヲ請ヘリ

㊅千四百八十三年ニ方リテ王イドウハルド四世死ス王幼少ナル二子ヲ遺セリ其長子位ヲ嗣キテイドウハルド五世トナル然レトモ憐ムヘシ二子ハ不善ナル叔父アリテ其攝政タリ是レグローセストルノ公リチヤルド、クルークバツクト云フ人ナリ史家多クハ云フ公ハ駝背ニシテ其一手ハ衰ヘ顏色ハ

醜クシテ其容貌怖ルヘシト斯ル怖ルヘキ人自ラ王タラント決心セリ

㈦公爵ニ幼弱ナル王イドウヘルド及ヒ其弟ヲ誘ヒテ龍動ノ塔内ニ止宿セシム其兄弟相共ニ肱ヲ枕トシテ熟睡セシトキ某ノ逆賊來リテ床上ノ長枕ヲ以テ兄弟ヲ壓殺シ而シテ其屍ヲ樓梯ノ下ニ埋メタリ是ニ由リテ暴虐ナルリチャルド、クルークバック英倫ノ王トナレリ」公ハ王位ヲ得シカ為メニ勝ゲテ數フベカラサル罪惡ヲ犯シヽカ故ニ久シク其王位ニ居ルコト能ハス

㈧ヘヌリー六世ノ後嗣ニシテ存スル所ノモノハ年少ナルリチモンドノ侯ヘヌリー、チユドルノミ佛ヘヌリーノ為メニリチャルド、クルークバックヲ扼シテ戰フヘキ法術ヲ授ケシカハヘヌリーチユドルハ英倫ニ到着シボスウォルスニ戰ヒテ勝利ヲ得タリ

㈨リチモンドノ兵士戰場ノ累々タル死骸ヲ撿セシトキ頭ニ金冠ヲ戴キタル駝背ノリチャルドヲ査出セリ乃チ其冠ヲ取リテ之ヲリチモンド侯ノ頭ニ戴カシメ立テヽ王ヘヌリー七世トナセリ

㈩王ヘヌリー新ニ位ニ即キイドウヘルド四世ノ女ト婚ス其婚配ノ時壻婦各〻紅白ノ薔薇ヲ交ヘテ之ヲ帯ヒタリ是レ

第百四十七章歐羅巴 チュドル家ノ治世

(一) ヘヌリー七世(前ノリチモンド侯)ノ治世ノ始ハ千四百八十五年ナリ王ハ狡猾ノ人ニシテ其臣民ノ安樂ヲ圖ルヨリモ己ノ權勢及ヒ富有ニ意ヲ注ケリ然レトモ其私利ノ爲メニ外患內亂ノ虞ナク無事ニ統理センコトヲ欲セリ

(二) 其治世ノ間二人ノ叛者英倫ニ出テ各〻託言シテ曰ク吾ハヘヌリー七世ヨリモ王位ニ登ルヘキ當然ノ權利ヲ有セリト但シ其一人ハラムベルド、シム子ルトテ麵包師ノ子ナリシ

カ自ラヘヌリー四世ノ姪ナリト稱シ又一人ハフランドルスノ屠夫ノ子ニシテペルキン、ウヘルペックト云フモノナリシカ亦自ラ託言シテリチャルド、クルークバックガ塔內ニ於テ壓殺セントシタル彼ノ幼君ノ一人ナリト云フ

(三) 英倫ノ貴族及ヒナイトハ多クハ此等ノ叛人ノ爲メニ誘導セラル然レトモ其賊終ニ捕縛ニ就キテペルキン、ウヘルペックハ絞罪ニ處セラレラムベルド、シム子ルハ王ノ庖廚ニ於テ碗碟ノ浣洗ニ役使セラル

(四) 千五百九年ニ當リテヘヌリー七世死ス王ハ大ニ金ヲ貪愛シテ己ノ手ニ入リシ所ノ金ハ盡ク囊中ニ納メシカ故ニ王

死シテ後其宮殿ニ於テ發出スル金額凡ソ一千五百萬弗ニ至リシト云フ

㊄ 其子ヘヌリー八世ハ治世ノ始齢十八歳ナリ王人ト爲リ傲慢猛烈ニシテ所業殘酷ナリ王怒ヲ發スル毎ニ臣下タルモノ必ス其首ヲ刎ヲラル丶ニ至ル又此殘酷ノ王ハ后ヲ娶ルコト六回ニシテ其后ノ中一人ハ無事ニ天命ヲ終リ二人ハ王ヲ棄テヽ去リ又二人ハ刎首セラレ一人ハ王ノ死後ニ尚生存シタリ

㊅ ヘヌリー八世ノ治世ハ英倫ノ革命ノ故ヲ以テ最モ著名ナリ所謂革命トハ耶蘇舊教ヲ新教ニ變更スルヲ云フ此時ニ至マテ羅馬法皇ハ其權威ヲ英倫ニ及ス可キコトヲ主張セリ」

㊆ 然レトモヘヌリー八世自ラ其權ヲ專ニシテ若シ臣下ノ者己ノ奉スル宗門ヲ捨テヽ他教ヲ信スルモノアラバ何人ヲ論セズ或ハ刎首シ或ハ燒殺セリ」王我カ宗門ノ品格ヲ誇リ因リテ自ラ宗教ノ守護者ト號シタリ

㊇ 暴王齢五十六歳ニシテ死ス時ニ千五百四十七年ナリ王ノ末後ノ行爲ニ無辜ノシュルレーノ侯ヲ刎首セル事アリ王斯ル無辜ノ者ヲ殺シヽヲ以テ忽チ天譴ヲ蒙レリ

㊈ 其子イドウ゛ルド六世父ノ業ヲ襲ク時ニ齢九歳或ハ十歳ナリシト云フ王ハ容貌美麗且成童ノ後期ス可キ兒ナリシ

カ齢僅ニ十六歳ニシテ死ス其姊マリー位ヲ嗣ク時ニ千五百五十三年ナリ

㊉ 女王ハ流血ト云フ名ヲ得タリ其故ハ女王自ラ耶蘇舊教ヲ奉セシヲ以テ羅馬教皇ノ威權ヲ蔑視スルモノハ生ナカラ之ヲ焚殺スレハナリビショップ（僧官）及ヒ大臣ノ天神ヲ信シタル者モ亦多クハ焚殺セラル

（十一） 但シ其人々ハ火中ニ投セラレシト雖モ流血女王ヨリモ更ニ幸福ナルヘシ何ナレハ其火ハ女王ノ心ヲ焚燒スルカ如ク女王ハ治世僅ニ五年ノ後人皆已ヲ憎ムヲ知リ煩悶痛苦シテ死セリ

第百四十八章 歐羅巴

イリサベスノ治世

㊀ 流血女王ノ妹有名ナルイリサベスハ千五百五十八年ニ即位ス此女王ハ耶蘇新教ヲ奉セルカ故ニ宗教ノ為メニ人ヲ屠ルノ舉再ヒアラザリシト云フ

㊁ イリサベスハ實ニ大女王ニシテ英倫ノ尊敬ヲ受ケシハ未タ曾テ此女王ノ在位ノ間ニ過キタルハナシ女王モ亦常ニ容姿ノ美ナルヲ自負セリ然レトモ婦人ノ有スヘキ德ヲ有セズ

㊂ 王公及ヒ丈夫タルモノイリサベスト婚姻セント欲スル

者多シト雖モ女王ハ尚獨居シテ躬ヲ其王國ノ女君タランコトヲ好メリ而シテ其宮女ニ嫁スルモノ有レハ女王輒チ怒ヲ發スト云フ

㊃ 西班牙王ヒリップ二世女王ノ壻タランコトヲ請フト雖モ女王之ヲ肯ンセサリシヲ以テ王ヒリップ英倫ヲ攻撃セントテインウヰンシブル、アルマダ西班牙史中ニ見ユヲ艤送シタリ然レトモ其艦隊ハ予カ既ニ語リシ如ク多クハ颶風ノ為メニ覆沒シテ存スル所ノモノハ英ノ艦隊ノ為メニ撃チ滅サル

㊄ 女王イリサベスノ行為ハ其老父ハルリーノ為シヽカ如ク頗ル惡シ嘗テ窈窕タル蘇格蘭ノ女主マリー保護ヲ請ハン

カ為メニ逃レテ英倫ニ來ルトキ女王イリサベス其女主ヲ捕ヘテ十八年間幽囚セシメ而シテ其倦衰シタル後糺彈シテ死ニ處セリ

㊅ 其死ニ處セラルヽノ前イリサベスハ女主ヲ死ニ處スヘク心ヲ決セシト雖モ斯ル惡事ヲ犯スヲ厭ヒ務メテ獄吏ニ說諭シテ之ヲ殺サシメントス然レトモ獄吏固ク之ヲ拒ミシヲ以テイリサベス止ムコトヲ得ス死ヲ命ズル狀ニ押印ス因テマリーハ刎首セラル

㊆ 女王イリサベス高年ニ及ヒ鏡ニ對シテ其白髮皺面ノ衰体ヲ見ルニ堪ヘズ故ニ宮女ニ命シテ常ニ己ノ粧飾ヲ為サシ

ム宮女ハ其顏ニ治粧スルヲ以テ一課ノ務トナスニ至ル但シ女王ハ其臉ヲシテ桃花色ノ觀ナラシム可ク其粧者ニ命スルコト屢〻ナリ

(八) 然レトモ宮女ハ女王ヲ欺キ其臉ヲ紅色ニ染メスシテ全ク其鼻ヲ紅色ニシテ大女王ヲ朝ニ出坐セシムルコトアリ

(九) 朝臣ハ女王ノ齡祖母トスルニ足ルヘキニ數〻之ヲ愚弄シテ陛下ヲ戀愛セリト託言セリ就中イッセッキスノ侯ハ女王ニ佞シテ寵愛ヲ專ニセリ然レトモ侯終ニ女王ヲ凌辱スルニ因リテ刎首ニ處セラル

(十) イッセッキスノ侯死去ノ後女王痛ク己ノ殘忍ヲ悔ユ女王今ハ歳甚タ老イテ誰モ己ヲ愛スルモノナク己モ亦愛スヘキ人ナキヲ知リテ衰老極リ頭ヲ低レテ終ニ死セリ時ニ齡七十歳ナリ

(十一) 僧官及ヒ賢才博學ノ朝臣輩來リテ女王ノ屍ヲ見皆泫然トシテ痛ク悲哀セリ蓋シ此大女王ノ英國ニ臨御セシガ如キ太平ハ後再ヒ有ルヘカラスト思念スレハナリ實ニ其後位ニ登リシ王ノ中今既ニ昇進シタル彼白髮女王ノ如ク善ク管理ヲナシタルモノナシ

第百四十九章　歐羅巴

スチュアルト家ノ登位

一 蘇格蘭ノ王ジェームス、スチュアルトハ女王イリサベスノ位ヲ襲ク其治世ノ始ハ千六百三年ナリジェームスハ初メ蘇格蘭ヲ統御セシ君ニシテ其第六世ニ當ル然レトモ英倫ニテハ第一世ジェームスナリ王ノ位ヲ踐ム所以ハヘヌリー七世ノ女マルガレットノ孫ナルニ由リテナリ其母ハ則チイリサベスノ爲メニ刎首セラレタル蘇格蘭ノ女主マリーナリ

二 今ハ大貌列顛全島（英蘇ニ國ヲ合セテ云フ）一政府ノ下ニ歸ス是ニ由リテ英蘇數百年間ノ戰爭止ム然レトモ二國ノ民兄弟ノ如ク相親ムニ至ルマテハ其間久シカリシト云フ

三 王ジェームスハ國王ヨリハ學校ノ教師ニ適應シタル人ナリ王ハ博ク諸學ニ通シテ數部ノ書ヲ著セリ又好テ希伯來希臘及ヒ羅甸ノ詞ヲ語リシ故ニ其朝臣ハ之ヲ解スル能ハサルコト屢〻之アリ

四 王ジェームスハ常ニ自ラ其才ヲ以テソロモンニ比セリ然レトモ世人ハ唯〻王ヲ以テ狡猾ノオタルニ過キストナス是レ王ノ火藥ノ隱謀ヲ查出セシヲ以テ知ルヘシ「火藥ノ隱謀トハ即チ耶蘇舊教ノ徒議事堂ニ火藥ヲ埋メ王貴族及ヒ其他ノ議員此ニ會スルトキ破裂セシメントノ謀ヲ云フナリ若シ其謀成ルヲ得ハ英國政府ハ全ク滅亡シタリシナラン」

五 然レトモ王ハ其隱謀ヲ察知シ直ニ人民ヲシテ之ヲ探ラ

シムレハ地窖ニ於テゴイ、フヾウクスト云フ者ヲ捕ヘタリ但シ其地窖ハ火藥三十六桶ヲ伏セシ所ナリフヾウクスハ其反黨八十人ノ名ヲ王ニ告クルト雖モ遂ニ其身ハ黨徒ト共ニ盡ク死ニ處セラレタリ

㊅ジェームスハ王者ニ稀ナル良性質ヲ具セリ即チ戰爭ヲ嫌忌スル是ナリ故ニ其治世ハ平穩ナリ千六百二十五年ニ方リテ王死シ位ヲ其子チャーレス一世ニ讓ル

㊆王ハ父ジェームス一世ヨリモ更ニ困難ナル治世ニ逢フ即チ當時英倫ニプリタンス（新宗派ノ名）ノ徒許多アリテナロルナ、チフ、イングランド（初メヘヌリー八世ノ宗門改革ノ時創立シタル寺院ノ總稱）ビショップ（僧官）ニ抵抗スルノミナラス舊教廢止ノ時猶棄絕セサル所ノ諸式ヲ否ミタリ

㊇其徒以爲ク王ノ威權度ニ過キタリ故ニ今後王ハ唯々己ノ遊樂榮譽ノ爲メノミヲ謀ラスシテ宜シク人民ノ安全ヲ圖ルベシト抗言セリ王ハ亦之ニ反シテ人民ハ唯々國王ノ命ニ從フ可ク天ノ之ヲ造レルモノナリト考ヘシ如ク見エタリ

㊈王治世ノ始ピュリタンスヲ罰シテ其僧ノ說教且人民ノ其教會ニ伴フヲ禁セリ縱令王ハ流血女王マリーノ如ク敢テ其宗徒ヲ焚殺セサリシト雖モ宗徒ハ痛ク之ヲ苦メリ

(十)宗徒多クハ大西洋ヲ渡リ新英倫ニ於テ宗門ノ自由ヲ求ムジョン、ハンプデンジョンピム及ヒヲライフル、クロムウェルモ亦將ニ亞米利加ニ渡來セントセリ然レトモ王之ヲ拘留セルヲ以テ爾後彼三人ハ遂ニ王ノ強敵トナレリ

第百五十章歐羅巴

王ト巴里門ノ戰爭

(一)チャーレス一世ノ治世ニ至ルマデ英國巴里門ハ曾テ王意ヲ拒ムヲ得サリシカ今王ト巴里門ノ間ニ爭論絶エス而シテ王若シ一度國會ヲ散セシムルトキハ次ノ會ニハ必ス命固執シテ聽從セズ

(二)此ノ如ク其爭論烈シクシテ唯々言語ノミニテハ決シ難ク終ニ兩黨各々干戈ヲ交フルニ至レリ即チ王ハ英蘇ノ貴族富者及ヒイングリシ、チョルチノ諸僧徒ノ援ヲ得タリ其他活潑粗暴ノ少壯ナル者皆王ニ左袒セリ其チャーレスノ黨派ハカフハリールスノ名ヲ得タリ

(三)貴人及ヒ富者ノ某ハ巴里門ニ黨與セリ其黨派ハ多クハ工人商賈及ヒ平民ナリ其頭髮ヲ剪ル甚タ短キヲ以テ之ヲ呼テ圓顱ト號シタリカフハリールスノ髮ハ長クシテ鬢邊ニ垂レ衣服ハ美麗ニ粧飾シ且酒ヲ飲ミ詩歌ヲ吟シ又欣然トシテ馬ニ騎リ戰場ヲ游覧セリ

㊃圓顱ハ頭ニ尖帽ヲ戴キ身ニ黑衣ヲ着シ聖詩ヲ唱フルノ外他ノ詩歌ヲ吟セス餘暇アルトキハ拜禮シ或ハ説教ヲ聞テ時間ヲ移セリ此黨ハ皆嚴肅且堅心ノ人ナリ故ニ此輩一度王位ヲ廢セント欲セバ英ノ王國ハ縱令戰爭ノ爲メニ瓦解ストモ其意ヲ遂ルコト必セリ

㊄千六百四十二年ニ當リテ圓顱トカフハリールストノ亂起リ兩黨數〻相戰ヒテ死スル者頗ル多シ

㊅此戰爭起ルノ後幾ナラスシテヲイフルクロムウヱル巴里門ノ黨ニ入リ有名ナル酋長トナレリクロムウヱルハ專ラ宗門及ヒ人民安全ノ爲メニ戰フ可クロ實ヲ爲スト雖モ

實ハ榮譽ヲ好メル人ニシテ王ヲ廢スルノ後ハ自ラ其位ニ即ント欲セリ

㊆クロムウヱル數〻戰ヒテ勝利ヲ獲ルニ從ヒ大ニ勢威ヲ得テ終ニ誰モ其威勢ト名聲ニハ及フモノナシ千六百四十五年ネースビーノ血戰ニテクロムウヱル終ニ王ノ軍ヲ擊敗リ爾後王チャーレス自ラ蘇格多（蘇格蘭ノ人民）ニ降リシカハ蘇格多王ヲ以テ巴里門ノ黨ニ授ケタリ

㊇巴里門ハ王ヲ謀叛人ナリトシテ糺問ニ出セリ其裁判所ハ百三十三人合シテ之カ審判官トナリ竟ニ王ノ罪狀ヲ公告シテ刎首ノ刑ヲ命セリ是時英倫ノ人民ハ之ヲ聞テ皆震慄セ

ザル者ナシ
㊈何トナレハ國王ノ謀叛ノ罪ニ死スルトハ大事件ナルヲ以テナリ實ニ國王ノ死スルモノ少カラスト雖モ皆隱謀ニ陷ルナリ然ルニ王チャーレスノ如キハ公ニ糺斷セラレテ罪ニ處セラル酷ト謂フヘシ

㊉千六百四十九年正月十三日巴里門ノ黨王ヲ宮殿ヨリ出シテ斬首架ニ到ラシムルトキ其身ニ着スルニ黒衣ヲ以テセリ斬首架ノ中央ニ一ノ木頭直立シ其側ニ劊手斧ヲ持シ黒キ假面ニテ其顔ヲ蓋ヒ立チ居タリ

（十一）クロムウェルノ兵ハ鐵甲ヲ被テ斬首架ヲ圍メリ然レトモ

王ハ恰モ即位ノ禮ヲ行フガ如ク自若トシテ歩ヲ進メ且言ヲク汝等汚レタル予カ冠ヲ取ル予ハ汚レザル冠ヲ得ンカ為メニ去ルト

（十二）王チャーレス跪テ拜禮スルノ後斬首架ノ周圍ニ居タル人民ヲ一瞥シテ大ニ悲哀セリ何トナレハ其君長ノ血ニテ穢ル可キ斯ル國土ニハ必ス恐怖スヘキ天譴ノ來ル可キヲ知レバナリ

（十三）王ハ歒ノ己ヲ殺サント決セルヲ知リテ心靜カニ頭ヲ木頭ノ上ニ置キシカハ劊手斧ヲ揚ケ一撃シテ王ノ首ヲ刎子タリ斯クテ劊手其首ヲ取リテ之ヲ擧ケ嗚呼是レ謀叛人ノ首ナ

リト叫ヒタリ觀者之ヲ某ノ謀叛人ノ首ナリト疑ヒシカ實ニ王ノ首ナルコトヲ知リテ皆戰慄セザル者ナシ

第百五十一章 歐羅巴

クロムウェル政ヲ攝ス並ニ王政興復

㊀今英國王空位ナリ」王チャーレスハ太子ヲ遺シヽカ此太子若シ龍動ニ在リシナハ必ス父ノ如ク同ク死ニ處セラレシナランニ太子戰ヒ敗レテ後止ムコトヲ得ス遁逃シ一時敵ノ迫ル甚タ急ナリシカバ槲樹ノ茂枝ニ攀ヂ登リテ免カルヽヲ得タリ

㊁當時政府ハ共和ト號シテ下院ノ外王モナク貴族モナク又僧官モナシ凡テ政權ハヲライノル、クロムウェル陸軍ノ長タルヲ以テ之ヲ掌握セリ

㊂巴里門固ククロムウェルヲ駁セシトキクロムウェル怒テ兵三百ヲ引卒シテ議事堂ニ入リ國會ノ人々ニ言テ曰ク公等謀叛人ノ黨ナリ此院ヨリ出テ去ル可シト其散會ノ後クロムウェル更ニ國會ヲ爲ス其新徵ノ中主長タル者ハプレース、ゴット、ベールボーンスト稱セル人ナリ其名ノ呼音佳ナルヲ以テ全院之ヲ以テ各其名トナセリ

㊃然レトモ其國會ハ永續セズ五閱月ノ末ニ及ヒ散會シテ各〻其職ニ就キ而シテ政權ハクロムウェル自ラ掌握センコト

ヲ請ヘリ是クロムウェルノ欲シタル所ナリ

㈤千六百五十四年ニ當リテクロムウェルハ英國共和政事ノ守護者ト公告セラレテ四年間其大職ヲ保ツクロムウェルハ英敏勇武ニシテ内外人民ノ威服尊敬ヲ得タリ

㈥然レトモクロムウェルハ安穩ニ其世ヲ度ラザリシト云フ即チ敵ノ已ヲ刺サンコトヲ恐レテ常ニ衣服ノ下ニ甲鎧ヲ着シ且謀叛人ノ厠ニ潜リ或ハ臥床ノ下ニ伏センコトヲ思ヒ煩フ故ニ絶エテ安眠スルコトヲ得ス

㈦クロムウェル終ニ慢性熱ヲ病テ死ス時ニ千六百五十八年齢五十九歳ナリ而シテ其子リチャルド守護者ノ職ヲ因襲

スト雖モ王國ヲ服從セシムルニ足ル可キ器量ヲ具セズ

㈧リチャード、クロムウェル其職ヲ辭セリ爾後政府未タ確定セザリシカハ人民ハ舊ニ依リテ世襲ノ君ヲ立ツルニアラサレハ英國再ヒ安全ナラザル可シトノ思ヲ起セリ

㈨ヲライフル、クロムウェルノ死後最モ兵權ヲ有セシモノハジェネラルジョールジ、モンクナリモンクハチャーレス一世ノ長子ヲ英倫ニ歸ス可ク誘引シ且約スルニ王位ニ即クノコトハ兵力ニ因リテ之ヲ助クヘキコトヲ以テセリ

㈩太子ハ放逐セラレテ歐羅巴中各處ニ落魄シ大ニ貧困ニ至リシカハ其言ヲ聞キ欣然トシテ英國ニ歸ルノ機會ヲ失ハ

ズ終ニ龍動ニ入ル人民ハ其新王ヲ見テ恰モ福運ニ遭ヒタル思ヲナセリ太子チャーレス二世ノ名ヲ以テ王位ニ登ル時ニ千六百六十年ナリ

㈩王ノ父ヲ廢シ且刎首スルコトヲ贊成セシ所ノ人多クハ絞罪ニ處セラルヲヲイフル、クロムウェルノ屍ハ墓所ヨリ掘リ出シテ之ヲ絞架ニ懸ケ然ル後其下ニ理メタリ夫レ罪惡ヲ罰スル此ノ如シト雖モ若シ其嚴肅且剛氣ノ管理者クロムウェルナ云フ再生セシナラハ英倫ノ爲メニハ可ナルベシ

第百五十二章歐羅巴

千六百八十八年ノ革命及ヒ其他ノ事情

㈠チャーレス二世ハ放逐セラレシ間野鄙ニ時日ヲ度ル故ニ今王位ニ在ルモ其慣習善ニ遷ラス晝夜酒ヲ飲ミ且放肆ナル快樂ハ爲サヽル所ナシ

㈡千六百六十五年ニ當リ疫病大ニ龍動ニ流行シテ死スル者幾ト十萬人ナリ次年又大火アリテ龍動府過半炎燒セリ然レトモ王チャーレスハ此等ノ災害ヲ以テ少シモ意トセス

㈢王ハ濫ニ不善人ヲ登用シテ人民ヲ其管理ノ下ニ苦シマシメタリ當日ニ在テハ德行且廉直ヨリハ不善ナル者ハ更ニ安寧ナリ德行ト宗門トハ人之ヲ見ルコト猶謀叛ノ如シ斯ノ毫モ善事ヲナサヽル王チャーレス二世ハ酩酊シテ且暴食ス

ル半ニ死セリ時ニ千六百八十五年ナリ其弟位ヲ襲キジェームス二世ト稱ス」

㊃王ジェームスハ耶蘇舊教ヲ奉セリ故ニ其即位ノ後直ニ大貌列顛ヲシテ再ヒ羅馬法皇ノ統下ニ歸セシムルノ術如何トノミ思慮セリ是ヲ以テ臣民ノ憎惡ヲ受クルコト甚シ

㊄王ノ在位未タ三年ニ過キサルニ英倫ノ某ノ大人ハ王ヲ廢セント決心シテヲレンジノ侯ウヰルリヤムヲ和蘭ヨリ誘ヒ來リ英王トナサントス

㊅ヲレンジ侯ハジェームス二世ノ女壻ノ外ハ英王ノ位ニ即クヘキ權利ヲ有セス然レトモ侯ノ英倫ニ來着スルニ及テ朝臣等怨チ王ヲ棄テ去リテ侯ニ服從セントス故ニ侯及ヒ夫人共ニ位ニ登リ王ウヰルリヤム女王マリート爲ル時ニ千六百八十九年ナリ王ジェームスハ佛蘭西ニ逃ル王ニ左袒セル黨與ノ某ハ再ヒ王ヲ位ニ復サント謀リシカトモ事終ニ成ラス

㊆今語リシ政府ノ事ハ概シテ千六百八十八年ノ革命ニシテ世ニ著名ナリ其典例ハ王ノ權ヲ限制スルカ爲メニ當今猶用ヰラル丶モノアリ

㊇王ウヰルリヤムハ甚タ田獵ヲ愛セシカ竟ニ之カ爲メニ早ク世ヲ終レリ嘗テ王馬ヨリ落チ幾ト一月ヲ經テ死ス時ニ千七百二年ナリ其后マリーハ王ヨリ二三年前ニ死シタリ

(九) マリーノ外彼ノ放逐セラレタルジェームスノ女ニアンナト云フモノアリテ今王位ニ登レリ此女王ノ治世ハ英倫ノ爲メニ著明ナリ即チ有名ナルマルボローノ公佛ノ軍ヲ伐テ大ニ勝利ヲ得タリト雖モ其重ナル榮譽トナスヘキハ當日ノ碩學名家ニ在リ

(十) 女王アンヲ治世十二年齡四十九歳ニシテ死セリ時ニ千七百十四年ナリ女王ハスチュアルト家ノ族タル英王ノ末王ナリスチュアルト家ハ蓋シ千六百三年ニ當リ始テ英倫ヲ統治セリ

第百五十三章 歐羅巴

ハノーフル家ノ諸王

(一) 前ニ放逐セラレシ老王ジェームスハ千七百一年佛蘭西ニ於テ死セリ王ノ一子ヲ遺ス時ニ佛王ローイス十四世ハ其遺子ヲ以テ英王ト公告スト雖モ英ノ人民ハ之ヲ託言者ナリト云テ耶蘇舊教ノ王ヲ奉戴スルヲ肯ンセス新教ニシテ其王位ヲ襲クヘキ血統ノ最モ近キモノハ日耳曼中ノ一國君ハノーフルノ選皇伯ニシテ其母ハ則チジェームス一世ノ孫女ナリ選皇ノ君ハ今齡五十五歳ニ幾シ

(二) 其齡老イタル日耳曼ノ選皇ノ君ハジョールジ一世ノ名ヲ以テ英王ト公告セラル是レハノーフル家ノ始王ナリ其後

亂ハ今猶(千八百六十年)王位ヲ保テリ」王ジョールジ一世ハ英語ヲ以テ語ルコトヲ為シ得ズ且其統治スヘキ王國ノ事ハ一モ之ヲ知ラズ

㊂王ハ深ク故國ヲ愛セシヲ以テ多クハハノーフルニ於テ其日ヲ度リ英王ノ宮殿ハ之ヲ我カ住居トセサルカ如シ王千七百二十七年ニ方リテ死ス其子ジョールジ二世位ヲ嗣ク王モ亦日耳曼ノ產ナリ

㊃ジョールジ二世ノ統御ノ間西班牙及ヒ佛蘭西ト戰フ是時王自ラ其軍ヲ指揮ス但シデッチンジェンノ戰ニハ英ノ軍勝利ヲ得ルト雖モフォンテニーノ戰ニハ敗走セリ

㊄千七百四十五年ニ當リテジェームス二世ノ孫其祖先ノ王位ヲ復サンコトヲ企謀シ乃チ蘇格蘭ニ到リ其山人山地ノ住民ノ小軍ヲ將ヰテ英倫ニ進ムト雖モ終ニ擊敗ラレテ遁逃ス可ク迫マラレタリ且其黨ハ或ハ刎首セラレ或ハ絞罪ニ處セラル

㊅千七百五十五年ニ方リ又英佛二國ノ間ニ戰爭起リテ二國ノ兵亞米利加ニ於テ激戰シタリ是時英ヨリケベック及ヒ加拿他ノ市府ヲ攻取レリ其後幾ナクシテジョールジ二世死ス時ニ歲七十七ナリ

㊆千七百六十年(即チ王ノ孫ジョールジ三世治世ノ始)ハ

王ノ齡幾ト二十一歳ナリ王ノ位ニ即クヤ世事靜謐ニシテ物議ナク實ニ前代未曾有ノ祚踐ナリ然レトモ王ハ數〻禍難ニ遇ヘリ故ニ若シ即位ノ日ニ死セシナラハ王ノ爲メニ甚タ幸福ナルベシ

㈧ジョールジ三世ハ才智尋常ノ人ト雖モ其行ハ尋常ノ王者ニ勝ルコト遠シ而シテ其性質ノ甚タ頑固ナルヲ以テ常ニ己ニ優リタル賢者ノ諫言ヲ容レサルコト數〻ナリ王若シ其諫ヲ容ルヽアラバ恐ラクハ其治世ニ當リテ亞米利加ノ擾亂起ラサルベシ

㈨其大事件ノ話ハ後ニ之ヲ語ルヘシ亞米利加ノ損失ト其

他許多ノ難事トハ實ニジョールジ三世ノ發狂スル源因トナレリ其最初ノ發狂ハ千七百八十八年ニ始リテ數月ノ間快復セサリシナリ

㈩千八百四年ニ當リテ王再ヒ發狂シ後又千八百十年ニ發狂セリ此ヨリ王死スルニ至ルマテ終ニ快復セズ英ノ兵顯著ナル勝利ヲ得且續テ大事件起リシニ憐ムヘシ老狂王ハ少シモ其事情ヲ知ラス齡八十二歳ニシテ悲歎ス可キ苦境ヲ脱シテ黄泉ノ客トナレリ

⑪王ノ子ハ幼時甚タ粗暴ナリシカ年長スルニ及テ果シテ善良ノ人トナラズ其父在世ノ時狂氣ノ故ヲ以テ代理太子ト

公告セラレタリ千八百二十年ニ王位ニ即キジョールジ四世トナル

(十二) 王ハ老年ニ至リテ猶邊幅ヲ修飾スルコト少年輩ノ如ク常ニ專ラ心ヲ衣服ニ用ヰテ之ヲ愛翫スルコト甚シ故ニ王若シ位ニ在ラサレハ必ス拔群ノ裁縫師トナルヘシ

(十三) 王ノ太子タリシ時英保那巴ノ威力ニ拮抗シ歐羅巴諸國ノ援兵ヲ得テ終ニ高名ナル百戰必勝ノ勇將保那巴ヲ擊チ亡シタリ」其他ジョールジ四世ノ統御ノ間今此ニ記載スヘキハ舊敎ノ徒ノ巴里門ニ會スルヲ許シヽ一事ノミ

(十四) 千八百三十年ニ王死シ其弟ウヰルリャム四世位ヲ嗣ク蓋シ英ノ外國ト交戰セザリシハ特ニ王ノ治世ノミトテ貌列顛史中ニ彰明ナリ」千八百三十七年王死シ其姪女ウヰクトリア一世位ヲ嗣ケリ

(十五) 女王ウヰクトリア今(千八百六十年)猶位ニ在リ女王在位ノ間其家政ノ良法ト治國ノ美術トハ世ノ感稱スル所ナリ縱令阿富汗支那ポンジャブ及ヒクリミアノ戰爭アリ又加拿他ノ一揆ノ亂アリテ莫大ノ金ヲ費シ且數萬ノ生靈ヲ損害シタリト雖モ英倫ハ此女王ノ管理ノ間太平ニ安セリ」千八百六十年女王ノ長子威爾斯ノ君加拿他及ヒ合衆國ヲ訪フ

第百五十四章 歐羅巴

威爾斯史

一　他日汝若シ威爾斯ニ行テ其土人ニ接スルトキハ汝ノ身貌列顚中ニ在リトハ思ハサル可シ其人民ノ名ハ英ノ人名ト甚タ異ナレバナリ例ヘハミストル、レウェルリン、アプグリフヒッス、アプ、ジヨンス及ヒミッセス、カテスピイ、アプ、カテスピイ等ノ名アリ此等ハ威爾斯ニ於テ通常ノ名ナリ

二　其人民或ハ英語ヲ用ヰルモノアリト雖モ多クハ祖先傳來ノ語ヲ用ヰルナリ其語ハ阿爾蘭及ヒ蘇格蘭ノ山地ノ古語ニ近似セリ故ニ其人民ハ阿爾蘭及ヒ蘇格蘭ノ山人ト同種ナルベシ

三　威爾斯ノ古史ハ實ニ曖昧ニ属セリ羅馬人ノ貌列顚ニ來リシ時代ニハ威爾斯ノ粗暴ナル人民等山ニ住居シ棍梃ヲ揮ヒテ烈ク敵ヲ擊チ能ク防禦セシヲ以テ羅馬人終ニ其國ヲ領スルヲ得ス

四　撒遜人來リテ盡ク英倫ノ地ヲ征服セシトキ威爾斯ノ一部分ハコレニ從ヒタリシガ過半ハ撒遜人ニ抗シテ之ヲ防禦ス威爾斯ノ諸酋長羅馬人ヲ防キシモ猶此ノ如シ其酋長ハ堅固ノ石城ニ住ミテ戰時ニハ城下ノ人民之ヲ防禦セリ其城ノ古跡ハ今猶存スルモノアリ

五　往昔威爾斯ニ於テバルヅ（詩人ノ總稱）ト呼レタル一派ノ奇

人アリ此輩威爾斯ノ諸會長及ヒ勇者ノ剛猛ナル所業ニ就テ歌ヲ吟シ且其話ヲ語レリ其話ハ威爾斯人ノ如キ粗暴ノ人民常ニ好ム所ノ殘忍不道ナル戰爭ノ事ニ渉ルヲ以テ其人民ハ喜テ之ヲ聽聞セリ

㊅バルヅノ某ハ吟歌説話ノ報ニ大ニ禮物ヲ得タリ間〻君主ノ城中ニ招カレテコノ所ニ吟哦且美食シテ快樂ニ日ヲ送ルモノアリ又バルヅハ其威勢ヲ輝カサンガ為メニ自ラ讖言者ナリト託言シ而シテ君長並ニ人民ハ其未來ヲ前言スベキヲ信ジタリ蓋シバルヅハ人ヲ騙スルノ易キ何事モ之ニ過クルハナシト自ラ思ヒ居タリシナラン然レトモ其人民ハバル

ヅヲ尊敬スルコト極メテ重シ

㊆國君ノ心ヲ煩惱セシムルモノハ近隣ノ獨立ヲ固守セル人民ノ外他事アラス國君ハ之カ為メニ大ニ驕慢ノ心ヲ屈セラルヽカ故ニ其怒ニ堪ヘズシテ以為ラク人若シ我權威ニ服セザルモノアラハ老練シタル獵丁(カリウド)ガ近隣ノ岩穴ニ住メル狼狐ノ類ヲ取ルガ如ク我亦其人ヲ屠ラント

㊇英王ノ威爾斯ニ於ケル此ノ如シ故ニ英ノ諸王威爾斯山中ノ狼狐(反黨ヲ云フ)ヲ征服セント欲シテ大軍ヲ遣レリ然レトモ千二百八十五年ノ頃ニ至ルマテ其山人ハ遂ニ捕獲セラレズ是時英王ハイドウヘルド一世威爾斯ノ君ハレウヱルリンナ

リ

⑨ バルヅハ常ニ苦戰ヲ好メリ故ニ威爾斯ノ君ヲ鼓舞シテ勇敢ノ所業ヲ爲サシム又バルヅノ某ハレウヱルリンニ語ルニ公ハ必ス貌列顚全島ノ君主トナルヘシトノコトヲ以テセリ

⑩ 是ニ因リテイドウㇵルド一世ノ軍來征セシ時レウヱルリン小軍ヲ將ヰテ烈ク抗敵スト雖モ遂ニ英軍ノ爲メニ擊チ敗ラレテ死セリ其弟ダウヰツドト云フ者襲テ立ツ然レトモ亦生擒トナリ且固ク其國ヲ防禦セシ罪ニ由リテ絞罪ニ處セラレタリ

⑪ 王イドウㇵルドハバルヅノ其人民ヲ鼓舞シテ我軍ニ抗セシメシヲ以テ大ニ怒リ盡クバルヅヲ集メテ死ニ處セリ此處置ニ因リテ王ハ其人民ノ望ヲ失ヒタリ然レトモ次ノ王ハ威爾斯ニ生誕シテ威爾斯ノ君ト稱セラレシヲ以テ父イドウㇵルドヨリハ少シク其土民ノ愛顧ヲ得タリ此ヨリ後英王ノ長子ハ威爾斯ノ君ト稱セラル

⑫ 威爾斯國君ノ系統ハダウヰツドノ死ニ因リテ絶エ且其獨立モ是ニ於テ終レリ爾後威爾斯ハ貌列顚國ノ一部分トナリ而シテ現今其人民ハ襪（タツシタ）ヲ織リ且石炭及ヒ鉄ヲ掘ルヲ業トナシ之ヲ以テレウヱルリンノ時其父祖ノナシヽ戰事ニ代フ

第百五十五章歐羅巴

蘇格蘭史

㈠蘇格蘭ノ人民ハ昔ノ貎列顚威爾斯及ヒ阿爾蘭ノ人民ト同一ナルセルツ人種ナルベシ其人民ハ羅馬人ニ抗シテ自國ヲ固守ス故ニ羅馬人ハ卒ニ之ヲ征服スルコト能ハザルヲ以テ其將帥大ニ之ヲ患ヒ乃チソルウェー、フリス（海灣ノ名）ヨリタイヲ河ニ至ルマデ城壁ヲ築カシメタリ

㈡蘇格多ハ恰モ猖獗ナル一群ノ牛ノ如ク其國內ニ籠閉セラレタリ然レトモ常ニ其城壁ヲ越ユヘキ企ヲナセリ紀元後二三百年ニ方リピクツト云ヘル俄狄中ノ一人種歐羅巴ヨリ來リテ此國ノ抵地ニ居リ耕作ヲナシ以テ世ヲ渡レリ蘇格多ハ山中ニ住ミテ戰爭ヲ事トシ常ニ野獸ヲ捕リテ食トナセリ

㈢此ノ如ク蘇格蘭ノ人民ハ山地抵地ノ二派ニ分レタリシカ今ニ至リテ猶其舊ヲ存セリ現今ハ其二派ノ人民相共ニ和スト雖モ昔日ハ互ニ相歒視シ相爭ヒテ以テ其日ヲ度リタリ予其戰爭ノ話ヲ以テ汝ニ語ルヲ得ス且其話ハ世ニ知ラルヽコト實ニ少ナシ

㈣八百三十九年ニ當リ山地ノ主長タルケン子ス二世ピクツノ族ヲ擊チ從ヘテ始メテ蘇格蘭全國ノ王トナリシト云フ

此ヨリ後英王イドウヘルド一世ノ時ニ至ルマデ數多ノ蘇王アリト雖モ其話ハ此ニ述フルニ足ルモノナシ

㊄長脛王イドウヘルド(即チ威爾斯ヲ征服シタル王)ノ蘇格蘭ヲ追擊シテウヘルレスヲ擒ニセシ事ノ如何ト蘇格蘭ノ終リノ征伐(即チ王ノ死セシ役)ニ其大軍ヲ整備セシ事ノ如何トハ英ノ史中ニ於テ既ニ之ヲ語レリ又王ノ子イドウヘルド二世バンノクボルンノ合戰ニロベルト、ブリユースノ爲ニ敗ラレシ事ノ如何モ亦既ニ語リタリシカ其役ハ千三百十三年ノコトナリ之ニ因リテ蘇格蘭ハ英ノ諸王ニ壓抑セラレタル自由ヲ復セリ

㊅此ヨリ後ジエームス五世ノ時ニ至ルマデ蘇格蘭ノ史ニ載スル所ノ事ハ唯々内亂及ヒ英倫トノ血戰ノミナリジエームス五世ハ千五百十三年ニ齡十三歲ニシテ立テ君トナル然レトモ其軍兵ノ信任ヲ失ヒ危急ノ際其兵ニ棄ラレテ痛ク之ヲ悲ミ終ニ年三十ニシテ餓エテ死セリ

㊆ジエームスノ女(所謂蘇格蘭ノ女主)マリーハ其容姿窈窕タルノミナラズ佛蘭西ニ在リテ教育ヲ受ケ才學兼テ優リタレハ未タ年少ナルニ蘇格蘭ニ誘ハレテ女主トナレリ然レトモ甚タ不幸ノ婦人ナリ事ハ既ニ英ノ史中ニ之ヲ語レリ

㊇容姿美麗才學兼優ニシテ且權威ヲ有スト雖モ終ニ幸福

ヲ保ツコトヲ得ズ蘇格蘭ノ人民ハ各〻黨派ヲ結ヒ國勢甚タ危急ナルヲ以テ女王マリーハ之ヲ治平スルノ難キヲ知リ且其命ヲ全クセンカ為メニ遂ニ英倫ニ逃レ身ヲ女王イリサベスニ投シテ保護ヲ請ヘリ

(九) 女王マリーノ此所行ハ蒼蠅ノ蜘蛛ニ守護ヲ請ヘルニ彷彿タリイリサベスノマリーヲ遇スルヤ恰モ蜘蛛ノ力ヲ以テ蒼蠅ヲ獲ルニ異ナラス即チ女王イリサベスハマリーヲ幽閉シテ終ニ之ヲ殺シタリ

(十) マリーノ子蘇格蘭ノジェームス六世其母ノ位ヲ嗣キ且イリサベスノ死後ジェームス一世ノ名ヲ以テ兼テ英王トナレリ王即位ノ後身ハ英倫ニ在リト雖モ心蘇格蘭ヲ忘レス且其學ヲ好メルヲ以テ生國蘇格蘭ノ幼稚ナル男女ヲシテ盡ク習字讀書ヲ學習セシメンカ為メニ其地ニ學校ヲ建設セシメタリ其學校ハ連綿トシテ當今猶存在セシ故ヲ以テ蘇格蘭ノ人民ハ亞米利加人ト相競フ可キ學識アルモノヲ見ルヘシ

(十一) 千六百三年ジェームスノ即位ノトキヨリ蘇格蘭ハ英王ニ屬シ時有リテハ一揆ヲ起セリ且スチュアルト家ノ為メニ數〻戰爭アリト雖モ多年其國平穩ニ貌列顛王國ノ一部分トナレリ

第百五十六章歐羅巴

阿爾蘭史

(一) 阿爾蘭（所謂グリイン、イーリン 緑ナル阿爾蘭ト云フ義）ノ史ハ心目ヲ悦ハシムル事多シト雖モ此章ニ於テハ其大畧ヲ記スルノミ初メ其人民ハブリトンスノ如ク棍梃ヲ以テ戰ヒタル膂力強壯ノセルツ人種ナレハ饗應ヨリモ戰爭ヲ好メルカ如ク見エタリ

(二) 其人民ハ數多ノ種類ニ分レテ其主長ハ各〻王ト呼ハル故ニ絶エス互ニ相爭フ其人民ハ夙ニ他ノセルツ人種ノ如クドリュイヅノ宗門ヲ信崇シタリト雖モ五百五十年ノ頃耶蘇宗ノ傳道者パトリックト云フ人此國ニ來レリ

(三) パトリックハ賢哲且善人ナリ故ニ其人民ハ皆パトリックヲ愛シテ耶蘇教ニ改宗シタリ是ニ由リテ漸次ニ開化ノ人民トナレリパトリックハ高年ニ至ルマテ生存シタリシカ終ニドー子ニ於テ埋葬セラル

(四) パトリック逝去ノ後其人民ハ大ニパトリックヲ賞賛シテ終ニ神明ノ人ト爲シ且聖人ト稱セリ今日ニ至ルマデ其人民ハ聖パトリック猶天ニ在リテ阿爾蘭ノ爲メニ守護セリト思ヘリ又パトリックニ祈禱シ且敬禮ヲナスカ爲メニ一年ニ一日禮拜堂ニ詣テ酒ヲ飮ミ且棍梃ヲ以テ共ニ頭ヲ叩ケリ（嬉戯ノ一種猶角抵ノ類ノゴトキカ）

(五) 聖パトリックニ係リテ阿爾蘭人ノ今ニ至リテ猶懷ケル

惑念中ニ左ノ條件アリ」阿爾蘭ニ蛇或ハ有毒ノ鱗蟲ナキハ聖パトリック之ヲ驅盡シテ永ク此島ニ其患ナカラシメタリト人民皆信シタリ

（六）キルラルネー湖邊ノ農民ハ現今猶笑フ可キ口碑ヲ存セリ即チ聖パトリックノ高年ナル時大ナル一蛇アリテ固ク轉居スルコトヲ否ミ遂ニ懇切ナル聖人ノ企謀ヲ妨碍セリ

（七）其蛇ハ常ニ茫茫タルキルラルネーノ湖濱ニ出遊シテ甚タ其地ヲ愛セシヲ以テ轉居ノコトヲ思フ毎ニ深ク慨嘆セザルハナシ然ルニ聖パトリックハ樅樹ニテ造リタル大ナル櫃並ニ其蓋ヲ封ズヘキ釘九箇ヲ得テ一朝天晴レ日光煌々タル

時自ラ之ヲ荷ヒ歩シテキルラルネーニ趣キ而シテ日光ニ身ヲ曝セル蛇ニ出會シタリ

（八）聖人呼テ曰ク蛇ヨ吉朝ヲ祝スト蛇應シテ曰ク汝ノ不運ヲ祝スト聖人又曰フ予カ運惡シカラス汝ノ言無智ニ似タリ予ハ汝ノ友人ナリ汝ノ身ヲ容レンカ爲メニ予此美ナル家ヲ携ヘテ來レリ是レ予カ友誼ヲ表スル爲メナラスヤ予カ愛者ヨ疑念スルコト勿レト然レトモ蛇ハ狡猾ナル鱗蟲ナルカ故ニ其諂媚ノ意ヲ知リ且聖人ノ心ヲ曉レリ

（九）聖ハ訪者ノ友誼ノ唯外貌ノミナルコトヲ知ルト雖モ猶之ヲ辱シムルニ忍ビズ辭謝シテ曰ク此櫃ハ予カ身ヲ容ル

ヽニ足ラスト聖人ハ其善ク適當スヘシトノ確信ヲ做シ且曰ク子カ愛者ヨ今此中ニ入リテ汝ノ寛舒ナルヤ如何ヲ試ムヘシト蛇ハ乃チ聖人ヲ欺カント欲シテ疾ク櫃中ニ入リ其尾一二寸ヲ餘シテ櫃邊ニ懸ケタリ

(十) 蛇ノ曰ク子レ公ニ語リシ如ク此櫃中子カ全身ヲ容ルヽノ地ナシト然レトモ聖人ハ其櫃ノ蓋ヲ鎖シ呼テ曰ク子カ愛者ヨ尾ニ注意セヨト蛇ハ之ヲ聞テ尾ヲ其中ニ入レタリ聖人即チ盡ク釘ヲ打チテ然ル後櫃ヲ其肩ニ荷フ此時蛇ハ叫テ出ンコトヲ請フ聖人曰ク安ンセヨ予明日汝ヲ出サント

(十一) 斯ク言ヒツヽ聖人ハ其櫃ノ復ヒ浮ハザル深キ湖水ノ底ニ投シタリ爾後絶エズ其櫃ニ入リタル憐ムヘキ蛇ハ熱心ニ明日ハ未タ來ヲサルカ明日ハ未タ來ヲサルカト叫ヘリ此聲ハ漁者皆實ニ之ヲ聞ケリト爲ス聖パトリックニ就テ奇談ノ多キコト此ノ如シ

(十二) 英王ヘヌリー二世ノ時ニ當リ阿爾蘭ハ英ノ爲メニ征服セラレテ爾後數世ノ間英王ノ管轄ニ歸セリ然レトモ統御宜キヲ得ス」王ジェームス一世ハ稍〻其人民ノ風習ヲ化スヘキ處置ヲナスト雖モ王及ヒ其後嗣亦其人民ノ聖パトリックヲ尊崇スル心ヲ奪去スルヲ得ス

(十三) 聖パトリックハ耶蘇舊教ノ僧ナリシカ人民ハ今日ニ至

ルマテ大半其教ヲ奉セリ是皆英ノ政府ヲ以テ意ニ不滿トシ且多クハ政府ノ處置ヲ以テ私行苛酷ト爲セハナリ之カ爲メニ一揆ヲ起サントスルノ勢ニ至レルコト數〻ナリ縱令其酋長タルモノハ政府ノ權力ニ壓抑セラルヽト雖モ猶他ノ酋長代リ出テヽ一揆ヲ煽動セリ

⑭ 阿爾蘭ノ動搖多年絶エサルコト此ノ如シ但シ其國ヲ自由ナラシメント欲シテ遂ニ其効ナク空ク生命ヲ失ヒシモノ數千人ニ至リシト云フ千八百四十七年ニ當リ其人民疫病ニ罹リテ死セシモノ一百萬ナリ近頃外國ニ移住セシモノ亦數百萬ナリ

第百五十七章歐羅巴

各種ノ事條

㈠ 英倫威爾斯蘇格蘭及ヒ阿爾蘭ノコトハ既ニ其大畧ヲ語レリ然レトモ其語ル所ノ事甚タ大ナルカ故ニ此小册子ニ在リテハ詳ニ說クコトヲ得可カラズ國王及ヒ戰爭ノコトハ既ニ之ヲ語レリ

㈡ 予既ニ止ムコトヲ得スシテ删省セシ所ノ事ニハ至味ノ話多シ故ニ予若シ暇アラハドリュイヅノ教化セシ甚タ奇異ナルセルツノ宗門ノ話並ニセルツ人種ノ風俗ノ事ヲ更ニ仔細ニ語ルヘシ其風俗ノ話ハ蓋シ汝ノ聽テ以テ樂ム所ナラヲ

ン

㊂予若シ暇アラバスカンディナウヰヱンノ勇者ナルヲディン(一名ウヲデン)ト云フ者ノ話ヲ語ルヘシ是レ奇異ノ神學ヲ起シタル人ナリ其教派ハ歐羅巴北部ノ人民ニ傳播シテ貌列顛人民ノ某ハ一時其教門ニ入リタリト云フ又紀元後六十年ニ當リテ耶蘇宗門ノ英倫ニ入リシコトノ如何ト初メ其人民ノ粗ナル木造ノ禮拜堂ヲ建テシコトノ如何ト並ニ其後ニ至リ今日禮拜セルカ如キ俄狄式ノ美ナル建物ヲ築造セシコトノ如何トヲ語ルヘシ

㊃予若シ餘暇アラハジフシースノコトヲ談スヘシ此人種

ハ歐羅巴ノ諸國ニ見エタリ英倫西班牙匍牙利及ヒ波希米亞ニ於テハ特ニ多シ此等ハ定住ノ屋宇ナク處々ニ轉居セリ蓋シ遠國ヨリ來レル人種ナリ然レトモ埃及ヨリ來レルカ或ハ亞細亞ヨリ來レルカ誰モ之ヲ知ルモノナシ此人種轉居スル所ノ國々ノ人民ハ浮沈興廢アルニジプシースハ世々依然トシテ變セス

㊄予餘暇アラハロビンホードト云フ高名ナル巨賊ノ深林中ニ住ミ且奇異ノ事ヲナシヽ談ヲ語ルヘシ又斯ル賊徒ヨリ更ニ記臆スルニ足ル可キ有名ナル許多ノ人ノ話ヲ語ルヘシ

⑥ 又ドクトル、ウァツノコトヲ語ル可シ是ハイムンス、フォル、インファント、マインヅト云ヘル有名ナル小册ヲ著シタル人ナリ其書ハ嘗テ在世セシ百戰必勝ノ將帥ノ戰爭ヨリモ更ニ人ヲシテ快慰ナラシメ且切用ナル書ナリ

⑦ 予暇アラハシッペルヅ、ヲフ、サリスブリー、プレイント云ヘル美談ヲ著ハシタルハンナ、モールノ事並ニフランクノ紀事ヲ記シタルミッス、イッジウォルスノ事及ヒロビンソン、クリュソート云ヘル美妙ナル小說ヲ作リタルダニール、デ、フヲーノ話ヲ以テ汝ニ語ル可シ

⑧ 此等ノ人々ノ事ヲ讀ムハ甚タ快樂ナルヘシ是皆予ノ朋友ナルカ如シ而シテ其人々ハ何處ニ在リテ世ヲ度リシカ其容貌ハ如何ナリシカ且如何ナル危難ニ遭遇セシカ予輩必ス之ヲ知ランコトヲ求ムト雖モ此等ノ事並ニ其他予カ祖先ノ出テタル彼ノ善美且快樂ナル國史ニ關涉セル事ハ今姑ク之ヲ措サルヲ得ス

⑨ 唯々一事此所ニ附言スヘキコトアリ即チ汝書ニ就キテ貌列顚人ノ紀事ヲ讀ムトキハ能ク其自國ニ於ケル人情風俗ヲ知ルヲ得ヘシ然レトモ英人ハ自國ニ在リテハ甚タ快豁ナレドモ外國ニ在リテハ憎ムヘク且理ニ違フ事少ナカラス

⑩ 蘇格蘭ノ人民ハ狡猾且貪吝ナリ故ニ汝若シ其國ニ到リ

テ物品ヲ求ムルニ當リ其代價ヲ償ハヽ善ク其遇ヲ得ヘシ」

概シテ其人民自國ヨリ出ツルトキ必ス善ク富ヲ得蘇格蘭ノ人民ハ時有リテハ貌列顛ヤンキート呼ハレタリ

(十)阿爾蘭ノ人民ハ何處ニ在リテモ其形狀異ナルコトナク快樂機巧且寛大ナリ然レドモ今日ノ生ヲ計リテ明日ヲ慮カラス且概シテ教育ヲ蒙ルモノナシ但シ無學ト雖モ他國ノ無學ナル人民ニ比スレハ更ニ良好ナリ其資性モ亦美ナリト雖モ多年苛政ノ為メニ妨碍ヲ被レリ當今ハ絶エス開化ニ進メリ

第百五十八章歐羅巴

大貌列顛ノ年表

耶蘇紀元前

○五十五年　シーザル英倫ヲ侵ス

耶蘇紀元後

○四十四年　英倫クローシュースニ征服セラル

○六十年　耶蘇教英倫ニ入ル

○二百三年　蘇格蘭耶蘇教ヲ奉ス

○四百五十五年　撒遜英倫ヲ征服ス

○五百五十年　パトリック阿爾蘭ニ到ル

○六百九十年　威爾斯王イドウハルト一世

○八百二十七年　英王イグベルト一世

○八百三十九年　蘇格蘭王ケンチス二世

○八百七十二年　アルフレット王位ニ登ル

○八百七十七年　デンス英倫ヲ征服ス

○八百八十年　アルフレット英倫ヲ恢復ス

○九百年　アルフレット大王死ス

○一千十五年　カニュート英倫ヲ侵ス

○一千四十一年　デンス英倫ヨリ驅出セラル

○一千六十六年　ハロルド英王トナル

○一千六十六年　ウヰルリャム、ゼ、コンケロル即位ス

○一千九十一年　ウヰルリャム、ゼ、コンケロル威爾斯ヲ征服シ且之ヲ分割ス

○一千百年　英王ウヰルリャム、リュフス死ス

○一千百三十五年　英王ヘヌリー、ビュークレルク死ス

○一千百三十七年　威爾斯ノ末王グリフィツス死ス

○一千百五十四年　英王ステフェン死ス

○一千百八十九年　リチャルド即位ス

○一千二百十五年　王ジョンマグナ、カルタヲ許ス

○一千二百十六年　王ジョン死ス

○一千二百七十二年　イドウハルド一世即位ス

○一千二百八十五年　威爾斯英王ノ管轄ニ歸ス

○一千三百五年　スルウヰルリャム、ウㇵルレース死ニ處セラル

○一千三百七年　英王イドウㇵルド二世

○一千三百十三年　バンノクボルンノ戰爭

○一千三百二十七年　英王イドウㇵルド三世

○一千三百四十六年　クレッシーノ戰

○一千三百七十六年　黑太子死ス

○一千四百年　英王ヘヌリー四世

○一千四百十三年　英王ヘヌリー五世

○一千四百二十二年　ヘヌリー五世死ス

○一千四百五十五年　薔薇ノ戰起ル

○一千四百六十一年　英王イドウㇵルド四世

○一千四百八十三年　イドウㇵルド四世死ス

○一千四百八十五年　駝背リチャルド死ス

○一千五百九年　ヘヌリー七世死ス

○一千五百十三年　蘇王ジェームス五世

○一千五百四十七年　ヘヌリー八世死ス

○一千五百五十三年　流血女王マリー

○一千五百五十八年　イリサベス即位ス

○一千五百八十八年　西班牙ノ艦隊アルマダノ敗沒

○一千六百三年　ジェームス一世即位ス

○一千六百二十五年　チャーレス一世即位ス

○一千六百四十二年　カフヘリールス及ヒロヲンドヘットノ内亂起ル

○一千六百四十五年　子ースビーノ戰

○一千六百四十九年　チャーレス一世刎首セラル

○一千六百五十四年　クロムウヱル守護者ト爲ル

○一千六百五十八年　クロムウヱル死ス

○一千六百六十年　英王チャーレス二世

○一千六百六十五年　疫病龍動ニ流行ス

○一千六百六十六年　龍動大火

○一千六百八十五年　英王ジェームス二世

○一千六百八十九年　ウヰルリャム及マリー英王ノ位ニ即ク

○一千七百二年　アン子位ニ登ル

○一千七百十四年　アン子死ス

○一千七百二十七年　ジェヲルジ一世死ス

○一千七百五十五年　英佛ト戰フ

○一千七百六十年　英王ジェヲルジ三世

○一千七百八十八年　ジェヲルジ三世發狂ス

○一千八百二十年　ジェヲルジ四世王ト為ル

○一千八百三十年　ウヰルリヤム四世即位ス

○一千八百三十七年　ウヰクトリア

○一千八百四十年　ウヰクトリアプリンスアルペルトト婚ス

○一千八百四十七年　阿爾蘭ノ疫病

○一千八百六十年　威爾斯ノ君加拿他及ヒ合衆國ヲ訪フ

第百五十九章　歐羅巴

草昧ノ世並ニ緊要ナル發明ヲ復説ス

(一)第四十八章ヨリ前章ニ至ルマテ是予カ歐羅巴史ノ大畧ナリ此レ汝ノ奇事奇聞ヲ探聽スヘキ念ヲ與起スルニ足レリ既ニ語リシ諸國ノ事ハ他日汝ノ大册書ヲ讀ム嚮導タルヘシ予カ説ク所ノ史中ニ至味ノ事アリ汝潛心シテ之ヲ學フヘシ」予カ談ノ中省畧セシ所ノ事今此ニ唯〻其一二ヲ語ルヘキノ地アリ

(二)希臘ハ歐羅巴中ノ諸國ニ先チテ人民定住シ且開化シテ強國トナリシコトハ汝之ヲ記スヘシ又羅馬ハ極メテ大ナル帝國トナリテ當時世ニ知ラレタル國々ニ其權威ノ輝ヤカサル所無キニ至リシコトモ汝之ヲ記スヘシ

(三)紀元後四五百年ニ當リテ羅馬帝國ノ瓦解ノ事且是時歐

羅巴北部ノ人種西班牙以太利及ヒ希臘ニ蕃衍セシ事ハ汝之ヲ記スヘシ之カ為メニ既ニ其國々ニ開ケタル文學技藝及ヒ禮文ハ一時斷絶シテ歐羅巴全國ハ野蠻ノ景情ニ幾シ

㊃其時代ヲ草昧ノ世ト云フ蓋シ諸國ノ人民概シテ無學猛惡且粗暴ナリシヲ以テナリ爾後幾ト五百年前ニ至ルマテ連綿トシテ野蠻ノ景狀ヲ存セシカ是時初メテ文學ノ光華再發シ此ヨリ人民大ニ進歩シテ終ニ前代未曾有ノ開化ニ至レリ」

㊄耶蘇宗門ノ紀事ハ予カ史中機ニ臨テ唯々一覧ニ供スルノミ」紀元三十三年ニ當リ救世主世ヲ去ルノ後其高弟輩福音（ゴスペル）ヲ宣傳センカ為メニ諸國ニ到レリ其宣傳者ノ中ポールハ最モ活潑ニシテ且成効アリ小亞細亞ヲ經歷スルコト數度後希臘ニ行キ遂ニ羅馬ニ至リ紀元六十一年ニ死セリ其至ル處各所ニ耶蘇宗門ノ眞道ヲ宣傳セサルハナカリシト云フ

㊅初メ耶蘇宗徒ハ羅馬皇帝ヨリ讐ヲ蒙ルト雖モ福音隆盛ニシテ止マズ終ニ羅馬帝國ノ大半ニ傳播シタリ」紀元六十年ニ方リテ其宗門貌列顛ニ入ル但シ歐羅巴ノ他國多クハ夙ニ之ヲ奉シタリシト雖モ紀元三百六年帝コンスタンタインノ之ヲ尊仰セシ時ニ至ルマテ歐羅巴諸國ノ君ハ未タ奉セサリキ

㊆此ヨリ耶蘇教速ニ傳播シテ希臘及ヒ羅馬ノ神學ハ漸ク

衰ヘ恐ルヘキドリュイヅノ祭並ニ悲ムヘキ其惑モ善良ナル一天神ノ拜禮ニ譲リ怪シムヘキチディンノ禮式ハ十字ノ宗門ノ爲メニ廢棄セラル

㊇歲月推シ移リテ羅馬諸法皇ハ耶蘇教ノ益〻世ニ傳播スヘキヲ知リテ以爲ク若シ宗門ノ長タラハ人ヲ制スルノ勢ヲ得可シト乃ナ託言シテ曰ク法皇ハ宗門ノ長ナリト爾後限リ無キ威權ヲ弄シテ極メテ不善ナル企謀ヲ爲スコト數〻ナリ

㊈其後久クシテ終ニ法皇ノ權大ニ衰ヘ且耶蘇教國ノ人民ハ大半其權ヲ辨駁シタリ是ニ由リテ其徒ハプロテスタントノ名ヲ得タリ「プロテスタント」トハ猶論駁ノ黨ト言フカコトシ耶蘇新教徒ト譯スモノ是ナリ今日ニ至リテハ羅馬法皇ハ僅カニ其權ヲ有スルノミ

㊉既ニ西班牙史中ニインクウ゛イシーシュンノ事ヲ語リシカ此レ隱密ノ裁判所ニテ人若シ耶蘇舊教ノ徒ニ非サル疑ヲ蒙レハ捕ヘテ以テ審判スル所ナリ

(十一)此法ハ千二百十五年ニ當リテ法皇インノセント三世ノ製定シタルナルヘシ此ヨリ後其法漸ク廣リテ終ニ千四百八十一年西班牙ニ於テ確定ス是國ハ古今世ニ知ラレタル殘忍流血ノ最モ甚シキ裁判所ヲ設立セリ

(十二)羅馬法皇ハ多年其法ヲ弄シテ竟ニ殘忍不道ナル謀計ヲ行フノ機械トナセリ舊教ヲ奉スル歐羅巴ノ諸國モ之ヲ採用

シタリ然レトモ何レノ國モ西班牙ニ於ケルカ如ク殘忍「不道ノ擅制ヲ以テ恐ル可キ事ヲ行ヒタルモノナシ」其法竟ニ千八百二十年ニ至リテ廢絶セリ

(十三) 歐羅巴ノアッペース及ヒモナストリス（共ニ僧院）ノ事ハ未タ記載スヘキ機會ヲ得サリシカ其設立ハ記載ス可シ夫レ世ノ事業ヲ廢シ隱遁シテ專ラ宗門ニ其身ヲ歸スル所ノ人ハ諸國ニ於テ之アリ此ノ如キ事ハ亞細亞ニ行ハレテ當今猶把耳亞麻（ブラマ）佛喇嘛（ラマ）及ヒ穆罕默德（マホメット）ヲ拜スル所ノ國ニ於テ之ヲ見ル可シ又昔偶像ヲ拜セシ埃及希臘及ヒ羅馬ニ行ハレ其他猶太ニモ行ハレタリ耶蘇教信仰ノ國ニハ特ニ早クヨリ行ハレタリ

(十四) 初メモナストリーハ紀元前三百五年上埃及ニ於テシント、アンソニー之ヲ建設シタリ是レ數多ノ小屋ヲ築キシモノニシテ種々ノ隱者ノ懺悔且祈禱ニ其身ヲ寓スル所ナリ其他ノモナストリーハ紀元三百六十年ニ當リシント、マルティン佛蘭西ニ於テ之ヲ建立シタリ爾後舊教ノ國ハ皆之ヲ建設セリ紀元七百年ヨリ千四百年ニ至ルマテ其建設大ニ流行シテ竟ニ壯麗ナル建物ヲ設ケタリ

(十五) 某ハアッペースト名ツケ或ハモナストリーノ名ヲ得タリ此等ハ大抵許多ノ僧ノ住居タリ又某ハ尼ト呼レタル婦人ノ住居タリ其建物ノ壯大ナル古跡ハ今猶英倫佛蘭西日耳曼

及ヒ其他歐羅巴中處々ニ於テ多ク之ヲ見ルベシ初メモナストリーニ住メル者ハ風俗淳樸ニシテ專ラ宗門ニ其身ヲ歸セシカ後日ニ至リテアッペース及ヒモナストリーハ縱慾ノ座トナリテ僧及ヒ尼ノ外他人ハ此ニ入ルヲ許サズ因リテ僧及ヒ尼ハ其身ヲ宗門ノ勤務ニ歸スルト口實ヲナシテ世人ノ目ヲ避ケ淫慾ニ耽リタリ

(十六) 然レトモ其設立ハ羅馬法皇ノ助ヲ得テ大ニ盛ナリ而シテ千六百年舊教ノ流毒改革セラルヽニ至ルマテハ衰微ノ兆ヲ顯ハス千五百三十九年ニ當リ英倫ニ於テ之ヲ廢シ其後千七百九十年ニ佛蘭西ニ於テ之ヲ廢セリ其他歐羅巴ノ諸國モ亦然リ然レトモ以太利及ヒ西班牙ニ於テハ連綿トシテ現今尚存セリ

(十七) 昔ハ戰爭ヲ爲スニ大砲小銃ヲ用ヰス希臘人及ヒ羅馬人ハ劍、投鎗、及ヒ斧鉞ヲ以テ武器トナシ楯ヲ以テ其身ヲ守レリ埃及カルセージ及ヒ波斯モ亦同シ千三百三十年ニ當リ火藥ノ發明アリテヨリ大砲始メテ用ヰラル但シ千三百四十六年クレッシーノ戰ニ於テ英ノ之ヲ使用セシコト是其始ナリ是時王イドウヮルド大砲四門ヲ有セリ蓋シ其勝利ヲ得ルモノハ職トシテ此レニ由レリ

(十八) 此ヨリ火器速カニ開ケテ兵制一變シ弓矢投鎗及ヒ楯ハ

廢棄セラレタリ又短兵互ニ密邇シテ接戰スルヲ廢シテ遠ク隔タリ縦射相殺スノ術ヲ知ルヲ得タリ

(十九) 近世ノ大發明中ノ一ハ方針ノ常ニ北極ヲ指スノ性質アルヲ知ル是ナリ茫々タル海路ニ航スル海客ノ用ニ適スル此緊要ナル器械ハ千百八十年ニ於テ既ニ使用セラレタリ

(二十) 然レトモ更ニ緊要トナスヘキ事ハ千四百四十一年ニ當リ板行ノ發明是ナリ此ヨリ前凡テ書籍ハ筆ヲ以テ記シタリ故ニ往昔聖經一本ノ謄寫其價ノ貴キコト現今ノ良好ナル家宅或ハ農地ニ等シ斯ク書籍ハ甚タ少ナキガ故ニ學フ者モ亦少シ予切ニ思フ若シペートル、バーレー當日ニ在ラハ翁甚タ憐ムヘク世計ヲ營ミシナラント

第百六十章亞米利加

亞米利加史

(一) 東大陸ノ三大洲即チ亞細亞亞非利加歐羅巴ノ事情ヲ談スルコト既ニ久シカリシカ余今ヨリ其諸國ヲ去リテ大西洋ヲ渡リ而シテ亞米利加ノ大陸ニ來ラントス

(二) 亞米利加大陸ハ汝圖ニ就テ見ルガ如ク南北ノ二區ニ分テリ其區ハダリーント云ヘル地頸ニ因リテ相連ナル其幅約六十里其最モ狹キ處ハ僅カニ三十七里ナリ亞米利加ノ大陸長サ約九千里ニシテ其廣キコト幾ト亞細亞ニ等シ人口ハ通

計五千萬ニ幾シ

㊂亞米利加ノ北部ハ寒威極メテ嚴烈ナリ而シテ其北邊ハ海ニ瀕スルヤ或ハ北極ニ達スルヤ余之ヲ語ルコト能ハズ」グリーンランドハ地球上第一ノ寒國ナリ往日ハ此ヲ以テ亞米利加大陸ノ一部分ト爲セトモ現今ハ孤島タリ

㊃愛撒蘭島(アイスランド)グリーンランド及ヒ北極地方ハ北亞米利加ノ邦土ナリ其北極地方ハエスケモース人種及ヒ其他印度人種ノ棲息スル所ナリ貌列顚亞米利加(ブリテンアメリカ)魯西亞亞米利加(ルシアアメリカ)合衆國墨是哥及ヒゴーテマラモ亦北亞米利加ノ邦土ナリ

㊄南北亞米利加ノ中間ニ西印度ト名ツケタル佳景ノ島嶼

許多アリ」南亞米利加ノ區分ハ則チ委内瑞拉(ウエネズエラ)新加拉那太(ニユーグラナダ)厄瓜多(イクウテートル)秘魯(ペルー)玻里非(ボリウヰア)智利及ヒユーニテットプロウヰンス是ナリ此諸邦ハ皆共和政治ナリ」巴西(ブラジル)ハ嚮ニ葡萄牙ノ轄地ナリト雖モ今ハ獨立ノ帝國タリ」ポトゴニアハ未開人種ノ住處ニシテ其人口ハ甚タ稀ナリ歪阿那(ゴイアナ)ハ佛蘭西和蘭及ヒ貌列顚ノ植民地ナリ

㊅既ニ語リシ如ク北亞米利加ノ北部ハ寒威極メテ甚クシテ其荒涼タル地方ニ於テハ一モ草類樹木ヲ見ル可カラス且一年ノ九個月間ハ海水氷結シテ生類棲息スルヲ得ベカラズ夏月ニ至レハ時々白熊及ヒ北地鹿ノ凄然トシテ苺苔ヲ食ム

ヲ見ルノミ

㊆英米ノ二國ハ其寂々タル地方ニ許多ノ船舶ヲ艤送セリ但シ始ニハ其地東ヨリ西ニ向ヒテ船路ノ通ズルヤ否ヲ查出センカ爲メニシ後ニハ盤針ノ試驗及ヒ其他怪ム可キ事ヲ經驗センガ爲メニセリ其船舶ニ乘シテ危險ヲ冒シヽ者ハ多クノ奇怪ナル物ヲ目擊スト云フ千八百六十年ニ當リテドクトルケーン天然ノ絲玉柱ヲ看出セリ奇ナル哉其形全ク石碑ノ如クニシテ其觀恰モ人造ニ似タリ同氏ハ英ノ詩人テンニソンノ榮譽ノ爲メニ之ヲ名ツケテテンニソンノ碑ト云ヘリ

㊇汝其地ヲ去リテ南ニ進メバ希ニ楊柳樺樹及ヒ某ノ草木

ヲ見ルベシ愈〻南スレバ草木生茂シテ各種ノ野獸有リ且鳥ノ水面ニ浮ヒ或ハ空中ニ翔ル有リ

㊈汝其地ニ於テエスケモース及ヒナッペウ、印度ト云フ人種ニ遭遇スベシ」加拿他(カナダ)ニ到レバ其地ノ沃壤ナルヲ見ルベシ夫ヨリ南行シテ合衆國ニ到レバ氣候變シテ暖和ナリ」墨是哥灣ノ周圍ナル西印度ノ地及ヒ南亞米利加ノ北部ハ氣候常ニ春夏（三月ヨリ八月ニ至ル）ナリ

㊉汝愈〻南行セバ氣候復タ轉シテ寒冷ナリケープホルンニ至レバ寒威凜烈トシテ一年ノ中九個月ハ嚴冬ナリ」亞米利加ノ野獸ハ其類甚タ多シ野牛、山羊、羚羊アリ鹿ノ類許多

ナリ熊ノ類數種アリ狼狐アリ及ヒ小ナル四足獸多シ鳥ノ類モ亦許多アリ是皆亞米利加ノ產ナリ

(十一)初メ亞米利加發見ノ時合衆國ノ家畜ハ之ヲ見ルヲ得ス唯ニューファーンドランドノ犬及ヒ其他ノ犬類ヲ見ルノミ當今牧スル所ノ牛羊ノ類、山羊、馬、驢、騾、雞、猫ハモト歐羅巴ヨリ齎シ來レリ家養ノ吐綬雞(トルキー)鷄及ヒ鴨ハ此國ノ產ナリ

(十二)亞米利加ノ人民ハ別チテ二類トシ其一ハ印度人種ナリ是亞米利加發見ノ時大陸ノ處々ニ散居セシ者ニシテ其種族多シ各々風俗言語ヲ殊ニセリ其二ハ嘗テ此國ニ來リテ定住セシ所ノ歐羅巴人ノ後裔ナリ其他黑奴數百萬アリ是亞非利加ヨリ買來レル奴或ハ其後裔ナリ

(十三)亞米利加ニ著名ナル者三アリ大湖長河及ヒ山脈ノ長キコト世界中ニ冠タルモノ是ナリ大湖ハレーキサッペリヲル長河ハ密斯昔比(ミツシツシピー)山脉ノ最モ長キハ南亞米利加ノ安地斯山(アンデス)ゴーナマラ墨是哥ノゴルディルレラス及ヒ合衆國ノ落機山(ロッキー)等ナリ安地斯ノ山脉ハ幾ト大陸ノ長サニ連亘セリ

第百六十一章亞米利加

亞米利加ノ民祖

(一)合衆國ニハ波士頓(ボストン)紐約(ニユヨルク)非拉特勒飛亞(フィラデルフィア)麻爾底磨(バルチモール)細吟運(ニューヲルリエンズ)ローイスウ井ルレ及ヒシンシンナチノ如キ壯麗ノ市府アリ

又都城市街全國ニ散在ス予之ヲ見レバ三百七十年前ニ當リテ歐羅巴亞細亞亞非利加ノ人民未タ此亞米利加アルヲ知ラザリシトノコトハ信シ難シ

㊁然レトモ此國ハ實ニ許多ノ印度人種ノ住居タリ其人民ハ一モ書籍ヲ有セス又世間ノ事ハ毫モ之ヲ知ルコトナシ」其人民ハ何處ヨリ來リシヤ又初メテ亞米利加ニ居ヲ定メシハ何時ナリヤ誰モ其實ヲ知ルコト能ハズ

㊂北亞米利加ノ北部ハヱスケモーストト呼ハレタル一人種ノ居處ナリ其種族ハ總印度人種ト異ナリテ臘巴蘭人ニ似タリ故ニ此北地方ハ今ヲ距ルコト數千年前蓋シ歐羅巴人ノ航シ來リテ居住ヲ定メシナラン

㊃此事ノ信ス可キハ紀元八百年ニ當リテ那威人ノ愛撒蘭ヲ發見セシコト丶又九百年ニ當リテ其人民眞ニグリーンランドニ住居ヲ定メシコトヲ以テ徵スベシ然レトモ歐羅巴北部ノ人民ハ當時巨艦ヲ有セズ且航海術ニ明ラカナラザリシガ實ニ北地方ヲ探訪セシハ奇ト謂フベシ

㊄然レトモ其他ノ印度人種ハ如何シテ此國ニ住居セシカ其事歷邈然タリ汝太平洋ノ圖ヲ觀レバ亞米利加及ヒ亞細亞北部ノ甚タ近ク相接スルヲ見ルベシ唯〻白令（ベーリング）ノ海峽ヲ隔ツノミ其廣サ僅カニ十八里ナリ

㈥ 現今其近傍ニ在住セル人民ハ小船ニ乘シテ海峽ヲ度ルニ慣レタリ然レバ往昔亞細亞ノ韃靼人種其海峽ニ轉住シテ亞米利加ニ度リシトノ事ハ信ス可キ理ナキニ非ラズ人員ハ無數ニシテ各異ノ種族タリシナラン」亞米利加大陸ニ人ノ住居ヲ定メタル其源此ノ如シ

㈦ 此事ノ確實タルコト疑ヲ容ルヘカラズ夫レ亞米利加印度人ハ亞細亞ノ某ノ人種トヨク相似タリ且亞細亞ニ於テ見ル所ノ某ノ奇異ナル俗習ヲ存セリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ亞非利加及ヒ歐羅巴ニ人民ヲ分派シタル亞細亞ハ又初メテ亞米利加大陸ノ海濱ヲ跋渉セシ人類ヲモ分派セシナラン

第百六十二章亞米利加

閣龍(コロンブス)亞米利加ヲ發見ス

㈠ 想フニ往昔カルセーシ人南亞米利加ヲ査出シテ其民ヲ徙セリト云フ若シ果シテ然ラバ閣龍ノ時ニ至ルマテ二三千年間ノ事跡遺忘セラレシナリ然レトモ此事甚タ疑フヘシ蓋シ舊世界ノ人民新世界ノ各事ヲ報知セシハキリストーフル、閣龍ヲ以テ首トス故ニ亞米利加ノ發見者ハ閣龍トシテ可ナリ

㈡ 有名ナル閣龍ハ千四百四十二年ニ當リテ以太利ノ治那亞(ジェノア)ニ生ル其成長ニ及テ大ニ地理ノ學ニ心ヲ留ム嘗テ意見其

胸中ニ浮ブアリ即ナ茫々タル太洋ノ面ノ某處ニ於テ未タ世ニ知ラレザル大地ノ有ラスンバアル可ラズトノコト是ナリ

㊂當時世界中歐羅巴人ノ知リ得ル處僅々ノミ即ナ歐羅巴ノ全部大貌列顛愛撒蘭及ヒ亞非利加ノ北濱小亞細亞亞喇伯ノ總沿海並ニ印度ノ海濱是ナリ其餘當時世界ニ人ノ住スル土地ノコトハ歐羅巴人誰モ之ヲ知ルモノナシ

㊃閣龍ハ貧困ナレバ其未タ知ルヘカラザル土地ヲ尋ルニ當リテ開行ス可キ法術ヲ得ズ因リテ始メ自國ノ管理者ニ助力ヲ請ヘトモ皆敢テ應ズル者ナシ次ニ閣龍ハ葡萄牙ニ到ル其地ニ於テモ亦應スルモノナシ

㊄遂ニ閣龍西班牙ノ朝ニ到ル其國王ハフェルヂナンドト云ヒ王后ハイサベルラト云フ王ノ閣龍ヲ遇スルヤ輕忽ヲ以テシ且蔑視シテ殆ト各人ノ閣龍ヲ遇スルニ異ナラズ

㊅然レトモ后ハ閣龍ノ企謀ヲ熟考シテ其開行ノ資ヲ與ヘンガ爲メニ己ノ寶石ヲ賣リテ小船三艘ヲ備ヘ水夫九十人ト一年間ノ食料トヲ給シ閣龍ヲシテ其船長タラシム閣龍乃ナ高僧ノ祝詞ヲ受ケテ然ル後ニ西班牙ヨリ開帆シタリ時ニ千四百九十二年八月三日ナリ

㊆閣龍初メ南ニ向ヒテ船ヲ駛セカナリー群島ニ達セリ是ヨリ船路ヲ轉シ直ニ西ニ向ヒテ駛セタリ其駛スルコト數十

日ノ後船中ノ人恐怖シテ皆以爲ク我曹再ヒ故國ヲ見ルコト能ハズ且何レノ國土モ見ル可カラズ唯茫々タル洋中ニ死センノミト

(八) 閣龍大ニ其水夫ヲ鼓舞シ約スルニ若シ三日ノ中土地ヲ發見スルヲ得サレバ即チ方向ヲ轉ス可シトノ言ヲ以テセリ其後終ニ三日ヲ歴テ其夜幾ト十時頃閣龍甲板上ニ在リテ遥ニ望ミ燈明ノ海面ヲ映射スルヲ認メタリ閣龍其燈火ノ在ル處ハ必ス陸地ナルコトヲ知ル翌朝ニ至リテ之ヲ見レハ果シテ島ナリ閣龍之ヲ名ツケテシントサルブドルト稱セリ

(九) 此レボハマ群島ノ一ナリ三艘ノ船舶其岸ニ着セシトキ土人海岸ニ群集シ之ヲ見テ破膽セザルハ無ク誤認シテ妖怪物ト爲シ其白帆ハ羽翼ナリト思ヒタリ

(十) 閣龍身ニ美麗ナル衣服ヲ着シ手ニ抜キタル劒ヲ持シテ上陸シ而シテ先ツ跪テ地ヲ吸ス（地ヲ吸スルハ天帝ニ敬謝スルノ禮ナリ猶叩頭ト言フカコトシ）然ル後十字形ヲ建テ耶蘇宗ノ今正ニ邪宗ニ代ル可キノ標ト爲シ且其島ハ后イサベルラノ有タル可キコトヲ告知セリ夫ヨリ他ノ諸島ヲ探訪セリ此時目擊セシ奇異ノコトヽヲ陳述センガ爲メニ西班牙ニ歸帆セリ其後閣龍再ヒ船行スト雖モ第三次ニ至ルマテハ亞米利加大陸ノ發見有ラサリキ

(十一) 閣龍必ス新世界ノ海外ニ在ルコトヲ證スルヤ直ニ諸海

客其地ニ向ヒテ船行セリ」フロレンスノ人アメリクス、ウェスピュシュース其地ニ到リ已ノ名ヲ以テ總大陸ニ名ツク可キ思ヲ起セリ

（十三）漸ニ南北亞米利加ノ沿海岸盡ク發見セラル而シテ歐羅巴諸國ノ民其地ニ度リテ住居セリ」其定住ノ記錄ニ就キテハ熱帶地方ノ植民最モ早シト雖モ予先ツ最北ノ植民地ヨリ其談ヲ始ム可シ

第百六十三章亞米利加

愛撒蘭及ヒグリーンランドノ略說並ニ佛蘭西ノ植民地

（一）愛撒蘭ノ島ハ八百六十年ニ當リテ那威ノ海賊之ヲ發見セシコト予既ニ汝ニ語レリ是ヨリ後那威人其民ヲ徙セリ」此島寒冷ニシテ土地荒蕪シ且墨格拉（ヘクラ）ト云ヘル山アリテ時々火ヲ噴キ烟灰ヲ發シ且轟鳴シテ全島之カ為メニ震動スルコトアリ

（二）然レトモ其人民ハ繁殖シテ九百八十年ニ當リ其民耶蘇教ヲ奉セリ此ヨリ今日ニ至ルマテ其人民ハ恬靜且廉潔ナル一種族ヲナス人口ハ現今一萬五千アリ皆丁抹ノ管轄ヲ受ク」グリーンランドノ發見ハ愛撒蘭ト殆ト同時ニシテ其後速カニ植民セリ

㊂其植民地ハ千四百八年ニ至ルマテ綿々トシテ衰ヘサリシガ是冬寒威ノ嚴烈ナルコト海路ヲ阻塞スルニ至ル是ヨリ後其地ニ定住シタル植民ノコトハ知ル可カラズ是蓋シ皆死亡セシコト既ニ久シカラン其植民地ハグリーンランドノ北部ニシテ他ノ植民地ハ西南ノ部分ニ在リ連續シテ今日ニ至レリ然レトモ其人口ハ僅少ニシテ多クハ本土ノヱスキモースナリ其餘ハ那威ヨリ移住セシ者ノ後裔ナリ

㊃亞米利加中現今大貌列顛ノ轄地タル部分ハノヴ、スコチィア新不倫瑞(ニューブリユンツウイツク)紐方蘭(ニューフアウンドランド)上加拿他(アツプルカナダ)下加拿他(ロウルカナダ)及ヒ新貌列顛(ニューブリテン)ナリ

㊄以上諸州ノ總地大サハ合衆國ノ三分ノ二ニ居ル而シテ北ハ北氷海及ヒバッフィンス、ベーニ濱シ東ハ大西洋ニ枕ミ南ハ合衆國ニ接シ西ハ魯西亞亞米利加及ヒ大平洋ニ界ス

㊅現今合衆國ノ境界ヨリ北方ニ植民地ヲ開キシハ佛蘭西人民ヲ以テ初トス而シテ三百年前ニハ常ニ其海濱ニ獵船ヲ送レリ

㊆千五百二十四年ニ當リテ佛蘭西人ジェームス、カルティールト云フ者聖螺瀾河(シントローレンス)ヲ溯リテ一堡寨ヲ築キ此所ニ於テ冬ヲ過セリ爾後幾ナラスシテ加拿他及ヒノヴ、スコチィアノ植民地開ケタリ因リテ佛王ヘヌリー四世マルクイスデ、ラロー

ナニ命シテ加拿他及ヒ其近隣ノ地方ノ總督タラシメタリ

(八) 千六百八年ニ當リテ市府クウヰベックヲ設立ス其地ハ聖螺瀾河ニ濱シテ海ヲ距ルコト幾ト五百里ナリ」其府ハ初メ大理石及ヒ老坑石（スレート）ノ岩上ナリ

(九) 其地ニ定住シタル佛蘭西人ハ印度人ト條約セリ而シテ紅人（印度人ヲ云フ）ノ田獵シテ獲タル毛皮ヲ買ヒ之ヲ歐羅巴ニ輸送シ販賣シテ以テ大ニ利益ヲ得タリ」佛蘭西人ノ某ハ印度ノ女ヲ娶リテ妻トナセリ

(十) 初メ英吉利人加拿他以南ニ植民地ヲ開クトキ佛蘭西人野蠻ヲ煽動シテ英人ト爭鬪ヲ起サシメ而シテ又印度人ト黨

ヲ結ヒ時々給畀克（クウヰベツク）或ハモントリールヨリ進入シテ新英倫ノ村落ニ放火シ以テ其民居ヲ殺害シ或ハ生擒トシテ加拿他ニ送レリ

(十一) 千六百二十九年ニ當リテ貌列顚ノ有司スルダウヰド、ケイスト云フ者給畀克ヲ取ル然レドモ其後佛蘭西人之ヲ復ス新英倫ノ人民ハ再ヒ其地ヲ得ント欲シテ種々ノ企謀ヲ為セリ

(十二) 千七百十一年ニ當リテ貌列顚政府水師提督スルホウエンドル、ウヲークルヲ將トシテ堅固ノ艦隊ヲ艤送シ聖螺瀾ノ河流ニ溯ラシム」但シ陸軍七千人其船ニ乘シタリ

⑬若シ其艦隊無事ニ到着セバ必ス給卑克ヲ取ルベシ然レトモ如何ニセン将サニ河流ニ入ラントスル時煙霧濛々トシテ船路ヲ鎖シ且大風吹起リテ其八九艘ハ石岸ニ漂着シタリ

⑭翌朝佛蘭西人無數ノ屍緋色ノ外套ヲ被テ岩石上ニ累層スルヲ看出セリ是レ英吉利ノ兵卒ノ溺死セシモノナリ」斯ノ悲ム可キ故ヲ以テ英加拿他ヲ攻取スルノ企謀ヲ絶セリ

第百六十四章亞米利加

英吉利ヨリ佛蘭西ノ植民地ヲ攻畧ス

㊀英佛ノ二國其本國ニ於テ戰フ毎ニ亞米利加ニ於テモ亦新英倫及ヒ佛蘭西轄地ノ人民相共ニ戰爭ス」佛蘭西人ハ數處ニ堅固ノ堡寨ヲ築ク故ニ英吉利人ハ之ヲ取ランガ爲メニ大ニ努力セリ

㊁佛蘭西人新必烈單島(ケープブレトン)ノ市府ローイスボールグヲ固ク守レリ千七百四十五年ニ當リテ新英倫ノ人民其府ヲ攻取センコトヲ圖リテ强兵ヲ擧ク波士頓ノ商估ウヰルリャム、ペッペレルト云フ者ヲ其將ニ任シタリ

㊂其兵英ノ艦隊ノ護送ヲ得テ新必烈單島ニ到着セリ」此兵ハ農民ト工藝者ノミニテ其將タルペッペレルト雖モ僅ニ堡寨ヲ拔クノコトヲ知ルノミ

㈣然レトモ新英倫人ハ戰爭ニ練熟スルナヲン若シ然ラザレバ甚タ剛氣ナルベシ其兵即チ砲臺ヲ築キ幾ト十四日間大砲ヲ以テ市府ヲ攻擊ス故ニ佛ノ大將ハ乃チ旗章ヲ伏セテ降レリ」時人此ローイスボールグヲ降服セシムルヲ以テ顯著ナル功ト爲セリ

㈤其戰爭ノ終ニ臨ミテ佛蘭西人ローイスボールグヲ復スト雖モ英將ウォルフェノ爲メニ再ヒ攻取セラル時ニ千七百五十八年ナリウォルフェハ戰勝ノ後直ニ其兵ヲ引率シテ給卑克ニ進メリ

㈥給卑克府ハ防禦ニ堅固ナル之ヲ攻取スルコト能ハザル

ガ如ク見エタリ其地ハ數仞ノ巖石上ニ築キタル堡砦アリ且市府ヲ環ラスニ城壁ヲ以テシ城內ニハ佛ノ戍兵アリ其餘城外ニモ亦數多ノ兵アリ

㈦然ルニ將帥ウォルフェハ必ス給卑克ヲ取ラント欲ス若シ拔クコト能ハザレバ生キテ還ラシト決心セリ故ニ百方術ヲ盡スノ後河濱ヨリ危巖ニ其軍ヲ導キタリ頂上ニ達スルニ及テ其高サ給卑克ノ府壁ト均シカリキ

㈧此勇猛ノ擧ハ夜中ニ爲セリ佛ノ將マルクイスデ、モントカームハ之ヲ聞テ貎列顚人ト會戰スベク直ニ其軍ヲ進ム因リテ忽チ戰爭起レリ

(九) 將師ウォルフェ自ラ先陣ニ出テ奮勵シテ其軍ヲ先導シタリ而シテ其身ハ疵ヲ蒙ルト雖モ退クコトヲ肯セズ終ニ彈丸ニ中リテ地上ニ倒レタリ

(十) 其部下ノ兵數人之ヲ擁護シテ後陣ニ到ル今ウォルフェハ死期ニ臨ムト雖モ專ラ眼前ノ激戰ニ思ヲ勞シテ彼レ逃走スト連呼スル聲ヲ聞キ問テ曰ク走ル者誰ゾヤト

(十一) 其近侍ノ人喜ヒ言テ曰ク走ル者ハ佛人ナリ彼ハ敗北シ我軍ハ勝利ナリト將師聞テ喜色面ニ溢ル叫ヒデ曰ク嗚呼然ラハ我死ストモ憾ナシト言終リテ瞑セリ

(十二) 戰勝利ヲ獲ルコト十全ナリ」敵將マルクイスデ、モントカームハ重傷ヲ蒙リ給聿克ハ戰ノ後不日ニシテ降ル」是ニ由リテ其總地方及ヒ佛領ノ北方ノ地忽チ盡ク貌列顚人ノ手ニ入リタリ

(十三) 爾後其地方絕エズ皆貌列顚政府ニ屬ス其餘大貌列顚所轄亞米利加內ノ不羈獨立ト爲リシトキ此佛蘭西ノ舊植民地ハ連綿トシテ貌列顚王ニ屬セリ

第百六十五章亞米利加

合衆國ノ風土

(一) 余輩昔ク世界ヲ歷遊シテ今復タ自國ニ來レリ我合衆國ハ北ハ貌列顚領地ニ界シ東ハ大西洋ニ濱シ南ハ墨是哥灣及

ヒ墨是哥諸邦ニ接シ西ハ太平洋ニ枕メリ全國ノ廣袤幾ト總歐羅巴ノ如シ人民ノ數幾ト三千萬有リ

(二) 此大國中人民ノ住居スル所ノ地ハ四分ノ三ニ過キズ其中央ノ部分ハ無人ノ域多クシテ或ハ印度人種ノ散處スルアリ現今（千八百六十年）合衆國三十六邦ヲ擁シテ各邦ニ鎭臺及ヒ法律ヲ制定スル所ノ立法官アリ而シテ各邦人民ヲ統一セル政府ニハ則チ第一管理者ト云フ大統領アリ

(三) 合衆國ハ河ニ富メリ其河ハ皆山間膏腴ノ地ヲ貫流スルヲ以テ水利宜キヲ得タリ」又多クノ山アリト雖モ其高聳ナルコト南亞米利加ノ安地斯歐羅巴ノ亞力伯及ヒ亞細亞ノ喜馬拉山ノ如キハ之アラズ」北方ハ氣候温和ニシテ林檎、桃、李及ヒ其他ノ果實ヲ產ス南方ハ煖氣ニシテ橙、檸檬、及ヒ無花果繁生ス

第百六十六章亞米利加

新英倫ニ定住スル事並ニ植民ノ記錄

(一) 合衆國ヲ以テ一邦土トナシ其談ニ說及ブノ前簡ニ諸植民ノ定住ノ事ヲ語ラン」新英倫ノ定住ハ諸邦ヨリ前ナラズト雖モ聯邦中其區分最モ北ニ在ルガ故ニ先ツ此ヨリ談スベシ

(二) 新英倫ハ中ニ牛含布什爾花滿的馬浿朱些斯洛衰倫及

ヒ千揑底格(コンチクチクト)ノ六邦ヲ擁ス而シテ北ハ下加拿他ニ界シ東ハニューブリュンスウヰック及ヒ大西洋ニ接シ南ハ大西洋及ヒロングアイランド峡ニ連リ西ハ紐約ニ界ス

㊂ 千六百二十年ニ當リテメーフロウルト云フ船新英倫ノ海岸ニ着ス但シ其船中ニハ衆多ノ僧及ヒ神ヲ信ズル所ノ男女乘シタリ此等ハ歸帆スルコトヲ好マザルカ故ニ本國ヲ出ルトキ各〻其子ヲ携ヘテ來レリ

㊃ 此等ハ皆宗門上ノ殘害ニ遭ヒテ英倫ヨリ驅逐セラレ實心ニ天帝ヲ禮拜センガ爲メニ此寂寞タル荒蕪ノ地ニ來リシモノナリ其メーフロウル船ノプライモース港ニ着スルハ

正ニ嚴冬十二月ナリ此時船中ノ人上陸シテ初メテ其踏ム所ノ岩石ハ爾後絶エズ神石ト考ヘタリ

㊄ 此等ハ皆營世ノ業ヲ開キ且自ラ憐ム可キ矮屋ヲ造レリ然レトモ初メ艱苦危艱ニ遭遇シタレハ多クハ病ニ罹リテ死シ存スル者ハ亦數〻食ニ窮シテ時々海濱ニ出テ介類ヲ掘ルモノ多シ

㊅ 加フルニ其他ノ患害アリ即チ粗暴ナル印度人時々侵寇シテ之ヲ恐脅セシメタリ然レトモ巡拜者ノ剛勇且忍耐ナルコト其信神ノ心ニ劣ラズ一ニ上帝ニ倚頼シテ此國ニ永住セント欲シ志望益〻確トシテ折ケス

巡拜者ハ此所ニ移住セシ人ヲ指シテ云フ信神ノ爲メニ

本國ヲ去リ漂ヒテ他國ニ在ルヲ以テナリ

㈦ 其プライモースニ定住ノ後幾ナクシテ他ノ修道者ノ黨與新英倫ノ處々ニ來リ或ハサレムニ住シ或ハ波士頓ニ居ヲ定メタリ英人ノ此國ニ住居セシ者頗ル多キコト此ノ如シ」千六百三十五年ニ當リテ男女童幼共ニ六十人干揑底格ニ到リ定住ノ地ヲ開カンガ爲メニ馬洩朱些斯ヲ發シテ旅行シタリ

㈧ 其旅行スルヤ乳汁ハ第一攝生ノ食料タルガ故ニ牛ヲ前驅シテ林ヲ過キ且沼河ヲ渉リ丘阜山岳ヲ越エタリ夜ハ寢ルニ樹陰ノ外雨露ヲ蔽フ所有ラス

㈨ 此輩干揑底格河ニ達シテ後ウヰンドソル ハルトフォルド及ヒ其他ノ府ヲ建ルノ基ヲ開ケリ然レトモ其建設ノ功未タ竣ラザルニ季冬至リテ積雪甚タ深シ因リテ其中十四人ハ歸裝ヲナセリ此輩若シ印度人ノ救濟ヲ得ルニ非サレハ途ニシテ死セシナラン」ウヰンドソル及ヒハルトフォルドハ干揑底格中定住第一ノ地ナリ

㈩ 千六百二十六年ニ當リテ牧師ロージェル、ウヰルリャムスト云フ者馬洩朱些斯ヨリ驅出セラル」ロージェル洛哀倫ニ行キテプロウヰデンスニ居ヲ定ム斯ノ善人ハ印度人ノ良友ニシテ大ニ親愛セラレタリ」村落ハ逐次ニ新英倫ノ總海岸ニ沿

ヒテ開ケ且定住ノ地ハ内地ノ諸河濱ニ開墾セリ

(十一) 然レトモ猶新英倫ノ大半ハ深林鬱茂シテ之ヲ蔽ヒ且豺熊ノ類食餌ヲ覓メテ人家ノ邊ニ彷徨スルコト數〻ナリ

第百六十七章　亞米利加

新英倫ノ事情

㊀ 新英倫ニ居ヲ定メシ者ハ善良且信神ノ人ナレトモ其多クハ印度人ヲ視ルコト猶豺狼ニ於ケルガ如シ」但シ其輩印度人ヲ以テ野獸ノ類ト為セリ若シ又人タラバ甚タ猛惡ナル者ト為セリ

㊁ 嘗テ紅人ノ良友タリシハ、ジヨン、イリヲツトナリイリヲットハ紅人ヲ以テ己ノ黨ト為シ且行テ其蠻夷ニ說法セリ故ニイリヲットハ印度人ニ宣道スル人ト稱セラル且躬ラ聖書ヲ其國語ニ譯シテ之ヲ教ヘンガ為メニ多年ノ星霜ヲ費ヤセリ

㊂ 然レトモ白人ノ印度人ヲ愛セシ者甚タ稀ナリ印度人モ亦白人ヲ敵視セリ而シテ土人ハ彼白人等定住ノ後怨ヲ我林木ヲ伐リ盡シ田獵ノ地ヲ變シテ田圃トナサンコトヲ恐レタリ

㊃ 故ヲ以テ新住者印度人ト戰フコト數〻ナリ特ニ恐ル可キハ千六百七十五年ノ戰爭ナリ之ヲ王フィリップノ戰爭ト稱ス王フィリップハ印度人ト雖モ聰慧ノ人ナリ故ニ新住者ヲ鏖

殺シテ新英倫ヲ再ヒ荒蕪ノ地ナラシメントノ企謀ヲ懷ケリ

㊄齋戒日ニ當リテ馬溲朱些斯ノスウハンゼーノ民禮拜堂ヨリ出ル時王フィリップノ爲メニ砲殺セラレシ者八九人其處々ニ於テ殺害ニ遇ヒ且皮ヲ剝レシ者許多アリ加之數多ノ家屋ヲモ燒燼セラレタリ

㊅是時ニ當リテ新英倫ノ人民王フィリップト戰ハンガ爲メニ各〻銃ヲ携ヘテ出ザル者希ナリ曩ニジョン、イリナットノ爲シヽ如ク聖書ノ讀習ヲ印度人ニ敎フル宣道者スヲ今ハ其業ヲ代ヘテ手ニ銃ヲ携ヒ隨時機會ヲ誤ラズ印度人ニ放發シタリ

㊆翌年ノ冬ニ至リ新住者各〻兵士トナリ幾ト二千人ノ隊伍ヲ編成シテ王フィリップ及ヒ其他ノ印度人ヲ洛哀倫ニ在ル堅固ノ堡寨中ニ驅逐シタリ但シ其堡寨ハ沼ノ中央ニ在リテ中ニ屋舍六百ヲ擁スル所ナレハ印度人ノ幼童婦女ハ盡ク此所ニ遁レタリ

㊇印度人勇猛ナル者四千人其堡寨中ニ在リト雖モ新住者ハ勇ヲ奮ヒ攻擊シテ竟ニ其砦ヲ破リ屋舍ニ放火セリ此時老人病者婦人童女及ヒ憫然ノ孤子等ハ生ナカラ燒殺セラレタリ

㊈此役ニ勇者ノ殺傷セラルヽ者一千人捕虜トナル者數百

人其餘ハ皆遁逃シタリ砦中ニハ老弱男女ノ半焦尸燼灰ノ中ニ散在シテ其景況恐怖ス可シ

(十)然レトモ王フィリップノ生存セシニ由リテ戰猶未タ止マズ翌年夏ニ當リテ王洛哀倫内モチントポープニ潛伏スルコト發覺ス因リテカピテンチヨルチ僅ニ軍兵ヲ將ヰテフィリップヲ其地ニ追擊シタリ

(十一)故ニ王フィリップ止ムコトヲ得ス其地ヲ出テヽ林叢ノ中ニ避ケタリ此林叢中ニハ英人及ヒ其朋黨タル印度人ノ伏アリテ英人フィリップニ發放シタリシガ幸ニシテ其彈丸中ラズ然レトモ印度人再ヒ放ナシカハ剛勇ナル王フィリップ其丸ニ中リテ倒レタリ

(十二)其戰ノ後印度人再ヒ新英倫ノ人民ニ甚シキ害ヲ加フルコト能ハスト雖モ多年ノ間時々夜間林中ヨリ出テヽ行人ヲ脅シ或ハ竊盜シ或ハ村落ニ放火シタリ然レトモ新英倫ノ人民速カニ繁殖シテ終ニ國中ニ昌盛ノ市府村落許多ナルニ至レリ

第百六十八章亞米利加

費爾治尼亞(ウヰルジニア)ノ曩日ノ記錄

(一)費爾治尼亞ニ植民セシコトハ新英倫ニ先ツコト數年ナリ其ジェームス河畔ノ市府ジェームストウンハ千六百七年ニ

當リテカピテン、キリストーフル、ニューポルトノ建テシ所ナリ」其始住者ハ新英倫ノ住者ノ如ク信神ノ人ニアラズ又天神ヲ拜センカ爲メニモアラズ唯世間ノ浮說鄙見ニ雷同シテ來リシモノナリ

(二)其多クハ粗暴ナル少壯ノ人ニシテ共ニ善ク整理スルコト難シ加之他ノ事故アリテ其植民解散セントスルコト數くナリ」印度人ハ其住者ニ患害ヲ加フルコト甚シ若シカピテン、ジョン、スミッスノ之ヲ其身ニ擔當スルニ非ザレバ恐ラクハ印度人ノ爲メニ鏖殺セラレシナラン

(三)スミッスハ豪邁ノ人ニシテ在世ノ間始終武官タリ費爾

治尼亞ニ來ルノ前土耳其人ニ抗戰シテ三人ノ首ヲ斬レリ其印度人ニ接スルモ亦之ト同一ナル剛勇ヲ顯ハセリ

(四)一日スミッス印度人ノ衆ニ圍レ防戰シテ退ク時誤リテ沼中ニ陷ル其深サ幾ト頸ニ及ブ因リテスミッスモ戰フコト能ハズ又脫スルコト能ハズ進退此ニ谷リテ遂ニ印度人ノ爲メニ捕ヘラレテ其王ポウハタンノ前ニ引キ出サレタリ

(五)ポウハタンハ常ニ一群ノ英人ヨリモ一人ノスミッスヲ畏縮スルカ故ニ其捕獲セラレタルヲ喜ヒ後日ノ患ヲ除カンカ爲メニ直ニスミッスヲ殺サント決心セリ因リテスミッスノ兩手ヲ縛シテ身ヲ地上ニ倒シ其頭ヲ大石上ニ置カシメ

タリ

⑥是ニ於テ長大ニシテ且強壮ナル王ポウハタンハスミッスヲ殺サント欲シテ手ニ大ナル棍梃ヲ把リ之ヲ揮ヒテスミッスヲ一撃セントス時ニ王ノ女ポカホンタスト云フ者趨リ進メリ

⑦窈窕タル處女其身ヲスミッスノ體上ニ投セリ是時ポウハタン若シ一撃シタリシナラバ捕虜ヲバ殺サズシテ其女ヲ殺シタルナラン」而シテポカホンタス其父ニ慈悲ヲ請ヒシカハ兇猛ナル印度人モ其女ノ涕泣シテ懇願スルヲ拒クコト能ハザリキ

⑧是ニ由リテスミッスハ釋サレテジェームストウンニ回送セラレポカホンタスハ常ニ費爾治尼亞ニ於テ賛稱セラレタリ」爾後ポカホンタスハ新住者ノ英人ト婚姻シテ其後裔タル者今猶費爾治尼亞ニ在リ

第百六十九章亞米利加

ブラッドックスノ敗軍及ヒ其他ノ事情

①上ニ談スルノ外費爾治尼亞ノ史ハ之ヲ措キ佛蘭西戰爭ノコトニ説キ及ブ可シ其戰爭ハ千七百五十五年ニ始ル其公告ノ後久シカラズシテ貌列顛ノ將ブラッドックト云フ者ケ子ノ堡寨ニ居ル佛軍ヲ襲撃センガ爲メニ兵ヲ將ヰテ進發セリ

其堡寨ハ現今ピッツブルグノアル呵海呵河ノ水源ニ在リ

㊁多クノ費爾治尼亞人及ヒ其他ノ植民ハブラッドックノ軍ニ屬シ參將查治華盛頓之カ援兵タリ時ニ華盛頓ハ若輩ナレドモ既ニ交戰ニ老練シタリ故ニ將帥ブラッドック其勸ヲ聽キシナラバ其身命ヲ全クシ且部下數百人ノ生命ヲモ救ヒタルナラン

㊂ブラッドック其軍ヲ進メテケテノ堡寨ヲ隔ツコト幾ト七里林木叢茂ノ中ニ至ル時費爾治尼亞ノ地ヲ距ルコト數百里ナリ是時ニ當リテ樹蔭ヨリ不意ニ齊ク小銃ヲ放ツコト甚シ」

㊃今將帥ブラッドックハ佛及ヒ印度人ノ伏兵ニ陷ルコトヲ知リテ馬ヲ驅馳シ力メテ其軍ヲ勵マスト雖モ彈丸雨ノ如キヲ以テ其軍中ノ豪勇最タル者モ皆戰慄セリ

㊄將帥騎ル所ノ馬死スルモノ五疋皆彈丸ノ爲メニ其胸ヲ打タル他ノ軍官モ或ハ死シ或ハ傷ヲ蒙レリ然レトモ華盛頓ハ獨リ傷害ヲ被ラズ恰モ我國ノ救世主タル可ク保存セラレタルカ如ク見エタリ

㊅印度ノ酋長華盛頓ヲ狙ヒテ十八丸ヲ放チシガ一モ其身ニ中ラス蓋シ貌列顛ノ軍ノ鏖殺ヲ脫ルモノハ特ニ華盛頓ノ功ニ由ルナリ華盛頓及ヒ費爾治尼亞ノ兵ハ印度人ヲ防キテ遂ニ貌列顛軍ヲ退カシム

(七)今此ニ他ノ植民地ノ事ヲ説ン紐約ノ定住ハ千六百十三年ニ始リ其地ハホッドソンノ河畔ニ位ス今アルバニーノ建ツ所是ナリ市府紐約ノ建立ハ幾ト之ト同時ナリ初メ紐約ハ新俺特坦(ニユーアムストルダム)ト稱セラル是レ其始住者ハ和蘭ノ國民ナルカ故ニ其本國ノ都會ノ名ヲ以テ之ニ名ツケタルモノナリ

(八)千六百六十四年ニ當リテ和蘭ヨリ紐約邦ヲ以テ英ニ讓ル英其邦ヲ得テヨリ其繁昌頻ニ增シテ遂ニ植民中富强第一ノ地トナレリ

(九)邊西威業(ペンシルフハニア)ハ千六百八十一年ニ植民セラル其開基者ハクヱークル一派ノ宗門ノ名ノ徒ウヰルリヤムペンナリ其住者モ亦其宗派ノ徒ナリ初メウヰルリヤム、ペン此國ニ到着セシ時其土地ヲ印度人ヨリ買ヒ且其土人ト條約ヲ爲セリ

(十)其條約ハ常ニ貴重セラレタリ印度人ハクウヱークル宗徒ノ皆平靜ナルコトヲ知ル故ニ愼テ其宗徒ニ對シ絶エテ害ヲ爲スコトナシ是ヲ以テ邊西威業ノクウヱークルト印度人ノ戰爭ノ話ハ一モ之アラス

(十一)市府非拉特勒飛亞(フイラデルフイア)ハペンノ指揮ニ從ヒテ開ケタリ嘗テペン新住者ニ言テ曰ク市府ヲ建ルニハ舊世界ノ如ク人家稠密ナラシム可カラズ宜シク蒼々タル村落ノ光景ヲ存シテ毎戸其周圍ニ園庭ヲ繞ラスヘシト

⑫ 瑪理蘭（マリーランド）ハチャーレス一世ノロルドバルチモールニ與ヘシ所ナリバルチモールハ舊教ノ徒ナリ千六百三十四年ニ當リ同氏其徒二百人ヲ引卒シテ瑪理蘭ニ渡リ初テ此所ニ居ヲ定メタリ

⑬ 格阿利納（カロリナ）ハ千六百八十年ニ初メテ永住ノ基ヲ開カル而シテ千七百三十三年ニ南北格阿利納ノ二區ニ分ル卓爾治亞（ジョルヂア）開墾ノ始ハ千七百三十三年ナリ其建國ノ主長タルハジェームス、ヲグレソルペト云フ同氏ハ一百六十人ヲ将ヰ英倫ヨリ來リテ市府サブンナヲ建設シタリ

第百七十章亞米利加

合衆ノ起ル際由

改革ノ情由

㊀ 新不倫瑞（ニューブリュンスウヰック）ヨリ福落里得（フロリダ）ニ至ルノ海岸ハ總テ植民之ニ滿テリ其民ハ皆大貌列顚ノ管轄ニ属セシモノナリ是ヨリ其人口ハ愈〻繁殖セリ

㊁ 大貌列顚王及ヒ其大臣等ハ植民ノ昌盛ナル狀ヲ聞キ此ヨリ某ノ利益ヲ得ント欲シテ貌列顚巴里門スタムプ、アクトノ法印紙ト呼ハレタル法ヲ定メタリ時ニ千七百六十五年ナリ」

㊂ 其法ヲ立ツル所以ハ亞米利加人ノ金ヲ取リ之ヲ以テ國王及ヒ大臣ノ資用ニ充ントノコトナリ然レトモ亞米利加人ハ協議シテ曰ク凡ソ地球上何レノ王ト雖モ余輩ノ應諾ヲ待

タスシテ其產ヲ取ルヲ得ベカラスト」高名ナル費爾治尼亞ノ人パトリック、ヘヌリーハ其國人ニ語テ曰ク印紙ニ掛念スルコトナク各其欲スル所ノ紙ニ書記スベシト

㊃ 亞米利加人嚴ニ其印紙ノ法ヲ駁セシカバ英巳ムコトヲ得ズ巴里門ヲシテ之ヲ廢セシム然レトモ爾後久シカラズシテ叉茶ノ稅ヲ課セリ即チ亞米利加ノ婦人ハ茶友ニ會シテ一椀ノ茶ヲ進ムルモ英倫ニ其稅ヲ納ムルニアラザレバ之ヲ為スヲ得ズ（征稅ノ重キ一椀ノ茶ニ及フヲ云フ）英此ノ如キ苛法ヲ以テ亞米利加人民ヲ遇シ且之ヲ服從セシメンガ為メニ軍兵ヲ遣レリ

㊄ 千七百七十年ニ當リテ其兵ノ某波士頓ノ人民ト相爭フニ由リテ貌列頓ノ紅衣兵ノ黨ステートト街ニ會シ兵器ヲ具セザル群集ノ民ニ砲發シタリ」其民街頭ニ死スル者三人疵傷ヲ被ル者五人アリ是ヲ波士頓ノ暴殺ト云フ

㊅ 然レトモ波士頓ノ民ハ其屠殺ノ為メニ威嚇セラレズ愈〻英ノ殘虐ニ抗衡セント決定シタリ」千七百七十三年龍動ヨリ某ノ船ニ茶ヲ載セテ植民地ニ送レリ

㊆ 其船三艘波士頓ノ港ニ着セリ一夜衆多ノ人民ヲ變ジテ印度人ノ狀ヲ為シ其船中ニ躍リ入リテ載スル所ノ茶ヲ半ハ海ニ投ゼリ」其印度人ノ狀ヲ為シヽ者ハ後再ヒ人目ニ觸レス且今日ニ至ルマデ誰ナリシヤ之ヲ知ルモノナシ

(八) 其新聞英倫ニ達スル時王及ヒ大臣等ハ兵威ヲ以テスルニ非サレバ亞米利加人ヲ奴隷ト爲スコト能ハザルヲ知リ因リテ其人民ヲ管制センガ爲メニ大軍ヲ遣レリ

第百七十一章亞米利加

歴星頓(レキシングトン)ノ戰爭

(一) 千七百七十五年ジェ子ラルトーマス、ゲージト云フ者亞米利加ニ在ル貌列顛ノ軍ノ總督タリ其本營ハ波士頓ニ設ク」

(二) 四月十八日ノ夜ゲージコンコルドニアル大砲ノ火藥ヲ奪ハンガ爲メニ歩兵八百人ノ分隊ヲ遣ル其兵終夜進行シテ黎明ニ歴星頓ニ達シタリコンコルドハ波士頓ヲ距ルコト十八里ナリ

(三) 歴星頓ハ波士頓ヲ距ルコト十二里許ニ在ル村落ナリ其路傍ニ禮拜堂アリテ其堂ノ傍ニ平坦ナル緑林アリシカ此所ニ一隊ノ民兵軍備ヲナセリ

(四) 貌列顛軍ノ將ハメジョルピットケールンナリ同氏其民兵ヲ見ルヤ忽チ馬ヲ馳セ劍ヲ揮ヒ且銃袋ヨリ短銃ヲ出シ叫ヒテ曰ク嗚呼一揆ノ奴輩解散セヨ嗚呼奴輩兵器ヲ投シテ解散セヨト

(五) 其言未タ已マス民兵ハ逃走ス可キ暇ヲ得ザルニピットケールン既ニ短銃ヲ放テリ貌列顛ノ兵乃チ之ニ倣ヒテ齊シ

ク發放ス因リテ亞米利加ノ兵死傷スルモノ數人ナリ

㊅然ル後貌列顛ノ軍ハコンコルドニ進ミタリ然レトモ是時亞米利加人四方ニ會聚スルカ故ニ其軍コンコルドニ達セシ時一隊ノ民兵ニ會シテ一場ノ爭鬪ヲナセリ是時ニ當リテ貌列顛ノ軍ハ速カニ退陣スルノ須要ナルコトヲ曉レリ

㊆其軍退クトキ亞米利加人民ハ牆籬及ヒ石壁ノ後或ハ窓間ヨリ發放シタリ因リテ貌列顛ノ兵ハ一歩ヲ進ル毎ニ輙チ倒ル然レトモ其黨侶ハ疾ク去リテ之ヲ顧ミス

㊇ジェチラルゲージ其形情ヲ聞キ直ニ兵士二百ト大砲二門ヲロルドペルシーニ附シテ波士頓ヨリ遣レリ」ペルシーハピットケールン及ヒ其部兵ノ疾ク逃レテ波士頓ニ歸ルニ會シ乃ケ大砲ヲ放チテ亞米利加人ヲ防キタリ

㊈然レトモ其兵再ヒ退クニ及テ亞米利加人ハ復タ忽チ牆籬ノ後ヨリ發放シタリ故ニ其兵未タ波士頓ニ達セサルニ或ハ殺サレ或ハ傷ヲ蒙リ且捕虜トナリテ喪フ所ノ者三百ニ幾シ亞米利加人ノ喪フ所ハ甚タ少ナシト云フ

㊉其戰爭ノ新聞全國ニ廣マリ之ヲ聞ク者皆其業ヲ廢シテ各〻兵卒トナレリ如何トナレバ此時革命ノ端既ニ開ケ且勢ヒ血戰トナル可キヲ前見セシニ由リテナリ

第百七十二章亞米利加

ボンクルヒルノ戰爭

㈠ 歷星頓ノ戰爭ノ後幾ハクモ無クシテ亞米利加ノ大軍波士頓ノ四方ニ屯聚ス故ニ貌列顚ノ軍ハ府外ニ出ツルコト能ハズ又十分ナル糧食ヲ得ルノ難キヲ知レリ

㈡ 六月十六日ノ夜參將プレスコット亞米利加人一千ヲ將井チャーレストウンノボンクルヒルニ進ミテ鍫ヲ用井テ其山上ニ高サ胸ニ至ル土泥ノ壁ヲ築キタリ

㈢ 其企謀ハ則チ此ヲ堡寨ト爲シテ波士頓ノ港內ニ在ル貌列顚ノ軍艦ニ發砲セントノコトナリ歟ノ水師提督其壁ヲ見ルヤ直チニ實丸及ヒ破裂丸ヲ放チテ攻擊ス同時ニジェ子ラルゲージハボンクルヒルヲ攻取ランガ爲メニ三千ノ兵ヲ遣レリ

㈣ 其兵チャーレストウンニ着シテ猛ニ山上ニ進ミタリ其行軍ノ狀ハ各光輝燦然タル銃ヲ持シテ魚貫スルカ故ニ恰モ紅線ヲ引クカ如ク實ニ驚怖スベキ觀ナリ其間貌列顚ノ軍艦ヨリ放ツ所ノ砲彈ハ高ク其軍ノ頭上ヲ踰エテ亞米利加ノ陣ニ擊チ入リタリ

㈤ 然レトモ貌列顚ノ兵堡寨ヲ距ルコト二十「ヤード」ニ及フトキ亞米利加人烈シク小銃ヲ齊發シタリ烟散シテ之ヲ見レバ則チ英國王ノ兵卒方ニ紛然トシテ海ニ向ヒテ退ケリ

(六) 其兵ハ退ク者アリト雖モ多クハ殺サレ或ハ傷ヲ蒙リテ山上ニ倒レタリ」是時チャーレストウンハ放火ニ遇ヒ炎焔烈怒烟雲朦々トシテ咫尺ヲ辨スルコト能ハス

(七) 貌列顛ノ軍官其軍ヲ勵マシテ再ヒ戰ヒシガ復タ擊チ退ケラレテ畏ル可キ鏖殺ニ遇ヘリ」貌列顛ノ軍三回進擊シテ僅カニ其堡寨ニ達スルコトヲ得タリ

(八) 亞米利加ノ軍既ニ彈丸火藥竭キ己ムコトヲ得スシテ退ケリ其退クニ當リテジェヲ子ラルウハルレン最モ後レシカバ敵ノ軍官一兵卒ノ銃ヲ奪ヒ勇者ウハルレンヲ砲殺シタリ

(九) 然レトモ是日英ノ勇者多クハ其命ヲ損セリ且流血ノ夥シキ山土ノ綠草モ之カ爲メニ赤シト云フ

(十) 其戰爭ノ後幾ト十四日ヲ經テ將帥查治、華盛頓カムブリッヂニ着セリ」非拉特勒飛亞ノ大會議ニ華盛頓ヲ以テ亞米利加陸軍ノ總督ト定メタリ華盛頓ハ善ク事ヲ處置セシヲ以テ貌列顛ノ軍波士頓ヨリ驅出セラル時ニ千七百七十六年三月ナリ

第百七十三章亞米利加

戰ノ漸ク激キ事並ニブルゴイ子ノ降服

(一) 各部公會ノ合衆國ヲ自主獨立國ト公告セシハ千七百七十六年七月四日ノ事ナリ是ニ由リテ舉國大ニ歡喜セリ然レ

トモ亞米利加ノ國事ハ未タ榮盛ノ地ニ至ラス

㈡歒ノ波士頓ヲ退キテ後將帥華盛頓其地ヨリ紐約(ニユウヨルク)ニ進軍シテ大ニ貎列顚ノ軍ト戰フ然レトモ歒兵衆多ナルヲ以テ華盛頓終ニ迫ラレテ退却セリ」亞米利加ノ兵ハ裸體ナルカ故ニ冬季至ルニ及テ其行ク所ノ凍リタル地上ニ血痕ヲ存セリ」

㈢然レトモ十二月ノ暗夜ニ華盛頓其軍ヲ將ヰテ特拉華(デラウエール)河ヲ渡リ鳥遮爾些ノトレントンニ進ミタリ其地ハ英ノ雇兵ヘッシヱン(日耳曼ノヘッセヨリ雇ヒタルヲ以テ此ノ名アリ)ノ陣スル所ナレハ其兵不意ニ亞米利加人ノ軍聲ニ驚カサレ且其陣ヲ破ラレテ盡ク降服セリ

㈣是時ニ當リテ貎列顚ノ將帥ロルドコルンウヘルリスト云フ者亞米利加人ノ北ルヲ追ヒシガ華盛頓ハ既ニプリンストンニ進ミ其地ノ學校ニ屯營シタル歒ヲ襲擊シテ六十人ヲ殺シ三百人ヲ擒ニセリ

㈤翌千七百七十七年勇者マルクイスデ、ラフヘヱッテ亞米利加人ヲ援クル爲メニ佛蘭西ヨリ來レリ時ニラフヘヱッテハ齡僅カニ十九歲ナリシガ公會之ニ委スルニメールジヱ子ラルノ任ヲ以テセリ後果シテラフヘヱッテハ剛勇智謀軍中ノ冠タル人ニ列セリ

㈥是歲貎列顚ノ將帥ブルゴイ子大軍ヲ引卒シテ加拿他(カナダ)ヲ

發シチャムプレーン湖ヲ渡リテサラトガニ進ミタリ然ルニ亞米利加ノ將帥ゲーツ一萬ノ軍ヲ以テ先ツ其地ニ待チ居タリ因リテ兩軍屢〻相戰フ

(七)其交戰中ニ亞米利加ノ軍官コロ子ルシルレートト云フ者手ツカラ敵ノ大砲ヲ取リ恰モ戰馬ニ騎ルカ如ク其上ニ跨リテ劍ヲ揮ヒ大喝シテ其兵ヲ勵マシタルコトアリ

(八)十月十八日貌列顚ノ將帥ブルゴイ子迫ラレテ其裨將ト共ニ亞米利加ノ將帥ニ會センカ為メニ馬ニ騎リテ陣營ヨリ出テ而シテ倒マニ劍ヲ把リテ其柄ヲ亞米利加ノ將ニ進呈セリ之ト齊シク其部下盡ク兵器ヲ投シタリ

(九)此大功績ノ為メニ佛蘭西ヲシテ亞米利加ト和親條約ヲナシ且大貌列顚ニ敵シテ戰フベキ旨ヲ告知セシメタリ又佛蘭西ハ亞米利加ニ援勢ノ為メニ先ツ海軍ヲ送リ後ニ陸軍ヲ送ル可ク亞米利加ノ高名ナルベンジャミン、フランクリンニ說キ勸メラレタリ

第百七十四章亞米利加

叛逆人アルノルド及ヒメールアンドルノ話

(一)凡ソ革命ノ間起リシ所ノ戰鬪及ヒ其他ノ事件ヲ以テ詳ニ之ヲ語ラハ此冊子ヨリ更ニ大ナル書籍ニ充ツ可シ故ニ其大半ハ措テ之ヲ語ラス

㈡戰爭中最モ感動ス可キ事件ハ千七百八十年ニ發起セシ所ノ事ナリ即チ武勇ヲ顯ハシタル將帥アルノルド怨望ヲ懷キテ決然ト我軍ニ叛ケリ

㈢アルノルド身ニ瘡傷ヲ蒙リシニ由リ急務ニ適セザルヲ口實トシテウヱストポイント寨ノ大將ニ任セヲレンコトヲ請フ其堡寨ハホッドソン河畔ノ高地ニ在リテ堅固ナリ故ニ若シ亞米利加人之ヲ失ハヾ則チ甚ダ不幸ナラン

㈣アルノルドウェストポイントノ將ト爲ルヤ直ニ紐約ニ居ル貌列顚ノ將帥スルヘヌリー、クリントンニ使ヲ遣ハシテ我カ堡寨ヲ讓ル可キ旨ヲ言ハシムクリントン乃チ少壯ナル軍官アンドルト云フ者ヲ遣ハシアルノルドニ會シテ其密事ヲ遂クルノ策ヲ議セシメタリ

㈤メールアンドル アルノルドニ會シテ共ニ謀ヲ定メ堡寨ヲシテ貌列顚ニ降ラシメントセリ爾後アンドル ハウヱル ケュール號船ニ歸ラントス此レ前ニアンドルノ紐約ヨリ溯リテ乘リシ所ノ船ナリ

㈥是時船ハ既ニ遠ク下流ニ去レリ因リテアンドル陸路ヲ經テ歸ラザルヲ得ズ是ヲ以テ己レ貌列顚ノ軍官タルヲ亞米利加人ノ知ランコトヲ恐レ號衣ヲ脫シテ常服ヲ穿テリ

㈦アンドル乃チ馬ニ騎リ紐約ニ向ヒテ發程ス而シテ途中

敵軍ノ守ル處ヲ過ギザルヲ得ザリシガ何等ノ妨障ニモ遇ハズシテ其歸路過半ヲ經タリ

(八) 然レトモタルリトウント云ヘル處ニ達セシ時三人ノ年少ナル民兵ノ路傍ニ在ルニ會セリ其兵近ツキアンドルカ轡ヲ取リテ其馬ヲ駐メタリ是時アンドル將師アルノルドノ路票ヲ懷ニセルカ故ニ之ヲ其兵ニ示シヽナラハ恙ナク過キシナランニアンドルハ其兵ノ何處ヨリ來レルヤヲ問ヘリ

(九) 其輩答ヘテ唯〻下流ヨリト言ヘリアンドル之ヲ聞キ其三人ノ兵ヲ貎列顛黨ト誤認シテ謂テ曰ク予ハ貎列顛ノ軍官ナリ予急忙ナルカ故ニ請フ予ヲ過サシメヨト

(十) 此言ニ因リ三人ノ兵ハ忽チアンドルヲ擒ニシテ終ニ其靴中ニ密書アルコトヲ查出セリ」將帥アルノルドハ紐約ニ遁逃セシカ獨リメールアンドルハ亞米利加人ノ手ニ落チタリ

(十一) アンドル糺彈ニ遇ヒ間諜ノ罪ニ因リテ死刑ニ定メラレ華盛頓及ヒ總軍兵ハ大ニ之ヲ悲メリ然レトモ其死ヲ助ク可キノ道ナク竟ニ死刑ニ處セラレタリ

第百七十五章亞米利加

南部ノ戰爭並ニコルンウハルリスノ降服

(一) 革命戰爭ノ末ニ南部ニ於テ處置シタル大事件許多アリ

即チ千七百八十年ニ當リ彌ニブルゴイ子ニ勝チタリシ将帥ゲーツ南格阿利納(カロリナ)ノカムデンニ於テロルドコルンウヽルリスノ爲メニ撃敗ラル公會乃チ将帥グリーンヲ還ハシテ南部ノ軍ヲ指揮セシム

㊁将帥グリーンハ幼キ時クウェークルノ黨派ナリシカ革命ノ亂起ルニ及テ獨リ華盛頓ヲ除クノ外亞米利加軍中ノ寂タル良将トナレリ是レ南部ニ於テ其行兵宜キヲ得ルヲ以テ證スベシ

㊂グリーン貌列顛ノ軍ト戰フコト數次ナリト雖モ敵勢強盛ナルガ爲メニ時々退ク可ク迫マラル然レトモ敵猶グリーンヲ壓シテ眞ノ勝利ヲ得ルコト能ハス終ニ其熟練ト勇氣ノ爲メニ却リテ貌列顛ノ軍ハ市府チャーレストンニ迫ヒ退ケラル是ヨリ後南部ニ於テ更ニ敵ノ患ナシ

㊃是時ニ當リテロルドコルンウヽルリスハ大軍ニ将トシテ費爾治尼亞(ヴァルジニア)ニ在リ亞米利加及ヒ佛蘭西ノ軍之ヲ攻撃センカ爲メニ其地ニ進ム時ニ将帥華盛頓總軍ノ都督タリコナントデ、ロチャムボウハ其下ニアリテ佛軍ノ将タリ

㊄米佛ノ軍ヨルクトウンニ於テ貌列顛ノ軍ヲ圍メリ其圍ヲ受ル所以ハ敵将コルンウヽルリス其兵力ノ米軍ト曠野ニ會スルニ足ラザルコトヲ曉リシヲ以テナリ米軍乃チ敵寨ノ

周圍ニ胸壁ヲ築キテ晝夜之ヲ砲擊シタリ

㈥千七百八十一年十月十九日ニ當リテコルンウヴァルリス降服ノ軍議ニ同意セリ然レトモ勝チタル敵ニ自ラ其劍ヲ授クルノ禮ヲ行フヲ耻ツ是ヲ以テ其ジェ子ラルヲー、ハラヲ代理トシテ米軍ニ遣レリ

㈦因リテ參將ヲー、ハラ敗軍ヲ將ヰテ進ミ華盛頓ノ眼前ニ來ルニ及デ自ラ其劍ヲ取リテ之ヲ進呈セリ然レトモ華盛頓之ヲ受ケスジェ子ラル、リンコルンヲ指シ示シタリ故ハロルドコルンウヴァルリスノ外他人ノ劍ハ華盛頓自ラ受クルコト至當ナラサルヲ以テナリ

㈧ジェ子ラルリンコルン其劍ヲ受クルトキ貌列顛ノ軍即チ盡ク其兵器ヲ地ニ投ジ且其旗ヲ亞米利加人ニ授ケタリ

㈨コルンウヴァルリスノ降リテ後ハ一モ緊切ナル交戰有ラズ終ニ千七百八十三年和議成リテ公告セラル是歳ノ夏秋ニ至リテ貌列顛ノ軍盡ク本國ニ歸リ而シテ自主獨立ノ權ヲ亞米利加ニ與ヘタリ

㈩革命ノ亂ハ千七百七十五年歷星頓ノ戰爭ニ因リテ始リ而シテ八年間連續シタリ其間國人ノ艱苦甚タ大ナリ然レトモ其忍耐愛國ノ報償モ豈亦大ナラズヤ

第百七十六章亞米利加

㈠ 革命ノ亂終リテ後合衆國ノ人民ハ憲法ヲ定設スルコトノ緊要ナルヲ知レリ即チ現今ノ憲法ハ是時國中ノ最モ賢明ナル人々ノ制定スル所ナリ其法千七百八十九年ニ方リ始メテ施行セリ

㈡ 著名ナル善人華盛頓始メテ大統領ノ任ニ當レリ時ニ千七百八十九年ナリ其補佐タルモノハ内務尚書、軍務尚書、海軍尚書、金幣尚書、及ヒ大狀師ト稱ス大狀師ハ大統領ノ狀師ナリ

㈢ 是ニ於テ華盛頓及ヒ人民ノ名代ナル公會ハ専ラ政府ヲ

維持ス可キ務ニ從事シテ其切要ナル金ヲ募ルノ法制ヲ定ム其法ハ船舶ノ運輸シタル貨物ニ税ヲ課ス之ヲ税法ト名ツク

㈣ 次ニ裁判官ヲ定設セリ即チ法律ヲ施行シ且之ヲ遵守セシムル員ナリ是ヲ以テ政府ノ總分局速ニ施設シテ事緒ニ就クコトヲ得タリ

㈤ 千七百九十三年ニ方リ華盛頓再ヒ選擧セラレテ大統領トナリ前後八年其任ニ居レリ」千七百九十七年ニジョン、アダムス選擧セラレ華盛頓ニ繼テ第二代ノ大統領トナレリ」其管理ノ間華盛頓府ヲ紐約ニ代ヘテ首府トナセリ

⑥ 嘗テ亞米利加人ノ遭遇セシ最モ悲歎ス可キ事件ハ華盛頓ノ死ナリ其死ハ千七百九十九年ニシテ齢六十八歳ナリ擧國痛ク之ヲ悲メリ然レトモ華盛頓世ニ在リテ既ニ大鴻業ヲナシヽカバ今其天ニ昇ランコト必然ナリ

⑦ ジョンアダムスノ次ノ大統領ハトーマス、ジェツフェルソンナリ其管理ノ最モ彰明ナル事業ハ千八百三年ニ當リ佛ヨリ祿細亞那（ローイシアナ）ノ地ヲ買ヒシコト是ナリ其地方ノ大ナルコト密斯昔比（ミスシツシピー）河ト落機（ロツキー）山ノ中間ナル邦土ヲ有セリ其金價千五百萬弗ナリシト云フ

⑧ 地中海ニ濱シタルアルジールノ海賊嘗テ亞米利加船ヲ侵擊シテ其人民ヲ奴隷トナシタルコトアリ因リテ千八百四年ニ當リ大統領ジェフェルソン軍艦數艘ヲ送リテ其賊ヲ征討セシム是時賊兵乃チ痛ク攻擊セラレシヲ以テ爾後數年禍害ヲナサス然レトモ千八百十五年ニ終ニ剿滅セラレタリ

⑨ ジェツフェルソンモ亦華盛頓ノ如ク職ニ在ルコト八年ナリ千八百九年ジェームス、マジソン之ニ代ル其管理ノ間合衆國ト大貌列顚ノ交際極メテ惡シク且戰爭ニ及ブ可キ事故アリ

⑩ 因リテ千八百十二年六月十八日公會戰爭ヲ公告シ軍兵ヲ送リテ加拿他ヲ侵サシム其兵乃チ加拿他ノ境界ニ於テ數

回勇戰セシガ終ニ其地ヲ征服スルノ功ヲ果サス
⑪ 亞米利加ノ海軍ハ海上並ニ湖水ニ於テ顯著ナル許多ノ勝利ヲ獲タリ是時ニ至ルマデ貌列顚ノ海軍ニ常ニ勝利ヲ得タリシガ今米ノ勇猛ナル水夫盡ク其敵船ヲ降ラシメタリ
⑫ 其戰爭ノ最後ノ最モ較著ナルモノハ紐哈連府（ヌルリアンス）ノ戰ナリ即チ千八百十五年一月八日ノ朝屈強ナル貌列顚ノ軍攻メテ其府ヲ取ント欲シテ進ミタリシガ米ノ將ジャクソンノ卒ヰタル軍ノ爲メニ大ニ破ラレテ退却ス是ヨリ先キ兩國既ニ和議調ヒシガ其軍ハ未タ之ヲ知ラザリシナリ
⑬ 千八百十七年ニ方リ大統領マヂソン職ヲ退キジェームス、モンローノ之ニ代ル其管理八年ノ間國内安寧且昌盛ニ至リ又許多ノ部（部原語ヲ「テルリトリー」ト云フ合衆國ノ管轄ヲ受ケテ未タ邦制ノ整ハザルモノヲ云フ）邦ト爲リ及ヒ西方ノ廣大ナル地方ヲ開墾ス

⑭ 千八百十八年ニ方リテ革命ノ亂ニ與リタル老兵ニ年給ヲ與フルノ令ヲ出シ且英倫ト條約ヲ結ヘリ之ニ由リテ亞米利加ノ漁夫貌列顚領ノ沿海ニ漁獵ス可キ許可ヲ得タリ此條約ハ合衆國ノ爲メニ甚タ緊要ナルモノナリ
⑮ モンルー再ヒ大統領ニ選ハレタリシカ千八百二十五年ニ方リテヂョン、クインシーノ其職ヲ嗣ケリクインシーハ第二代ノ大統領ヂョン、アダムスノ子ナリ其管理ノ間切要ナル事

件ナシ國內靜謐ニシテ萬國ト親睦ス唯〻僅カニクリーク及ヒ卓爾治亞(ジョールジア)ノチェロキー印度人ト相爭フノミ

(十六) 千八百二十六年七月四日前ニ大統領タルジェツフェルソン及ビアダムス死スジェツフェルソン辭世ノ言ニ曰ク予カ魂ハ天神ニ依托シ予カ女ハ我カ國ニ依托ストアダムスハジェツフェルソンノ死セシコトヲ知ラス死ニ際シテジェツフェルソン存生セリト言ヘリ

(十七) ニューヲルリアンスノ戰爭ノ時武勇ヲ顯ハシタルアンドリウ、ジャクソン選ハレテ大統領ト爲ル時ニ千八百二十九年ナリ其在職ノ間南格阿利納邦ハ合衆國ノ法例ニ從ハザルノ

企謀ヲ起セリ其主意ハ法例ノ南ニ薄クシテ北ノ爲メニ厚キナリト云フヲ以テナリ之ニ由リテジャクソン兵ヲ南格阿利納ニ送リ且自ラ出陣セント威嚇セリ然レトモ是時ヘヌリー、クレー推讓相和ノ法ヲ陳言セルニ由リテ難事悉ク治平シタリ

(十八) 其他ジャクソンハ合衆國銀行ヲ閉チテ國ノ爲メニ大禍害ヲ釀シ又密斯昔比河外ニ許多ノ印度人種ヲ移シ及ヒ本土ヲ去ルヲ否ミタル福落里得ノセミノルス人種ト兵端ヲ開キ且合衆國ノ既ニ久シク佛蘭西及ヒ葡萄牙ニ負債シタル大金ヲ拂フ可ク二國ノ督促ヲ受シ等ノ處置アリ

第百七十七章亞米利加

大統領ノ話

(一) 千八百三十七年ニマルティン、ファン、ブレン大統領トナル是時合衆國ハ人民ノ行爲放肆ナルノミナラス正金ノ融通壅塞ス且合衆國銀行ヲ閉ルノ患アリ是ヲ千八百三十七年ノ驚慌ト謂フ

(二) 是ヲ以テ國內昌盛ナラズ且セミノールノ戰爭久シク已マザリシガヲスセヲヲノ攻取ニ由リテ其戰爭終ニ止ム又メイントニュー、ブルンスウヰツクノ境界ニ係リテ一時ハ合衆國ト英倫ノ間ニ將ニ戰爭起ヲントス然レトモ其戰地ニ送ラレタル大將スコットニ依リテ和議整ヒタリ

(三) ファン、ブレンハ國步艱難ノ時四年間統領職ニ在リ千八百四十一年ニ及テウヰルリャム、ヘヌリー、ハルリスン此職ヲ嗣クハルリスンハ曩ニ將帥トナリ西北ノ地ニ於テ英及ヒ印度人ト屢〻戰ヒタリシ人ナルガ今年甚タ老タルニ由リ大統領ノ職ニ就ク後全一月ニシテ死ス

(四) ハルリスンヲ大統領ニ選ヒタリシ時ジョンタイレルヲ舉ケテ副統領トナス但シ副統領ハ大統領生存ノ間議員ノ長ニシテ若シ其死スル時ハ之ニ代ルモノナリ是ヲ以テタイレル、ハルリスンノ死後大統領トナレリ

⑤ タイレル奉職ノ始メ公會ノ制定シタル某ノ法律ニ押印スルコトヲ否ミシニ由リテ大ニ人望ヲ失ヒ議事堂ノ會員ハ獨リダニール、ウェブストルヲ除クノ外皆タイレルヲ見棄テタリ

⑥ 是時ニ當リ德過瑟斯(テキサス)ヲ聯邦ニ合スルノ事ニ就テ議論紛然タリ德過瑟斯ハ墨是哥中ノ部分ニシテ許多亞米利加人ノ定住シタル處ナリ其國當時墨是哥ノ管轄ヲ脫シ獨立シタル旨ヲ告知シ而シテ合衆國ニ聯合スベキ許可ヲ請ヘリ公會乃チ久シク其案ヲ討論スルノ後遂ニ邦ト爲スノ議ニ決定セリ

⑦ 千八百四十五年ニ方リテジェームス、ケー、ポーク大統領ト爲ル爾後幾ナラズシテ墨是哥軍ヲ德過瑟斯ニ進ム蓋シ其合衆國ニ聯合セシヲ以テナリ是所謂墨是哥役トテ一年有餘續キタル戰爭ノ發端ナリ

⑧ 將帥ザカリー、テーロルヲ墨是哥ニ遣シテパロアルト、レサカ、デ、ラパルマ及ヒブエンナ、ウヰスタノ地ニ於テ著名ナル戰ヲ爲セリ」又將帥スコットハ海上ヨリ遣ラレウェラ、クリュス及ヒ墨是哥ノ首府ヲ攻取リタリ」千八百四十八年ノ和約ニ由リテ合衆國ニ柳墨是哥(ニューメキシコ)武達(ユータ)及ヒ嘉理符尼亞(カリフヲルニア)ヲ得テ而シテ部トナセリ

(九)ザカリー、テーロル墨是哥ニ於テ大ナル軍功アリシニ由リ其褒賞トシテ統領職タルベク選ハレ千八百四十九年三月四日其職ヲ奉ズ是レ合衆國第十二代ノ大統領ナリ」紐約ノミルアルド、フィルモール選擇セラレテ副統領ト為ル

(十)當時嘉理符尼亞ハ金坑アルノ故ヲ以テ亞米利加人既ニ此地ニ輻湊シタリ而シテ其部ハ邦ト為リテ合衆國ニ聯合スル許可ヲ得ンコトヲ欲セリ因リテ千八百五十年二月其人民等之ヲ公會ニ懇願ス此事久シク論決セザリシガ歳ヲ超エズシテ終ニ許可セラル

(十一)將帥テイロル在職僅ニ一年ニシテ死シミルヲルド、フィルモール之ニ襲ク其在職ノ間ニューフォオントランドノ漁獵ノ事ニ係ハリ合衆國將サニ大貌列顚ト戰ハントスルノ勢ニ至レリ然レトモ事竟ニ安穩ニ治リタリ

(十二)千八百五十二年數艘ノ軍艦ヲ日本ニ送リテ大統領ノ書ヲ天皇ニ贈ル其書中ニハ二國ノ間通商貿易ノコトヲ勸ムル條件ヲ述ブ而シテ使者其意ヲ遂ゲテ條約整ヒタリ千八百六十年ニ方リ日本使節ノ合衆國ニ到ルモノハ其條約ノ故ヲ以テナリ

(十三)千八百五十三年三月フランクリン、ピールス大統領ト為ル其在職四年ノ間將サニ外國ト戰ハントスルコト凡ソ六

度ナリシカ皆和議ニ由リテ其難ヲ避ルヲ得タリ」是歳ドクトルケーン北氷海ニ航セリ其發見ノコトハ予既ニ語レリ又剛色斯(カンサス)ノ難事起ル是レ當日既ニ議定セラレシ所ノ事ナリ

(十四) 是時ニ當リテ英佛土ノ三國魯西亞ト戰爭ノ事ニ從事セリ而シテ英ハ兵卒ニ乏シキガ故ニ其華盛頓府ニ駐劄スル公使及ヒ亞米利加ノ諸港ニ在ル領事官皆公然合衆國ノ人民ヲ招募セリ然レトモ此戰ニハ合衆國局外中立シテ其法ヲ固守センコトヲ欲シ魯西亞ト其條ヲ約セリ因リテ大統領英ノ公使及ヒ領事官ヲ英倫ニ回送セリ英ハ一時之ヲ憤リタレトモ其曲タルコト明白ナリシガ故ニ忽ケ憤怒ヲ解セリ

(十五) 千八百五十七年ニ方リテジェームブチャナント云フ者フランクリン、ピールスニ襲ク其管理間ノ主ナル事件ハ剛色斯ヲ邦タルベク許可スルノ企謀モルモンストノ戰爭即チ千八百五十七年ノ驚慌」亞米利加ノ婦人ノ社友モオントウェルノンニ在ル華盛頓ノ居宅及ヒ墳墓ノ地ヲ買フ事」グードリッチ米國史ニ曰ク千八百五十八年四月六日華盛頓ノ居處ナルウェルノン山ノ持主ジョン、エーワシントン二十萬弗ノ金ヲ以テ其絶勝ノ地ヲウェルノン山ノ婦人社友ニ賣ルノ調印ヲナセリ是ヨリ後其社友勤勉忍耐シテ必要ナル報國ノ金ヲ集メ遂ニ國父ノ居宅及ヒ墳墓ノ持主タリ此地ハ華盛頓記標ノタメニ奉供シタル國民ノ碑トシテ千載不朽ニ傳フベシト大西洋ヲ渡シテ海底ニ電信線ヲ設ル事」及ヒ威爾斯ノ君來訪ノ事是ナリ」千八百六十年大ニ年アリテ邦土ノ昌盛ヲ復シタリ蓋

シ千八百五十七年以來凶歳ナリシニ由リテナリ

第百七十八章亞米利加

合衆國史ノ畧論

㈠今吾カ談米國ノ畧話ヲ終レリ蓋シ合衆國中白人ノ初メテ居ヲ定メシハ費爾治尼亞ナリ時ニ千六百七年ナリ其次ハ紐約ニシテ千六百十三年ニ和蘭人ノ爲メニ開カル又其次ハ馬洩朱些斯ノプライモースナリ是レ千六百二十年ニピュリタンス（所謂ピルグリムス宗徒ノ名）ノ開ク所ナリ

㈡自餘ノ部分ハ其後忽チ定住セリ是レ多クハ英倫ヨリ來リシ人ニ由ル植民地モ亦瑞典日耳曼及ヒ佛蘭西人ニ由リテ

定メラル斯クテ大西洋ニ濱スルノ地盡ク人ノ住處ト爲リ且逐次ニ定住者愈〻遠ク荒蕪ノ地ニ入リ終ニ内地ニ市街都府ヲ建立セリ

㈢今ヲ距ルコト二百五十餘年前ニハ浩大ナル國土ニ唯〻印度人種ノミニシテ白人ノ住居アラス蓋シ其人口ノ全員ハ合衆國ノ現今ノ境内ニ百萬有餘アリシナラン

㈣林中ニ住居シタル土民ハ逐次白人ノ爲メニ驅ラレタリ但シ多クハ白人ト戰ヒテ殺害セラレ自餘ハ其居處タル林木ヲ伐ラレ且土地ヲ開墾セラレシニ由リテ次第ニ退隱シタリ

㊄初メ其土民ハ熊、鹿、野牛及ヒ野火雞（ウハイルドトルキー）ヲ獵シ以テ其生ヲ營ミシニ今其動物市街都府ヲ避ケテ林中ニ逃レシカバ印度人モ亦其跡ヲ追ヒテ去レリ

㊅此ノ如ク紅人其住居ノ地ヨリ散去シテ方今ハ遼遠ナル西方ノ荒地ヲ除クノ外目ニ觸ルヽモノナシ西方ノ荒地ニハ熊、鹿、野牛、野火雞ノ群及ヒ其他ノ動物アルヲ見ルベシ其地現今印度人ノ棲息スル所ナリ

㊆夫レ印度人ノ退避セシニヨリテ白人繁殖シタリ是レ英國王ノ管下ニ屬セシ者ナリ革命ノ時ニ方リ其人口三百萬アリシカ其人民英王ノ虐政ニ堪ヘス竟ニ王ノ權威ヲ貶黜シテ

自已ノ政府ヲ與セリ

㊇其政府ハ千七百八十九年ニ設立シタリ吾曹其下ニ安ンズルコト既ニ七十餘年ナリ其初メ僅々三百萬ノ人民ナリシガ現今幾ド三千萬ノ多キニ至レリ

第百七十九章亞米利加合衆國史ノ畧論

㊀吾カ國史ヲ反覆熟視セハ獨立國タル以來三回戰爭ニ從事セシコトヲ知ルベシ獨立前ニハ植民ト印度人種ト戰フコト數次ナリ又千七百五十五年ノ頃ニ起リシ所ノ佛蘭西戰爭ノ時數々戰ヒシコトアリ

㈡革命ノ亂ハ重大ノ事件ナリ其戰ヲ起ス所以ハ我カ人民不羈獨立シテ自主自由ヲ得ンガ爲メナリ然レトモ亞米利加ハ貧弱ニシテ英倫ハ富强ナリ此戰ニ於テ我カ國ノ强ナルコト譬ヘバ壯大ナル人屈强ノ童子ヲ捕獲シ鏈ヲ以テ之ヲ縛セシカトモ其童子鏈ヲ斷チ其虐使者ニ敵對シテ之ヲ國土ヨリ驅出シタルカ如シ

㈢吾回顧スレハ此國ノ自主獨立ヲ建立センガ爲メ我祖先ノ極メテ艱苦勤勞セシコトヲ知ルベシ今吾曹其餘澤ヲ蒙リテ大平ニ安ンズ故ニ此大人君子ナル我曹祖先ノコトヲ忘ルヽ勿レ又天我カ祖先ノ勞ヲ賞シタレバ請フ天ニ謝スベシ

㈣汝吾國史ヲ復シテ一視スルノ後請フ現今ノ情形ヲ考フヘシ即チ市府都會全國ニ碁布シ又丘阜及ヒ山間ヲ見ルベシ花卉果樹アリテ此ニ滿ツ而シテ毎歲其收納アリ

㈤江河ハ滊船往來シテ繁昌ノ景ヲナス溝渠ニハ產物及ヒ貨物ヲ運漕スルアリ蒸氣車ハ其駛ルコト飛鳥ノ如シ海港ニハ船舶輻湊シテ桅檣林ニ似タリ電信線ハ音信或ハ新聞ヲ通ズ其神速ナルコト風ニ具スルニ羽翼ヲ以テストモ何ソ之ニ及ハンヤ

㈥紐約府ハ人口百萬ヲ有シテ其熱鬧ナルコト喩ヘバ群集シタル蜂巣ノ如シ且整潔ノ街衢美麗ノ屋宇並ニ銀舖禮拜堂

等アリ

㈦ 舖店ニ入レハ美麗ナル貨物アルヲ見ル其品類ハ支那瓜哇温都斯坦亞喇伯地中海ノ總海濱ノ諸邦英倫佛蘭西和蘭及ヒ東海ニ濱レタル國々ヨリ運輸シタルモノナリ

㈧ トリニテイー、チヨルチノ絶頂ニ上レハ水ノ四週スル景色ヲ望ミ且船檣林立シテ市府ノ南隅ヲ繞ルヲ見ル可シ又各國通商ノ旗號ハ遠ク天際ニ飄リ帆舟滊船ハ絡繹トシテ往來スルヲ見ル可シ

㈨ 其絶勝ナルコト言フ可カラズ嗚呼僅々二百餘年前開墾シタル國ニシテ亦此絶景アリ」汝若シ詳ニ我國ヲ知ラントス

欲セバ蒸氣船ニ乘シテホツドソン河ニ泝ス可シ此レ地球上名河ノ一ナリ

㈩ 汝トロイアルバニーユチカロチェストルブッフハロニ行テ見ルベシ此皆紐約邦中昌盛ナル市府ナリ即チ許多ノ村落美麗ノ家屋及ヒ居民ノ安樂ニ營世スルヲ見ル可シ

⑪ 汝若シ旅游ヲ好マバ蒸氣船ニ乘シイーリー湖ヲ渡リテ呵海呵ニ進ムベシ其地七十年間居民ナカリシガ今ハ昌盛ノ市街及ヒ村落處々ニ散在スルヲ見ルベシ又シンシンナテイローイスウヰルレナシウヰルレシント、ローイスニ行キ夫ヨリ大河密斯昔比ノ中流ニ出テ紐哈運ニ進ム可シ

(十二) 密斯昔比河ノ流ルヽ處ハ山間ノ廣大ナル平地ニシテ數百萬ノ人民既ニ其地ニ住居シ頓ニ殷富トナリテ開化進步ス

(十三) 汝此ノ如キ昌盛ナル事ヲ見ルノ後家ニ歸リ靜ニ坐シテ昔時ヲ細思シ今日ヲ考ヘ將來ヲ思フベシ若シ我政府連綿トシテ永存シ又我國人ハ信實ニシテ各其利益ヲ圖リ且父祖ノ遺傳シタル自主自由ヲ保全セバ我國ノ隆盛嗚呼如何ソヤ

(十四) 若シ果シテ我國人信實ニシテ各其利益ニ心ヲ留ムレバ余言フ我曹樂國ニ在リテ且良善ナル良政体ヲ有スト然レトモ國ノ美ト政体ノ善ナルヲ以テ安寧ナリト思フ可カラズ人

民若シ怠惰ノ行ヲナシ或ハ不正ノ事ヲナスニ至ラバ國土荒廢スヘシ譬ヘバ政府ハ猶家屋ノゴトシ是故ニ住者能ク其家ニ注意セスンハアル可カラズ

(十五) 夫レ住者ハ風雨ノ時必ス戸ヲ閉ヂ窓ヲ鎖スベシ而シテ若シ風雨ノ為メニ破損ノ處アリ或ハ朽壞スルアレハ必ス之ヲ修繕スベシ夜ハ又火ヲ戒メスンハアル可カラス之ヲ概言スレバ一家ノ規律ハ信任ヲ得治家ノ事ニ通曉シ且誘惑セラレテ其職分ヲ怠ラザル人必ス之カ注意ヲナスベシ

(十六) 若シ家屋ヲ以テ思慮ナキ人或ハ怠惰或ハ實心ナキ者ニ依托セバ火ヲ失シテ其住者ハ焦死スベシ若シ然ラザレハ朽

壞シテ其住者ハ盡ク壓死スベシ或ハ又破損シテ寒風雨雪吹入リテ凄然タル住家トナルニ至ルベシ

(七)政府モ猶此ノ如シ若シ思慮學識ナク或ハ實心ナキ人ヲ選擇シテ國事ヲ管掌セシメバ戰爭及ヒ騷亂隨ヒテ起ル可シ又貧困惡弊國中ニ蔓延シ知識昌盛ハ變シテ無識疲弊トナルヘシ即チ政府モ亦屋宇ノ如ク我曹ヲ庇蔭スル所ノモノナルガ故ニ若シ其管理宜キヲ得ザルトキハ或ハ炎燒シ或ハ暴風ノ爲メニ倒レテ我曹ノ滅亡スル原因トナルベシ

(八)予カ幼童此等ノ事ヲ熟考シテ汝成人トナルノ後ハ國民ノ良友タル管理ノ任ニ適シ且正直ナル者ノ外決シテ他ノ人ヲシテ管理者タラシム可カラズ若シ其任ニ堪ヘサルモノ其職ニ就カバ汝權勢ヲ振ヒテ之ヲ排斥ス可シ

第百八十章亞米利加

南亞米利加ノ話並ニ鍍金及ヒ幼年泉

(一)閣龍ノ亞米利加ヲ發見セシヤ直ニ羅馬法皇總テ其地ヲ以テ己レノ有タルベク主張セリ世人モ亦意ラク舊教ヲ奉スル歐羅巴諸國ノ君ハ皆法皇ノ許可ヲ得ルニ非サレバ其地ニ植民スルノ權利ヲ有セスト

(二)是時法皇ハアレキサンドル六世ナリ法皇人ト爲リ甚タ寬大ナレハ新世界ノ一半ヲ以テ西班牙王ニ授ケ又一半ヲ葡

葡牙王ニ付與シタリ二國ノ王乃チ人ヲ送リテ浩大ノ地方ヲ征畧シ且無數ノ土民ヲシテ奴隷トナラシメタリ

㊂初メ西班牙人西印度ノ群島ヲ取リテ赫法拿府ヲ苦柏島ニ建設シ大守ヲ其地ニ留メタリ爾後他國ノ人民亦其群島ヲ取レリ蓋シ亞米利加ニ來リシ者ノ目的ハ專ラ金銀ヲ得ンガ爲メナリ即チ人皆喧傳シテ西大陸ノ某ノ部分ハ金銀豐富ナリトノ奇怪ノ談ヲナセリ

㊃又西大陸ニ於テ鍍金國ト云ヘルモノアリトテ其狀ヲ記ス其說ニ曰ク其國王ハ日ニ金粉ヲ以テ其身ニ塗レリ故ニ其觀金像ニ似タリ其宮殿ハ白色雪ノ如ク粲然タル大理石ヲ用

ヰテ之ヲ造リ柱ニハ白玉及ヒ紅班石ヲ以テシ宮門ニハ二匹ノ獅子ノ護衛スルアリ其獅子ハ重大ノ金鏈ニテ高大ノ柱ニ繫キタルモノナリ

㊄其獅子ノ前ヲ過キテ噴水井アリ其井ハ大ナル四條ノ金管ヨリ絶エズ銀水ノ迸出スルモノナリ此宮殿ノ内部ハ其壯麗ナルコト筆ノ及フ所ニアラズ

㊅宮中ニ純銀ノ祭壇アリ其上ニ金ノ巨大ナル太陽ヲ安置ス燈火ハ絶エス燃エテ其光輝無數ノ金銀ノ器物ニ映ズト云フ」此談ハ或人ノ作リタル美妙ノ小說ニシテ歐羅巴人ノ信スル所ノモノナリ

(七) 鍍金國ヲ探訪センカ為メニ危險ヲ冒シヽ者其數許多ナリ而シテ某ハ託言シテ曰ク予眞ニ其王國ニ到レリト然レトモ其後久クシテ此ノ如キ王國ノアラザルコトヲ知ルヲ得タリ

(八) 其他西班牙人ノ亞米利加ニ於テ捜索セント欲セシ所ノモノハ幼年泉ナリ其輩意ラク深林中茂樹蔽フ所ニ玲瓏タル泉アリ人其泉水ニ浴セハ面皺愈エ白髮變シテ黑ニ復スヘシト

(九) 嗚呼若シ此ノ如キ泉アラハペートル、パーレー年老イ足蹩ナリト雖モ其地ニ旅游シテ先ツ之ニ浴セン然ル後ニハ亞米利加ノ幼童翁ヲ課覛テ曰ハン吾ニ史談ヲ語リタル老年蹩足ノ先生ハ何處ニ在ルヤト

(十) 今爰ニ汝等ノ曾テ知ラザル所ノ美少年アルヘシ且謂テ曰ハン予ハ前ノ老翁ペートル、パーレーナリ少年泉ニ浴シテ復タ幼童トナレリ請フ來リテ予ト共ニ獨脚跳セヨ最モ遠ク進ム者誰ソヤト

第百八十一章亞米利加

墨是哥ノ史及ヒ跨的馬拉（グワテマラ）ノ事

(一) 亞米利加內鍍金國ノ如キ者アラスト雖モ嘗テ西班牙人ノ墨是哥國ヲ强奪シテ以テ足レリトセシヲ見レハ彼ノ貪心

賕クコト無キ人民ヲモ飽カシムルニ足リタル極メテ富有ナル金穴國ナルベシ是レ即チ墨是哥帝國ナリ

㊁ 其國ハ北亞米利加ノ北境ニ在リテ土壤ハ墨是哥灣ヨリ大平洋ニ達ス其都市モ亦墨是哥ト稱セル世界ノ壯麗ナル都市中ノ一ナリ

㊂ 初メ亞米利加ノ發見セラレシ時墨是哥府ノ壯麗ナリシコト今日ノ比ニ非ス其神廟家屋ハ金ヲ以テ粧飾シ儼然トシテ整列ス又其居民ハ他ノ亞米利加土人ヨリ更ニ開化セリ

㊃ 千五百十九年ニ西班牙ノフェルジナンド、コルテズト云フモノ僅々六百ノ兵ヲ將ヰテ墨是哥ヲ侵擊セリ其兵寡少ナリト雖モ皆堅甲ヲ被リ小銃大砲ヲ具備セシガ故ニ墨是哥ノ全軍ト戰フコトヲ得タリ

㊄ 墨是哥帝ハ名ヲモンテズマト云ヘリ帝西班牙人ト戰フヲ恐レ因リテコルテズ及ヒ其部兵ヲ優遇セリ然レトモ其後幾ナラズシテコルテズ帝ヲ捕ヘテ獄ニ下シ且鐵索ニ繫キタリ

㊅ 帝此ノ如キ不幸ノ地ニ在ルヲ以テ終ニ西班牙王ノ臣僕ト爲ランコトヲ諾セリト雖モ墨是哥人叛逆ヲ起スニ因リ帝乃チ自ラ之ヲ鎭靜セシトス時ニ逆徒發怒シテ大ニ叫ヒ帝ヲ罵辱セリ

㈦其徒激怒ニ乘シテ矢ヲ放チ或ハ石ヲ投セリ其矢帝ノ胸ニ中リシカハ帝ハ立トコロニ倒ル然レトモ帝ハ其傷ヲ療スルヲ欲セズ日ナラズシテ死ス誠ニ不幸ノ人ナリ

㈧墨是哥人モンテズマノ壻グウヸテモジンヲ立テヽ帝位ヲ繼カシム帝烈シク西班牙人ヲ攻擊シテ都市墨是哥ヨリ驅出セリ然レトモコルテズ怨ヲ復タ軍ヲ將ヰテ來リ墨是哥全國ヲ征服シタリ

㈨帝グウヸテモジン擒トナルニ及テ其隱匿セシ寶貨ノ所在ヲ告クルヲ否ミタリ是ニ於テ西班牙人ノ某ハ帝ヲ熾火ノ上ニ横タフ帝其苦痛ニ堪ヘズシテ輾轉セシカハコルテズ之

ヲ救フ蓋シコルテズハ彼ノ恐ルヘキ惡徒ニ黨與セザリシ人ナレトモ其後幾ト三年ヲ經テグウヸテモジン叛逆ヲ圖ルノ疑ヲ蒙ルトキコルテズ命シテ帝ヲ絞罪ニ處セシメタリ

㈩傳ヘ云フコルテズ其部兵ト共ニ悉ク墨是哥ヲ掠奪センカ爲メニ其人民四百萬ヲ屠殺セリト然ルニコルテズ托言シテ曰ク吾之ヲ爲ス所以ハ特ニ墨是哥人ヲシテ耶蘇教ニ改宗セシメンガ爲メナリト然レトモ其爲ス所ノ事ヲ見レハ耶蘇宗徒ニ似ズシテ妖魔惡鬼ニ彷彿タリ

(十一)コルテズノ墨是哥帝國ヲ征服セシヨリ後其國連綿トシテ西班牙ノ管下ニ屬セシガ終ニ千八百十年ニ至リテ擾亂ヲ

起セリ

(十二) 千八百十三年ニ方リ墨是哥内ノ諸部各〻不羈獨立ヲ公告スト雖モ其事七年ノ久キヲ歷ルニ至ルマテ確定セス其一部タル德過瑟斯ハ千八百四十五年ニ當リテ合衆國ノ一邦トナレリ

(十三) 此ニ由リテ予カ既ニ語リシ如ク墨是哥及ヒ合衆國ノ間ニ戰爭起リ合衆國ノ將スコット軍ヲ卒ヰテ其都市ヲ攻取セリ是戰ノ爲メニ墨是哥終ニ柳墨西哥武達及ヒ嘉理符尼亞ノ三大部ヲ失フ

(十四) グウヘナマラト呼ハレタル國ハ共和政治ニシテ其首府

ハ聖薩剌弗佗爾ナリ今其中央亞米利加ト稱セラレタル諸部ハ現ニ各〻獨立セリ

第百八十二章 亞米利加

西班牙領秘魯

(一) コルテズノ墨是哥ヲ征服シテ後未タ數年ヲ出デサルニ西班牙人又南亞米利加ノ大帝國秘魯ヲ征服ス秘魯ハ現今北ハ共和政治ノイクアドル邦ニ界シ東ハ巴西ニ接シ南ハ玻里非及ヒ太平洋ニ面ス西班牙人始メテ之ヲ侵擊セシ時ハ其帝國更ニ廣大ノ地方ヲ有セリ

(二) 秘魯ノ國君ハインカスト稱號セラル其人民ハ國君ノ始

祖ヲ以テ太陽ノ子ナリト爲ス且其禮拜スル所ノモノハ太陽ナリシト云フ

㊂秘魯ハ許多壯麗ノ市府ヲ有シ且其金ヲ產スルコト墨是哥ノ比ニ非ズ西班牙人之ヲ聞クヤ直ニ其全國ヲ取リテ以テ我カ有ト爲サント決心セリ

㊃初メテ其國ヲ侵擊セシ者ハフランシス、ピザルロナリピザルロハ千五百三十一年ニ方リ兵ヲ將ヰテ秘魯ニ進ミ其宮殿ニ入リテインカヲ擒ニセリインカハ名ヲアタバリパト曰フ其既ニ擒ニ就クヤ其苦ヲ脫センガ爲メニピザルロニ贈ルニ大金ヲ以テセリ其金ノ巨多ナルコト宮中ノ大房ニ累層シ高サ殆トアタバリパノ身ノ長ケニ等シ

㊄然レトモピザルロ其金ヲ受ケテ後インカヲシテ自由ナラシムルコトヲ欲セズ且其贈リタル財ヲ以テ足レリトセズ終ニ之ヲ殺サント決心シタリ因リテピザルロ死刑ヲ命セシカバインカハ絞ラレ且燒レタリ

㊅ピザルロ秘魯ヲ征服シテ後其部下ノ長アリマグロト云フ者ト相鬪ギ遂ニ共ニ戰爭ヲ爲シヽカピザルロ勝利ヲ得テアルマグロヲ刎首セリ其後幾ナラズシテピザルロモ亦殺害ニ遇ヘリ

㊆尋テ秘魯帝國ハ數州ニ分タル此皆西班牙ノ管轄ニ屬シ

其他西班牙ノ領地ハ大率南亞米利加ノ西部ヲ擁セリ
㈧然レトモ西班牙王國終ニ衰ヘ權威以テ其植民地ヲ管スルコト能ハザルニ至レリ抑〻西班牙政府ノ妨害ヲ基セシモノハジョセフ、ボナパルトガ其國王ト爲リシコト是ナリ其後西班牙ノ前王其位ニ復スルニ及テ其人民舊ノ如ク服從セザリシナリ
㈨嘗テ西班牙ノ轄地タリシ亞米利加内ノ土壤ハ墨是哥連邦跨的馬拉一名中央亞米利加新加拉那太非宜蘇意拉依怪佗爾秘魯玻里非智利ブエノスアイレスウルグウェー及ヒパラグウェートヒフ今其多クハ獨立ス然レトモ人口ハ皆甚

タ稀疎タリ

第百八十三章亞米利加

巴西ノ話

㈠巴西ハ北ハ新加拉那太非宜蘇意拉及ヒ亞阿那ニ接シ東ハ大西洋ニ面シ南ハ太西洋ウルグウェー及ヒパラグウェーニ連リ西ハ玻里非秘魯及ヒ依怪佗爾ニ界ス其廣大ナル幾ト合衆國ノ全土ニ等シ
㈡西班牙人亞米利加内ノ處々ヲ征服セシトキ葡萄牙人巴西ニ來リ宣言シテ曰ク我輩亞馬生河ノ近傍ニ於テ女國ヲ發見ス其女皆戰爭ヲ事トセリト

(三) 葡萄牙人ハ西班牙人ノ如ク殘忍不道ノ擧ヲ爲シヽコトナシ故ハ巴西ノ土人金ヲ有セルコト僅少ナルニヨリ西班牙人此地ヲ以テ植民スルモ益ナシト爲セハナリ

(四) 又葡萄牙ノ人民ハ巴西ニ遣ラルヽノコトヲ以テ死ニ遇フト殆ト同一ナル凶事ト爲シヽニヨリ多年其政府ハ罪人ノ外何人タリトモ巴西ニ送ラザルヲ以テ例ト爲セリ

(五) 千五百四十八年ニ方リテ衆多ノ猶太人巴西ニ竄セヲル是ニ於テ其輩甘蔗ヲ培栽シテ大ニ其功ヲ成セリ葡萄牙王其地ノ沃饒ニシテ且富有ナル狀ヲ聞クニ及デ其利ヲ失ハザヲンカ爲メニ管理者ヲ遣レリ

(六) 佛蘭西西班牙及ヒ和蘭モ亦巴西ヲ有セントノ企謀ヲ起シヽガ葡萄牙諸國ニ抵抗シテ終ニ其地ヲ統一シ自ラ之カ主トナレリ若シ諸國巴西ノ地ニ隱匿シタル富アルコトヲ聞キシナラハ容易ニ其口實ヲ廢セサリシナラン

(七) 巴西ニ植民ノ後久クシテ貴重ノ金坑ヲ發見ス又其諸河底ニ於テ沙礫ニ混ジタル金ヲ査出スルコト頗ル多シトパツ（寳石ノ名トパヅス河ノ水底ニテ發見ス故ニ此名アリ）及ヒ金剛石ハ煌々トシテ時々金中ニ在ル有リ

(八) リヲパルド河ハ甚タ細流ニシテ且淺水ナリト雖モ金剛石ヲ産スルコト許多ナリ他ノ諸河モ亦多ク之ヲ産セリ國人

ノ使隷タル黒奴ハ其河ノ沙礫ヲ洗濯スルガ爲メニ役セラル而シテ其輩若シ大ナル金剛石ヲ査出スレバ其身ノ羈絆ヲ脱セラルヽコトヲ得ルト云フ

㊈千八百八年ニ方リ葡萄牙王巴西ニ移住シテ其朝ヲ里約日内路府ニ建設セリ爾後十五年ヲ經テ王本國ノ都府力斯本ニ歸ル是時王ノ太子ペドロ巴西帝ト公告セリ

㊉千八百三十一年巴西ノ人民ペドロノ統御ヲ以テ不滿ト爲ス故ニ帝ペドロ位ヲ其子ニ讓ル時ニ太子齡僅ニ五歳ナリ太子巴西帝ト稱セラルト雖モ幼冲ニシテ親ラ事ヲ執ルコト能ハザルヲ以テ其政府ハ數年間代理議員ニ由リテ維持セラル蓋シ是ヨリ國本固定スルヲ得テ國土漸々昌盛ナル景狀ニ至レリ

第百八十四章亞米利加

西印度島

㊀予西印度島ニ就テ某ノ話ヲ汝ニ語ラザレバ亞米利加ノ談ヲ終ラザルベシ西印度島ハ太平洋中ニ在リテ南北亞米利加ノ中間ニ位シ而シテボハマス、アンチルス及ヒカリッビーストト名ツケタル三群島ヲ有スボハマ群島ハ其最北ニアリテ福落里得ニ接近ス其島數幾ト六百アレトモ皆小島ナリ其多クハ砂礫巖石ナレハ栖息スル所ノ人民アルナシ

㈡ 此群島ハ種々ナル海鳥ノ宿スル島ナリ其鳥ハ大抵夏時合衆國ノ湖水及ヒ海濱ニ至リ冬間ニハ其寂寥タル處ニ還リテ栖宿セリ○ボハマ群島ハ大貌列顛ニ属ス其人口幾ト一萬七千有リ其島中首タルモノハトルクス、アイランドプロヰデンス及ヒサン、サルフハドル一名カット、アイランドナリサン、サルフハドルハ即チ閣龍ノ始メテ發見セシ處ナリ

㈢ アンチル群島ハ西印度島ノ中間ニ在リ苦柏ハイチ一名シントドミンゴ波爾多黎各（ポルトリコ）及ヒジャマイカ等ノ諸島ヲ有ス苦柏ハ其諸島ノ最モ大ナルモノニシテ西班牙ニ属スハイチハ獨立ニシテ黑人ノ管理スル處ナリ波爾多黎各ハ西班牙ニ属スジャマイカハ島數稀少且褊小ニシテ大貌列顛ニ属ス

㈣ カリッビー群島ハ西印度島ノ東南ニ在リテ三角形ヲ爲シ波爾多黎各ヨリ南亞米利加ノ海濱ニ達ス其數極メテ多シ此皆歐羅巴ノ諸國ニ属ス其首タル者ハマルチニケ、バルバドース、シント、トーマス、トバゴ、シント、ルシカ、シント、ウヰンセント、グウダロープ、アンチグウ、シント、キリストーフル、ドミニカ、サンタクリュズ及ヒトリニダッド是ナリ

㈤ 西印度ハ氣候常ニ夏月ノ如クニシテ未タ霜雪ノ其地ニ降ルアラズ樹木ハ皆常ニ緑葉ヲ着ケ又許多ノ卉草ハ絶エズ花開キテ其光景錦繡ニ似タリ

㊅合衆國ニ生スル林檎、桃、李、梅、等ノ如キ果實ハ西印度ニ於テ絶エテ產セズト雖モ橙、無花果、檸檬、鳳李及ヒ其他甘味ナルモノ許多アリ

㊆其人民ハ麥、小麥、燕麥及ヒ大麥ヲ耕作セズ然レトモ甘蔗ヲ培栽シ之ヲ以テ糖及ヒ蜜ヲ製ス又咖啡、綿、藍、烟草、椰子、百種ノ香料及ヒ其他ノ諸物ヲ培養ス

㊇林中ニハ黒木、リグナム、ウヰテー（西印度及ヒ南亞米利加ノ熱地ニ產スル堅質ノ木ニシテ諸般ノ用ニ堪フト云フ）アイロンウード（同上）及ヒ其他ノ材料諸術ニ必用ナルモノアリ鳥ニハ各種ノ鸚鵡アリ某ハブルー、ブルド（西印度及ヒ亞米利加ニ產スル鳥ニシテ背面ハ青色咽喉ヨリ胸部ニ至ルマデ赤色ノ光彩アルモノナリ）ヨリ大ナラザル者アリ嘗テ予カ友其小鳥ヲ予ニ贈レリ其鳥ハ架(トマリキ)ニ止マラス爪ヲ以テ籠上ノ鐵線ニ懸リ倒マニ其頭ヲ垂レテ夜ノ明クルヲ待ツ

㊈又四足獸ノ中ニハ小猴ノ奇異ナル者及ヒ各種ノ蜥蜴(トカゲ)アリ就中チャメレヲン（蜥蜴ノ一種）ハ最モ快物ナリ曩昔此ヲ以テ空中ニ生存シ而シテ隨意ニ色ヲ變スル能力ヲ具スル者ト爲セトモ今其實ヲ知ルコトヲ得タリ即チチャメレヲンハ眼ニ觸ルヽ所ノ蟲ヲ捕ヘテ之ヲ餌ニス而シテ其色ヲ變スルコトモ同類中各種ノ者ノ色ヨリ更ニ多カラス

㊉西印度ハ未タ嚴冬ノ爲メニ荒廢スルコト無シト雖モ

數〻恐ル可キ颶風アリ其來ルコトノ急ナルヤ船帆ヲ收ムルノ暇ナシ又地上ノ家屋樹木ヲ傾覆スルコト數〻ナリ

第百八十五章亞米利加

西印度島

(一)汝若シ西印度ニ到ラハ歐羅巴人ノ子孫アリ又無數ノ黑人アリテ共ニ其諸島ニ雜居スルヲ見ン然レトモ本土ノ印度人ニハ會セザル可シ何トナレハ其人斷絶シタルコト既ニ久シケレバナリ

(二)閣龍始メテボハマ群島ノ一ヲ發見セシコトハ汝既ニ之ヲ知レリ其島ハ閣龍ニサン、サルフ(ハ)ドルノ名ヲ命セラル今ノカット、アイアンド是ナリ此島ニ於テ閣龍許多ノ人民ヲ見タリ意フニ其人民ハ昔合衆國ニ住シタル印度人ト幾ト同一ナラン

(三)閣龍サン、サルフ(ハ)ドルヲ去リテ後苦柏及ヒシン、ドミンゴヲ探訪ス是時二島皆印度人ノ居處タリシカ意フニ其人民ノ衆多ナルコト唯〻苦柏ノ一島ノミニテ數百萬ヲ有セリ其人民ハ氣候ノ温和ト土地ノ沃饒ナルニ因リテ甚タ安樂ニ營生セシナルベシ其閣龍ヲ遇スルコト極メテ厚ク且力ヲ竭シテ之ニ事ヘタリ然レトモ憐ムヘシ其民忽チ殘忍ノ擧ニ遇フコトハ毫モ之ヲ知ラス

㊃西印度島發見ノ後數年ヲ出ズシテ其至大至美ナルモノハ西班牙ニ掠畧セラル然レトモ印度人ハ性質柔順ノ種族ナレバ少クモ之ニ抗セスシテ服從シタリ西班牙人ハ其民ヲ視ルコト恰モ野獸ニ於ルガ如シ即チ一齊ニ其衆民ヲ炮射スルコト或ハ一百或ハ一千ニ至ル又獵犬ヲ馴ラシテ驅却セシムルコトアリ

㊄此ニ因リテ無數ノ島民嘗テ山傍或ハ絶勝ノ谿間ニ輻湊セシ者大ニ減少シ其大半ハ賣奴ノ如ク遇セラレ又多クハ礦山ニ於テ服勞スベク迫ラル此ニ於テ其徒未タ習熟セザル勞事ニ服シ且呼吸スル大氣ノ闕乏ニ因リテ忽チ死亡スルモノ多シ

㊅此ノ如ク西印度ノ土民漸次ニ死亡シテ其國終ニ歐羅巴諸國ノ爲メニ分割セラル即チ西班牙ハ苦柏及ヒ波爾多黎各ヲ取リテ固ク之ヲ掌握シ英倫ハジャマイカベルミュダス及ヒ其他ノ諸島ヲ畧シ佛蘭西ハシント、ドミンゴマルチニケグウハダロープ等ノ數島ヲ有ス其他小島ノ某ハ和蘭丁抹等ニ領セラル

㊆亞米利加發見ノ後歐羅巴人ノ素志ハ專ラ金銀ヲ得ンガ爲メナリ然レトモ當時此貴キ金屬ハ總テ其大陸ノ諸山ニ充テリト想像シ終ニ其意志忽チ水泡ニ屬セリ因リテ其輩西印

度ニ於テ耕作ヲ起シテ以テ金銀ヲ得ンガ為メニ地中ヲ掘ル
ノ業ニ代フ

(八)是ニ於テ其民土地ノ培栽ニ適應スルコトヲ曉レリ即チ其培栽スベキ種類ハ甘蔗、橙、鳳李及ヒ熱帶地方ノ產物ナリ其民乃チ專ラ之ニ從事セシカバ其地忽チ沃饒トナレリ且其品類ヲ培養センガ為メニ其人民ヲ亞非利加ニ遣ハシテ黒奴ヲ迎ヘシム故ニ黒奴或ハ千人或ハ萬人群ヲ為シテ至ル至レバ則チ賣奴トシテ驅役ス現今凡ソ此勞事ハ黒奴ニ因リテ行ハルヽモノナリ

第百八十六章亞米利加

侵寇シテ又大ニ功ヲ成セリ即チ時有リテハ人民ノ貨財ヲ劫掠シ或ハ又金銀ヲ損耗セシメタリ斯ノ如ク殘虐無道ナルニ由リテ歐羅巴諸國終ニ其害ヲ報イント欲ス是ニ於テ歐洲諸國巨艦ヲ送リテ西印度ノ近海ヲ巡廻セシメシカバ賊數戰ノ後終ニ勦滅セラレタリ

(九)爾後尚西印度ノ洋海ハ海賊ノ患アリテ船ノ暴奪ニ遇フモノ頗ル多カリシガ現今ニ至リテハ絶エテ其患害ナシ

第百八十七章亞米利加

亞米利加ノ年表

耶蘇紀元後

○八百六十年　愛撒蘭及ヒグリインランドノ定住

○九百八十一年　耶蘇教愛撒蘭ニ入ル

○一千四百八年　グリインランドノ植民嚴冬ノ爲メニ滅ス

○一千四百四十二年　閣龍生ル

○一千四百九十二年　亞米利加發見

○一千五百十九年　コルテズ墨是哥ヲ侵ス

○一千五百二十四年　佛蘭西ノ植民地ヲ加拿他ニ開ク

○一千五百三十一年　ピザルロ秘魯ニ往ク

○一千六百七年　ジェームストウンノ費爾治尼亞始メテ定住地ト爲ル

○一千六百八年　ケベック府建ツ

○一千六百十三年　紐約始メテ定住地ト爲ル

○一千六百二十年　プライモースノ定住

○一千六百三十年　海賊初メテシントドミンゴ及ヒトルチュガニ聚集ス

○一千六百三十四年　瑪理蘭ノ定住

○一千六百三十五年　干搥底格始メテ定住地ト爲ル

○一千六百三十六年　プロウヰデンスノ定住

○一千六百六十四年　英紐約ヲ有ス

○一千六百七十五年　王フィリップノ戰起ル

○一千六百八十年　格阿利納ノ定住

○一千六百八十一年　邊西威業ノ定住

○一千七百二十九年　格阿利納分離ス

○一千七百三十三年　卓爾治亞府建ツ

○一千七百四十五年　ローイスブルク征服セラル

○一千七百五十五年　前ノ佛蘭西戰爭起ル

○一千七百五十八年　ウォルフェローイスブルグヲ取ル

○一千七百五十九年　英ケベックヲ取ル

○一千七百六十五年　印紙ノ法發ス

○一千七百七十年　波士頓ノ殲殺

○一千七百七十三年　茶ノ損失

○一千七百七十五年　革命ノ亂起ル

○一千七百七十六年　貎列頗ノ軍波士頓ヨリ驅逐セラル

○一千七百七十七年　ラフヱッテ亞米利加ニ到ル

○一千七百八十年　アンドル間諜トナリテ捕ハル

○一千七百八十年　アンドル刑ニ處セラル

○一千七百八十年　ゲーツコルンウヲルリスノ爲メニ敗ラル

○一千七百八十一年　コルンウヲルリス華盛頓ニ降ル

○一千七百八十三年　大貌列顛ト合衆國ノ和議成ル

○一千七百八十九年　合衆國ノ制度始メテ施行セラル

○一千七百八十九年　華盛頓大統領ト爲ル

○一千七百九十七年　ジョン、アダムス大統領ト爲ル

○一千七百九十九年　華盛頓死ス

○一千八百一年　ジェツフェルソン大統領ト爲ル

○一千八百三年　祿細亞那ヲ買フ

○一千八百八年　葡萄牙王巴西ニ到ル

○一千八百九年　マジソン大統領ト爲ル

○一千八百十年　墨是哥ノ革命

○一千八百十二年　合衆國大貌列顛ト戰フコトヲ告知ス

○一千八百十三年　墨是哥ノ諸部獨立ト爲ル

○一千八百十五年　紐哈連ノ戰爭

○一千八百十七年　モンロー大統領ト爲ル

○一千八百二十五年　ジョン、クウヰンシー、アダムス大統領ト爲ル

○一千八百二十九年　ジャクソン大統領ト爲ル

○一千八百三十一年　ドンペドロ葡萄牙ノ王位ヲ太子ニ讓ル

○一千八百三十七年　ファンブレン大統領ト爲ル

○一千八百四十一年　ハルリスン大統領ト爲ル

○一千八百四十一年　タイレル大統領ト爲ル

○一千八百四十五年　ポーリ大統領ト爲ル

○一千八百四十五年　徳過瑟斯合併ス

○一千八百四十六年　墨是哥ト戰フ

○一千八百四十九年　サカリー、テーロル大統領ト爲ル

○一千八百五十年　ミルヲルド、フィルモール大統領ト爲ル

○一千八百五十年　嘉理符尼亞邦ト爲ル

○一千八百五十三年　フランクリン、ピールス大統領ト爲ル

○一千八百五十七年　ジェームス、ブキャナン大統領ト爲ル

○一千八百五十八年　初メテ大西洋ニ電信線ヲ架ス

○一千八百六十年　日本ノ使節來ル

○一千八百六十年　威爾斯ノ君來訪ス

第百八十八章　オーシェアニカ

オーシェアニカノ話及ヒマレーシア群島

(一)予既ニ亞細亞歐羅巴亞非利加及ヒ亞米利加ノ史ヲ語リシヲ以テ讀者恐ラクハ予カ萬國史此所ニ終レリト思フ可シ然レトモ阿爾蘭人某ノ言フ如ク茲ニ地球上第五ノ大洲ア

リ故ニ予之ニ因リテ今又筆ヲ下サヽルヲ得ス

(二)亞米利加ハ今既ニ新世界ト稱ス可カラス如何トナレハ太平洋及ヒ印度洋ノ中間ニアル更ニ新ナル群島ノ一世界ヲ爲スヲ以テナリ其地方ヲ名ツケテオーシェアニカト云フ其群島ヲ併セテ總計セハ少クトモ四百萬方里ヲ得可シ

(三)玆ニオーシェアニカノ第三ノ區分アリ此レ印度洋中ニ在リ即チ亞細亞ノ大陸ニ接近シタル群島ニシテマレーシアト稱セラルヽモノナリ其最モ大ナルハ婆羅(ボルネオ)蘇門答剌(スマトラ)及ヒ瓜哇(ジャワ)ナリ此群島ハ皆土人ノ住居スル所ニシテ其輩既往ノ記錄ヲ有セス且祖先ノ事業ヲ知ルヲ欲セサルヲ以テマレーシアノ史ハ傳ハル所ナシ

(四)瓜哇ノ史ハ事歴瞭然トシテ見ル可シト雖モ甚タ肝要ナル者ニ非ス且心目ヲ喜ハシムルニ足ルモノナシ此島ハ千五百十年ニ方リテ葡萄牙人ノ發見スル所ナリ既ニシテ葡萄牙人其極メテ沃壤ニシテ砂糖、咖啡、米、胡椒、香料及ヒ美味ノ菓實ヲ産スルヲ知リ又島中ニ金銀坑、金剛石、翠翡玉紅及ヒ寶石アルヲ知ル

(五)島ノ長サ六百五十里ナリ其發見ノ後幾ナクシテ和蘭人其大半ヲ畧取ス而シテ其西北ノ濱ニバタウ井ア府ヲ建立シタリ

⑥其府ハ卑濕ノ地ニシテ死水ノ溝渠市街中ニ散在ス然レトモ建築ハ總テ壯麗ナルカ故ニ東方女王國ト名ツケラル且街衢及ヒ溝渠ニ樹木遮蔽スルアルカ爲メニ更ニ一層ノ美觀ヲ添ヘタリ

⑦千七百八十年ニ方リ府中ノ人口十六万ニ充テ世界各國ノ民其中ニ混居ス但シ其政權ハ歐羅巴人之ヲ掌握スト雖モ其人員ハ最モ寡少ナリ

⑧近年ニ及テハバタウヰアハ日ニ益〻衰微ニ至レリ其氣候ノ人身ニ適セサルヲ以テ旅客畏ル可キ熱病ニ感冒シ易シ時アリテハ船中ノ水夫盡ク死去スルコトアリ

⑨千八百十一年ニ方リ英ヨリ瓜哇島ヲ取リテ之ヲ領ス千八百十六年ニ至リテ又之ヲ和蘭ニ返セリ和蘭人ハ其土民ヲ御スルコト甚タ苛酷ナリト云フ

第百八十九章　オーシェアニカ

オーシェアニカ中澳太利（オーストリア）ノ區分

①オーシェアニカノ第二區分ヲ澳太利ト曰フ新和蘭ディーマンス、ランド及ヒ其近傍ノ諸島ヲ有ス新和蘭ハ廣大ノ島ニシテ三百万方里有リ即チ其幅員殆ト歐羅巴ニ齊シ

②新和蘭ノ土民ハ黒奴ニシテ手足ハ太タ瘦タリ而シテ其顔ハ猿ノ種類ニ近似シテマレーシア島ニ於テ見ル所ノ猩々

ヨリモ更ニ醜惡其才智モ亦猩々ニ優ラヌト云フ世界中最モ賤陋ノ民ナリ

㊂此大島ハ千六百十年ニ方リテ和蘭人ノ發見セル處ナリ然レトモ現今大貌列顚ハ其全島ヲ以テ已レノ有ナリト主張セリ初メ英ノ之ヲ取ルヲ得ルモノハ千七百七十年ニ有名ナル海客カピテン、ジョンス、クークノ力ニ由ルナリ

㊃其全島數區ニ分ナ東ヲニュー、ソース、ウェールスト曰ヒ西ヲスウ゛ンリウル植民地ト曰フ但シニュー、ソース、ウェールスレ開ケシハ最モ舊シト雖モ千七百七十八年ニ始メテ植民セラレタリ當時其名ヲボタニーベートト曰フ

㊄初メ其植民セラレタル者ハ甚タ賤陋ナリ故ハ英國政府罪人ヲ獄舍ニ繫キ或ハ刎首ノ刑ニ代フルニ新和蘭ニ送ルノ事ヲ以テセリ因リテ罪アル者ハ毎年其地ニ送ラル

㊅新和蘭ハ土地膏腴氣候順和ナルガ故ニ彼罪人ヲ此所ニ送ルノ事ハ敢テ苛刻ノ罰ト考フヘカラス然レトモ英國若シ其罪人ノミヲ移サスシテ飢渴ニ迫レル貧民ヲモ此地ニ送リシナバ兩全ノ處置ナランヽ

㊆多年其新植民ハ奸邪ノ徒ニシテ正直ノ人稀ナリ但シ其民近隣ニ住スル人ヲ見ルニ已レノ如ク亦不善者ナルヲ知ルカ故ニ罪ヲ犯スヲ以テ敢テ意ト爲サス且事發覺スルモ恥辱

トナサズ

(八)然レトモ後年ニ及テ其風習漸ク改リテ善良ナルニ至レリ此時ニ當リテ罪人ノ子ハ將ニ成童トナラントス其二親ハ既往ヲ顧ミ其子ヲ教訓シテ更ニ有德ノ人ト爲サントセリ

(九)嘗テ新和蘭ニ生レタル少女アリ或人之ニ問テ曰ク汝英倫ニ行ント欲スルヤト少女之ヲ聞テ曰ク彼國人ハ皆賊ナリ吾大ニ之ヲ恐ル爲メ行クベケンヤト蓋シ彼少女ハ英倫ヨリ來ル船ハ皆賊徒ヲ載セシヲ知リ因リテ英人ハ亦皆賊徒ナリト爲セリ

(十)英倫ヨリ絶エス其地ニ罪人ヲ送リシカバ終ニ其數無算ニ及ヘリ是ヲ以テ更ニ又植民ヲ起ス事ノ緊要ナルヲ知リ因リテ千八百四年以降ファン、ディーマン島ヲ植民地ト爲セリ

(十一)其島ハ新和蘭ノ南ニ在リテ長サ二百里ニ亘ル其人口ハ五萬有餘アリ其四分ノ一ハ罪迹アル人民ナリ

(十二)近來新和蘭ニ於テ金ノ出ルコト頗ル多シ之ニ因リテ現今澳太利ノ名ヲ稱スル所ノ新和蘭ハ其人口頓ニ增殖セリ是ニ於テ罪人ヲ送ルノコトハ幾ト廢絶シタリ

第百九十章 オーシェアニカ

ポリ子シア及ヒ三維斯(サンドウ井チ)群島

(一)オーシェアニカノ第三區分ヲポリ子シアト曰フ是レ渺

茫タル大西洋ニ碁布シタル無數ノ小島ヲ擁ス而シテ其島中一モ開化人民ノ住スル處ナシ

㈡ポリ子シア中三維斯群島ハ其島數十箇アリ其中ハウ゛イハ最モ大ナリ此群島ハ千七百七十八年カピテンジョームス、クークノ查出セシ所ナリ

㈢クーク其群島ニ到ル時一種ノ人民ノ住居セシヲ見ル其面色ハ我國人ヨリ黑シト雖モ容姿ハ甚ダ美ナリ又其性ハ快活ニシテ慇懃ノ情アリ且善ク朋黨ヲ結ブガゴトシ

㈣然レトモ甚ダ恐ルヘキ風習アリ即チ人ノ肉ヲ食ヒ且人ヲ屠リテ像神ニ供セリ又巨賊アリテ其他不善ナルコト多シ

㈤初メ其土民クークヲ遇スルコト甚ダ慇懃ナリシカ一時ノ後某徒クークノ船ニ屬スル所ノ端船ヲ竊盜セリ是ニ於テクーク大ニ怒リハウ゛イ王ヲ捕ヘテ其端船ヲ反スマテ之ヲ幽囚セシメント欲シテ上陸セリ

㈥然ルニ其上陸セシ時無數ノ土人群集セシカバクークモ退避セサルヲ得ス即チ其水夫ノ端船ヲ艤シテ待チタル所ノ海岸ニ赴カントセシニ土人喊叫シテ石ヲ擲チ或ハ兵器ヲ揮ヒテ追ヒ來レリ

㈦クーク乃チ銃ヲ把リテ其口ヲ土人ニ擬シテ劫カサントセシカ反リテ之カ爲メニ益〻紛擾激動セリ是ニ於テクーク

急ニ先進ノ土人ヲ狙ヒ縱射シテ之ヲ殺レヽカハ未タ其烟ノ散セサルニ土人クークヲ衝擊シ棍梃ヲ以テ之ヲ打殪シ而シテ後短刕ニテ刺殺セリクークノ水夫ハ其狀ヲ見テ土人ヲ炮射シタリシガクークヲ救フコト能ハサリシト云フ

(八)後幾ナラスシテ其群島ハ鯨獵船及ヒ其他太平洋中ニ航シタル船舶ノ碇泊スル所トナレリ然レトモ其人民ハ開化人民ト交ヲ通シテ一モ利益ヲ得ル所ナシ

(九)其民反テ前日ノ景情ヨリモ益〻衰微ノ徵ヲ萌セリ即チ其島民數囘病患ヲ蒙リシニ由リ四十萬ノ人口モ消滅シテ十五萬ノ少ナキニ至レリ他日全島ノ人民盡ク絶滅センモ計リ難シ

(十)亞米利加ノ傳道者某ハ其島民ノ滅絶ヲ救ハンガ爲メニ大洋ヲ渡リテ其地ニ到リ土人ニ說クニ福音ヲ以シ且學校ヲ建設シテ經典ヲ讀習セシメタリ

(十一)是ニ於テ三維斯群島ノ代理女主カーヒユマナト云フ者耶蘇教ヲ奉ス之カ爲メニ傳道者大ニ其功績ヲ成スコトヲ得タリ又許多ノ學校ヲ建設セリ蓋シ其居民ハ不日開化ニ進ミ且耶蘇教ニ改宗スルナラン

(十二)現今其景情ヤヽ開化ニ進ミ人口十五萬アリ是レ多クハ白人ニシテ就中亞米利加人最モ多シ家屋禮拜堂道路活版

及ヒ其他開化ノ技術既ニ開ケタリ政權ハ本土ノ王之ヲ有ストト雖モ傳道者ノ權威ヲ有スルコト亦甚シ

第百九十一章 オーシェアニカ

ポリ子シアノ續及ヒソサイティー群島並ニボオンティ船

(一)ソサイティー群島モ亦ポリ子シアニ屬シテ赤道ノ南幾ド一千里ニ在リ即チ三維斯群島ノ赤道以北ニ位スルノ距離ト幾ト相同シ

(二)ソサイティー群島中最モ大ナル者ヲタヒチ(一名オタヘイテ)ト曰フ其周圍一百里アリ人口幾ト一萬アリ其民ハ三維斯群島ノ土人ノ如ク概ネ皆美麗ニシテ且快活ノ俗ナリ

(三)數十年前其群島中ニ甚タ愉快ノ事アリ即チ貌列顚海軍ニ屬スル所ノボオンティ號船其地ニ送ラル是レ其地ヨリ西印度ニブレットフルート、トリース(太平洋中ノ諸島ニ產スル樹ニシテ其高サ四十尺ニ及ヒ直經五六寸ノ實ヲ結ブモノナリ其實ヲ以テ炙トセハ味ヒ殆ト馬鈴薯ニ似タリ又麵包ノ代用ニ堪フルト云フ)ヲ輸送センカ爲メナリ其船將ハリューテナントウヰルリャム、ブライナリ

(四)千七百八十八年ニ當リテウヰルリャム、ブライオタヘイテニ着ス其將ヰタル水夫ハ皆大ニ此島ヲ愛セリ何トナレハ島中微風絶エス花香ヲ送リ日光亦和煦ニシテ每樹實ヲ結フコ

ト極メテ多シ且其菓ハ恰モ既ニ調理シタル炙ノ如シ故ニ此島中ニ居レハ則チ餬口ノ爲メニ勞作スルヲ要セス

㊄　其土民ハ英吉利人ヲ遇スルコト極メテ慇懃ナリ雨ニ浴シ風ニ櫛ル水夫ノ如キモ亦大ニ其婦人ノ愛ヲ受ケタリ即チ其水夫ハ快ク其日ヲ度ルヲ以テ此地ヲ去ルコトハ甚タ之ヲ喜ハス

㊅　此輩ハ此ノ如キ和煦ノ島ニ於テ其生ヲ終ンコトヲ欲シテ復渺茫タル大洋ニ航スルヲ好マス然レトモ既ニシテボオンティ船出帆セシカバ其輩頻リニ海濱ヲ顧望シテ流涕セリ而シテ開行未タ數日ナラサルニ其徒皆其地ニ回ヲント心ヲ決シタリ

㊆　ボオンティ船ノ使官ニキリスチアント曰フ少壯ノ人アリシガ船將ブライト隙アリ是ニ於テキリスチアン其水夫ヲ誘舞シテ叛逆ヲ謀リ其船ヲ奪ハントセリ

㊇　一朝晨曦未タ昇ラサルニキリスチアン其黨ト共ニブライノ寢房ニ突入セリ時ニブライ方ニ眠リテアリシカバ刧スニ苟モ抵抗セハ殺害セントノ言ヲ以テシ直ニ之ヲ反接（ウシロデニシバル）シテ他ノ十八人ト共ニ水ノ漏泄スヘキ破船ニ乘ラシメタリ是十八人ハ叛逆ニ與セサルモノナリ

㊈　ブライ及ヒ他ノ十八人ハ危難ヲ經テ終ニ無事ニ英倫ニ

着セリ斯テ貌列顚軍艦パンドラ號其逆徒ヲ探索シテ捕ヘンカ爲メニオタヘイテ島ニ送ラル

(十)パンドラ號船其地ニ着シ逆徒十四人ヲ捜索シテ之ヲ捕ヘ船中ニ置キ然ル後英倫ニ向ヒテ歸帆セシガ途中ニ於テ危難ニ遇ヒ逆徒四人ハ溺死シ自餘十人ハ濟ハレテ英倫ニ送ヲル而シテ其三人ハ絞罪ニ處セラレタリ

(十一)逆徒ノ首魁キリスチアンハ其黨數名トボオンティ船ニ乘シテオタヘイテ島ヲ發セシヲ以テパンドラ船ノ爲メニ捕ヘラレス但シ其黨開行ノ時許多ノ豕鳥猫犬ヲ準備シ又オタヘイテ島ノ數多ノ男女ヲ携ヘテ去レリ

(十二)キリスチアン及ヒ其黨與ノコト且其乘シタル所ノボオンティ船ノコトハ數十年間何人モ其如何ヲ知ラス且新聞モ絶エテアナシ故ニ人皆以テ彼船ハ乘シタル所ノ人ト共ニ海底ニ沈沒シタリト爲セリ

第百九十二章 オーシェアニカ

ボオンティ船ノ説話

(一)ボオンティ船ノ評久シク絶エサリシガ二十年ヲ經テ後其事終ニ顯ハレタリ即チ千八百十三年ニ當リテ貌列顚軍艦マルケサス群島ヨリ南亞米利加内ノウヘルパレイソ港ニ向ヒテ開行ス其船將ハスルトーマス、ステインスナリステイ

ンス航海中ピットカイルン島ニ投錨セシコトアリ

㊁其島ハオタヘイテノ西南數十里ニ在リ初メ千七百六十七年ニ當リテカピテンカルテレットノ查出スル所ナルカ島中一モ貴重ノ物品ヲ產セス且無住ノ地ナリシカハ爾後其地ニ至ル者甚タ少ナシ

㊂然ルニステインス甲板上ニ在リテ其海濱ヲ望ムニ土地耕作セラレ且小屋アリケレハ之ヲ見テ驚訝セリ其屋ノ造營ハ即チ常ニ見ル所ノ野蠻ノ家作ニ勝リ幾ト英倫ノ貧家ニ彷彿タリ

㊃ステインス及ヒ其水夫愕然トシテ其景狀ヲ熟視スル間ニ一小艇ノ海濱ヨリ漕キ出ルアリ時ニ波濤山ノ如クナレハ小艇波上ヲ越ユルコト恰モ鳥ノ浮フニ似タリ然レトモ須臾ニシテステインスカ船ニ達セリ

㊄其舟ハ二人ノ若輩ニテ之ヲ漕ケリ其輩ハ面色黑シト雖モ容姿頗ル美ナリ其ステインスノ船ニ近クニ及テ其一人英語ニテ呼テ曰ク我友ヨ幸ニ吾カ爲メニ綱ヲ投セラレヨト

㊅ステインスノ船之ヲ聞テ即チ綱ヲ投セシカハ二人之ヲ持テ船中ニ攀ヂ上リタリステインス乃チ其何人ナルヤ及ヒ何處ヨリ此寂寥タル島ニ來リテ世ヲ送レルヤヲ問ヒケレハ其答ニ因リテ忽チ既往ノ事跡顯ハレタリ

（七）乃チキリスチアン其黨ト共ニオタヘイテヲ發セシ時ピットヘイルン島ニ向ヒテポオンティ船ヲ駛セタリ而シテ此島ニ着スルニ及テ船岩上ニ膠ス之ニ因リテ其船ニ火ヲ放テリ爾後其島ニ屋宇ヲ構ヘ且携ヘタルオタヘイテノ婦人ニ婚姻ヲ結ベリ

（八）ステインスノ此處ニ來ル時キリスチアン及ヒ其黨ハ皆既ニ死去シ獨リジョン、アダムスト云フ老人ノミ存セリ然レトモ其子孫ノ蕃殖スルヲ以テ當時此島盛ナル植民地トナレリ

（九）是ヨリ先キジョン、アダムスハ其少壯ノ輩ニ教訓スルニ經典ヲ讀ミ信實ヲ語リ且各〻其身ヲ持スルニ廉潔朴直ノ行ヲ以テシタリ是ヲ以テ其少壯輩ハ罪惡且悲歎ノ事ハ世間ニ有ルコトヲ知ラス故ニ古今人間ノ最モ安樂ナル者ノ如ク見エタリ

（十）其後船舶ノ此島ニ到ルモノ數艘アリ此島中ノ人口ハ八十乃至一百アリト云フ是皆勉强忍耐ノ性ヲ具シ且品行正シキ民ナリ其島ノ周圍幾ト七里ニシテ地高サ千尺ニ至ル又海岸ハ岩石ニシテ且險阻ナリ

（十一）千八百五十六年ニ當リテ逆徒ノ後裔百九十九人濠太利ノ東ニ在ルノルフォルク島ニ徙サレタリ是其居ル所ノ屋宇

狹隘ニシテ其人員ヲ容ルヽニ足ラサルヲ以テナリ

第百九十三章 オーシェアニカ

オーシェアニカノ年表

耶蘇紀元後

○一千五百十年　葡萄牙人瓜哇島ヲ發見ス

○一千六百十年　和蘭人新和蘭ヲ發見ス

○一千六百十九年　和蘭人バタウヰア府ヲ瓜哇ニ立ツ

○一千七百七十年　カピテンクーク新和蘭ヲ取ル

○一千七百七十八年　ニュー、ソース、ウヱールスノボタニーベーニ植民ス

○一千七百七十八年　カピテンクーク三維斯群島ヲ發見ス

○一千七百七十九年　カピテンクーク死ス

○一千七百八十八年　ボオンティ船オタヘイテ島ニ着ス

○一千八百四年　罪人始メテフハンディーマン島ニ送ラル

○一千八百十一年　英瓜哇ヲ和蘭ヨリ取ル

○一千八百十三年　スルトーマス、ステインスピットケールン島ニ達ス

○一千八百十六年　和蘭瓜哇ヲ英ヨリ復ス

○一千八百二十年　傳道者始メテ三維斯群島ニ至ル

○一千八百五十年　澳太利ニ於テ金山ノ査出

○一千八百五十六年　ピットケールン島ノ人ノルフォルク島ニ徙サル

第百九十四章復説

邦國及ヒ人民等ノ古名

歐羅巴亞細亞亞非利加ノ諸國ノ名稱ハ現今往々古昔ト異ナレリ其異ナル者ハ汝既ニ知レル所ナリ因テ彼三大洲中首タル諸國ノ表ヲ掲ケテ現今古昔ノ名稱及ヒ根元ノ人民ト現今ノ民ノ出テタル所ノ淵源ヲ示スヘシ

亞細亞ノ表

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ人民ノ出タル人種
ナトリア	小亞細亞	ジャフェットノ後裔	同上及ヒ希臘人猶太人土耳其人等
巴勒斯旦（パレスタイン）	迦南（カナアン）	シェムノ後裔	同上猶太人等土耳其人
叙里亞（シリア）	叙里亞	同右	シェムノ後裔

亞爾美尼亞（アルメニア）	亞爾美尼亞	同右	同右
イラックアラビー	メソポタミア	同右	同右
クールジスタン	亞西里亞（アッシリア）	同右	同右
バグダッド	バビロニア一名チャルデア	同右	同右
イラックアッジュミ	馬太（メジア）	同右	同右

獨立韃靼ノ部	パルスイア	同右	同右
コーラサン	ヒルカニア	同右	同右
波斯（ペルシア）	波斯	イレムノ後裔	同上
アストラカン	亞細亞サルマギア	シェムノ後裔	同上
カブリスタン	バクトリア	同右	同右

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ民ノ出テタル淵源
シベリア韃靼等	サイシア	同右	同右

亞非利加ノ表

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ民ノ出テタル淵源
埃及	埃及	ハムノ後裔	同上及ヒ土耳其等ノ雜種
バルカ	リビア	同右	同右

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ民ノ出テタル淵源
的黎波里(トリポリー)及ヒ突尼斯(チュニス)ノ部分	亞非利加	希臘人及ヒカルセージ人	同右
突尼斯(チュニス)及ヒ阿爾日耳(アルジールス)ノ部分	ニュミディア	カルセージ人	同上及ヒ亞剌伯人土耳其人等
摩羅哥(モロッコ)	モーリタニア	モーリ一名ムールス	同上
ビレヂュルジェリッド	ゲーチュリア	ゲーチュリ	同上
ニュビア及ヒ努皮亞(ニュビア)及ヒ亞比西尼(アビシニア)	イシオピア	同右	同右

歐羅巴ノ表

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ民ノ出テタル淵源
那威瑞典及ヒ丁抹	スカンヂナウヰア	スカンヂナウヰヱンスト稱セラレタルヹス人種	同上
ヂュトランド	シンブリア	シンブリ	同上
魯西亞及ヒ波蘭	サルマテイア	韃靼人種	同上及ヒスカンヂナウヰヱンス其他ノ人種

今名	古名	根元ノ人民	現今ノ民ノ出テタル淵源
大貌列顛	ブリッタニア	セルツ	サキツリンスデンスプリトンス等
蘇格蘭	カレドニア	高地ノ部ハセルツ低地ノ部ハピクツ	同上及ヒ其他ノ人種
阿爾蘭	ヒベルニア	セルツ	同上
和蘭及ヒ比耳時	ベルシカ	ベルジー	同上
佛蘭西	カルリア	セルツ	セルツ フランクス ノルマンス

日耳曼	ジエルマニア	チユートンス アレマンニ及ヒ其他ノ人種	同上
瑞西	ヘルフエチア	フエルフエチー	同上
チロル	レーチア	同上	同上
ローマニア	スラシア	同上	同上
西班牙	ヒスパニア	カルセージ人及ヒ希臘	同上ノ人種及ヒゴス フハンダルス等

葡萄牙	リユシタニア	同上	同上
サウヲイピードモンド等	シサルパインゴール	セルツ	セルツ及ヒゴスノ雑種
馬基頓（マセドニア）	馬基頓	同上	同上
希臘	グレーシア	グレーシア フヲーニシア	埃及人

凡ソ師タル者ハ宜シク各國ノ古名根元ノ人民等ヲ其弟子ニ問フ可シ

第百九十五章概論

國政ノ淵源及ヒ進歩

(一) 想フニ予カ讀者今既ニ倦勞セリ然レトモ予種々緊要ノ事ヲ擧ケテ其大畧ヲ語ラント欲ス故ニ汝等暫ク忍ヒテ予カ國政ノ事ヲ談スルヲ聞クヘシ

(二) 現今某ノ國民ハ彼ノ典例ニ因リテ統治セラレ又某ハ此國典ニ由リテ統治セラルヽコト汝ノ知レル所ナリ亞米利加ノ人民ハ各自其好ム所ノ定例且其立ル所ノ制度ニ從ヒテ統治セラル故ニ此國ハ共和政治國ト稱セラル

(三) 某ノ國民ハ其王或ハ帝ノ好ム所ノ政法ニ從ヒテ統治セ

ラル之ヲ君主專政ト謂フ又某國ノ王或ハ帝ハ其民ヲ治ムト雖モ國法ヲ制定スル所ノ立法員ノ爲メニ其權威ヲ限制セラル之ヲ有限君主ト謂フ

(四) 夫レ世界各國ノ政法ハ汝等古今同一ナリト考フ可ラス凡ソ國政ノ基本ハ一家族ノ父祖ニ因リテ出シモノナリ初メ其父祖タルモノ其諸子ヲ管理シ諸子ハ遂ニ之ニ從順スルノ慣習トナリ而シテ其孫亦其例ヲ率由セリ此ノ如キ次序ヲ經テ一小社ノ人民自然ニ一父祖ヲ尊奉スルニ至レリ

(五) 是即チ父祖ノ政府ト曰ヘル第一類ノ政府ノ基本ナリ此政府ハ洪水前ニ成立シ又其後久シク亞細亞ノ諸國ニ行レタ

リ然レトモ終ニ人類各殊ノ種族ニ分カレ而シテ相共ニ攻戰ニ從事スルニ至リ某ハ他ニ優レル強力武勇且熟練ヲ顯ハセリ而シテ彼輩終ニ自ラ酋長トナリ且大ニ權威ヲ有シタリ

㊅凡ソ人タル者權威ヲ得ント欲スルハ皆其常情ナリ然ルニ其酋長ハ獨リ怨ナク彼人民ヲ服從セシメ且其全國ヲ己レカ有トナセリ是即チ第二類ノ政府ノ起ル所以ナリ其長ハ君主ニシテ且大概戰ヲ好メル民ノ稍〻野蠻ノ風習ヲ脱シテ開化ノ景狀ニ進ミタルモノヽ君主ナリ

㊆人民既ニ開化シテ都府市街ヲ建ルノ度ニ進ミ益〻壯麗奢靡ヲ欲スルニ及テ軍事ノミヲ務ムル所ノ君長ハ全ク其人

民ニ適中セス是時ニ當リテ人民ハ愈〻確實ノ名稱ヲ有シタル君ヲ望メリ是ニ因リテ君タルモノ坐作進退常ニ禮節ヲ守リ且其頭ニ冠シテ宮殿ニ住セサルヲ得ス

㊇又其君ハ華美ニ粧飾シタル臣下ヲ從屬シ且其身ヲシテ聖者タラシメンカ爲メニ自ラ尊大ニシテ恰モ他ノ人類ニ勝リタル者ノ如ク人民ヲ懸隔セサルヲ得ス是即チ君主政府ト曰ヘル第三類ノ政府ノ起ル所以ナリ

㊈然レトモ其王タル者ハ概ネ私心ヲ懷キテ徒ニ人民ヲ奴使スルコトノ甚シキヲ世人終ニ認メ得タリ因リテ某ノ國人ハ其管理者ヲ選擧シテ自ラ其法律ヲ制定セリ是即チ共和政

治ト曰ヘル第四類ノ政府ノ起ル所以ナリ

（十）汝心ニ記ス可シ彼父祖ノ政府ト稱セラレタル第一類ノ政府ハ上古ニ在リテ國民ノ過半耕作牧牛ニ從事セシ時代ニ行ハレ又第二類ノ政府ハ人民未タ開化ノ域ニ進マサル好戰ノ時ニ行ハレシコトヲ

（十一）第三類ノ政府ハ人民開化ニ進ミ且奢靡ヲ好ムニ及テ行ハレシモノニシテ上古ノ亞西里亞埃及及ヒ波斯ノ政体ナリ且此政体ハ其諸帝國亡ヒテ後世々行ハルヽコト他ノ政体ヨリ更ニ久遠ナリ凡ソ現今人類十分ノ九ハ此君主政府ノ下ニ服從セリ

（十二）共和政治ノ躰裁ハ猶太人埃及ヨリ歸ルノ後幾ナクシテ之ヲ採用シタリ然レトモ唯其一分ニ止レリ希臘ノ時代ニ至リテ終ニ眞ノ共和政治制定セラル是ヨリ後希臘ノ數邦ハ久シク連合シテ共和政治ヲ爲シヽガ數代ヲ出テスシテ終ニ貪慾ナル人自立シテ王トナリシカバ之カ爲メニ其法廢滅シタリ

（十三）羅馬ハ一時共和政治ナリシカ是亦忽チ自由ヲ失ヒテ專制トナレリ其他諸國共和政治ト稱セラレタルモノアリト雖モ確乎不拔ノ制度ナカリシカ合衆國ノ制度確定セラレ且始メテ萬世不朽ノ旨趣ニ基キ我カ人民ヲシテ同等ノ權利ヲ得

シムルノ共和政治定立スルヲ得タリ

第百九十六章概論

建築及ヒ貿易

㈠初メ人ノ住居ハ唯〻雨露ヲ凌クヘキ屋廬洞穴或ハ帳幕ノミナリシカ開化ノ進歩スルニ至リテ始メテ愈〻堅固且順便ナル家室ヲ建築セリ但シ其初メハ粘接（ツギアハセモノ）等ヲ用ヰスシテ甚タ工ニ瓦或ハ石ヲ累積シテ之ヲ造レリ彼ノ人民造營ノ術如何ヲ知リ得テ後其神祇ノ爲メニ祠宇ヲ創造セリ其祠宇ハ各自ノ住家ヨリ更ニ高大ニシテ且良好ナリ

㈡意フニ建築術ノ開ケシハ最モ舊シ而シテ世々其舊法ニ

倣ヒシニ由リ工藝ノ式漸々整頓セリ凡ソ各國ノ祖民タル者ノ築造セシ所假令粗ナリト雖モ其地ノ氣候ニヨリ或ハ其材料ノ異ナルカ爲メニ後年ニ及ヒテ其子孫猶其舊式ヲ存セリ」

㈢即チ埃及ノ建築式ハ其原洞穴ニ基キ支那ノ式ハ帳幕ニ由リ希臘ノ式ハ木造ノ室ニ由リ俄狄ノ式ハ樹枝ノ遮蔽ニ基ケリ此ニ由リテ建築ハ竟ニ一科ノ技藝トナリ宮殿及ヒ祠宇ノ爲メニ大ニ其工ヲ費ヤセリ是ニ於テ殿堂宮室ハ忽チ整然トシテ成ルアリ且粗ナル樹木ハ高柱ニ變シ神ノ在ス洞穴ハ變シテ壯麗ナル祠宇トナレリ

㈣初メ建築ニ意ヲ用ヰシハ巴比倫亞西里亞非尼亞及ヒ

以色列ノ人民ナリ巴比倫人ハベリュス（神名）ノ祠宇及ヒ空中ニ懸掛シタルカ如キ庭園ヲ造リ亞西里亞人ハ壯麗ナル建築ヲ與シテ尼々微ノ都府ヲ整飾シ非尼亞人ハ大厦高樓ヲ築キテ諸府ヲ粧飾セリ又以色列人ハ祠宇ヲ築ケリ其壯大ナル實ニ人目ヲ眩惑セシメ波斯及ヒ埃及ノ建築ハ今猶存スルモノアリ是皆粧飾奢靡ヲ極メ且高大ニ築キタルモノナリ

㊄ 初メ希臘人ハ「ドリック」法ト名ツケタル更ニ簡單ニシテ且高大ニ建築スルノ式ヲ用ヰシカ久シカラスシテ後之ニ「ヨニック」及ヒ「コリンシアン」柱（建築術上稱スル所ノ一種ノ柱ノ名）ヲ加ヘタリ而シテ又ペロポンネシアンノ戰爭ノ後其建築一變シテ漫ニ粧飾スルコトヽナレリ且紀元前三百二十三年アレキサンドルノ死セシ後其術終ニ衰ヘ爾後僅ニ希臘ニ於テ之ヲ修メシノミナリ

㊅ 羅馬人ハ稍〻意ヲ建築ニ用ヰシカ其工終ニ希臘人ニ及ハズ「オーゴスチュス」帝ノ時ニ至リテ高大壯麗ノ土功ヲ羅馬ニ起サンカ為メニ希臘ノ建築者ヲ奬勵セリ然レトモ羅馬ノ政府ヲ君士但丁ニ遷スニ及テ其術遂ニ衰微セリ祠宇及ヒ高大ノ建築ニ用ヰシ所ノ羅馬柱ハ蓋シ此時ニ始レリ

㊆ 其諸建築ノ美術ハ俄狄及ヒウヘンダルスノ侵掠ノ為メニ幾ト地ヲ掃ヒテ盡キタリセオドリックト云フ者心ニ之ヲ

憂ヒ務メテ其術ヲ修メ而シテ新ニ諸建築ヲ起セリ此レ今世建築術ノ基ケル紀年ニシテ俄狄式建築ト名ツケラレタルモノ是ヨリ出ツ

㊇凡ソ建築ハ諸國ニ於テ異同アリ且時ニ隨ヒテ盛衰アリシカ亞米利加ニ於テハ專ラ希臘式行ハル蓋シ此式ハ小ナル建築ニ適應スルコト更ニ俄狄式ニ勝リ且其美ヲ粧ハンカ爲メニ壯麗ノ造營ヲ爲スニ及ハサルヲ以テナリ

㊈初メ通商セシ人民ノ記錄ハ創世記第三十八章ノ二十五節ニ見ユ是時ジョセフノ兄弟ジョセフヲ以テイスメールノ隊商ニ賣ルイスメール人ハ即チ香料、香油、及ヒ沒藥ヲ埃及ニ

運輸セシモノナリ其香油ハジリードニ生シ沒藥ハ亞喇伯ノ產ナリイスメール人之ヲ得テ迦南ノ地ヲ歷テ埃及ニ至レリ蓋シ埃及ハ當時甚タ開化シタル王國ナリ

㊉埃及ノ中央ノ地ハ常ニ互市場ト爲レリ而シテ亞細亞亞非利加ノ貨物ハ彼ノ隊商之ヲ此地ニ齎セリ是ニ因リテ埃及人ハ富ヲ致セリ故ニ其人民常ニ商賣ヲ重シタリ但シ埃及人海上通商ノ事ハ吾曹舊史ニ於テ見ル所ナシ故ハ彼人民迷ヲ懷キ多年航海ニ意ヲ用ヰサレハナリ

(十一)非尼亞ノタイル及ヒシドン府ハ埃及ニ次テ勃興セシコト史上ニ見ユ此地ハ產物ニ富マスト雖モ特ニ諸藝ヲノ盛興ナ

ラシメテ以テ其貨物ヲ各港ニ運輸シ且凡百ノ工藝ヲ勧メテ大ニ富ヲ起セリ

(十二) 紀元前千百年ノ頃ダウヰドノ時ニ方リテ非尼亞人専ラ貿易ヲ務メ日ニ益〻廣ク諸國ヲ開行シ而シテ西班牙ノ金ニ富メルコトヲ見テ之ト通商センコトヲ企望シ遂ニ其地ニ居留所ヲ搆ヘタリ之ヲガヂルト曰フ現今ノガヂル是ナリ

(十三) ソロモン交易ノ大ニ國ニ利益アルヲ知リ命シテ船舶ヲ造ラシム而シテ之ヲオフヘイルニ送リシカハ其船金銀、象牙諸鳥及ヒ其他ノ物品ヲ載セ得テ歸リ又埃及ト大ニ通商ヲ開キテ馬及ヒ麻布ヲ其地ヨリ得タリ

(十四) 紀元前八百六十九年ノ頃カルセーヂ府建ツ此府ハ交易昌盛ナリシカハ其名開化ノ諸國ニ聞エタリ紀元前七百年ニ方リテコリンスハ航海ニ付テ勢威ヲ得タルヲ以テ其名ヲ顯ハセリ且此國ハ能ク造船術ヲ修メタリ

(十五) 紀元前五百八十八年ニ方リテタイルハ有名ナル府ト為レリ其貿易及ヒ其壯麗ナルコトノ説話ハ吾人以西結（イシケール）ノ書ノ第二十六七八ノ三章ニ就テ之ヲ見ル然レトモタイルノ人民ハ自ラ天神ノ怒ヲ招ケリ之ニ因リテ前ニ子ブチャドチッザルノ為メニ服從セラレ後又アレキサンドルノ為メニ全ク征服セラレタリ時ニ紀元前三百三十二年ナリ

(十六)タイル滅亡ノ後非尼亞人ハ猶カルセージ府ニ據リテ貿易ニ勉勵シ且廣ク諸國ニ通商セシカ終ニ紀元前百四十六年ニ方リテ羅馬人ノ爲メニ其府ヲ破壞セラル希臘諸邦ハ一時航海ニ意ヲ用ヰシニ由リテ其名ヲ顯ハセリ雅典斯巴爾達ノ二府ハ亦代リテ著名トナリ且其亡フルニ至ルマテ稱揚セラレタリ

(十七)アレキサントル大ニ貿易ニ意ヲ用ヰ而シテ亞勒山德利亞及ヒペレニスノ市府ヲ建テ其地ニ於テ西方ノ諸國ト地中海ニ依リテ通商シ又東方ノ富國ト紅海ニ因リテ通商シ亞細亞ノ中央ノ諸國トシュエズノ地頸ニ依リテ通商セリ」アレキサンドルハ巨多ノ海軍ヲ有セリ金庫ノ歳入ハ極メテ大ナリ

(十八)羅馬人ハ貿易ノ貴重スヘキコトヲ知ラス且之ヲ廢絶セント欲セリ故ニ希臘ノ貿易最モ昌盛ノ市府ノ一ナルコリンスヲ破壞シタリ是時ニ當リテ貿易ノ業殆ト盡ントスルノ勢ナリ且之カ爲メニ其近傍ノ諸國亦盡ク其害ヲ蒙レリ其後ヂュリウス、シーザル出ルニ及テ其業ヲ挽回セント欲シ僅ニ一年間ニテコリンスカルセージノ二府ヲ復セリ

(十九)是時ニ方リテ羅馬ノ人民地中海ニ濱シタル總地方ノ領主タルヲ以テ自己ノ爲メニ始メテ交易ヲ開ケリ因リテ其必

需ノ物品ノ欠乏ヲ補ヒ或ハ奢靡ノ心ヲ飽カシメンカ爲メニ其周圍ノ諸國ヨリ其供給ヲ得タリ然レトモ羅馬人ハ其貴重且精選シタル物貨ノ代ニ唯〻貨幣ヲ以テ償ヘリ故ニ其通商ハ貿易ト云フヘカラス實ニ羅馬人民ハ交易ヲ重ンセスシテ商估ヲ輕ンシ唯〻干戈ヲ以テ國ヲ富サンコトヲ欲シタリ

(廿) 其政府ヲ君士但丁ニ遷シテ後セヲドリック以太利ノ王トナレリ王ハ睿智アルニヨリ國内静謐ニ治リシカハ交易再ヒ繁榮セリ然レトモ其景情ハ往日ニ劣レリ當時東方ニ於テ蠶絲始メテ交易ノ大ナル貨物トナリ而シテ波斯人ハ其海港ニ碇泊スル所ノ印度ノ船舶ト之ヲ交易シテ大ナル利ヲ得タリ

(廿一) 紀元後七百三十二年ニ方リテウェニス府始メテ交易ニ意ヲ留メ而シテ廣ク東方ノ諸國ト通商ス其他以太利ノ諸邦モ亦大ニ諸國ト通商セリ千六十三年ニ方リピサ及ヒシェノア府ハ著名ナル互市場トナレリ

(廿二) 英國ニ於テ交易ノ開ケシハ千六十六年ニ方リウヰルリヤム、コンケロル英倫ノ王位ニ登リショリ始レリ吾其時日ヲ記スルコト此ノ如シ且此時英倫ト諸曼的ノ交際大ニ起レリ」

(廿三) 既ニシテ貿易ノ業又十字軍ノ爲メニ盛ナリ故ハ十字軍ニ伴ヒテ東方ニ至リシモノ自國ニ於テ得ルコト能ハサル所

ノ華美輕便ナル必用ノ物貨ヲ見テ是ヲ己レニ供給センコトヲ欲シ之ニ因リテ貿易ノ業更ニ廣レリ

(廿四) 磁石ニ指北ノ性アル發明ハ亦更ニ貿易業ヲシテ速ニ進歩セシメタリ而シテ其用ノ航海ニ應シタルハ千二百年ノ頃ナリ千二百十六年ジョン王ノ時ニ方リ英倫ハ交易ノ爲メニ甚タ富ミ且人口繁殖セリ故ニ其人民旺盛ナリ

(廿五) 千二百四十一年ニ方リテジェルマントウンス數府ヲ併セテ云フ始メテ交易ニ勉勵シテ相共ニ防禦ノ約ヲ立テヘンストウンスノ名ヲ得タリ是ヨリ其數府甚タ富ミ且強盛ト爲レリ英王イドウハルド一世又之ニ重大ナル通商ノ特權ヲ付與セリ但シ其特權ハイドウハルド六世ノ時ニ減省セラレタリ

(廿六) イリサベスノ時ニ當リテ其數府又他ノ障碍ヲ蒙レリ而シテ其勢次第ニ畏怖スヘキヲ以テ數國ノ政府契約ヲ結ヒ之ヲ扼セリ然レトモ其約ノ効驗漸ク衰ヘ終ニ千六百六十二年ニ至リテ全ク廢絶セリ

(廿七) 千二百五十一年ノ頃フロレンス府ノ交易昌盛ナルコトハ予貿易錄ニ就テ之ヲ見ル其商賈ノ數甚タ衆多且其製造物ハ美麗ニシテ貴價ナリ因リテ其商估ハ大ニ財貨ヲ蓄藏シテ總歐羅巴中銀行ノ管掌人トナル其隆盛ノ景情數百年間連綿シタリ

(廿八) フランドルス府ハ一時歐羅巴ノ最重ナル製造場トナレリ吾遠ク其九百六十年ノ時代ヲ遡リテ見レハ其人民通商ノ爲メニ大ニ利益ヲ占メタリ千二百五十三年ニ當リテ其民麻布ノ製造ノ爲メニ有名トナル而シテ其業絶エス他ニ超越シタリシカ千五百八十四年アントウヱルプノパルマノ公ノ爲メニ荒廢セラレテ終ニ其國ノ昌盛ナル景狀衰微シ而シテ其美麗ノ製造ハ諸國ニ轉移セリ

(廿九) 從來印度トノ貿易ハ專ラ隊商ニ由リテ行ハレシカ千四百九十七年ニ海上ヨリ喜望峰ヲ廻リテ其地ニ達ス可キノ發明アリ是ニ於テ寶貨及ヒ奢靡物運輸ノ路開ケタリ千五百年ニ當リ葡萄牙人始メテ亞非利加ニ居留地ヲ開ケリ其後未タ幾ナラスシテ葡萄牙貿易ノ中心ノ地トナリシカ終ニ千五百八十年ニ及テ其國西班牙王ノ剽畧ニ遇ヘリ

(三十) 千二百十六年ジヨン王ノ治世ヨリ千三百十七年ニ至ルマテ英倫ノ貿易隆盛ナリシカ是時ニ方リテ英フランドルストト劇シク相爭フヲ以テ兩國ノ通商全ク地ヲ掃フニ至レリ千三百三十一年イドウハルド三世再ヒ其通商ヲ興復セリ而シテ王ハ毛織製造ヲ起シタリ

(卅一) ヘヌリー八世ノ治世ニ當リテ革命ノ亂アリシハ却リテ貿易上ノ進歩ヲ助ケタリ而シテイドウハルド六世ノ時ニ至

リテ魯西亞ト通商條約ヲナセリ女王イリサベスモ亦大ニ貿易ヲ勸誘シテ種々ノ通商會社ヲ定設セリ一ハ魯西亞一ハ土耳其ナリ而シテ東印度商會モ亦其治世ニ始マル時ニ千六百年ナリ

㊃亞米利加ノ交易ハ獨立ノ公告セラレテ後始メテ起リ而シテ船舶遠ク海ニ航シテ諸國ノ產物ヲ齎セリ當今貿易上ニ付テ安全ナル萬世不朽ノ基本ヲ制造セリ

第百九十七章概論

諸藝術ノ起元及ヒ進步

㊀予既ニ政府建築及ヒ貿易等ノ起元並ニ其進步ノ畧說ヲ汝ニ語レリ然レトモ猶前世人類ノ性情風俗及ヒ識見等ヲ了解センカ為メニ汝ノ知ラスハアル可ラサル緊要ナルコト許多アリ

㊁汝モシヂュリウス、シーザルノ如キ英傑ノ傳ヲ讀ミ而シテ其命令ヲ下シテ巨萬ノ金ヲ得シコトヲ觀ハ汝意フナルヘシ彼レ華麗ナル車ニ駕シ美ナル海狸ノ帽ヲ戴キ絲襪子（キヌノメリヤス）ヲ着ケ銀鈕子ヲ粧ヒタル靴ヲ穿チ懷ニ美麗ナル金ノ時辰鏢ヲ有セシコトヲ

㊂然レトモ車、帽、襪子、靴、鈕子、時辰鏢ノ如キハヂュリウス、シーザルノ時ニハ一モ之アラス其後數百年ヲ經テ發明セラ

レシモノナリ實ニ當今必須ノ衣服什器ノ如キハ大半五百年以内ニ發明セラレシモノ多シ今予務メテ汝ニ我カ快樂且順便ヲ助ル所ノ諸發明ノ起元及ヒ其進歩ノ畧説ヲ語ル可シ

㈣ 現今木材ヲ伐リ且器形ヲ製スルカ為メニ用ヰル所ノ刀斧釿鈍等ノ如キ利器ハ皆鋼銕ニテ之ヲ造レルコト汝ノ知レル所ナリ夫レ銕ハ洪水前、世ニ知ラレタリトノ記傳アリト雖モ恐ラクハ爾後其用絶エタルカ如シ

㈤ 故ニ上古ノ人民ハ銕ノ用方ヲ知ラス從ヒテ又今世用ヰルカ如キ順便ナル凡百ノ利器有ラザリシコト疑ナシ但シ上古ノ人民ハ銕ニ代フルニ石、角、骨、及ヒ其他ノ物ヲ以テセリ

㈥ 然レトモ彼銕ハ紀元前千四百六年ノ頃クレテ内イダ山ノ發焼ニ由リテ發明セラレシト云フ想フニ其後久シカラスシテ更ニ開化シタル人民ハ之ヲ以テ種々ノ器具ノ用ニ充テタルナラン且紀元前二三百年前羅馬ノ人民ハ銕ヲ以テ銕索、鎖器、斧、鍬、鋤、及ヒ其他ノ利器ヲ造リタリ

㈦ 現今用ヰル所ノ美麗ナル銕刀ハ羅馬以後數百歳ヲ經ルニ至ルマテ人未タ之ヲ知ラス又食刀ハ千五百年ノ頃マテ英倫ニ於テ之ヲ用ヰ食叉ハ希臘及ヒ羅馬人ニ知ラレス且土耳其支那及ヒ其他東方ノ人民ハ今猶之ヲ用ヰス剃刀ハホームルノ記載セシ所アルヲ以テ之ヲ觀レハ其用甚タ舊キモノヽ

如シ然レトモ彼鋼鍊製ノモノハ數百年ノ後ニ至ルマテ恐ラクハアラサリシナラン

(八)毛布及ヒ麻布ノ編織ハ甚タ上世ニアリテ之ヲ業トスルモノアリ既ニ羅馬ノ婦女ハ大ニ其術ニ意ヲ用ヰタリ絹ハ紀元數百年前波斯ニ於テ製造セラレ其後又タイル及ヒ君士但丁ニ於テ織製セラル後年ニ及テ其製造ノ術以太利佛蘭西及ヒ其他ノ諸國ニ傳ハレリ

(九)棉製造ノ開ケシモ亦甚タ舊シ且印度人民ノ印花布ヲ製スルノ術ヲ知リシハ其早キコト顧フニ耶蘇在世ノ時ニ降ラサルヘシ

(十)初メ人ノ家屋ハ木材、石、粘土及ヒ其他種々ノ物質ヲ以テ之ヲ造ル故ニ粗惡卑下不便ナリシカ諸藝術漸ク進ムニ從ヒテ家屋ノ製モ亦一變シテ良好ニ進ミタリ然レトモ羅馬府ノ屋宇ハ寧ロ帝ノ時ニ至リテ猶概ヲ木造ナリ之カ爲メニ彼殘惡ナル帝ノ命令ニ由リテ市府放火ニ遇ヒシ時其四分ノ三ハ燒失セリ

(十一)富者ハ其屋宇ニ小窓ヲ穿チテ透明ナル石或ハ角或ハ其他ノ物質ヲ以テ之ニ具セリ然レトモ貧者ノ家屋ハ光線ヲ放入シ空氣ヲ流通セシムルカ爲メニ壁ニ小穴ヲ穿チタルノミニテ一モ他ノ窓アラス硝子窓ハ紀元後五百年ニ至ルマテ未

タ之アラス

⑫ 烟筒ハ千二百年ニ至ルマテ未タ用ヰラレス是ヨリ先キ屋頭ニ穴ヲ穿チテ火烟ヲ放出セシメタリト雖モ猶烟屋内ニ散布シテ甚タ煩ハシカリシト云フ彼ノアレキサントルシーザルスラ數々之カ爲メニ其眼ヲ惱セシナラント吾曹ノ想像スルモ亦理アルニ似タリ其後イリサベスノ時ニ至リテ猶英倫ノ人家四分ノ三ハ未タ烟筒アラサリシト云フ

⑬ 是等ノ説ニ因リテ之ヲ觀レハ現今世界ノ景情昔日ト異ナリシコト甚シキヲ想見スルニ足レリ且今日ニ在リテハ最モ貧ナル人モ快樂順便ノ道ヲ得テ奢靡ヲ致スコト極メテ多シ而シテ其奢靡ハ彼シーザルカ巨萬ノ富ヲ有スト雖モ之ヲ爲スヲ得サリシ所ナリ

⑭ 近時最モ奇異トスヘキ技術進歩ノ一ハ蒸氣機械是ナリ其巧ナルコト曩キニ數萬人ノ爲スベカラサルコトモ今一朝ニ之ヲ爲スヲ得ヘシ即チ最大ナル種々ノ物品ヲ製造スルノ用ニ應シ又水面ニ船ヲ駛セ或ハ疾ク車ヲ鐵路ニ進ムルノ用ニ應スルヲ得ヘシ

⑮ 數年前某ノ滊船温都斯坦ノカルキュツタニ到リシカ彼人民ハ其巨船ノ波濤ヲ越エ且火烟ヲ發スルヲ見テ大ニ驚カサルモノナシ

(十六) 是時其人民ノ某吐露セシ所ノ話アリ曰ク嗚呼人ハ奇物ナリ象ヲ捕ヘ之ヲシテ勞動セシメ駱駝ヲ捕ヘテ服勞セシメ風ヲ捕ヘテ巨船ヲ運動セシメ又水ヲ捕ヘテ水車ヲ運轉セシムト

(十七) 然レトモ千八百四十六年ニ當リ始メテ合衆國ニ於テ發明セル所ノ電信機ハ從來諸人ノ發明中恐ラクハ㝡モ奇異トスヘキモノナリ其非凡ナルコトハ此書ヲ讀ム者ノ皆既ニ聞ク所ナリ且某ハ既ニ之ニ由リテ信ヲ通セシモノアラン始メテ電線ニ由リテ通セシ所ノ語ハ則チ天帝何ノ工ヲ爲シテ此ノ如ク爲シヽヤ

第百九十八章概論

諸發明ノ月日

(一) 今予諸發明ノ表ヲ汝ニ授ケ且其月日ヲ語ルヘシ汝若シ其表ヲ讀マハヂュリウス、シーザルノ時ニハ云々コンスタンタインノ時ニハ云々シャルレマン或ハローイスノ時ニ方リテハ云々ノコト發明セラレシト汝ノ得テ之ヲ語ランコト予固ヨリ冀望スル所ナリ

耶蘇紀元前

○二千九十五年　始メテピラミッド金字塔立ツ

○二千年　瓦製造術始ル

○一千八百六十九年　始メテ貨幣ノ通用セシコトハ創世記第二十一章ニ之ヲ載ス

○一千八百二十二年　埃及ノメムノント云フ者始メテ文字ヲ製ス

○一千四百九十三年　二十六字母始メテ歐羅巴ニ傳ハル

○一千四百八十五年　希臘人始メテ埃及ヨリロードニ來着セシ船ヲ見ル

○一千四百六年　クレテノイタ山發燒セシニ由リテ銕ヲ發明ス

○一千四百年　木材及ヒ金屬ノ弓、楯、劍、投槍、戰斧、甲、冑、戰車、鎌、犂、軛、偶像、祠宇、溝渠、銕工、挽磨(ヒキウス)、鍍金及ヒ薰物世ニ知ラル

○八百六十九年　尺度秤量ノ發明

○七百七十二年　太理石ニ彫刻スルノ發明

○六百八年　遊獵始マル

○五百六十二年　始メテ雅典ニ於テ斬首架ノ劇戲ヲ行フ

○五百五十四年　鞴ノ發明

○四百五十年　大麥芽水歐羅巴ニ於テ用ヰラル

○三百三十四年　アリストートルニ屬シタル私用ノ書

庫建ツ

○三百二十五年　絹波斯ヨリ希臘ニ運輸ス

○二百六十九年　羅馬銀貨ヲ造ル

○百五十八年　羅馬水漏ヲ用ヰル

○六十年　斑蝥膏藥ノ發明

○六十年　羅馬人硝子ヲ發明ス

耶蘇紀元後

○二百十四年　阿爾蘭人穀ヲ粉末スルノ車ヲ發明ス

○二百四十年　亞勒山德利亞ニ於テ沙漏ヲ發明ス

○四百年　馬ニ鞍ヲ用ヰル

○四百年　カンパニアノノラノ僧ポーリナス鐘(ベル)ヲ發明ス

○四百五十年　始メテ硝子ヲ窓ニ用ヰル

○四百八十一年　馬蹄ニ鞋ヲ着ク

○五百五十年　鐙始メテ行ハル

○五百五十五年　ペリサリウス穀ヲ粉ニスル水車ヲ發明ス

○六百三十五年　始メテ羽莖ヲ以テ筆ヲ造ル

○六百七十年　石ノ建築始メテ英倫ニ行ハル

○八百九十年　アルフレッド王提燈ヲ發明ス

○九百九十一年　數字始メテ亞喇伯ヨリ歐羅巴ニ傳播ス

○一千百年　始メテ棉ヲ以テ紙ヲ造ル

○一千二百年　方針ノ發明

○一千二百十五年　巴勒ニ於テ始メテ教育ノ爲メニ學校ヲ建設ス

○一千二百五十三年　英倫ニ於テ始メテ棉布ヲ造ル

○一千二百六十年　ロージェル、ベーコン影大鏡ヲ發明ス

○一千二百九十九年　風車ノ發明

○一千二百九十九年　ピサノ僧スピナ眼鏡ヲ發明ス

○一千三百年　特ニウェニス府ノミ鏡ヲ造ル

○一千三百三十年　火藥ノ發明

○一千三百四十年　大炮ノ發明

○一千三百五十二年　ジョン、ファン、イーク油畫ヲ發明ス

○一千三百八十年　佛蘭西ニ於テ弄紙牌ヲ發明ス

○一千四百年　剌馬(スブルス)距針用ヰラル

○一千四百四年　巴勒府ニ於テ帽ヲ發明ス

○一千四百十四年　佛蘭西始メテ銃ヲ用ヰル

○一千四百十七年　始メテ敗爛布ヲ以テ紙ヲ製ス

○一千四百廿五年　抽器ノ發明

○一千四百廿八年　畵ヲ紙上ニ印スルノコト始メテ世ニ知ラル

○一千四百四十一年　フハウスト印書術ヲ發明ス

○一千四百五十年　羅甸ノ聖書始メテ活字ニテ印刷ス

○一千四百六十七年　電氣ノ發明

○一千四百七十年　日耳曼始メテ暦ヲ公布ス

○一千四百七十七年　皷弓及ヒ時辰鏢ノ發明

○一千四百八十一年　以太利ニ於テ始メテ近時式ノ溝渠成ル

○一千四百九十六年　シントドミンゴニ於テ始メテ烟草ヲ

發明ス

○一千五百五年　紡績ノ術英倫ニ傳ハル

○一千五百二十年　チヨコレート（飲物ノ名）墨是哥ヨリ歐羅巴ニ傳ハル

○一千五百三十年　ブリエンスウ井ツクニ於テ紡績車ヲ發明ス

○一千五百四十五年　印度人ニ由リテ英倫始メテ針ヲ造ル

○一千五百四十七年　佛ヘヌリー二世始メテ絲襪子（キヌノメリヤス）ヲ織製ス

○一千五百五十年　西班牙ニ於テ始メテ手織襪子ヲ發明

ス

○一千五百五十三年　血液循環ノ說始メテ世ニ出ツ

○一千五百七十二年　英倫ニ於テ始メテ扇ヲ用ヰル

○一千五百八十年　英倫ニ於テ始メテ馬車行ハル

○一千五百九十年　日耳曼ニ於テ望遠鏡ヲ發明ス

○一千五百九十一年　茶始メテ支那ヨリ英倫ニ輸入ス

○一千六百十七年　始メテ模型ヲ以テ貨幣ヲ造ル

○一千六百十八年　サフハリー蒸氣機械ヲ發明ス

○一千六百二十年　和蘭人ドレベル始メテ寒暖計ヲ發明ス

○一千六百二十一年　顯微鏡始メテ用ヰラル

○一千六百四十一年　咖啡始メテ英倫ニ入ル

○一千六百四十六年　空氣炮ノ發明

○一千六百五十年　ニユーカストルノ近傍ニ始メテ鐵道ヲ敷ク

○一千六百五十四年　排氣鐘ノ發明

○一千六百五十六年　錘(サゲフリ)ヲ具シタル時鳴鐘ヲ發明ス

○一千六百六十年　アドミラルティーウヰツト連砲碼ヲ發明ス

○一千六百六十三年　英倫ニ於テ刀ヲ製ス

○一千六百六十三年　消防機械ノ發明

○一千六百七十年　晴雨計ノ發明

○一千六百七十三年　英歪阿那ヨリ齎シタル金ヲ以テギュンニー金貨ノ名ヲ造ル

○一千六百八十年　鉡ノ發明

○一千六百八十七年　號（アヒヅ）ヲ為ス電機（シグナルテレグラフ）ノ發明

○一千六百八十九年　英始メテ銅貨ヲ造ル

○一千七百四年　白靈ニ於テ洋靛ノ發明

○一千七百四年　亞米利加ノ新聞紙始メテ波士頓ニ於テ印刷ス

○一千七百二十五年　以丁堡ニ於テ紙形鉛板ヲ發明ス

○一千七百八十二年　佛蘭西人始メテ輕氣球ニ昇ル

○一千七百八十四年　英ノヨルクシャイルニ於テ始テ日曜日學校ヲ建設ス

○一千七百九十六年　日耳曼人セ子フェルドル石板鐫刻ノ術ヲ發明ス

○一千八百七年　ノルス、リウルニ於テ始テ滊船成ル

○一千八百十七年　龍動レイセストル街ニ鑄銕ヲ敷ク

○一千八百四十六年　外科術上始メテイーゼルヲ用ヰル

○一千八百四十八年　電機ノ定設

○一千八百五十八年　大西洋ノ水底ニ電信線ヲ設ク。

記臆スヘキ緊要ノ月日

耶蘇紀元前

○四千四年　世界創造

○二千三百四十八年　洪水

○二千二百二十九年　アシュル亞西里亞ヲ建ツ。

○二千百八十八年　ミスライン埃及ニ居ヲ定ム

○一千九百九十六年　アブラハム降誕ス

○一千八百五十六年　イナキュス始メテ希臘ニ植民地ヲ開ク

○一千七百五年　ジャコブ埃及ニ移住ス

○一千五百五十六年　セクロプス雅典ヲ建ツ

○一千四百九十一年　以色列人埃及ヲ去ル。

○一千四百四十七年　モセス死ス

○一千八十五年　ダウヰド王降誕ス。

○一千四年　ソロモンノ祠宇落成。

○八百六年　識言者ヂョナニネウェ人ニ説法スルカ為メニ遣ラル

○七百五十二年　羅馬府建ツ

○五百三十六年　シリュス、ゼ、ゲレート波斯帝國ヲ建ツ。

○五百三十六年 猶太人巴比倫ノ俘囚ヲ脱ル

○三百三十年 アレキサンドル波斯ヲ襲フ

○百四十六年 希臘及ヒカルセージ羅馬人ニ剽掠セラル

○五十五年 ヂュリウス、シーザル大貌列顛ヲ伐ツ

○四十八年 フヘルサリアノ戰爭

○三十一年 アクチュームノ戰爭

○三十年 窈窕タル埃及女王クレオパトラ死ス○

耶蘇紀元後

耶蘇降誕○オーゴスチュス、シーザル羅馬皇帝ト爲ル

○六十一年 シント、ポール捕虜ニ就キ羅馬ニ送ラル

○七十年 耶路撒冷チヽュス人ノ爲メニ敗壞セラル

○百五十四年 後ニ法王トナリシハイジュニュス始メテ羅馬ノビショップト爲ル

○三百十一年 羅馬コンスタンタイン帝ノ爲メニ耶蘇教ヲ奉ス

○四百十八年 佛蘭西王ノ始祖フヘラモンド

○四百七十六年　羅馬帝國滅亡ス

○六百二十二年　マホメット遁逃ス回々宗徒是時ヲ以テ紀元ト爲ス

○六百三十八年　サラセン帝國立ツ

○八百二年　シャルレマン日耳曼帝ト爲ル

○一千九十六年　第一十字軍

○一千二百年　ナフヘルリー隆盛

○一千二百九十九年　阿多曼帝國建ツ

○一千四百九十二年　閣龍亞米利加ヲ發見ス

○一千六百三年　英ノ女王イリサベス死ス

○一千六百七年　英費爾治尼亞ニ植民地ヲ開ク

○一千六百十四年　和蘭人紐約ニ植民地ヲ開ク

○一千六百二十年　巡拜者プライモースニ到着ス

○一千六百五十八年　ヲライフル、クロムウェル死ス

○一千七百七十五年　亞米利加ノ革命ノ亂起ル

○一千七百八十九年　合衆國大統領ノ始祖華盛頓

○一千七百九十三年　佛蘭西革命ノ亂

○一千八百十二年　英米ト戰フ

○一千八百十五年　ウォートルルーノ戰

○一千八百二十一年　保那巴シントヘンナ島ニ死ス

○一千八百四十八年　佛蘭西革命ノ亂

○一千八百六十年　以太利獨立

邦國等ノ起元

耶蘇紀元前

○二千二百二十九年　アシュル亞西里亞國ヲ建ツ

○二千百八十八年　ミスレイム埃及ニ居ヲ定ム

○二千百年　支那帝國建ツ

○一千八百五十六年　イナキュス希臘ノ植民ト非尼亞ニ定住ス

○一千五百五十六年　セクロプス雅典府ヲ建ツ

○一千五百二十年　コリンス王國定立ス

○一千五百十六年　レレッキス斯巴爾達ヲ建ツ

○一千四百三十二年　以色列人ヂョシュアニ屬シテ迦南ニ定住ス

○九百三十六年　マドリット府建ツ

○八百六十九年　非尼亞人カルセージヲ建ツ

○七百五十二年　ロミュルス羅馬府ヲ建立ス

○七百十五年　ビザンチューム府建ツ

○三百三十二年　アレキサンドル埃及ニ亞勒山德利亞ヲ建ツ

○四十三年　リチンス建ツ

耶蘇紀元後

○五十年　羅馬人龍動ニ築城ス

○三百五十七年　巴勒府建ツ

○四百二十一年　フェニチア立ツ

○四百八十六年　クロウヰス佛蘭西王國ヲ建ツ

○六百三十八年　サラセン帝國定立ス

○六百七十二年　バグダッド府建立ス

○七百三年　ブリュジス即今ノブリュッセルス建ツ

○七百十二年　ムールス人種西班牙ニ定住ス

○八百二十七年　イグベルト英倫ニ於テ始テ撒遜王國ヲ建ツ

○八百三十八年　ダブリンノ城壁建ツ

○八百六十八年　和蘭シールリーノ為メニ邦國トセラル

○九百二十年　ゴルム丁抹王國ヲ建立ス

○九百四十四年　アルジールス建ツ

○九百五十年　以丁堡建ツ

○一千百二十二年　維也納ノ城壁建ツ且廣メラル

○一千百三十九年　葡萄牙王國建ツ

○一千百五十六年　莫斯科府建ツ
○一千百六十九年　コペンハヂェン府建ツ
○一千二百三年　アムストルダム開ク
○一千二百五十三年　ストックホーム建ツ
○一千三百十五年　瑞西獨立ス
○一千四百五十年　魯西亞獨立ス
○一千四百五十三年　現今ノ西班牙王國定立ス
○一千六百十四年　紐約開ク
○一千六百三十年　波士頓定住
○一千六百八十四年　非拉特勒飛亞建ツ

○一千七百一年　普魯西王國建ツ
○一千七百七十六年　亞米利加合衆國獨立ス
○一千八百十年　墨是哥獨立ヲ公告ス

顯著ノ人　耶蘇紀元前

○四千四年　開闢後六日ヲ經テアダム生ル
○一千九百九十八年　ノア死ス
○一千七百二十二年　埃及王セソストリス昌盛
○一千六百八十九年　ジャコブ死ス
○一千四百四十七年　希伯來ノ立法家モセス死ス

○一千四百二十六年　以色列人ノ酋長ヂヨシユア死ス

○一千二百八十四年　希臘ノ詩家ニシテ且樂師ナルジヨシユア旺盛

○一千十五年　以色列王ダウヰド死ス

○九百七十五年　ソロモン死ス

○九百年　希臘ノ詩ノ名家ホーマル旺盛

○八百三十四年　斯巴爾達ノ立法家リクルキユス昌盛

○七百三十五年　猶太ノ讖言者イサア昌盛

○七百年　希伯來ノ讖言者ジエレミア昌盛

○六百年　希臘ノ高名ナル詩家サツフナ女生ル

○五百八十年　希臘ノ小説家エーソプ昌盛

○五百五十八年　雅典ノ立法家ソロン死ス

○五百五十一年　支那ノ理學者孔子生ル

○五百四十八年　希臘ノ高名ナル天文學者セールス死ス

○四百二十九年　希臘ノ理學者プラト生ル

○四百一年　希臘ノ高名ナル理學者ソクラテス死ス

○三百八十四年　希臘ノ理學者アリストートル死ス

○三百五十九年　希臘ノ大將及ヒ著述者ナルヱキセノ

フラン死ス

○三百二十四年　馬基頓王アレキサンドル死ス

○七十八年　羅馬ノ大將シルラ死ス

○七十年　羅馬ノ詩人ウヰルシル生ル

○四十四年　高名ナル羅馬ノ大將及ヒ記者ジュリウス、シーザル死ス

○四十三年　羅馬ノ能辯者シセロ死ス

○八年　羅馬ノ高名ナル詩人ホレース死ス

耶蘇紀元後

○十七年　羅馬ノ高名ナル歷史家リウヰ死ス

○二十五年　地理並ニ歷史家ナルストラボ死ス

○二十六年　ジョン、ゼ、バプチスト昌盛

○三十三年　耶蘇磔刑ニ處セラル

○六十五年　羅馬ノ理學者セ子カ死ス

○七十九年　動物總論ノ祖プリニ死ス

○百四十年　羅馬ノ高名ナル列傳ノ作者プリュタルケ死ス

○四百七年　君士但丁ノ僧シントクリソストム死ス

○四百八十一年　佛國ノ王クロウヰス生ル

○七百四十一年　佛ノ某王統ノ祖チャーレス、マルテル死ス

○八百十四年　日耳曼帝シャルレマン死ス

○八百二十七年　英王ノ祖イグベルト死ス

○八百七十二年　英王アレフレット死ス

○九百九十六年　佛ノ某王統ノ祖ヒューカペット死ス

○一千四十三年　詩人アペラルド昌盛

○一千二百二十七年　韃靼ノ勇者ジェンギスカン死ス

○一千三百五年　蘇格蘭ノ勇者ウォルリャム、ウヮルレース刑ニ處セラル

○一千三百二十年　以太利ノ高名ナル詩人ダンテ死ス

○一千三百五十四年　瑞西ノ愛國者テル死ス

○一千三百七十四年　高名ノ詩人ペトラルカ死ス

○一千三百七十五年　以太利ノ學士ボッカッシオ死ス

○一千四百年　英國詩學ノ祖チョウセル死ス

○一千四百二十八年　ジョアン、チフ、アルク昌盛

○一千四百八十三年　神妙ノ名ヲ得タル畫工ラフェール生ル

○一千五百六年　亞米利加ヲ發見セル閣龍死ス

○一千五百二十三年　ゴスタウス、ウッサ瑞典王ト爲ル

○一千五百三十三年　以太利ノ大著述家アリヲスト死ス

○一千五百三十六年　大學者イラスモス死ス

○一千五百四十三年　天文學ノ名家コペルニキュス死ス

○一千五百四十六年　宗門改革者マルティンリュゼル死ス

○一千五百四十六年　丁抹ノ天文學ノ名家タイコ、ブラヘ生ル

○一千五百四十六年　英ノ高名ナル戯作者シャクスピール生ル

○一千五百四十九年　有名ノ著述者セルウハンテス生ル

○一千五百六十五年　宗門改革者カルウヰン死ス

○一千五百八十二年　蘇格蘭ノ著述ノ名家ブチャナン死ス

○一千五百八十六年　英ノ卓然タル詩人スル、フヰリップ、シドニー死ス

○一千五百九十五年　以太利ノ卓然タル詩人タッソ死ス

○一千五百九十六年　英國詩學ノ大家スペンスル死ス

○一千六百三年　英國女王イリサペス死ス

○一千百十年　佛ノ有名ナルデスカルテス死ス

○一千六百十一年　ゴスタウス、アドルフス瑞典王ト爲ル

○一千六百十八年　英ノ著述者スル、ウハルトル、テレイ死ス

○一千六百二十六年　卓絶ナル英國理學者ロルド、ベーコ

ス死ス

○一千六百三十年　高名ノ天文學者ケペレル死ス

○一千六百四十二年　天文學ノ名家ガリレオ死ス

○一千六百五十三年　英ノ攝政クロムウェル死ス

○一千六百七十三年　佛ノ著述者モリール死ス

○一千六百七十四年　英國詩學ノ大家ミルトン死ス

○一千六百八十三年　パスカル生ル

○一千六百八十五年　佛ノ有名ナル詩人コルネール死ス

○一千六百八十九年　高名ノ著述者モンテスキュウ死ス

○一千六百九十四年　佛國著述ノ大家マダムデ、セウヰ子

死ス

○一千六百九十九年　佛ノ有名ノ著述者ラシン死ス

○一千七百年　英ノ絶妙ナル著述者ドライデン死ス

○一千七百四年　英國理學者ロ一ク死ス

○一千七百八年　政事ニ明達シタルロルトチャサムピツト生ル

○一千七百十五年　佛國希世ノ著述者フェ子ロン死ス

○一千七百十九年　英ノ巧妙ナル文章家アヂワン死ス

○一千七百二十一年　魯西亞帝ペートル、ゼ、ゲレート死ス

○一千七百二十七年　理學ノ大家スル、アイサック、ニュートン死ス

○一千七百三十二年　華盛頓生ル

○一千七百四十四年　英國詩學ノ大家ポープ死ス

○一千七百四十五年　英國著述者スウィフト死ス

○一千七百四十八年　愛ス可キ詩人トムソン死ス

○一千七百六十五年　勸善ノ師並ニ詩學ノ大家ヨンク死ス

○一千七百六十八年　英國文章家ステルン死ス

○一千七百七十一年　英ノ高名ナル詩人グレー死ス

○一千七百七十一年　英ノ小説家スモルレット死ス

○一千七百七十四年　英ノ有名ナル著述及ヒ詩家ゴールドスミッス死ス

○一千七百七十六年　蘇格蘭ノ歴史家ヒューム死ス

○一千七百七十八年　佛ノ高名ナル著述者ウォルテイル死ス

○一千七百七十八年　瑞典ノ博物學ノ大家リンチウス死ス

○一千七百七十八年　佛ノ高名ナル著述者ローシウ死ス

○一千七百七十九年　英ノ俳優ノ大家ガルリック死ス

○一千七百八十二年　以太利ノ詩學ノ大家メッタスタシチ死ス

○一千七百八十四年　文章竝ニ字典ノ作者ヂョンソン死ス

○一千七百八十八年　佛ノ博物士ブッフォン死ス

○一千七百九十年　亞米利加ノ理學者フランクリン死ス

○一千七百九十三年　蘇格蘭ノ歴史家ロベルトソン死ス

○一千七百九十四年　絶世ノ歴史家ジッボン死ス

○一千七百九十六年　蘇格蘭ノ高名ナル詩人ボルンス死ス

○一千七百九十七年　英國ノ政科ノ大家ボルリ死ス

○一千八百年　英ノ詩人コウペル死ス

○一千八百一年　人相學ノ著述者ラウハトル死ス

○一千八百三年　蘇格蘭ノ高名ナル詩人ビーティー死ス

○一千八百三年　日耳曼ノ詩人クロプストック死ス

○一千八百五年　日耳曼ノ著名ナル詩人スチルレル死ス

○一千八百五年　英ノ牧師ペーレー死ス

○一千八百十六年　卓絶ノ著述家ニシテ且能辯ナル英ノシェリダン死ス

○一千八百十七年　亞米利加ノ神學者ドクトル、ウハイト死ス

○一千八百十七年　佛ノ高名ナル著述者マダム、デ、ステ、

ール死ス

○一千八百二十一年　保那巴死ス

○一千八百二十四年　バイロンミッソロンハイニ於テ死ス

○一千八百二十七年　佛ノ高名ナル天文學者ラプレース死ス

○一千八百三十年　佛ノ著述者マダム、デジェンリス死ス

○一千八百三十二年　高名ノ著述者スル・ウハルトル、スコット死ス

○一千八百三十二年　博物ノ大家ナル佛ノクウヰール死ス

○一千八百三十二年　日耳曼ノ高名ナル著述者ゴエセ死ス

○一千八百五十二年　政科ニ達シタル亞米利加ノヘヌリー、クレー死ス

○一千八百五十二年　政科ニ達シタル亞米利加ノダニール、ウェブストル死ス

○一千八百五十九年　日耳曼ノ理學者ホンボルド死ス

內村耿之介　校

巴來萬國史下卷終

正誤

第二十二丁	知ラレシメンハ知ラシメンノ誤
第三十七丁	見ヘルシハ見ルベシノ誤
第四十六丁	子ハ予ノ誤
第七十二丁	可ラカスハ可カラスノ誤
第百二丁	端西ハ瑞西ノ誤
第二百十二丁	屠夫ノ子ハ予ノ誤
第二百二十六丁	兪ハ愈ノ誤
第二百五十五丁	抵地ハ低地ノ誤
第三百三十二丁	窍窕ハ窈窕ノ誤

第三百三十七丁　度印ハ印度ノ誤

第三百八十九丁　鍍金ノ下ニ「國」ヲ脱ス

第四百三十一丁　紅及ヒハ及ヒ紅ノ誤

第四百五十五丁　巴勒斯旦ハ巴勒斯旦ノ誤土耳其人ムハ
土耳其人等ノ誤

第四百五十九丁　ニュビア及ヒノ六字衍